



0057247-000

特 2 2 9 - 6 2

全国幹部候補生終末試験問答集

兵書刊行会・編

兵書刊行会

昭和6年乃至8年度

第2版

昭和9

AJF

355
4
3

卅六年乃至八年度

各師團參謀部御下附

全
國幹部候補生
試驗末問答集

各兵科共通科目
附步兵操典

東京 兵書刊行會編

特 229
62



序

幹部候補生教育ハ戰時國軍ノ幹部トシテ重要ナル地位ニ在ルコトハ茲ニ多言ヲ要セス。陸軍當局カ此ノ教育ヲ重視シテ其制度ヲ改正セラレタリ

幹部候補生自身一年志願兵制度時代ニ比シ、軍事學術ノ研究ニ力ヲ注クコト絶大ナルモノアリ。其成績亦タ良好ナリ眞ニ國家ノ爲慶賀ニ堪ヘス

幹部候補生ノ研究心ノ増進ハ参考書ノ必要ニ迫ラレ動モスレハ其選ヲ誤ルモノナキヲ期ス。短時日ノ教育期間ニ於テ勉學ノ法ヲ誤リ或ハ迂遠ノ研究ヲ爲スハ百害アリテ一利ナシ

本書ハ之等ノ害ヲ防ク爲各師團參謀部ノ御後援ニ依テ、幹部候補生終末試験問題ノ半數ノ師團ヨリ其原案ノ御教示ニ預リ、弊會ニ於テ私案ヲ加ヘテ審議編纂シタルモノナリ。終リニ各師團參謀部及各部隊カ本書編纂ノ爲ニ多大ノ御後援ヲ賜リシコトヲ厚ク感謝ス



終リニ各師團參謀部及各部隊カ本書編纂ノ爲ニ多大ノ御後援ヲ賜リシコトヲ厚ク感謝ス

編纂責任者陸軍歩兵少佐 齋藤市平



凡 例

- 一、本書ノ問題ハ各師團ノ參謀部ヨリ特ニ弊社ニ御下附アリタルモノニシテ幹部候補生終末試験ニ實際出題セラレタルモノナリ
- 二、本書ハ概ネ典範令等ノ條文ノ順序ニ從ヒ其年度毎ニ集成セルモノナリ。一問中ニ又數條ニ關聯シアル問題ハ最初ノモノノ位置ニ入レアリ
- 三、本書問題ノ末尾ノ（ ）内ノ略字ハ日本數字ハ年度、亞羅比亞數字ハ師團號、漢字ハ兵科ノ頭文字トス。例ヘハ（七年9步騎）ハ昭和七年度第九師團歩兵科及騎兵科ノ略稱トス

內容科目綴込順序 (各兵共通課目)

科目

戰 陣 綱 要

陣 中 要 務 令

小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範(機關銃、步兵砲、射擊教範ヲ含ム)

野 戰 築 城 教 範

軍 制 學

地 形 學

教 育 令

交 通 教 範

築 營 教 範

通 信 教 範

兵器取扱法、同保存法

綴込順序

一

二

三

四

五

六

七

八

九

一〇

一一

目次

一

軍隊内務書.....一二

瓦斯防護ニ關スル事項.....一三

歩兵操典.....一四

騎兵科、砲兵科、工兵科、航空兵科、輜重兵科ノ特別課目ハ各別冊トス

戰
鬪
綱
要

全國幹部候補生終末試驗問題集

戰鬪綱要問題

- 一、戰鬪綱要制定ニ際シ賜リタル勅語ヲ記述ス
(シ)(七年臺歩)
- 二、戰勝ノ要ヲ説明シ幹部候補生ノ覺悟ヲ問フ
(七年16各兵)
- 三、必勝ノ信念ニツキ略述スヘシ(七年臺歩
八年10工)
- 四、必勝ノ信念ノ根源培養法及充實法ニ就キ説
明スヘシ(七年6各兵)
- 五、獨斷ヲ説明シ遭遇戰カ特ニ之ヲ必要トスル
所以ヲ述ヘヨ(七年8各兵)
- 六、軍隊指揮官ノ具備スヘキ徳性及指揮ノ要訣
ヲ述フヘシ(七年11各兵)
- 七、戰鬪指揮ノ要訣(七年7各兵八年近電)
- 八、狀況ヲ判斷スル爲準據スヘキ件ヲ述ヘヨ
(七年3輔)
- 九、攻撃及防禦ノ主眼竝戰鬪ニ方リ攻防何レニ
出ツヘキヤ決定ノ要旨ヲ述ヘヨ(七年1各兵)
- 一〇、戰鬪指導ノ主眼及戰鬪ノ爲諸兵種ノ運用
竝協同ノ要訣ヲ問フ(六年3各兵前段八年0砲)
- 一一、左ノ事項ヲ問フ(六年1各兵)
 - 1 戰鬪指導ノ主眼
 - 2 戰鬪酣ナル時機ニ於ケル戰鬪指導及此時
機ニ於テ各級指揮官ノ特ニ戒ムヘキ事項

◇戰闘綱要◇

- 一一、戰闘指導ノ主眼ニ就キ例ヲ舉ケテ説明ス
(シ(七年6各兵))
- 一二、機動力ノ必要ナル所以及之ヲ大ナラシムル爲ノ要件ヲ問フ(七年9各兵)
- 一三、戰闘部署ノ要訣及機動力ヲ大ナラシムル爲緊要ナル條件ヲ問フ(七年14各兵)
- 一四、戰闘部署ノ要訣並攻撃重點選定ノ要旨ヲ問フ(七年8各兵八年0步前段9各兵)
- 一五、豫備隊ノ一般的用法如何(六年16騎)
- 一六、戰闘指令所及情報收所ノ必要ナル所以(七年7各兵)
- 一七、敵ノ瓦斯攻撃ニ對スル指揮官トシテ心得(キ件ヲ問フ(七年14各兵))
- 一八、諸兵種協同ノ主眼及協同ノタメ必須ノ要件ヲ問フ(七年20步砲工)

- 二〇、軍直轄砲兵ノ任務(七年7各兵)
- 二一、戰闘ノ爲搜索ニ必要ナル事項ヲ列舉セヨ(七年3步)
- 二二、戰闘間對空警戒ノ要領ヲ説明スヘシ(七年16各兵)
- 二三、戰闘間ニ於ケル警戒ノ目的、上空ニ對スル警戒ノ要領ヲ述ヘヨ(六年3)
- 二四、隣接部隊及並步砲間ノ通信連絡設備ノ擔任區分如何(七年3砲前段八年3飛)
- 二五、攻撃及追撃ノ主眼(七年7各兵)
- 二六、包圍ノ實施法並ニ之カ救果ヲ大ナラシムル爲ノ手段及指揮官ノ著意スヘキ件ヲ述フヘシ(七年11各兵)
- 二七、攻撃ニ於ケル包圍ノ價值並之カ方法ヲ概説スヘシ(六年8各兵八年近氣球10騎)

- 二八、包圍ノ實施要領及之カ實施ニ方リ注意スヘキ事項ヲ問フ(七年8各兵前段八年9各兵)
- 二九、包圍ノ要領ヲ圖示シテ説明スヘシ(六年16騎)
- 三〇、師團カ戰闘ノ爲前進間大行李輜重ノ行動ヲ圖示シ簡單ナル説明ヲ附スヘシ(七年7騎)
- 三一、遭遇戰ノ要訣如何(六年16騎)
- 三二、遭遇戰ノ要訣及陣地戰ニ於ケル攻撃奏功ノ要件(七年7各兵)
- 三三、遭遇戰ニ於テ前衛ノ行動ヲ説明スヘシ(五年3各兵、七年9各兵八年近電5各兵10騎工14各兵)
- 三四、開進ノ配置トハ如何圖示シテ説明スヘシ(七年9各兵)
- 三五、開進ニ於ケル砲兵ノ用法(七年7砲)
- 三六、拂曉攻撃ノ爲工兵ノ用法(七年7砲)

◇戰闘綱要◇

- 三七、陣地攻撃ノ各時期ニ於ケル師團砲兵ノ任務ヲ圖示シ簡單ナル説明ヲ附記スヘシ(七年6砲)
- 三八、陣地攻撃ニ於ケル工兵ノ行動要領ヲ戰闘各期ニ區分説明スヘシ(七年3工八年2工)
- 三九、左ノ事項ヲ問フ(七年9步)
 - 1 追撃ニ於ケル歩兵ノ動作
 - 2 陣地攻撃ニ於テ攻撃實施ニ方リ戰車ノ用法
- 四〇、攻撃ニ於ケル陣地内部ニ於ケル戰闘ノ要領ヲ述ヘヨ(七年20步砲工)
- 四一、夜間ノ特性及夜間攻撃ヲ實施スル場合ヲ述ヘヨ(七年8各兵)
- 四二、夜間攻撃ノ利害並實施スヘキ場合ヲ説明スヘシ(七年20各兵八年近歩)

◇戰闘綱要◇

- 四三、夜間攻撃ヲ實施セントスルニ際シ指揮官トシテ準備スヘキ事項ヲ述ヘヨ(七年三輯)
- 四四、歩兵ノ夜間攻撃ニ協力スル砲兵ノ射撃目標(七年七砲)
- 四五、防禦ニ於ケル歩兵ノ火力配置要領(七年七步)
- 四六、地區占領部隊ノ區分(七年七步)
- 四七、前進陣地ノ目的ヲ説明スヘシ(七年九各兵)
- 四八、前進陣地ノ目的(七年七騎)
- 四九、前進陣地ヲ圖示説明スヘシ(七年九各兵)
- 五〇、追撃ノ主眼竝戰闘指導上各級指揮官ニ必要ナル精神的要素ヲ問フ(七年三各兵前段八年三騎)
- 五一、追撃ニ於ケル各兵種協同ノ要領ヲ概説スヘシ(七年九各兵)

四

- 五二、追撃戰闘指導ノ要領ヲ述ヘヨ(七年三高砲)
- 五三、退却ヲ行フ場合又退却戰闘指導ノ主眼(七年七各兵)
- 五四、騎兵ニ配屬セラレタル装甲自動車ノ用法ヲ述ヘヨ(七年九各兵)
- 五五、騎兵ヲ主體トスル諸兵連合ノ攻撃戰闘ニ於テ諸兵部隊ノ用法ヲ圖示シ簡單ナル説明ヲ附記スヘシ(七年六騎)
- 五六、追撃ニ於テ騎兵ニ配屬セラレタル歩兵及装甲自動車ノ用法ヲ問フ(七年三騎)
- 五七、斜交陣地(七年七各兵)
- 五八、一個師團ヲ基幹トスル部隊ノ渡河點ノ選定ニ就キ圖示説明スヘシ(七年六工)
- 五九、渡河作業隊ノ編成(七年七各兵)

六〇、森林及住民地ノ戰闘原則ノ特異ナル點ニツキ述フヘシ(七年九各兵)

六一、左ノ事項ヲ説明スヘシ(七年九各兵)

- 1 狀況判斷
- 2 決心

六二、必勝ノ信念ハ如何ニシテ養ハルルヤヲ述ヘヨ(八年九各兵)

六三、必勝ノ信念ヲ得ル大本如何(八年近鐵道)

六四、戰捷ノ要ヲ述ヘ且戰闘部署ノ要訣ヲ説明スヘシ(八年十步)

六五、敵ノ意表ニ出ツルノ價值及機動力發揮ノ要領ヲ説明スヘシ(八年十騎)

六六、戰闘ノ爲ニ必須ノ精神的要素ニ就テ説明スヘシ(八年五步)

六七、軍隊力大ナル機動力ヲ必要トスル所以ヲ

◇戰闘綱要◇

概説シ且機動力ヲ大ナラシムル爲緊要ナル條件ヲ列記スヘシ(八年近工校)

六八、指揮ノ要訣ヲ問フ(八年五騎)

六九、指揮官狀況ヲ判斷スルニ方リ著意スヘキ要件ヲ問フ(八年九各兵)

七〇、指揮官ノ決心ト狀況判斷トノ相互關係ヲ記述スヘシ(八年十騎)

七一、戰闘部署ノ要訣及機動力ニ就テ説明セヨ(八年〇各兵)

七二、戰闘部署ノ要訣竝指揮官ノ軍隊ヲ部署スルニ當リ考慮スヘキ要件ヲ述フヘシ(八年〇各兵、3各兵5輯前段)

七三、戰闘部署ノ要訣ヲ述ヘ且徒歩小隊長トシテ火線ニ用フル兵力決定ノ要旨ヲ記述スヘシ(八年二輯)

七四、戰闘部署ノ要訣ト機動力發揮ノ條件ヲ述

フヘシ(八年近砲)

七五、豫備隊ノ用法ヲ問フ(八年5輯)

七六、攻撃戰闘ニ於ケル指揮官ノ位置ニ就キ説

明スヘシ(八年5步)

七七、戰闘ノ爲諸兵種ノ運用竝協同ノ主眼ヲ述

フヘシ(八年氣球)

七八、諸兵種協同ノ要訣ニ就テ説明スヘシ(八

年5砲)

七九、諸兵種協同ノ主眼及協同ヲ完全ナラシム

ル爲必須要件ヲ問フ(八年2步)

八〇、軍直轄砲兵及師團砲兵ノ任務ヲ述ヘヨ

(八年3野、重砲)

八一、砲兵配置ニ關スル一般原則ヲ述ヘ、遭遇

戰、陣地攻撃竝防禦ニ於ケル陣地選定上ノ著

眼ヲ述ヘヨ(八年10砲)

八二、直接協同スヘキ歩砲兵指揮官ノ戰闘開始

前後協定スヘキ事項及戰闘間歩砲協同上爲ス

ヘキ要件ヲ問フ(八年近砲)

八三、開進ノ配置ヲ圖示説明スヘシ(八年近砲)

八四、戰闘各期ニ於ケル搜索ノ要領ヲ述ヘヨ

(八年近砲)

八五、戰闘間ニ於ケル敵情搜索ノ要領ヲ説明ス

ヘシ(八年近砲)

八六、戰闘間上空ニ對スル警戒法ヲ述フヘシ

(八年5輯)

八七、飛行機ト地上部隊トノ連絡法ニ就キ説明

スヘシ(八年9各兵)

八八、攻撃ノ主眼竝攻撃點選定ノ要領ヲ説明ス

ヘシ(八年2步)

八九、攻撃竝防禦ノ主眼ヲ問フ(八年近砲)

九〇、攻撃ノ重點選定上ノ著意ヲ述ヘヨ(八年

10砲)

九一、攻撃ノ重點ヲ指向スヘキ方向如何(八年

近、重砲電)

九二、攻撃點選定上ノ要領ヲ圖示説明スヘシ

(八年近砲)

九三、包圍ニ就テ述ヘヨ(八年3高砲)

九四、包圍ノ效果竝其實施要領ヲ述ヘヨ(八年

14各兵)

九五、包圍實施ノ方法ヲ記述スヘシ(八年10輯)

九六、包圍實施ノ方法ヲ述ヘヨ(八年20騎)

九七、遭遇戰ト陣地攻撃トノ一般要領ノ差異ヲ

概説スヘシ(八年3步)

九八、遭遇戰ニ於ケル前衛ノ任務及行動ヲ述ヘ

ヨ(八年近重砲)

九九、遭遇戰ニ於ケル前衛砲兵ノ戰闘要領竝陣

地選定ノ要件ヲ記セ(八年2砲)

一〇〇、遭遇戰ニ於ケル前衛ノ行動ヲ述ヘ且前

衛砲兵ノ任務ヲ述ヘヨ(八年10野砲)

一〇一、遭遇戰ニ於ケル騎兵ノ行動ヲ述ヘヨ

(八年20騎)

一〇二、遭遇戰及追撃ニ於ケル騎兵行動ノ要領

ヲ述フヘシ(八年5騎)

一〇三、左記事項ヲ問フ(八年9騎)

1 遭遇戰ニ於ケル騎兵ノ用法

2 退却ニ於ケル騎兵ノ用法

一〇四、遭遇戰ニ於テハ工兵ハ如何ニ使用セラ

ルヘキモノナリヤヲ説明スヘシ(八年9工)

一〇五、遭遇戰ニ於ケル豫備隊使用上ノ著眼

(八年近電)

一〇六、陣地攻撃ニ於テ師團命令ニ基キ各部隊カ開進ノ配置ニ就ク要領ヲ説述スヘシ(八年近工校)

一〇七、陣地攻撃ニ於ケル砲兵陣地選定上顧慮スヘキ要件ヲ述ヘヨ(八年近砲)

一〇八、陣地攻撃ニ於ケル砲兵陣地配置ノ要領ヲ説明スヘシ(八年9砲)

一〇九、拂曉攻撃ノ要領ヲ圖示シ説明スヘシ(八年5各兵)

一一〇、配屬砲兵ノ意義及陣地攻撃ニ於テ配屬砲兵ノ主トシテ射撃スヘキ目標ニ就キテ記述スヘシ(八年2砲)

一一一、陣地攻撃ニ於ケル工兵ノ行動中左記ノ場合ニ就キ概説スヘシ(八年5工)

1 攻撃間ニ於ケル工兵

2 突撃ニ方リ歩兵ニ配屬セラレタル工兵

3 陣内攻略時ノ工兵

一一二、陣地攻撃ノ各期ニ於テ工兵ノ行フヘキ作業ヲ述ヘヨ(八年3工)

一一三、陣地攻撃(運動戦)ニ於ケル突撃準備ヲ説明スヘシ(八年20歩、砲工)

一一四、陣地攻撃ニ於テ左ノ場合ニ於ケル工兵ノ行動ニ就テ記セ(八年近工)

イ、突撃ニ方リ歩兵ニ配屬セラレタル場合

ロ、敵陣地内ニ突入セル場合

ハ、突撃中途ニ頓挫セル場合

一一五、夜間ノ特性ヲ述ヘ且夜間攻撃ヲナス場合ヲ述ヘヨ(八年5騎)

一一六、夜間攻撃ノ利害並夜間火器ノ威力ヲ利

用シ攻撃ヲ強行スルヲ要スル場合ニ於ケル歩

兵及砲兵ノ射撃任務ヲ述ヘヨ(八年近砲前段重砲)

一一七、夜間攻撃奏功ノ要件ニ就キ述ヘヨ(八年5歩)

一一八、夜間攻撃ノ利害ヲ述ヘヨ(八年近鐵道)

一一九、戦術上夜間ノ特性ヲ述ヘ夜間攻撃奏功ノ爲必要缺クヘカラサル要件ヲ舉ケヨ(八年近電、近工校)

一二〇、戦術上夜間ノ特性ヲ述ヘ夜間攻撃奏功ノ爲必要缺クヘカラサル要件ヲ舉ケヨ(八年近電)

一二一、夜間攻撃目標ノ選定及攻撃部署ニ就テ説明スヘシ(八年20歩砲工)

一二二、夜間攻撃ニ於テ攻撃目標選定ノ要領ヲ

述ヘヨ(八年5工)

一二三、夜間火器ノ威力ヲ利用シ攻撃ヲ強行スル要領ヲ述ヘヨ(八年5各兵)

一二四、防禦一般ノ要領ヲ述ヘヨ(八年0歩)

一二五、防禦陣地選定ノ要旨及陣地占領ノ本旨ヲ問フ(八年10歩)

一二六、防禦ニ於ケル火力配置ニ就テ説明スヘシ(八年20歩、砲、工)

一二七、警戒部隊ノ任務並其配備要領ヲ述フヘシ(八年10歩)

一二八、警戒部隊ノ任務、陣地及兵力ニ就テ説明スヘシ(八年近歩)

一二九、警戒陣地及前進陣地占領ノ目的ヲ問フ(八年5砲10輻)

一三〇、前進陣地ヲ占領スル場合ヲ圖示説明シ

◇ 戦闘綱要 ◇

占領上ノ注意事項ヲ述ヘヨ(八年10工)

一三一、防禦ニ於ケル瓦斯防護ニ就テ記セ(八年近工)

一三二、防禦陣地秘匿ノ爲採ルヘキ手段及注意ヲ述ヘヨ(八年5各兵)

一三三、防禦戦闘ニ於テ陣地前ニ派遣セラレタル騎兵ノ行動ニ就キ述フヘシ(八年近騎)

一三四、夜間防禦ノ要領ヲ説明スヘシ(八年近氣球)

一三五、追撃ノ要領ヲ問フ(八年5歩)

一三六、追撃ノ主眼ヲ述ヘ且軍隊指揮官ノ服膺スヘキ要件ヲ説明スヘシ(八年10歩)

一三七、追撃ノ主眼及追撃ニ於ケル工兵ノ動作ヲ述ヘヨ(八年10工)

一三八、追撃ノ主眼及騎兵ノ行動ヲ説明セヨ

一四六、騎兵ニ配屬セラレタル歩兵ノ用法ヲ問フ(八年2騎)

一四七、敵前渡河ニ於テ敵ノ意表ニ出ツル爲ノ主要ナル手段ヲ問フ(八年9各兵)

一四八、河川ノ戦闘ニ於ケル工兵部署ノ要領ヲ述ヘヨ(八年5工)

一四九、左記事項ヲ記セ(八年近工)

イ、前進陣地占領ノ目的

ロ、陽渡河ノ地點選定及實施上ノ着眼

一五〇、師團戦闘ノ爲ノ前進間大行李輜重、前進ノ一例ヲ圖示シテ所要ノ説明ヲナスヘシ(八年9輜)

一五一、戦闘綱要應用問題(圖上ニテ情況ヲ設ケテ課セラル)要旨

◇ 戦闘綱要 ◇

(八年3騎)

一三九、追撃ノ主眼及部署ヲ問フ(八年10騎)

一四〇、追撃ノ主眼如何又本主眼達成ノ爲採ルヘキ手段ヲ説明スヘシ(八年11各兵)

一四一、追撃目標ノ選定及追撃戦闘ニ於ケル工兵ノ任務ヲ説明スヘシ(八年近鐵道)

一四二、追撃及退却ニ於ケル砲兵ノ行動ヲ述ヘヨ(八年5砲)

一四三、師團ノ追撃ニ當リ其能力ヲ發揮セシムル爲輜重兵科幹部トシテ特ニ注意スヘキ件ヲ記述スヘシ(八年10輜)

一四四、騎兵ヲ主體トスル諸兵連合ノ戦闘ニ於テ各兵種使用ノ要領ヲ説明スヘシ(八年近騎、20騎)

一四五、支援歩兵ノ用法ヲ記セ(八年10騎)

某地攻略ノ目的ヲ有スル師團ハ某地ニ到着シ午後六時迄ニ敵陣地ノ大要ヲ知り明拂曉攻撃ヲ企圖ス

左記事項ヲ答解スヘシ(八年16歩)

1、攻撃準備ノ位置

2、第一線歩兵ノ區分(右翼隊、中央隊、左翼隊等其兵力、戦闘地域)

3、砲兵陣地ノ配置

4、工兵用法ノ大要

5、騎兵ノ用法ノ大要

6、豫備隊ノ兵力、位置

7、衛生隊ノ位置

8、彈藥交付所ノ位置

全國幹部候補生終末試驗問題答案集

戰 闘 綱 要 答 案

一、著眼 戰闘綱要巻頭勅語ヲ謹記スヘシ
勅 語

朕多年ノ經驗殊ニ最近軍事ノ進運ニ精ヘ茲ニ戰闘綱要ヲ制定ス各、研鑽應用其宜シキヲ得以テ本綱要ノ趣旨ヲ完ウセムコトヲ期セヨ

二、著眼 綱領第五ヲ主體トシ幹部候補生タル地位トシテ其覺悟ヲ附記スヘシ

1 戰捷ノ要

戰捷ノ要訣ハ有形無形上ノ各種戰闘要素ヲ綜合シテ敵ニ優ル威力ヲ要點ニ集中發揮セシムルニ在リ訓練精到ニシテ必勝ノ信念堅ク軍紀至嚴ニシテ攻守精神充溢セル軍隊ハ能ク物質的の威力ヲ凌駕シテ戰捷ヲ完ウシ得ルモノトス

2 幹部候補生ノ覺悟

幹部候補生ハ在營期間ハ僅少ナルモ此間軍人精神ノ修養軍事能力ノ修得ニ於テハ將來幹部トシテ野

戰軍ノ指揮官タリ得ルノ要素ヲ具備セサルヘカラス、而モ郷黨ニ於テハ地位アリ身分アル者タルヲ以テ國民精神ノ涵養ト在郷軍人ノ指導ニ任シ國家ノ干城、國民ノ模範タルノ覺悟ナカルヘカラス

三、著眼 綱領第三ヲ記スヘシ

必勝ノ信念ハ主トシテ軍ノ光輝アル歴史ニ根源シ周到ナル訓練ヲ以テ之ヲ培養シ卓越ナル指揮統帥ヲ以テ之ヲ充實ス

赫々タル傳統ヲ有スル國軍ハ愈々忠君愛國ノ精神ヲ砥礪シ益々訓練ノ精熟ヲ重キ戰闘慘烈ノ極所ニ至ルモ上下相信倚シ毅然トシテ必勝ノ確信ヲ持セサルヘカラス

四、答三ノ前項ヲ記スヘシ

五、著眼 綱領第五及第八十五ヲ左ノ如ク記ス

1 獨斷

凡ソ兵戰ノ事タル獨斷ヲ要スルモノ頗ル多シ然レ

◇戰闘綱要◇

トモ獨斷ハ其精神ニ於テハ決シテ服従ト相反スルモノニアラス 常ニ上官ノ意圖ヲ明察シ大局ヲ判斷シテ狀況ノ變化ニ應ジ自ラ其目的ヲ達シ得ヘキ最良ノ方法ヲ選ビ以テ機宜ヲ制セサルヘカラス

2 遭遇戰カ特ニ獨斷ヲ必要トスル所以

遭遇戰ニ在リテハ各級指揮官ノ獨斷專行ヲ要スル場合特ニ多キモノトス、其理由左ノ如シ

(一) 遭遇戰ノ要訣ハ先制ニ在リ之カ爲敵ニ先ダチ有利ノ狀態ニ軍隊ヲ展開セシメ戰闘ノ初動ヨリ戰勢ヲ支配スルコト緊要ナリ 之カ爲命令ヲ待ツノ暇ナキコト多ケレハナリ

(二) 遭遇戰ニ在リテハ狀況明確ナラサルヲ通常トシ且先制獲得ノ爲ノ好機ハ瞬時ニ經過スヘキヲ以テ地形ヲ精密ニ觀察シ或ハ時々變化スヘキ敵情ニ關シ多クノ情報ヲ集メタル後始メテ處置セントスルカ如キハ多クハ失敗ニ終ルモノトス 故ニ遭遇戰ニ在リテハ指揮官以下斷乎タル決心ヲ以テ神速ニ處置セサルヘカラサレハナリ

六、著眼綱領第十ノ前項及第一篇第三ヲ記スヘシ

1 軍隊指揮官ニ具備スヘキ條件

ルニ在リ

2 防禦ノ主眼ハ地形ノ利用、工事ノ施設、戰闘準備ノ周到ナル等物質的利益ニ依リ兵力ノ劣勢ヲ補ヒ且火力及逆襲ヲ併用シテ敵ノ攻撃威力ヲ破摧シ以テ爾後ノ攻勢ヲ有利ナラシムルニ在リ

3 戰闘ニ方リ攻防何レニ出ツヘキヤハ主トシテ任務ニ基キ決スヘキモノナリト雖攻撃ハ敵ノ戰闘力ヲ破摧シ之ヲ壓倒殲滅スル爲唯一ノ手段ナルヲ以テ狀況眞ニ己ムヲ得サル場合ノ外常ニ攻撃ヲ決行スヘシ縱ヒ敵ノ爲一時機先ヲ制セラレタル場合ニ於テモ尙爲シ得ル限りノ手段ヲ盡シテ攻撃ヲ斷行シ戰勢ヲ挽回スルヲ要ス

狀況眞ニ己ムヲ得ス防禦ヲ爲ストキト雖機ヲ見テ攻勢ニ轉シ敵ニ決定的打撃ヲ與フルヲ要ス

一〇、著眼第八ノ第二項及第二十五及第二十六ヲ左ノ如ク述記スヘシ

1 戰闘指導ノ主眼

戰闘指導ノ主眼ハ絶ニス主動ノ地位ヲ確保スルト共ニ敵ヲ致シテ其意表ニ出テ敵ノ豫期セサル地點ト時期トニ於テ之ニ決戰ヲ強ヒ以テ速ニ戰闘ノ目

◇戰闘綱要◇

指揮官ハ軍隊指揮ノ中樞ニシテ又其團結ノ核心ナリ故ニ常時部下ト苦樂ヲ俱ニシ率先躬行軍隊ノ機表トシテ其尊信ヲ受ケ劍電彈雨ノ間ニ立チ勇猛沈著部下ヲシテ仰キテ富嶽ノ重キヲ感セシメサルヘカラス

2 軍隊指揮ノ要訣

部下軍隊ヲ確實ニ掌握シ明確ナル企圖ノ下ニ適時適切ナル命令ヲ與ヘテ其行動ヲ律スルト共ニ部下指揮官ニ對シ大ニ獨斷活用ノ餘地ヲ與フルニ在リ

七、答六ノ12ヲ見ヨ

八、著眼第五ノ第二項前半部ヲ左ノ如ク記述スヘシ 狀況ヲ判斷スルニハ任務ヲ基礎トシ我軍ノ狀態、敵情、地形、其他戰闘ニ關係アル各種ノ資料ヲ收集較量シ以テ最モ有利ニ我カ任務ヲ達成スヘキ方策ヲ定ムヘキモノトス此際大局ニ著眼シ且常ニ敵ニ對シ主動ノ位置ニ立チ動作ノ自由ヲ獲得スルニ勉メ特ニ敵ノ意表ニ出ツルノ著意極メテ肝要ナリ

九、著眼第六十六、第百五十三及第七ノ中ヨリ左ノ如ク記ス

1 攻撃ノ主眼ハ敵ヲ包圍シテ之ヲ戰場ニ殲滅ス

的ヲ達成スルニ在リ

2 戰闘ノ爲諸兵種ノ運用

戰闘ノ爲諸兵種ヲ運用スルノ要ハ其性能ニ應ジ彼此長短相補ヒ各、固有ノ能力ヲ遺憾ナク發揮セシメ以テ諸兵種ヲシテ完全ニ協同セシムルニ在リ

3 諸兵種ノ協同

戰闘ニ最終ノ決ヲ與フルモノハ歩兵ナリ故ニ諸兵種ノ協同ハ歩兵ヲシテ其目的ヲ達セシムルヲ主眼トシテ行ハルヘキモノトス而シテ之カ基礎ハ團長ノ適切ナル部署ト指導トニ在リト雖諸兵種相互ノ緊密ナル精神的結合ト他兵種ノ性能ニ關スル十分ナル理解トハ協同ヲ完全ナラシムル爲必須ノ要件ナリ

一、著眼第八及第十八ヲ左ノ如ク記ス

1 答一〇ヲ見ルヘシ

2 戰闘ノ酣ナルヤ彼我軍隊ノ奮戰力關ハ極度ニ達シ其戰勢ハ頗ル混沌タルニ至ルヘシ此時ニ方リ指揮官ハ自己ノ觀察ト刻々到達スル情報トニ依リ的確ナル判斷ヲ爲シ機ニ先シテ戰況ノ變化ニ應ジ得ルノ準備ヲ爲スト共ニ堅確ナル意志ヲ以テ當

◇戰闘綱要◇

初ノ企圖ヲ遂行スルヲ要ス此際各級指揮官ハ戰況ヲ悲觀シ敵情ヲ過大視スルノ弊ヲ深ク戒メ己危急ニ瀕スルトキハ他部隊モ亦同一ノ景況ニ在ルトキナルコトヲ想ヒ妄ニ増援隊ヲ請求スルカ如キコトアルヘカラス

戰闘間豫期セサル方面ニ於テ奏功スルモノアラハ全般ノ狀況ニ稽ヘ決然之ヲ利用スルニ躊躇スヘカラス

- 一、答案一〇ヲ見ルヘシ例ハ適宜選定スヘシ
- 二、著眼第十ノ第一項前部及第二項ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 機動力ノ必要ナル所以
戰闘部署ノ要訣ハ決戦ヲ企圖スル方面ニ適時必勝ヲ期スヘキ兵力ヲ徹底的ニ集中スルニ在リ之カ爲所望ノ時機、所望ノ地點ニ兵力ヲ集中スルニハ軍隊ノ大ナル機動力ヲ必要トス

2 機動力ヲ大ナラシムル爲ノ要件
指揮及部署ノ適切、行動ノ敏活、行軍能力ノ發揮、夜間ノ利用並各種交通機關ノ活用等ハ機動力ヲ大ナラシムル爲緊要ナル條件ナリ

一四、著眼第十ヲ左ノ通り記述ス

1 戰闘部署ノ要訣

決戦ヲ企圖スル方面ニ對シ適時必勝ヲ期スヘキ兵力ヲ徹底的ニ集中スルニ在リ此際他ノ方面ニ對シテハ目的ニ適應スル最小限ノ兵力ヲ使用シ決戦方面ノ戰闘ヲ容易ナラシメサルヘカラス

2 機動力ヲ大ナラシムル爲緊要ナル條件

所望ノ時機、所望ノ地點ニ兵力ヲ集中スルニハ軍隊ノ大ナル機動力ヲ必要トス之カ爲概ネ左ノ條件ヲ緊要トス

- (イ) 指揮及部署ノ適切、(ロ) 行動ノ敏活、(ハ) 行軍能力ノ發揮、(ニ) 夜間ノ利用、(ホ) 各種交通機關ノ活用

一五、著眼第十及第六十七ヲ左ノ如ク記述スヘシ

1 戰闘部署ノ要訣

答案一四一ヲ見ルヘシ

2 攻撃點選定ノ要旨

攻撃ノ重點ハ狀況特ニ地形ヲ判斷シ敵ノ弱點若ハ敵ノ苦痛トスル方向ニ之ヲ指向スヘシ
我カ戰闘力ノ發揮ニ便ニシテ敵ノ戰闘力ノ發揮困

難ナル方面殊ニ翼、配備ノ間隙、兵團ノ接續部等

- 一八、著眼第十三ヲ其儘記ス

一六、著眼第十三ヲ其儘記ス
豫備隊ハ戰闘ノ進歩ニ重大ナル影響ヲ與ヘ若ハ不時ノ事變ニ應ズル如ク之ヲ使用ス即チ獲得セル戰果ヲ擴張シ所望ノ地點ニ決戦ヲ求メ要スレハ戰線ノ前進ヲ促シ又ハ必要ナル地點ニ援助ヲ與ヘ或ハ其動搖ヲ防ク等是ナリ何レノ場合ニ於テモ爲シ得ル限り主動的ニ使用シ以テ其效果ヲ最大ナラシムヘシ而シテ之カ使用ニ方リ損害特ニ多大ナル戰線ニ注入セハ再ヒ同一ノ結果ニ陥ルコトアルニ注意スルヲ要ス

一七、著眼第十六ノ第五項及陣中要務令第五十八參照

1 戰闘司令所ノ必要

- イ、技業ノ事項ニ依リ戰闘指揮ノ冷靜ヲ妨ケサル如クスルコト必要ナルコト
- ロ、戰闘間特ニ彼我ノ狀況ヲ觀察スルニ便ナル地ニ設ケ戰闘指揮ヲ便ニス
- 2 情報收集所ノ必要

◇戰闘綱要◇

イ、類聚ナル情報ノ蒐集及査覈ヲ便ナラシムル爲、傳達路ヲ短縮ス

一八、著眼第二十三ヲ左ノ如ク記述スヘシ

1 瓦斯ハ防護ノ處置適切ナラサルトキハ往々餘

害ヲ齎スコトアリト雖適時適切ナル處置ヲ施サハ敢テ之ヲ恐ルルニ足ラサルモノナリ故ニ指揮官ハ瓦斯ニ對スル充分ナル知能ヲ具有スルヲ要ス

2 戰闘間敵ノ瓦斯攻撃ヲ受クルニ方リテハ各級

指揮官ハ瓦斯警報ヲ爲シ軍隊ハ敏速ニ所要ノ處置ヲ爲スヲ要ス

3 撤毒地域ニ於ケル軍隊ノ諸動作ハ著シク困難

トナリ且防護ノ處置宜シキヲ得サルトキハ兵力ノ減耗ヲ來スコト大ナルヲ以テ指揮官ハ軍隊ヲ部署スルニ方リ此ニ留意スルコト緊要ナリ森林、村落谷地等瓦斯ノ滞留シ易キ地區ニ於テモ亦然リ

一九、著眼第二十六ヲ左ノ如ク記述ス

1 諸兵種協同ノ主眼

戰闘ニ最終ノ決ヲ與フルモノハ歩兵ナリ 故ニ諸兵種ノ協同ハ歩兵ヲシテ其目的ヲ達セシムルヲ主眼トシテ行ハルヘキモノトス

◇ 戰鬥綱要 ◇

2 協同ノ爲必須ノ要件
諸兵種協同ノ基礎ハ師團長ノ適切ナル部署ト指導トニ在リト雖諸兵種相互ノ緊密ナル精神的結合ト他兵種ノ性能ニ關スル十分ナル理解トハ協同ヲ完全ナラシムル爲必須ノ要件ナリ

二〇、著眼第二十八ノ第三項ヲ記ス

軍直轄砲兵ハ主トシテ遠距離ノ對砲兵戰ニ、所要ニ應シ陣地設備ノ破壞並交通遮斷、擾亂等ノ遠戰ニ任シ且戰機ニ應シ第一線師團ノ戰闘ニ協力ス

二一、著眼第四十三ヲ記述スヘシ

戰闘ノ爲ノ搜索ハ概ネ左ノ諸項ニ關シ實施スルモノニシテ指揮官ノ職域及時期ニ應シ適宜取捨スヘキモノトス

敵ノ兵力區分、位置及行動、敵歩兵ノ到達地點後續部隊ノ有無及狀態、敵ノ配備及陣地ノ狀態其他直接戰闘ニ關係アル敵背後ノ狀況、戰闘經過ニ伴フ敵情ノ變化、戰闘指導及戰闘實行ニ關係アル地形等

二二、著眼第五十ヲ左ノ如ク記ス

1 高級指揮官ノ處置

備スルコトナク直上ノ司令ヲ又ハ本部ヲ經由シテ連絡スルヲ通常トス

2 歩、砲兵間ノ通信設備ハ主トシテ砲兵ニ於テ之ヲ擔任スヘキモ歩兵モ亦爲シ得ル限り砲兵ニ協力シ以テ連絡ノ完全ヲ期スヘキモノトス

二五、著眼第六十六及第二百三ノ一部ヲ次ノ如ク記ス

1 攻撃ノ主眼ハ敵ヲ包圍シテ之ヲ戰場ニ殲滅スルニ在リ

2 追撃ノ主眼ハ速ニ敵ヲ捕捉シテ之ヲ殲滅スルニ在リ

二六、著眼第六十八ヲ左記ノ要領ニ記述スヘシ

1 包圍ノ實施法左ノ如シ

イ、數縱隊ノ併進ニ依ル
何レモ展開ニ先テ
ロ、後方部隊ノ加入ニ依ル
準備スルヲ要ス
ハ、展開セル部隊ノ移動ニ依ル
地形特ニ有利ナルカ若ハ夜間其他敵ノ目視ヲ避ケ得ル場合等狀況之ヲ許ストキ

2 效果ヲ大ナラシムル爲ノ手段

イ、側面ニ用フル兵力ヲ努メテ大ナラメ且果敢

◇ 戰鬥綱要 ◇

六

飛行隊及地上防空部隊等ヲ以テ之ニ任セシメ或ハ夜暗、天候等ヲ利用スル等所要ノ處置ヲ講スヘシ

2 各部隊

各部隊ハ自ラ敵航空機ニ對シ地形ヲ利用シ或ハ隊形ノ選擇ヲ適當ニシ、又ハ偽裝ヲ施ス等各種ノ處置ヲ講スルヲ要ス

3 警戒上ノ著意

敵航空機ニ對スル顧慮ノミニ因ハレ戰機ヲ逸スルカ如キハ嚴ニ之ヲ戒メサルヘカラス、廣漠タル戰場ニ於テ特ニ然リトス

二三、著眼第五十第一項ノ前半及第五十三ノ第一項ヲ左ノ如ク記ス

1 戰闘間ニ於ケル警戒ノ目的

戰闘間敵ノ搜索ヲ妨ケ以テ我カ企圖及行動ヲ秘匿ス

2 上空ニ對スル警戒ノ要領答案ニ二ヲ見ヨ

二四、著眼第六十ヲ左ノ如ク記述スヘシ

1 隣接部隊間ニ於ケル通信設備ノ擔任區分ニ關シテハ上級指揮官適宜之ヲ指示スルヲ要スルモ戰闘ノ經過迅速ナル狀況ニ在リテハ特ニ兩者間ニ設

ナル正面攻撃ニ依リ敵ヲ正面ニ拘束シテ他ヲ顧ミルニ違ナカラシムル如クスルコト

ロ、包圍ニ任スル部隊ノ行動ハ神速果敢ニシテ

對應ノ處置ヲ講スルヲ得サラシムルコト

ハ、同時ニ兩翼ヲ包圍スルカ又ハ一翼ト背後ト

ヲ包圍スルヲ得ハ其效果更ニ大ナリ

3 指揮官ノ著意スヘキ件

指揮官ハ狀況ノ困難、敵情ノ不明等ニ介意スルコトナク斷乎トシテ一意任務ニ邁進スルコト肝要ナリ

二七、著眼此問題ハ左ノ如ク記述スヘシ

1 包圍ノ價值

イ、兵力及射撃ヲ集中スルコトヲ得

ロ、敵ノ側背ニ脅威ヲ感セシム

2 包圍ノ方法

イ、包圍ハ正面攻撃ト共ニ一翼或ハ同時ニ兩翼ヲ包圍シ又ハ一翼ト背後トヲ包圍スル等種々ノ方法アリ而シテ之ヲ行フニハ數縱隊ノ併進ニ依ルカ、後方部隊ノ加入ニ依ルモノニシテ展開ニ先チ準備スルヲ必要トス、地形特ニ有

◇戰術綱要◇

利ナルカ若ハ夜間其他敵ノ目視ヲ避ケ得ル場合等狀況之ヲ許セハ部隊ノ移動ニ依リ包圍ヲ行フコトアリ

二八、著眼第六十八ヲ左ノ如ク記ス

二九、著眼第六十八ヲ左ノ如ク圖示ス

1 包圍ノ形式



2 包圍ノ實施法



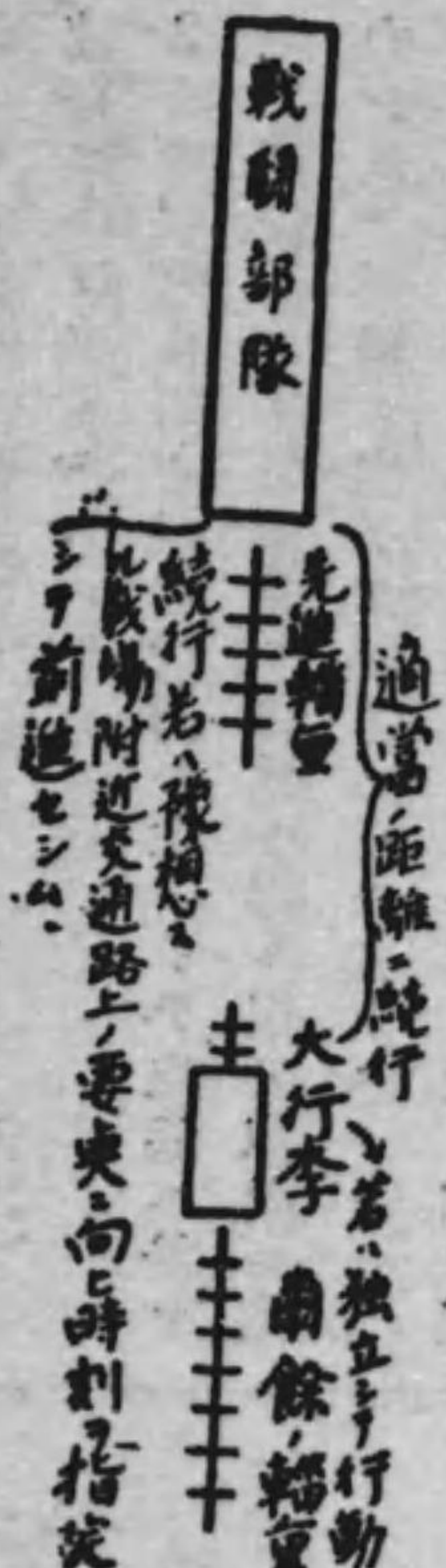
1 包圍ノ實施要領

答案二三ノ2ヲ見ヨ

2 實施ニ當リ注意スヘキ事項

實行ニ方リテハ兵力ノ分散ニ陥ラサルヲ要ス

三〇、著眼第八十一、第八十三ヲ參照シ左ノ如ク圖示ス



三一、著眼第八十五ヲ其儘記述スヘシ

遭遇戰ノ要訣ハ先制ニ在リ之カ爲敵ニ先ダチ有利ノ狀態ニ軍隊ヲ展開セシメ戰闘ノ初動ヨリ戰勢ヲ支配スルコト緊要ナリ
遭遇戰ニ在リテハ狀況明確ナラサルヲ通常トシ且先制獲得ノ爲ノ好機ハ瞬時ニ經過スヘキヲ以テ地形ヲ練密ニ觀察シ或ハ刻々變

化スヘキ敵情ニ關シ多クノ情報ヲ集メタル後始メテ處置セントスルカ如キハ多クハ失敗ニ終ルモノトス故ニ遭遇戰ニ在リテハ指揮官以下斷乎タル決心ヲ以テ神速ニ處置セサルヘカラス

三二、著眼第八十五及第一百ヲ次ノ如ク記ス

1 遭遇戰ノ要訣ハ答案三一ヲ見ヨ

2 陣地戰ニ於ケル攻撃奏功ノ要件

防禦陣地ヲ占領セル敵ニ對シテハ機動ニ依リ成ルヘタ敵陣地外ニ決戰ヲ求ムルヲ可トス故ニ高級指揮官ハ全般ノ狀況ニ鑑ミ敵陣地ヲ迂回スヘキヤ成ハ之ヲ攻撃セサルヘカラサルヤヲ考慮スルヲ要ス陣地攻撃ニ在リテハ攻者ハ通常敵情、地形ヲ搜索シ攻撃ノ時期、方向及方法ヲ選フ爲ニ要スル時間ノ餘裕ヲ有スルヲ以テ豫メ練密ナル計畫ヲ定メ且十分ナル準備ヲ整ヘ統一セル攻撃ヲ行フヲ要ス然レトモ徒ラニ時日ヲ遷延シ敵ヲシテ陣地ヲ強固ニシ或ハ新ニ兵力ヲ招致スルノ時間ヲ與ヘサルニ著意スルコト亦必要ナリ

三三、著眼第八十八ヲ其儘ニ記述セハ可ナリ

遭遇戰ニ於ケル前衛ノ行動ハ本隊ノ戰闘ニ特ニ大

◇戰術綱要◇

ナル關係ヲ有スルモノナリ故ニ前衛司令官ハ縱隊指揮官ノ指示ニ從ヒ又要スレハ獨斷ヲ以テ前衛ヲ

部署シ機ヲ失セス其任務ヲ完ウスルコトニ勉ムヘシ戰闘ノ支撐タルヘキ要地ハ縱ヒ戰闘ヲ惹起シ又ハ正面通過トナルト雖之ヲ占領スルコトニ躊躇スヘカラス其他砲兵ノ爲情報ヲ收集シ且特ニ觀察ニ有利ナル地點ヲ占領スルヲ必要トス

前衛内ノ各級指揮官モ亦此要領ニ準シ動作スヘシ此際不意ニ敵ト衝突スルコト屢々ナルヲ以テ此等ノ指揮官ハ敵ト衝突スルヤ直ニ當面ノ敵ヲ攻撃シテ速ニ戰場ノ要點ヲ占領シ上級指揮官ヲシテ決心ノ資料ト動作ノ自由トヲ得シムルニ勉メサルヘカラス

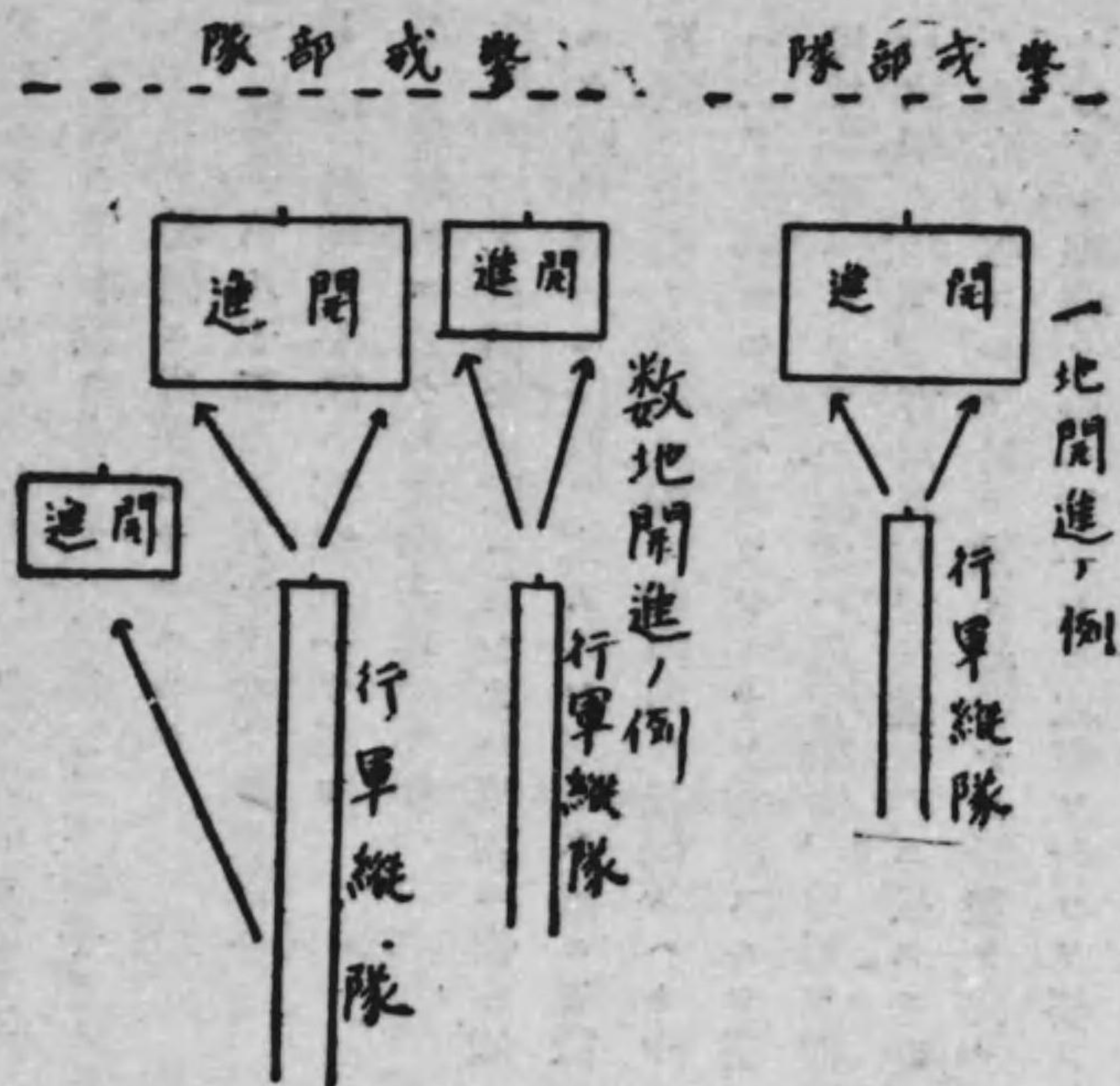
前衛司令官ハ前衛砲兵ヲシテ迅速ニ陣地ヲ占領シ要地占領ニ協力セシメ若ハ敵ノ展開ヲ妨害セシムルヲ要ス

三四、著眼成ルヘク圖ニ依テ明ナル如ク記シ説明ハ單略ナラシムルヲ可トス

數地開通ノ例

◇戰術綱要◇

說明
軍隊カ行軍縱隊ヨリ其長徑ヲ短縮シ一地若ハ敷地ニ於テ橫廣ノ隊勢ヲ形成スルヲ謂フ



三五、善戰第百十二ノ中ヨリ左ノ如ク記ス

本隊砲兵中所要ノ兵力ヲ以テ警戒部隊ヲ支援シ且師團主力ノ行動ヲ援護セシム

三六、善戰第百二十三中工兵ニ關スル件ヲ記スヘシ

工兵ハ豫メ歩、砲兵ト共ニ地形ヲ偵察シ進路ヲ補修シ或ハ之ヲ標示スル作業ニ任スルモノトス

三七、善戰第百十二、第百二十四、第百二十五、第百三十二、第百三十三、第百三十六參照

一、開進ニ於ケル本隊砲兵ノ一部



二、攻撃實施ノ初期

狀況特ニ敵陣地ノ強度ニ依リ且準備彈藥之ヲ許ス場合ハ攻撃準備射撃ヲ行フコトアリ

五、突撃時



六、敵陣内ノ攻撃

三八、善戰第百二十二、第百三十、第百三十二、第百三十六、第百三十七中左ノ事項ヲ記述ス

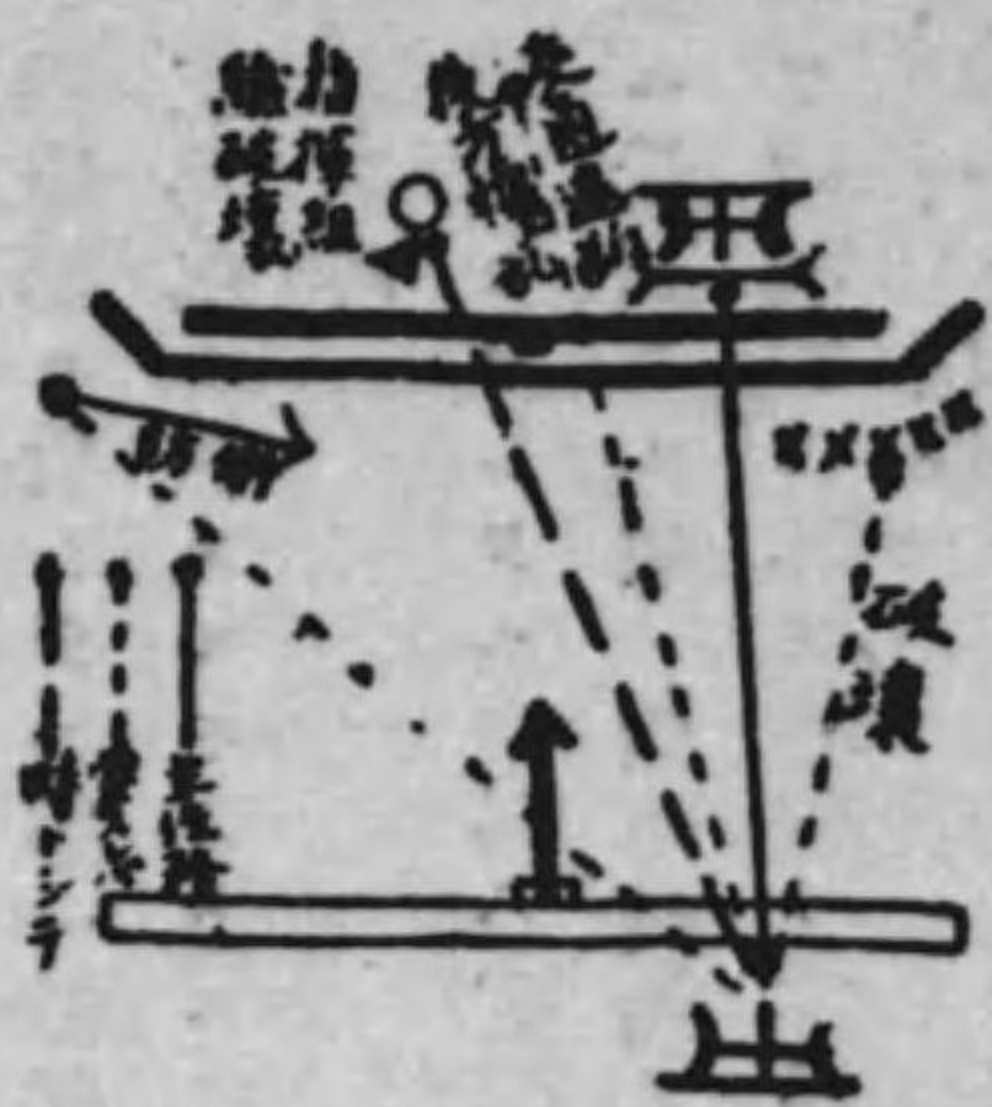
1 攻撃準備時

師團工兵指揮官ハ師團命令ニ基キ戰術各期ニ於ケル作業ノ計畫ヲ定メ主トシテ砲兵及戰車ニ必要ナル交通路等ヲ設備シ又歩兵ト密接ニ連繫シ突撃及敵陣内ノ攻撃ニ必要ナル作業ノ準備ヲ完全ナラシムルモノトス

歩兵ニ配屬若ハ協力ノ工兵ノ指揮官ノ處置モ亦右ニ準スルモノトス

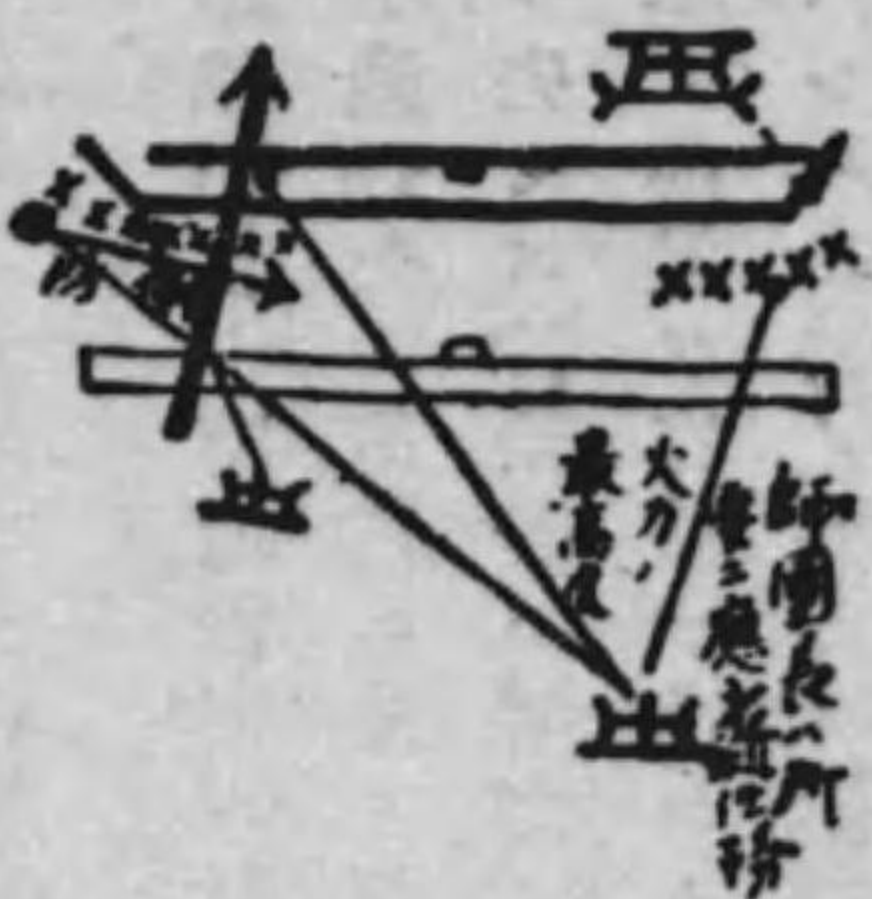
夜間ヲ利用シテ敵ニ近接シテ攻撃準備ノ位置ニ就キ或ハ其位置ヲ前方ニ進ムルトキニ在リテハ工兵

三、攻撃進歩



(照參五十二百第)

四、突撃準備



(照參七十二百第)

所望ノ火力發揚

◇戰術綱要◇

◇戰闘綱要◇

ハ歩兵、砲兵ト共ニ地形ヲ偵察シ進路ヲ補修シ或ハ之ヲ標示スル等ノ作業ニ任スルモノトス

2 攻撃實施

工兵ハ攻撃間天然人爲ノ諸障礙就中陣地前方ニ行ハルル敵ノ破壊作業ニ對シ適切ナル偵察ニ依リ速ニ之ヲ發見スルト共ニ機ヲ失セズ排除若ハ補修ノ作業ヲ行ヒ歩、砲兵及戰車ノ前進ヲ容易ナラシムルヲ要ス之カ爲工兵ハ要スレハ歩兵ノ前方ニ挺進スヘシ

攻撃間工兵ハ歩兵ト協同シテ障礙物ヲ破壊シ砲兵ノ破壊セルモノヲ補足シ又ハ破壊口ヲ増設スル等ノ任務ニ服ス

敷線ノ鐵條網ニ對シテハ第一線鐵條網ノ破壊ハ通常歩、工兵之ニ任スルモノトス

3 突撃ノ時

歩兵ニ配屬セラレタル工兵ハ突撃ニ方リ機ヲ失セズ不意ニ活動スル敵ノ側防機能ヲ制壓シ要スレハ障礙物ヲ破壊シ歩兵ノ突撃ヲ容易ナラシムヘシ

4 敵陣内ノ攻撃

工兵ハ敵陣内ニ於ケル歩兵ノ攻撃ヲ援助シ或ハ砲

四〇、著眼第三百七十七ヲ左ノ如ク區分記述スヘシ

1 要旨、突撃ニ次テ敵陣地内部ニ對スル逐次ノ攻略トナリ戰闘ノ狀態ハ著シク紛糾スルニ至ルモノトス

2 歩兵、敵陣地ニ突入セル歩兵ハ死力ヲ盡シテ奮闘ヲ繼續シ隣接部隊トノ協力ト各種兵器ノ利用トニ依リ火戰ト白兵戰トヲ併セ行ヒ猛烈ニ所命ノ目標ニ向ヒ突進ス此間絶エズ敵ノ逆襲ヲ顧慮スヘシ若敵陣地ノ一部頑強ニ抵抗スルトキハ當面ノ部隊ハ之カ攻略ニ勉メ其他ノ部隊ハ之ニ牽制セララルコトナク一意其前面ノ敵ヲ驅逐シテ前進スルモノトス此際歩兵大隊ハ豫メ所要ニ應ジ編成セル掃蕩隊ヲ以テ堅固ナル構築物ニ據レル殘敵ヲ掃蕩セシムルヲ要スルコトアリ而シテ突破孔兩側敵線ノ席巻ハ此目的ノ爲近ク續行スル後方部隊ニ委スルヲ要ス

3 指揮官ノ指導、指揮官ハ適時豫備隊ヲ前線ニ使用シテ敵ノ逆襲ヲ擊退シ或ハ突撃ノ成功セル方面ニ進メテ第一線ノ掃蕩戰果ヲ擴張シ又ハ突撃部隊ノ側面ヲ掩護シ以テ戰闘ノ成果ヲ完ウス

◇戰闘綱要◇

兵及戰車ノ進出ヲ容易ナラシメ又要スレハ爆藥ヲ以テ敵ノ戰車ヲ阻止シ或ハ奪取セル地區ヲ強固ニスル爲工事ヲ行フヘシ

三九、第二百五及第二百二十九ノ集成問題ナリ左ノ要領ニ記述スヘシ

1 答案三ノ第一項ニ同シ

2 戰車隊ノ配屬ヲ受ケタル第一線歩兵ノ指揮官ハ之ヲシテ戰闘加入ニ先ダテ通常出發位置ニ就カシメ戰闘準備ヲ完了セシム而シテ出發位置ハ成ルヘク敵ニ近ク選定シ且之カ範圍ニ勉ムルヲ要ス

第一線歩兵ノ指揮官ハ戰車ノ行動ヲ容易ナラシムル爲所要ニ應ジ砲兵ノ協力ヲ上級指揮官若ハ砲兵ノ指揮官ニ要求シ又配屬セラレタル砲兵ヲ以テ敵ノ對戰車砲ヲ撲滅若ハ制壓セシメ或ハ煙幕ヲ利用セシムルコトアリ

戰車ハ通常第一線歩兵ノ突撃開始時機ニ於テ戰闘ニ加入セシムルヲ有利トス此際歩兵ト戰車トノ前進ハ特ニ緊密ナル連繫ノ下ニ行ハルルヲ要トス然レトモ歩兵ハ戰車ノ損傷故障多キヲ顧慮シ隨時調力ヲ以テ突撃ヲ遂行スルノ覺悟アルヲ要ス

4 砲兵、砲兵ハ歩兵ノ戰闘ニ協力スル爲極力歩兵トノ連絡ノ維持恢復ニ勉メ逐次敵陣地ノ要部ヲ猛射シ一部ヲ以テ敵砲兵ヲ制壓シ且敵ノ逆襲ヲ阻止シ要スレハ其陣地ヲ前方ニ變換スヘシ而シテ新陣地ニ到着セル砲兵ハ速ニ其附近ノ歩兵ノ指揮官ト連絡シテ其攻撃ノ遂行ニ協力シ又舊陣地ニ在ル砲兵ハ依然前任務ヲ續行シ特ニ敵砲兵ノ制壓故障方部隊ノ阻止ニ任スルモノトス

師團長ハ所要ニ應ジ第一線歩兵ノ指揮官ニ更ニ砲兵ヲ配屬スルヲ可トス

此時期ニ於ケル師團砲兵ノ戰闘ヲ容易ナラシムル爲軍直轄砲兵ヲシテ之ニ直接協力セシメ又時トシテ一部ヲ師團ニ増加セラルルコトアリ

工兵、ハ敵陣地内ニ於ケル歩兵ノ攻撃ヲ援助シ或ハ砲兵及戰車ノ進出ヲ容易ナラシメ又要スレハ爆藥ヲ以テ敵ノ戰車ヲ阻止シ或ハ奪取セル地區ヲ強固ニスル爲工事ヲ行フヘシ

◇ 戦闘綱要 ◇

一四

部隊ノ位置ヲ砲兵ニ通報スルコト特ニ肝要ナリ

四一、著眼本問題ハ第四百十三ヲ左ノ如ク記述スヘシ

1 夜間ノ特性

夜間ハ我カ兵力、行動ヲ秘匿シ又損害ヲ避ケテ敵ニ近接シ得ヘキ利アリト雖軍隊ノ協同動作及指揮ノ統一困難ニシテ動モスレハ錯誤ヲ生シ易キモノトス而シテ精銳ニシテ夜間ノ行動ニ習熟セル軍隊ハ能ク此害ヲ除キテ其利ヲ收メ特ニ寡兵ヲ以テ衆敵ニ對シ攻撃ノ奏功ヲ期シ得ルモノナリ

2 夜間攻撃ヲ實施スル場合

大部隊ニ在リテハ晝間得タル成果ヲ完全ナラシムル爲攻撃ヲ續行シ或ハ其一部ヲ以テ敵陣地ニ於ケル若干ノ要點ヲ奪取シテ翌日ノ攻撃ヲ容易ナラシムル爲夜間攻撃ヲ行ヒ小部隊ニ在リテハ晝、夜暗ニ乘シテ敵ヲ奇襲スルコトアリ
狀況之ヲ要スレハ大部隊ヲ以テ夜間攻撃ヲ敢行シ又時トシテ敵ヲ欺騙シ或ハ我カ行動等ヲ秘匿スル爲一部ノ夜間攻撃ヲ實行スルコトアリ

四二、答案四一參照

四四、著眼第四百五十一ヲ左ノ如ク記述ス

四三、著眼第四百十八ヲ左ノ如ク記述ス
1 指揮官、精細ナル計畫ヲ定メ成ルヘク晝間ニ於テ各部隊ノ指揮官ヲ集メ之ニ命令ヲ下シ以テ諸準備ヲ爲サシムヘシ之カ爲明示スヘキ件左ノ如シ
イ、各部隊ノ攻撃目標
ロ、前進地域若ハ進路
ハ、相互ノ連絡及識別法
ニ、攻撃奏功後ノ處置
2 狀況ニ依リ萬一失敗セル場合ノ處置ヲ豫メ必要ナル指揮官ニ指示シ置クヲ要スルコトアリ
3 遠距離ヨリ行動スル場合若ハ運動困難ナル地形ニ在リテハ部隊ノ行動ヲ規正スル爲中間到着地點及時刻等ヲ示スヲ可トス
4 撤毒地域ヲ搜索シテ豫メ所要ノ處置ヲ講スルヲ要スルコトアリ
5 砲兵ヲシテ歩兵ノ攻撃ニ協力セシムル場合ニ於テハ師團長ハ砲兵ノ任務特ニ歩、砲兵ノ協同ニ必要ナル事項其他所要ニ應シ射撃スヘキ目標又ハ地域並時機等ヲ明示スルモノトス

1 夜間火器ノ威力ヲ利用シ攻撃ヲ強行スルヲ要スル場合

イ、攻撃セントスル敵陣ノ制壓

ロ、敵ノ第一線ト後方部隊トノ遮斷

ハ、要スレハ我攻撃ヲ妨害スヘシト豫想スル敵ノ制壓

2 攻撃奏功セシ地點ヲ確保スル爲射撃スル場合

ニ於テハ敵ノ逆襲ヲ阻止スヘシ要點ニ對シ適時射撃ヲ行フモノトス

四五、著眼第四百六十六ヲ左ノ如ク記述ス

1 歩兵ノ火力配置ノ要領ハ其抵抗地帯ノ前方ニ於テ各種歩兵火器ヲ以テ濃密ナル火網ヲ構成シ且火網外ノ要點及陣地内ヲモ有效ニ火制シ得ル如ク設備スルニ在リ

2 敵歩兵ニ對スル砲兵ノ火力配置ノ要領ハ警戒部隊ノ前方ヨリ主陣地帯ノ直前ニ互ル地域ニ其火力ノ大部ヲ指向シ特ニ主陣地帯歩兵火網ノ直前及内部ニ於テ濃密ナラシメ且主陣地帯内部ニ對シテモ火力ヲ指向シ得ル如クスルモノトス此際徒ラニ各方面ノ火力ヲ均一ナラシムルコトナク豫期スル

敵ノ主攻方面、我カ攻勢ヲ企圖スル方面及逆襲ヲ豫想スル地域ニ於テ濃密ナラシムルヲ要ス又隣接兵團ノ作戰地域内特ニ之トノ接續部附近ニモ所要ノ火力ヲ指向シ得ル如クスルコト必要ナリ

四六、著眼第四百六十五ヲ左ノ如ク記述スヘシ

陣地ハ防禦ノ方針ニ基キ地形ト指揮ノ便否トヲ顧慮シテ之ヲ若干ノ地區ニ分チ各地區ニハ之ニ適應セル部隊ヲ配置スルモノトス
地區ノ數及之ニ備フヘキ兵力ハ狀況ニ依リテ同シカラス例ヘハ攻勢ヲ企圖スル方面又ハ射界不良ナル地區ニハ其兵力ヲ大ニシ陣地内ノ交通困難ナルトキハ地區ノ數ヲ増加スルカ如シ

狀況ニ依リ各地區ノ占領部隊ヲシテ自ラ陣地前ヲ側防シ若ハ敵ノ戰車ヲ射撃セシムル等ノ目的ヲ以テ之ニ一部ノ砲兵ヲ又所要ニ應シ一部ノ工兵ヲ配屬スルヲ有利トスルコトアリ

四七、著眼第四百七十三ノ第一項前半部ヲ左ノ如ク記述スヘシ

前進陣地ノ目的左ノ如シ
1 前地ニ於ケル要點ノ過早ニ敵手ニ歸スルヲ妨

◇ 戰鬥綱要 ◇

一五

◇戰術綱要◇

クルコト

- 2 敵ヲシテ其展開方向ヲ誤ラシムルコト
- 3 敵ノ我カ陣地ニ近接スル動作ヲ困難ナラシム

四八、著眼第七十三ノ一部ヲ左ノ如ク記ス
前地ニ於ケル要點ノ過早ニ敵手ニ歸スルヲ妨ケ或ハ敵ヲシテ其展開方向ヲ誤ラシメ或ハ敵ノ我カ陣地ニ近接スル動作ヲ困難ナラシムル等ノ目的ヲ以テ陣地前方ニ一時前過陣地ヲ占領スルヲ利トスルコトアリ

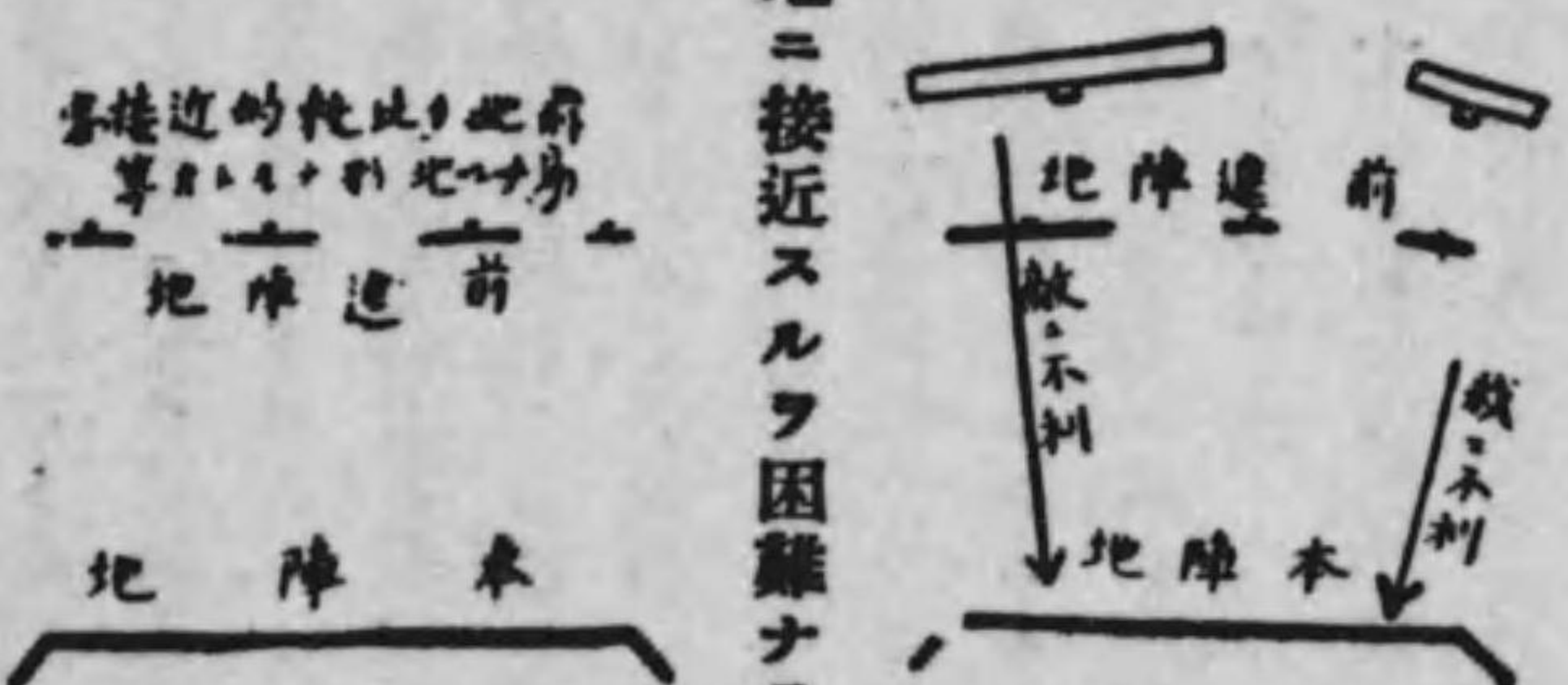
四九、著眼第七十三第一項ヲ基礎トシ左ノ通り記述ス

- 1 前地ニ於ケル要點ヲ過早ニ敵手ニ歸スルヲ妨タルヲ目的トスルトキ



- 2 敵ヲシテ其展開方向ヲ誤ラシムルヲ目的トスルトキ

3 敵ノ我陣地ニ接近スルヲ困難ナラシム



右ノ如ク区分シテ圖示セルモ單獨ノ目的ヲ以テ占領スルニ止ラス以上ノ目的ヲ兼ネシムルコトアルハ勿論ナリ
又前過陣地ハ警戒陣地ノ全部若ハ一部ヲシテ其目的ヲ兼ネシムルコトアリ

五〇、著眼第二百三ヲ左ノ如ク記述スヘシ

1 追撃ノ主眼

追撃ノ主眼ハ速ニ敵ヲ捕捉シテ之ヲ殲滅スルニ在リ之カ爲廣ク且深ク敵方ニ突進シテ其退路ヲ遮斷シ諸方面ヨリ敵ヲ包圍シ否ラサルモ敵ヲ背後連絡線以外ニ壓迫シ又ハ敵ノ欲セサル地點ニ於テ之ヲ捕ヘ以テ敵ヲ殲滅スルヲ要ス

2 戦闘指導上各級指揮官ニ必要ナル精神的要素
副團長ハ右ノ趣旨ニ基キ追撃ヲ指導シ各級指揮官ハ此趣旨ニ副フ如ク行動スルヲ要ス而シテ各級指揮官ノ獨斷專行ト放膽ナル行動トハ偉大ナル效果ヲ收ムル爲極メテ肝要ナリ

五一、著眼第二百五ヲ主體トシテ記述スヘシ

1 歩兵ノ動作

敵ヲ擊退スルヤ一部ヲ以テ追撃射撃ヲ行フト共ニ他部ヲ以テ直ニ追撃前進ニ移リ飽クマテ敵ニ肉薄シ其主力ヲシテ脱逸ノ機會ナカラシムルヲ要ス、之カ爲徒ラニ敵ノ一部ノ抵抗ニ抑留セラルルコトナク、我カ大部ハ速ニ其測方又ハ間隙ニ突進シ敵ヲ殲滅スルコトニ勉ムヘシ

2 騎兵ノ動作

其特性ヲ發揮シ迅速果敢ナル追撃ヲ決行シ特ニ敵ノ側背若ハ間隙ニ向ヒ行動シテ其退路ヲ遮斷スルヲ要ス

3 砲兵ノ動作

砲兵ハ退却スル敵ノ主ナル部分特ニ其匯集シテ通過スヘキ隘路、橋梁等退路上ニ於ケル要點ニ火力ヲ集中シテ其退却ヲ遮斷シ、若ハ尙ホ頑強ニ抵抗スル敵ヲ壓倒スル如ク之ヲ猛射シ、以テ之ヲ潰亂ニ陥ラシムヘシ此際航空兵ハ砲兵ニ協力シテ其射撃ヲ一層有效ナラシムヘシ、而シテ砲兵ハ歩兵ノ前進ニ伴ヒ危險ヲ顧ミルコトナク逐次陣地ヲ變換シ緊密ニ歩兵ニ協力スルヲ要ス、此場合ニハ勉メテ多クノ砲兵ヲ第一線歩兵ノ指揮官ニ配屬スルヲ有利トス

4 工兵ノ動作

工兵ハ速ニ道路上ノ障礙ヲ排除シテ追撃中ノ各部隊特ニ砲兵ノ前進ヲ容易ナラシムルヲ要ス之カ爲工兵ノ指揮官ハ地形ヲ遮斷シ敵ノ退路上ニ於テ其障礙ヲ設置スヘキ地點及其方法ヲ考慮シ所要ノ器

◇戰術綱要◇

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

材ヲ準備シ且成ルヘク速ニ將校ヲ先遣シテ偵察ヲ爲サシムヘシ

5 飛行隊ノ動作

各、其特性ニ應シ敵ノ退却狀態並停止地點ノ搜索ニ任シ或ハ敵ノ退路上ノ要點ニ對スル爆撃ニ依リ其退却ヲ妨害シ若ハ敵ノ地上部隊ヲ攻撃シテ之ヲ混亂ニ陥ラシメ又追撃中ノ各部隊相互間ノ連絡保持ニ任スルヲ要ス

五二、著眼第二百七ヲ左ノ如ク記述スヘシ

指揮官ハ比較的集結シ且進出ニ便ナル部隊ヲ以テ速ニ追撃隊ヲ編成シテ追撃ニ任セシメ既ニ追撃中ニ在ル各部隊ヲシテ秩序ヲ整ヘ更ニ前進スルノ準備ヲ爲サシメ機ヲ失セス縱隊ヲ區分シテ追撃ヲ決行スルヲ要ス狀況ニ依リ指揮官ハ追撃中ノ第一線部隊ニ追撃地域ヲ指定シ且所要ニ應シ軍隊區分ヲ變更シ敵ヲ急追セシムルヲ可トスルコトアリ何レノ場合ニ於テモ敵ヲ包圍シ或ハ其退路ヲ遮斷スル如ク有力ナル一部隊ヲ砲兵ト機關銃トヲ有スル騎兵、輕裝セル歩、工兵等ヲ使用スルニ勉メサルヘカラス此際所在ノ交通機關ヲ利用スルノ著意ヲ

肝要トス

追撃隊ニハ特ニ多クノ砲兵ヲ配屬スルヲ有利トシ且十分ナル彈藥ヲ携行セシムルコト緊要ナリ

五三、著眼第二十二及第二百十三ヲ左ノ如ク記述ス

1 退却ヲ行フ場合
戰闘ノ經過途ニ不利ナルニ方リ戰闘ヲ斷念シテ退却ヲ實行スルハ上級指揮官ノ命令ニ依ルヲ本則トス

2 退却戰闘指導ノ主眼ハ速ニ敵ト離隔スルニ在リ

五四、著眼第二百三十六ヲ其儘記述スレハ可ナリ

騎兵ニ裝甲自動車ヲ配屬セラレタルトキハ之ヲ搜索隊、警戒部隊等ニ分屬スルヲ通常トスルモ時トシテ騎兵指揮官ノ直轄トシテ前方ニ在ル要點ノ占領或ハ挺進搜索其他連絡等ニ使用スルコトアリ裝甲自動車ノ配屬ヲ受ケタル部隊長ハ通常裝甲自動車ヲ進路ノ前方ニ躍進的ニ使用シ以テ騎兵ト協力シテ敵ノ抵抗ヲ打破シ或ハ搜索ヲ強行セシムルモノトス

五五、著眼第二百三十八ヲ基礎トシテ左ノ如ク記述ス

記述ス

1 斜行陣地ハ要スレハ主陣地帶ト後方陣地帶トノ間ニ設備スルモノトス

2 斜行陣地ハ陣地正面中危險ノ顧慮大ナル方面ニ於テ其兩翼ヲ前後二陣地帶ニ依托シテ之ヲ設クルモノトス

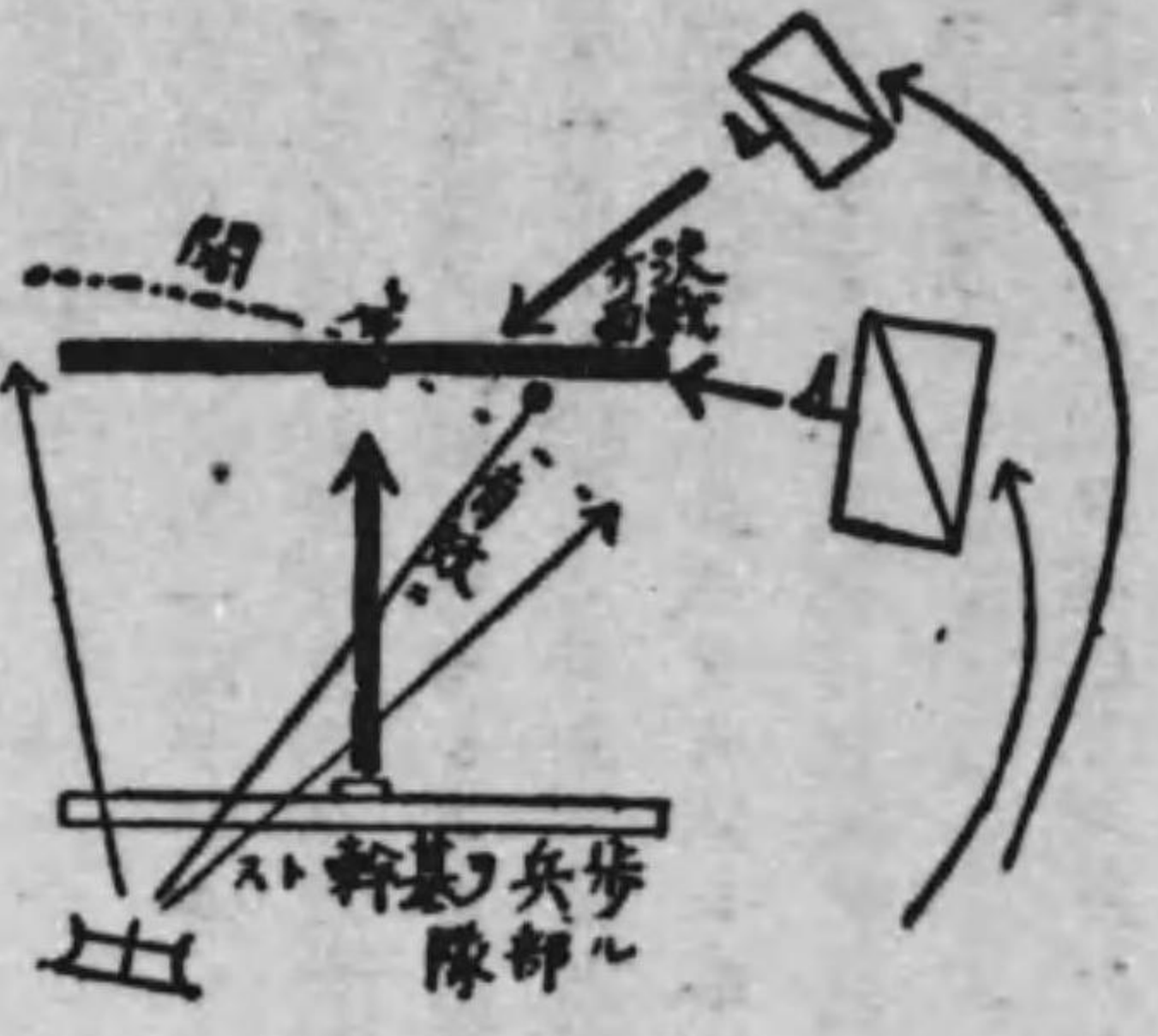
五八、著眼第三百十五ヲ基礎トシテ左ノ如ク記述スヘシ

1 渡河點ハ師團渡河ニ適當ナル正面ヲ有スルコト

註 數字ヲ以テ正面ヲ表スノ要ナカラシ何トナレハ狀況ニ依リ之ヲ異ニスヘケレハナリ

2 渡河動作及渡河後ノ戰闘容易ナル地域ヲ要ス

3 左圖ノ如キ地形ヲ選定スルヲ得ハ最モ可ナリ



五六、著眼第二百四十四ノ中ヨリ左ノ如ク記述ス

1 歩兵ノ用法

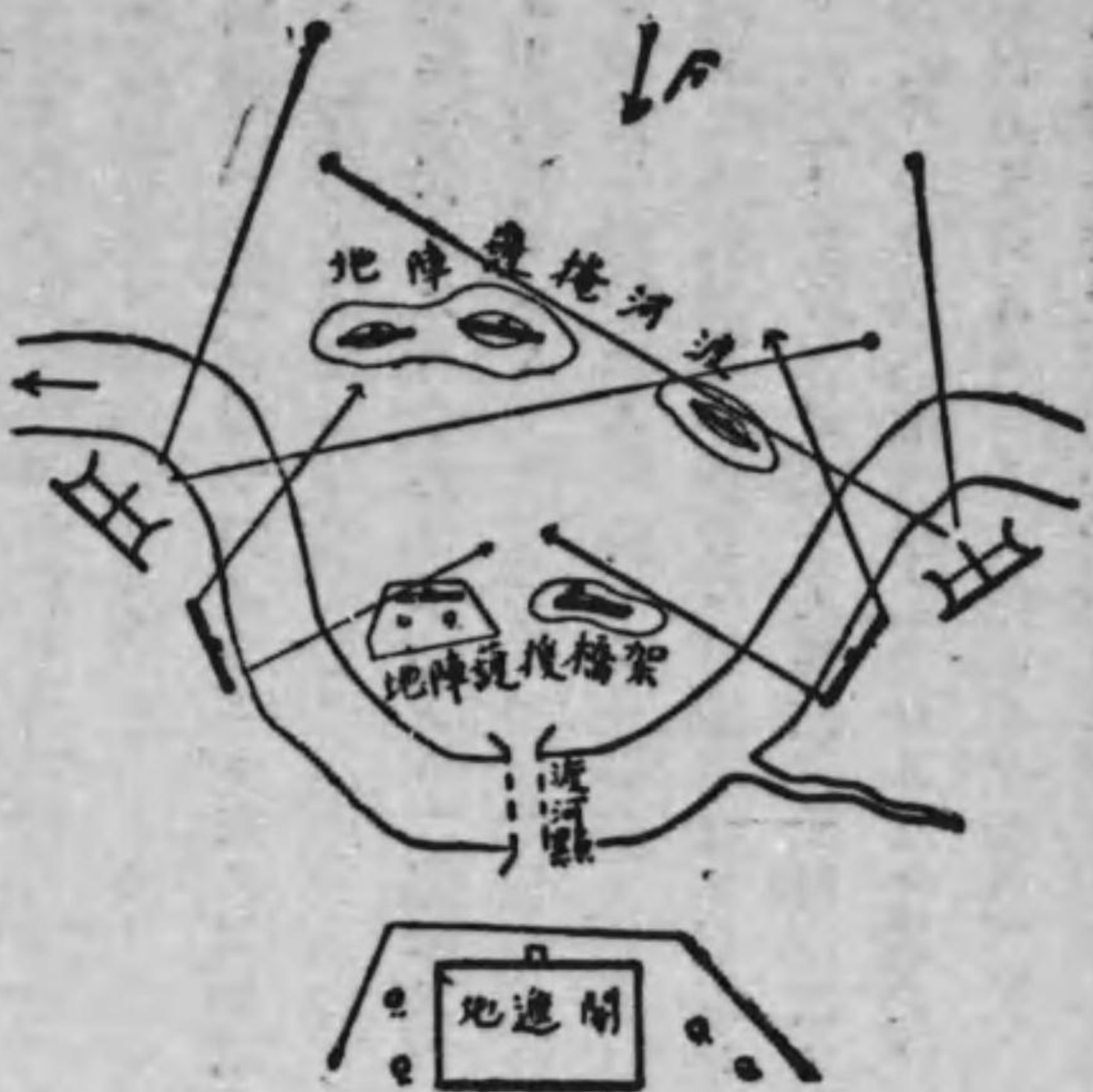
追撃ニ在リテハ歩兵ヲ基幹トスル部隊ヲシテ正面ヨリ急追セシム

2 裝甲自動車ノ用法

裝甲自動車ヲ有スルトキハ其速度ヲ利用シ成ルヘク側方ヨリ敵ノ退路上ノ要點ニ進出シ敵ノ退却ヲ抑留スルカ或ハ敵ヲ擾亂セシメ以テ騎兵ノ追撃ヲ有利ナラシムルコトニ勉ムルヲ要ス

五七、著眼第二百七十六中ヨリ左ノ如ク必要部分ヲ

◇ 戰 闘 綱 要 ◇



五九、著眼第三百十八ノ第一項ヲ記ス

師團長ハ工兵ノ主力並渡河材料ヲ以テ渡河作業隊ヲ編成シ各部隊ノ渡河ニ任セシムルヲ通常トスルモ各渡河點ニ於ケル渡河ノ目的、渡河部隊ノ兵力並渡河準備及實施ノ難易等ヲ考慮シ第一線部隊ノ指揮官ニ必要ナル工兵及渡河材料ヲ配屬スルヲ有利トスルコトアリ

六〇、著眼第三百二十七ヲ其儘記述スヘシ

六一、著眼綱領第三ヲ引用ス

必勝ノ信念ハ主トシテ軍ノ光輝アル歴史ニ根源シ周到ナル訓練ヲ以テ之ヲ培養シ卓越ナル指揮統帥ヲ以テ之ヲ充實ス
赫々タル傳統ヲ有スル國軍ハ愈々忠君愛國ノ精神ヲ砥礪シ益々訓練ノ精熟ヲ重ヌルトキハ戰闘慘烈ノ極所ニ至ルモ上下相信倚シ毅然トシテ必勝ノ確信ヲ持スルモノナリ

六三、答案第六十二ヲ見ヨ

六四、著眼綱領第二及第十ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

1、戰捷ノ要ハ有形無形上ノ各種戰闘要素ヲ綜合シテ敵ニ優ル威力ヲ要點ニ集中發揮セシムルニアリ
2、戰闘部署ノ要訣、答案第十四前段ヲ見ヨ
六五、著眼綱領第九ヲ引用左ノ如ク記述ス
敵ノ意表ニ出ツルハ機ヲ制シ勝ヲ得ルノ要道ナリ故ニ旺盛ナル企圖心ト追隨ヲ許ササル創意ト神速ナル機動トヲ以テ敵ニ臨ミ常ニ主動ノ位置ニ立テ全軍相戒メテ敵ニ我カ軍ノ企圖ヲ窺匿シ疾風迅雷敵ヲシテ之ニ對應スルノ策無カラシムルコト緊要ナリ

六六、著眼綱領第二乃至第九ヲ参照ス

森林及住民地ハ其大小、位置、形狀、樹木ノ疎密及家屋ノ構造等ニ依リ戰術上ノ價值ヲ異ニスルモ一般ニ運動及通視不便ニシテ指揮困難ナリ
戰場ニ在ル森林及住民地ハ防者ノ爲堅固ナル支撐點ヲ形成シ攻者ノ爲攻撃ノ據點トナルモノトス時トシテ森林及住民地ハ障礙トシテ利用セララルコトアリ

森林及住民地ハ敵眼特ニ航空機ニ對シ軍隊ヲ遮蔽シ得ルノ利アルモ瓦斯及空中攻撃ノ目標トナルコト多シ而シテ住民地ノ戰闘ニ在リテハ攻者ハ戰車裝甲自動車、爆藥、火焰放射器、燒夷彈等ヲ有效ニ利用スルノ機會多キモノトス

六一、著眼二間共戰闘綱要ニハ説明文ナシ平素教官

ノ教授時ニ於テ示サレアルモノト信スルモ拙著戰闘綱要試驗問答兵語ノ解ノ部ニ在リ

1 狀況判斷トハ諸種ノ狀況ヲ較量シ以テ最モ有利ニ我任務(目的)ヲ達成スヘキ方策ヲ判定スルヲ謂フ

2 決心トハ狀況ヲ判斷シテ其意ヲ決定シ方策ヲ確定スルヲ謂フ

1、必勝ノ信念、戰闘慘烈ノ極所ニ至ルモ上下相信倚シ毅然トシテ必勝ノ確信ヲ持セサルヘカラス

2、軍紀ハ軍隊ノ命脈ナリ上元帥ヨリ下一兵ニ至ルマテ脈絡一貫克ク一定ノ方針ニ從ヒ衆心一致ノ行動ニ就カシメ得ルモノ即チ軍紀ナリ而シテ軍紀ノ要素ハ服從ニ在リ全軍ノ將兵ヲシテ至誠上長ニ服從シ其命令ヲ確守スルヲ以テ第二ノ天性ト成サシムルヲ要ス

3、獨斷心、部下ハ常ニ上官ノ意圖ヲ明察シ大局ヲ判斷シ狀況ノ變化ニ應シ徒ラニ上官ノ命令ヲ待ツコトナク自ら其目的ヲ達シ得ヘキ最良ノ方法ヲ選ビ以テ機宜ヲ制セサルヘカラス

4、攻撃精神ハ忠君愛國ノ至誠ヨリ發スル軍人精神ノ精華ニシテ鞏固ナル軍隊志氣ノ表徴ナリ而シテ攻撃精神ニ富メル軍隊ハ克ク寡ヲ以テ衆ヲ破ルコトヲ得ルモノナリ

5、協同一致 兵種ヲ論セス上下ヲ問ハス戮力協心全軍一體ノ實ヲ擧ケ始めテ戰闘ノ成果ヲ期シ得ヘシ而シテ全般ノ情勢ヲ考察シテ各々其職責ヲ重シ一意任務ノ遂行ニ努力スルハ即チ協同一致ノ趣

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

- 旨ニ合スルモノナリ
- 六、敵ノ意表ニ出ツルハ機ヲ制シ勝ヲ得ルノ要道ナリ故ニ旺盛ナル企圖心ト追隨ヲ許ササル創意ト神速ナル機動トヲ以テ敵ニ臨ミ常ニ主動ノ位置ニ立テ戰闘ヲ遂行スルヲ要ス
- 七、堅忍不拔克ク困苦缺乏ニ堪ヘ難局ヲ打開シ、戰捷ノ一途ニ邁進スルヲ要ス是レ戦近ノ戰闘ハ著シク復雜艱強ノ性質ヲ帯ヒ且資材ノ充實補給ノ圓滿ハ必スシモ常ニ之ヲ望ムヘカラサルヲ以テナリ
- 六七、答案第十三ヲ見ヨ
- 六八、答案第六ノ二ヲ見ヨ
- 六九、著眼第五ヲ参照シ左ノ如ク記述ス
敵情判斷ニ方リテハ大局ニ著眼シ且常ニ敵ニ對シ主動ノ位置ニ立テ動作ノ自由ヲ獲得スルニ勉メ特ニ敵ノ意表ニ出ツルノ著意極メテ肝要ナリ又先入主トナラサルコト特ニ必要ナリ
而シテ情況ヲ判斷スルニハ任務ヲ基礎トシ我軍ノ狀態敵情地形其他戰闘ニ關係アル各種ノ資料ヲ收集較量シ以テ最モ有利ニ我任務ヲ達成スヘキ方策ヲ定ムヘキモノトス而シテ敵軍ノ特性特ニ其戰法指揮官ノ

- 性格等ヲ考慮スルト共ニ當時ニ於ケル敵軍ノ價值ヲ判斷スルコト必要ナリ、又一見些末ノ事項ト雖モ他ノ情報ト相俟テテ重要ナル判斷ノ資料トナルコトアルニ注意シ且敵ノ宣傳ニ誤ラレサルヲ要ス
- 七〇、著眼第五第六ヲ参照シ左ノ如ク記述ス
情況判斷ハ指揮官ノ稍々將來ニ亙ル戰闘指導ニ關スル腹案ニシテ決心ノ根源ナリ而シテ指揮官ハ絶エス情況判斷ヲナシアルヲ要ス
決心ハ指揮官ノ戰闘指揮ニ關スル決定的意志表示ニシテ情況判斷ニ基キ周到ナル思慮ト迅速ナル決斷トヲ以テ定ムヘキモノナリ
- 七一、著眼第十ヲ引用ス
1、戰闘部署ノ要訣 答案第十四ノ一ヲ見ヨ
2、機動力ハ所望ノ時機地點ニ兵力ヲ集中スル爲缺クヘカラサルモノナリ而シテ機動力ヲ大ナラシムル爲ニハ指揮及部署ノ適切、行動ノ敏活、行軍能力ノ發揮、夜間ノ利用並各種交通機關ノ活用等ハ機動力ヲ大ナラシムル爲緊要ナル條件トス
- 七二、著眼第十、第十一ヲ引用ス
1、軍隊部署ノ要訣、答案第十四ノ一ヲ見ヨ

- 2、指揮官ハ軍隊ヲ部署スルニ方リテハ戰闘指導ニ關スル方針ニ基キ地形、兵力、敵情、側方依托ノ關係並明暗ノ度等ヲ考慮スルヲ要ス
- 七三、著眼第十及輜重兵操典第五百二十二ヨリ引用ス
1、戰闘部署ノ要訣ハ決戰ヲ企圖スル方面ニ對シ速時必勝ヲ期スヘキ兵力ヲ徹底的ニ集中スルニアリ
2、火線ニ用フル兵力決定ノ要旨、最初ヨリ之ヲ充分ニシ速ニ優勢ナル火力ヲ發揚シテ敵ヲ壓倒スルコト必要ナリ

- 之ヲ移動スルニ方リテハ連絡施設ノ關係ヲ考慮スルコト特ニ肝要ナリ
師團砲兵指揮官ハ其位置ヲ成ルヘク師團長ノ附近ニ選定スルニ勉ムルヲ要ス師團工兵指揮官直接作業ヲ指揮スルヲ要セサル場合ニ於テモ亦之ニ準ス
歩兵ト直接ニ協同スル砲兵トノ連絡ハ最モ緊密ナルヲ要スルヲ以テ砲兵ノ指揮官ハ其戰闘指揮ニ支障ナキ限り歩兵ノ指揮官ト成ルヘク同一地點ニ位置スルヲ可トス
而シテ師團長ハ戰闘間特ニ彼我ノ狀況ヲ觀察スルニ便ナル地ニ戰闘司令所ヲ設ケ所要ノ幕僚等ト共ニ此處ニ位置スルヲ可トスル場合少カラサルモノトス
- 七七、著眼第二十五、第二十六ヲ参照ス
戰闘ノ爲諸兵種ヲ運用スルノ要ハ其性能ニ應ジ彼此長短相補ヒ各々固有ノ能力ヲ遺憾ナク發揮セシメ以テ諸兵種ヲシテ完全ニ協同セシムルニ在リ
而シテ戰闘ニ最終ノ決ヲ與フルモノハ歩兵ナリ故ニ諸兵種ノ協同ハ歩兵ヲシテ其目的ヲ達セシムルヲ主眼トシテ行ハルヘキモノトス

- 七四、答案第十四ヲ見ヨ、答案ノ内容同シ
- 七五、答案第十六ヲ見ヨ、答案ノ内容同シ
- 七六、著眼第十六ヲ参照左ノ如ク記述ス
指揮官ノ位置ハ軍隊ノ指揮ニ重大ナル影響ヲ及スモノトス特ニ狀況不利ナル場合ニ於テハ軍隊ノ志氣ニ影響ヲ與フルコト大ナリ
戰闘間指揮官ノ位置ハ部下軍隊ヲ指揮スルニ便ニシテ成ルヘク彼我ノ狀況ヲ觀察シ得、上下、左右ノ連絡容易ナルコトヲ主トシテ之ヲ定メ尙敵航空機ノ搜索及射撃ニ對スル掩蔽ニ關シ顧慮スルヲ要ス而シテ其位置ハ安ニ之ヲ移動スルコトナク戰闘ノ進歩ニ伴ヒ

- 七八、著眼第二十六及第四十ヲ参照左ノ如ク記述ス

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

1、戰闘ニ最終ノ決ヲ與フルモノハ步兵ナリ故ニ諸兵種ノ協同ハ步兵ヲシテ其目的ヲ達セシムルヲ主眼トシテ行ハルヘキモノトス而シテ之カ基礎ハ師團長ノ適切ナル部署ト指導トニ在リト雖諸兵種相互ノ緊密ナル精神的結合ト他兵種ノ性能ニ關スル十分ナル理解トハ協同ヲ完全ナラシムル爲必須ノ要件ナリ

2、協同スヘキ各部隊ノ指揮官ハ戰闘ノ當初ヨリ常ニ緊密ナル連絡ヲ保持シ戰闘ノ進捗ニ伴ヒ益々之ヲ密接ナラシムルヲ要ス

七九、答案第七十八ノ一ヲ見ヨ

八〇、著眼第二十八第三十ヨリ左ノ如ク拔萃記述ス

1、軍直轄砲兵ノ任務、答案第二十ヲ見ヨ
2、師團砲兵ハ戰闘ニ方リ步兵直接協同（步兵ノ直接支援歩兵ノ行動ニ直接關係アル敵歩兵ノ阻止並障礙物及側防機能ノ破壞等）對砲兵戰及他ノ遠戰並陣地設備ノ破壞等ニ任ス

八一、著眼第三十九第八十九第九百十九第九百六十六ヲ參照左ノ如ク記述ス

1、一般原則

ル如ク願慮スルヲ要ス

4、防禦ニ於ケル陣地選定上ノ著意

砲兵ハ所望ノ如ク火力ヲ運用シ得ルヲ主トシ成ルヘク之ヲ縱深ニ配置シ其任務ニ應ジ或ハ敵ヲ遠距離ニ支ヘ又ハ最後ノ時機ニ至ルマテ其位置ヲ變スルコトナク歩兵ニ協力シ得併セテ敵砲火ノ損害ヲ避ケ決戰ノ時機ニ至リ十分ナル威力ヲ發揚スルニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

八三、著眼第四十ヨリ引用ス

1、戰闘開始前協定スヘキ事項

戰闘各期ニ於ケル歩兵ノ行動ト砲兵射撃トノ協調戰闘各期ニ於ケル連絡法
砲兵陣地變換及歩兵ニ配屬スヘキ砲兵又ハ隨伴砲兵ニ關スル事項

2、戰闘開始後、前項ノ事項ハ戰闘間絶ニス保持セラルヘキ兩者間ノ連絡勤務ニ依リ漸次精密且具體的ニ補綴セラルルヲ要ス之カ爲歩兵ハ機ヲ失セス敵情就中歩兵重火器並砲兵等ノ位置、狀態、此等ニ對スル我カ砲兵射撃ノ效果砲兵進出ノ難易、砲兵陣地ニ適スル地點ノ有無等ヲ通報シ砲兵モ亦自

砲兵ノ配置ハ成ルヘク同一陣地ヨリ戰闘ノ經過ニ伴ヒ適時必要ナル方面就中決戰ヲ企圖スル方面ニ砲火ノ最大威力ヲ發揮シ得ルト共ニ機ヲ失セス狀況ノ變化ニ對應シ得ル如ク之ヲ決定スルヲ要ス而シテ常ニ各種火砲ノ特性ヲ發揮セシメ且適當ナル放列陣地及良好ナル觀測所ヲ求ムルノ外射撃準備及彈藥補充ニ便ナルコトヲ願慮スルコト肝要ナリ

2、遭遇戰ニ於ケル陣地選定上ノ著意 イ、陣地進入ノ迅速容易ナルコト ロ、歩砲ノ協同特ニ容易ナルコト ニ、觀測所放列間通信容易ナルコト、ハ、廣正面ニ互リ同一陣地ヨリ射撃シ得ルコト

3、陣地攻撃ニ於ケル陣地選定上ノ著意
砲兵陣地ハ攻撃スヘキ敵陣地ノ全縱深ニ互リ砲火ノ威力ヲ發揚シ得ヘク且戰闘間陣地變換ノ不利ヲ避ケンカ爲狀況ノ許ス限り敵ニ近ク配置スルコト必要ナリ而シテ最初ノ配置ハ火砲ノ特性ニ應ジ與ヘラレタル任務、彈藥補充ノ難易等ニ依リ定ムヘシト雖運動性小ナルモノハ勉メテ之ヲ前方ニ配置シ該陣地ニ於テ成ルヘク永ク動作シ得シメ且陣地變換ヲ要スル場合ニ於テモ其實施ヲ容易ナラシム

ヲ進ンテ情報ノ收集ニ勉ムルコト特ニ肝要ナリ

3、戰闘間ナスヘキ要件

歩兵ハ砲兵ニ最良ナル陣地就中觀測所ヲ得シメ且陣地偵察及設備等ニ援助ヲ與フルヲ要ス又歩兵ハ近傍ニ在ル砲兵ヲ掩護スル義務アルモノトス
砲兵ハ狀況之ヲ要スルトキハ猛烈ナル敵ノ歩兵火モ尙之ヲ忌避スルコトナク敵ニ近接シテ砲火ノ最大威力ヲ發揚シ歩兵ニ有形無形上至大ノ援助ヲ與フルヲ要ス此際歩兵ノ勇敢ナル行動ハ敵ヲシテ其軍隊ヲ現出セシメ我カ砲兵ヲシテ有效ニ歩兵ニ協同シ得シムルモノトス

八三、答案第三十四ヲ見ヨ

八四、著眼第四十二乃至第四十五ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

搜索ヲ周到ナラシムルニハ其部署ヲ組織的ナラシメ且其實施ヲ統一スルヲ緊要トス之カ爲指揮官ハ搜索ノ目的及範圍特ニ其重點ヲ定メ之ニ基キ各種搜索機關ニ適切ナル任務ヲ配當シ且相互ノ連繫ヲ緊密ナラシメ完全ヲ期セサルヘカラス
戰闘前師團長ハ其騎兵及警戒部隊並配屬セラレタル

◇戰闘綱要◇

航空部隊等ヲ使用シ各部隊ノ指揮官モ亦敵ニ近クニ從ヒ自ラ斥候及小部隊ヲ以テ搜索ヲ行ヒ機ヲ失セス敵情地形ヲ偵知スルコトニ勉ムヘキモノトス
 戰闘間ニ於ケル搜索ハ戰闘前ノ搜索ニ引續キ實施スルモノニシテ戰闘ノ進捗ニ伴ヒ益々之ヲ周密ナラシムルヲ要ス而シテ戰闘ハ敵ヲシテ其兵力配置時トシテ其企圖ヲ暴露スルニ至ラシムルモノナルカ故ニ常ニ深甚ノ注意ヲ以テ之カ候察ニ勉メサルヘカラス夜間ニ在リテハ敵ノ兵力移動、配備變更其他企圖ヲ搜索スルノ著意特ニ緊要ナリ

八五、著眼第四十五ヲ引用ス

戰闘間ニ於ケル搜索ハ主トシテ各部隊ノ戰闘實行ノ爲及戰闘開始後ニ於ケル上級指揮官ノ戰闘指導ニ必要ナル資料ヲ得ンカ爲戰闘前ノ搜索ニ引續キ實施スルモノニシテ戰闘ノ進捗ニ伴ヒ益々之ヲ周密ナラシムルヲ要ス而シテ戰闘ハ敵ヲシテ其兵力、配置及時トシテ其企圖ヲ暴露スルニ至ラシムルモノナルカ故ニ常ニ深甚ノ注意ヲ以テ之カ候察ニ勉メサルヘカラス

八六、著眼第五十三ヲ引用シ左ノ如ク記述スヘシ

地上部隊ノ指揮官ハ自己ノ連絡機關ヲ使用シ上級指揮官ノ指示ニ基キ飛行機ト連絡スルノ外絶エス上空ヲ監視シ協力スヘキ友軍飛行機ヲ識別シ其記號ニ注意スルヲ要ス

師團ニ配屬セラレタル偵察飛行機ト師團長トノ連絡ハ航空通信網ニ依ルノ外飛行隊ヨリ派遣スル連絡將校ニ依ルモノトス而シテ師團内關係各部隊トノ連絡ハ師團司令部ヲ介シテ行フヲ通常トス

八八、著眼第六十六第六十七ヲ引用左ノ如ク記述ス

1、攻撃ノ主眼ハ敵ヲ包圍シテ之ヲ戰場ニ殲滅スルニアリ

2、攻撃點ハ狀況特ニ地形ヲ判斷シ敵ノ弱點若ハ敵ノ苦痛トスル方向ニ指向スヘシ

我戰闘力ノ發揮ニ便ニシテ敵ノ戰闘力ノ發揮困難ナル方面殊ニ翼、配備ノ間隙、兵團ノ接續部等ハ通常攻撃ノ重點ヲ指向スルニ適スルモノトス

八九、答案第九ノ12ヲ見

九〇、答案第八十八2ヲ見

九一、答案第八十八ヲ見

九二、著眼第六十七ヲ参照ス

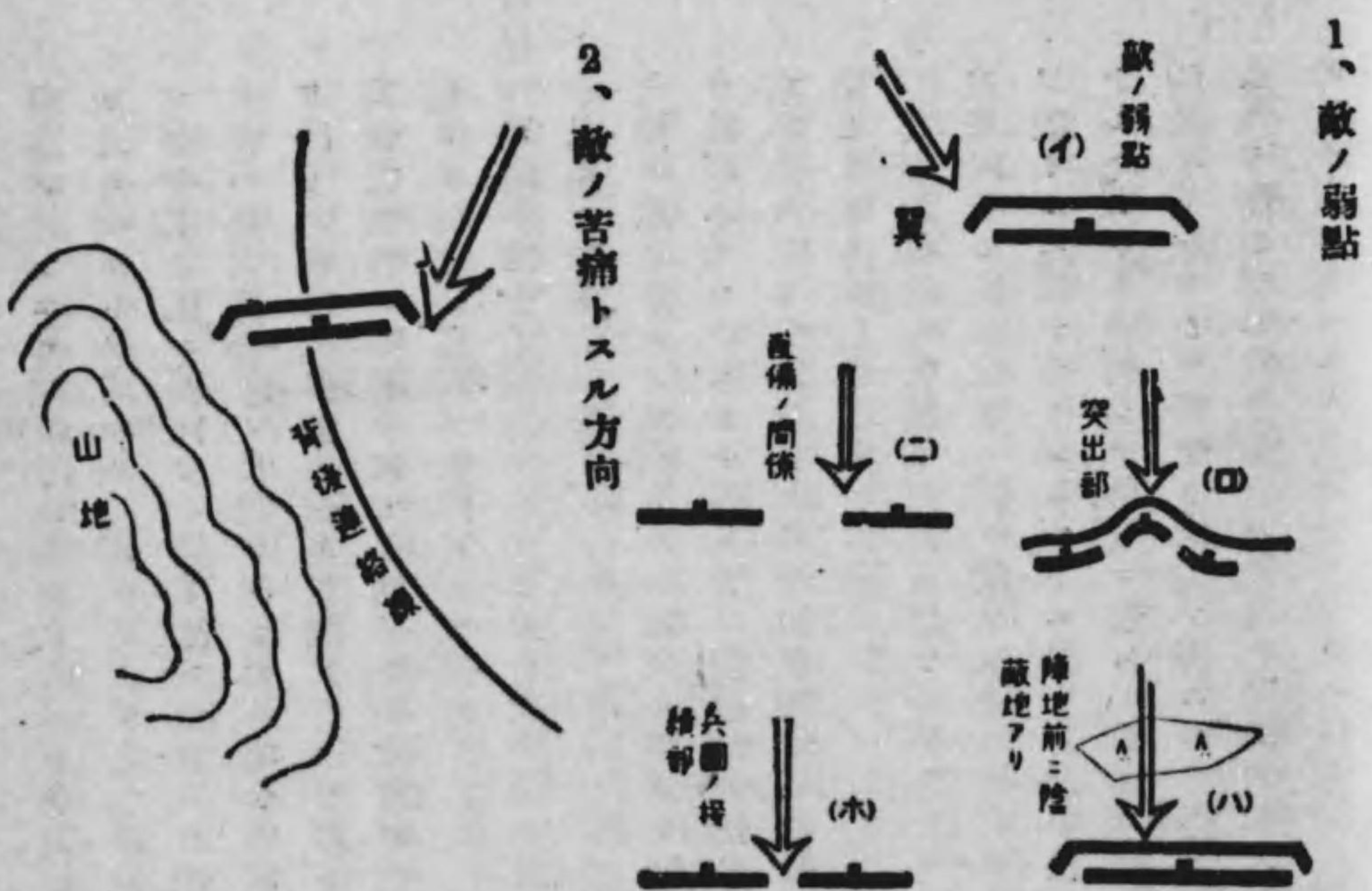
◇戰闘綱要◇

上空ニ對スル警戒ハ高級指揮官ニ於テ飛行隊及地上防空隊等ヲ以テ之ニ任セシメ或ハ夜暗、天候ヲ利用スル等所妥ノ處置ヲ講スヘシト雖各部隊モ亦自ラ敵航空機ニ對シ地形ヲ利用シ或ハ隊形ノ選擇ヲ適當ニシ又ハ偽裝ヲ施ス等各種ノ處置ヲ講スルヲ要ス然レトモ敵航空機ニ對スル顧慮ノミニ四ハレ戰機ヲ逸スルカ如キハ嚴ニ之ヲ戒メサルヘカラス廣漠タル戰場ニ於テ特ニ然リトス

戰闘間各級指揮官ハ狀況特ニ敵飛行機ノ行動ニ應シ對空警戒ノ爲適宜監視ノ方法ヲ講スルノ外概テ歩兵ノ大隊毎ニ所要ノ對空射擊部隊ヲ指定スルモノトス凡テ對空射擊ハ其位置ヲ暴露シ敵飛行機ヲシテ搜索ノ端緒ヲ得セシメ又友軍ニ危害ヲ與フルコトアルヲ以テ射擊ヲ行フニ方リテハ能ク全般ノ狀況ヲ考慮スルヲ要ス

八七、著眼第六十三ヲ引用ス

飛行機ト地上部隊トノ連絡ニハ無線電信、通信筒、煙火信號、布板信號、標示幕信號、鳩等ヲ用フ而シテ高級指揮官ハ其連絡法、時機、地點等ニ關シ所妥ノ規定ヲ爲スモノトス



1、(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)ハ敵ノ弱點ニシテ(イ)(ロ)(ハ)ハ敵ノ火力發揮不便ニシテ我近接容易ナリ(ニ)モ亦(イ)ニ類似シ(ホ)ハ敵内部協調ノ不備ニ乘セントスルモノナリ

2、敵ノ背後連絡線ヲ衝カルルハ其最モ苦痛トスル所ナリ

九三、著眼第六十六第六十八ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

- 1、包圍ハ敵ヲ捕捉殲滅スル爲最モ有效ナル攻撃法ニシテ情況之ヲ許セハ常ニ此方法ニ依ルヲ可トス
 - 2、包圍ハ側面ニ用フル兵力大ナルト且果敢ナル正面攻撃ニ依リ敵ヲ正面ニ拘束シテ他ヲ顧ミルニ遠ナカラシムルトニ從ヒ其效果益々大ナルモノトス而シテ包圍ニ任スル部隊ノ行動ハ神速果敢敵ヲシテ對應ノ處置ヲ講スルヲ得サラシムヲ要シ特ニ其指揮官ハ狀況ノ困難、敵情ノ不明等ニ介意スルコトナク斷乎トシテ一意任務ニ邁進スルコト肝要ナリ
- 同時ニ兩翼ヲ包圍スルカ又ハ一翼ト背後トヲ包圍スルヲ得ハ其效果更ニ大ナリト雖之カ實行ニ方リテハ兵力ノ分散ニ陥ラサルヲ要ス

包圍ヲ行フニハ數縱隊ノ併進ニ依ルト後方部隊ノ加入ニ依ルトヲ問ハス展開ニ先ダチ之ヲ準備スルヲ必要トス既ニ展開セル後ト雖地形特ニ有利ナルカ若ハ夜間其他敵ノ目視ヲ避ケ得ル場合等狀況之ヲ許セハ部隊ノ移動ニ依リ包圍ヲ行フヲ可トス高級指揮官ノ部署ニ依リ包圍ノ外各級指揮官モ亦勉メテ局部的包圍ヲ企圖スルヲ要ス

九四、著眼第六十七第六十八ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

- 1、包圍ノ效果
 - 包圍ハ敵ノ最大ノ弱點タル一翼又ハ兩翼ヲ包繞シテ攻撃スルモノニシテ吾火力ノ發揚最モ便ナルモ敵ハ之ニ反ス又志氣上ニ於テ被包圍者ハ包圍者ニ歴セラルルヲ通常トス
- 2、其實施要領
 - 包圍ハ側面ニ用フル兵力大ナルト且果敢ナル正面攻撃ニ依リ敵ヲ正面ニ拘束シテ他ヲ顧ミルニ遠ナカラシムルトニ從ヒ其效果益々大ナルモノトス、而シテ包圍ニ任スル部隊ノ行動ハ神速果敢敵ヲシテ對應ノ處置ヲ講スルヲ得サラシムルヲ要シ特ニ其指揮官ハ狀況ノ困難敵情ノ不明等ニ介意スルコトナク斷乎トシテ一意任務ニ邁進スルヲ要ス

スルコト肝要ナリ

同時ニ兩翼ヲ包圍スルカ又ハ一翼ト背後トヲ包圍スルヲ得ハ其效果更ニ大ナリト雖之カ實行ニ方リテハ兵力ノ分散ニ陥ラサルヲ要ス

九五、著眼第六十八ヲ参照ス

答案第九十四ノ2ヲ見ヨ

九六、著眼答案第二十六ノ1ヲ見ヨ

九七、著眼第八十五第九十ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

- 1、遭遇戦ニ在リテハ情況明確ナラサルヲ通常トシ且先制獲得ノ爲ノ好機ハ瞬時ニ經過スヘキヲ以テ精密ニ觀察シ或ハ刻々變化スヘキ敵情ニ關シ多クノ情報ヲ集メタル後始メテ處置セントスル如キハ多クハ失敗ニ終ルモノトス故ニ遭遇戦ニアリテハ指揮官以下斷乎タル決心ヲ以テ神速ニ處置セサルヘカラサルモ

2、陣地攻撃ニアリテハ攻者ハ通常敵情地形ヲ搜索

シ攻撃ノ時期、方向及方法ヲ選フ爲ニ要スル時間ノ餘裕ヲ有スルヲ以テ豫メ精密ナル計畫ヲ定メ且十分ナル準備ヲ整ヘ統一セル攻撃ヲ行フヲ要ス

九八、著眼第八十八ヲ参照ス

1、前衛ノ任務 本隊ノ戰闘ヲ有利ニスル爲メ敵ノ

展開ニ先チ之ヲ攻撃シ或ハ要點ヲ占領シテ本隊ノ展開ヲ容易ニス之カ爲戰闘ノ支撐タルヘキ要地ハ縱ヒ戰闘ヲ惹起シ又ハ正面通過トナルト雖之ヲ占領スルニ躊躇スヘカラス
其他砲兵ノ爲情報ヲ收集シ且特ニ觀測ニ有利ナル地點ヲ占領スルヲ必要トス

2、前衛ノ行動ハ答案第三十三ヲ見ヨ

九九、著眼此問題ハ第八十八第九十一ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

- 1、戰闘要領、迅速ニ陣地ヲ占領シ前衛歩兵ノ要點占領ニ協力シ又ハ敵ノ展開ヲ妨害ス敵若我ニ先ダチ戰闘準備ヲ完了スヘキヲ察知セル情況ニ於テハ廣地域ヲ射撃シ得ヘキ陣地ヲ占領スルニ勉メ又要スレハ其陣地ヲ分散シテ攻撃前進ニ移リタル敵ノ歩兵若ハ我カ歩兵ノ行動ヲ妨害スル敵ノ砲兵ヲ制壓シ以テ我軍ノ展開ヲ掩護スルヲ要ス
- 2、陣地撰定ノ要件
 - イ、進入迅速ニシテ容易ナルコト
 - ロ、觀測所ト放列トノ距離近ク通視自在、通信迅

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

速且容易ナルコト

ハ、本隊砲兵ノ爲餘地ヲ存シ且其陣地占領ヲ妨害セサルコト

一〇〇、著眼第八十八ヲ参照左ノ如ク記述ス

1、前衛ノ行動答案第三十三ヲ見ヨ

2、前衛砲兵ノ任務

前衛ノ要地占領ニ協力シ若ハ敵ノ展開ヲ妨害スルモノトス

一〇一、著眼第八十七及第八十ヲ左ノ如ク引用記述ス

1、騎兵ハ廣ク前方及側方ヲ搜索シテ敵情就中其兵力ノ分配、到達地點及時刻等ヲ迅速ニ報告、通報シ以テ指揮官特ニ師團長ヲシテ適時適切ナル部署ヲ爲シ得シムルト同時ニ我行動ヲ秘匿スルコトニ勉ムヘシ

2、敵ニ先タチ要點ヲ占領シテ歩兵ノ來著ヲ待チ或ハ敵ノ指揮官、砲兵等ヲ奇襲スルコトヲ力ムルモノトス

3、又敵砲兵ノ進出又ハ敵ノ機動ヲ妨害スル爲交通路ヲ破壊シ或ハ敵ヲ行軍間ニ奇襲シテ混亂ヲ生セシムル目的ヲ以テ騎兵ヲ使用スルコトアリ

一〇四、著眼第九十六ヲ引用ス

1、遭遇戦ニ於テハ機ヲ失セス工兵ヲシテ師團主力就中砲兵ノ展開ヲ迅速ナラシムル爲所要ノ作業ヲ行ハシメ且將來ニ於ケル砲兵ノ陣地變換ヲ顧慮シテ必要ナル偵察並作業ノ準備ヲ行ハシムルヲ要ス
工兵ノ大部ヲ前衛ニ配屬シアル場合ニ於テハ適時所要ノ工兵ヲ直轄トナスコト肝要ナリ

2、又遭遇戦ヲ豫期スル場合ニ於テ敵砲兵ノ進出又ハ敵ノ機動ヲ妨害スル爲交通路ヲ破壊セシムル目的ヲ以テ自轉車、自動車等ヲ利用スル工兵ヲ使用スルコトアリ

一〇五、著眼第百ヲ引用ス

豫備隊ハ其用途ニ應シ爾後ノ使用ニ便ナル如ク第一線部隊ト適當ナル關係位置ヲ保チ通常地區ヨリ地區ニ前進スルモノトス而シテ第一線トノ距離ハ狀況特ニ地形ニ依リテ變化ス開豁地ニ在リテハ敵火ノ損害ヲ減殺スル爲之ヲ大ニシ遮蔽地ニ在リテハ屢々第一線ヲ速ニ援助スル必要アルヲ以テ之ヲ短縮スルヲ要スルコト多シ

指揮官若豫備隊ヲ以テ包圍ノ目的ヲ達成セントスル

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

一〇二、著眼第八十七及第二百五ヲ引用左ノ如ク記述ス

1、遭遇戦ニ於テハ騎兵ハ廣ク前方及側方ヲ搜索シテ敵情就中其兵力ノ分配、到達地點及時刻等ヲ迅速ニ報告、通報シ以テ指揮官特ニ師團長ヲシテ適時適切ナル部署ヲ爲シ得シムルト同時ニ我カ行動ヲ秘匿スルコトニ勉ムヘシ

其他騎兵ハ敵ニ先タチ要地ヲ占領シテ歩兵ノ來著ヲ待チ或ハ敵ノ指揮官、砲兵等ヲ奇襲シテ偉功ヲ奏スルコト少カラス

2、追撃ニ於テハ騎兵ハ其特性ヲ發揮シテ迅速果敢ナル追撃ヲ決行シ特ニ敵ノ側背若ハ間隙ニ向ヒ行動シテ其退路ヲ遮斷スルヲ要ス

一〇三、著眼第八十七第八十及第二百二十ヲ引用ス

1、遭遇戦ニ於ケル騎兵ノ用法 答案第百二ノ一ヲ見ヨ

2、退却ニ於ケル騎兵ノ用法 騎兵ハ主トシテ側方及背後ノ警戒ニ任シテ退却スル部隊ノ爲不慮ノ危険ヲ豫防シ且戰況ニ依リテハ友軍ヲ危地ヨリ救出スル爲果敢ナル動作ヲナスヲ要ス

トキハ適宜第一線部隊ノ側方後ニ位置セシムルヲ要ス

一〇六、著眼第百十三ヲ引用ス

開進ノ配置ニ就クヘキ各部隊ハ敵ノ視察ヲ避ケ且砲火特ニ瓦斯彈並敵飛行機ノ攻撃ニ依ル損害ノ減少ヲ顧慮スルヲ要ス之カ爲地形ヲ利用シテ成ルヘク集結シ要スレハ部隊ヲ分置シ已ヲ得サレハ疎散ナル配置ヲ取ルコトアリ、開進ノ配置ニ就クニ方リテハ歩兵ハ要スレハ路外ヲ行動シ道路ヲ砲兵ニ讓ルヘシ又行進交又ヲ避クヘカラサル場合ニ於テハ其混亂ヲ豫防スルコトニ注意スヘシ

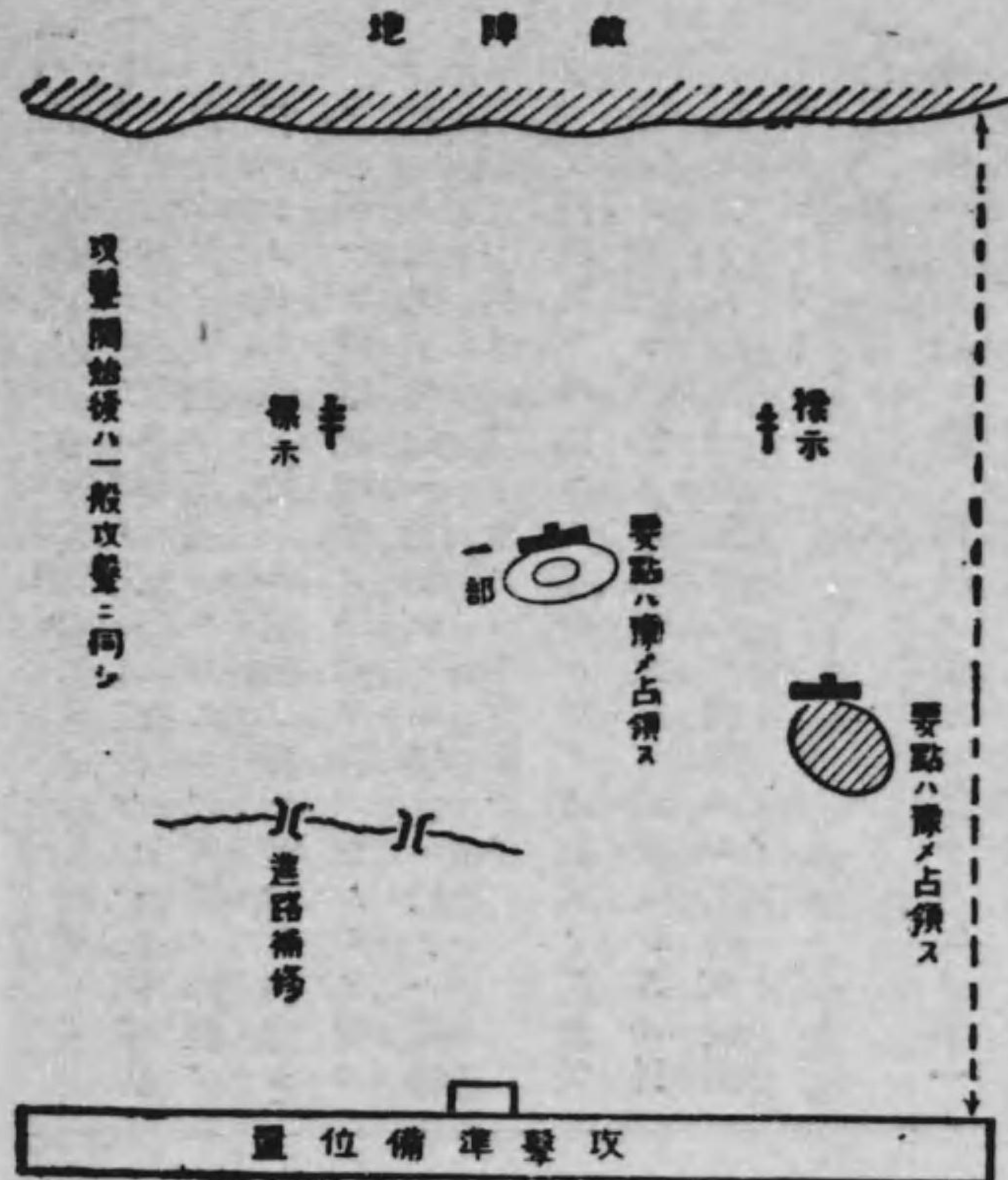
一〇七、著眼第百十九ヲ引用ス

砲兵陣地ハ攻撃スヘキ敵陣地ノ全縱深ニ亘リ砲火ノ威力ヲ發揚シ得ヘク且戰間陣地變換ノ不利ヲ避ケシカ爲狀況ノ許ス限リ敵ニ近ク配置スルコト必要ナリ而シテ最初ノ配置ハ火炮ノ特性ニ應シ與ヘラレタ

◇ 戦 闘 綱 要 ◇

ル任務、彈藥補充ノ難易等ニ依リ定ムヘシト雖運動性小ナルモノハ勉メテ之ヲ前方ニ配置シ該陣地ニ於テ成ルヘク永ク動作シ得シメ且陣地變換ヲ要スル場合ニ於テモ其實施ヲ容易ナラシムル如ク顧慮スルヲ

カメテ敵ニ近接スルヲ有利トスト雖モ豫期セサル戦闘ヲ惹起セシメサルノ顧慮ヲ必要トス



要ス

一〇八、答案第七ヲ見ヨ

一〇九、著眼第二百二十三ヲ参照シ左ノ如ク圖示説明ス

日没時ノ位置ヲ出發スヘキ時機ハ各部隊新位置ニ到着後運クモ拂曉迄ニ連絡、工事、攻撃實行ノ諸準備完了ニ餘裕アラシムル如クスルヲ要ス

出

晝間ニ於テ拂曉以後ニ於ケル戦闘ニ必要ナル諸準備ヲ整ヘ要スレハ夜暗ヲ利用シテ陣地ヲ前方ニ變換ス

出



ナルヘク第一線ニ近ク其位置ヲ進メ準備ヲナス

晝間ヨリ搜索及諸準備ヲ行フト共ニ敵ニ對シ我企圖ヲ秘匿スルニ力メ敵ノ配備變更ヲ顧慮シ絶ニス敵情搜索ヲ續行ス

一一〇、著眼第二百二十七ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

1、意義 敵ノ側防機能等ノ詳細ナル配置ハ我歩兵敵歩兵ノ火網内ニ入りタル後始メテ確認シ得ルコト多ク又敵自動火器ノ如ク出沒常ナキ目標ニ對シテハ單ニ歩砲ノ協同ノミニテハ好機ヲ逸スル虞ナキニアラス故ニ直接第一線歩兵聯(大)隊長ノ指揮ニ屬スルハ好機ニ投シ有效ナル射撃ヲナシ得ルモノトス

2、目標、敵陣地ノ要部ヲ側射シ或ハ敵ノ機關銃側防機能及戰車等ヲ射撃ス

一一一、著眼第三百三十第三百三十六第三百三十七ヲ参照左ノ如ク記述ス

1、攻撃間ニ於ケル工兵 工兵ハ攻撃間天然人爲ノ諸障礙就中陣地前方ニ行ハルル敵ノ破壞作業ニ對シ適切ナル偵察ニ依リ速ニ之ヲ發見スルト共ニ機ヲ失セス排除若ハ補修等ノ作業ヲ行ヒ歩、砲兵及戰車ノ前進ヲ容易ナラシムルヲ要ス之カ爲工兵ハ要スレハ歩兵ノ前方ニ挺進スヘシ

2、突撃ニ方リ歩兵ニ配屬セラレタル工兵 突撃ニ方リ機ヲ失セス不意ニ活動スル敵ノ側防機能ヲ制

◇ 戦 闘 綱 要 ◇

壓シ要スレハ障礙物ヲ破壊シ歩兵ノ突撃ヲ容易ナラシム

3、陣内攻略時ノ工兵 敵陣内ニ於ケル歩兵ノ攻撃ヲ援助シ或ハ砲兵及戰車ノ進出ヲ容易ナラシメ又要スレハ爆藥ヲ以テ敵ノ戰車ヲ阻止シ或ハ奪取セル地區ヲ強固ニスル爲工事ヲ行フ

一一二、答案第三十八ヲ見ヨ

一一三、著眼第三百三十一ヲ引田ス

突撃ノ爲ニハ優勢ナル火力ヲ以テ敵ヲ制壓シ適時障礙物ヲ破壊シ側防機能ヲ制壓若ハ破壊シ且突撃ノ部署ヲシテ克ク狀況ニ適應セシムルコト緊要ナリ突撃ノ機近ツクニ至レハ我カ火力ヲ最高度ニ發揚シテ敵ヲ萎靡沈黙ニ陥ラシムルヲ要ス、之カ爲師團長ハ所要ニ應シ砲兵ニ新ナル任務ヲ課シ歩、砲兵ノ各部隊ハ各種ノ方法ヲ盡シテ火力ノ優越ヲ期セサルヘカラス

一一四、(イ)(ロ)答案第百十一ヲ見ヨ

(ハ)著眼第三百二十九ヨリ引用ス

突撃中途ニ頓挫セル場合ニ於テハ工兵ハ更ニ突撃路ヲ開設スル等突撃ノ決行ヲ容易ナラシムヘシ

一一五、著眼第四百十三ヲ引用シ左ノ如ク記述ス

1、夜間ノ特性

夜間ハ我兵力行動ヲ秘匿シ又損害ヲ避ケテ敵ニ近接シ得ヘキ利アリト雖軍隊ノ協同動作及指揮ノ統一困難ニシテ動モスレハ錯誤ヲ生シ易キモノトス而シテ精銳ニシテ夜間ノ行動ニ習熟セル軍隊ハ能ク此害ヲ除キテ其利ヲ收メ特ニ寡兵ヲ以テ衆敵ニ對シ攻撃ノ奏功ヲ期シ得ルモノナリ

2、夜間攻撃ヲナス場合

大部隊ニ在リテハ晝間得タル成果ヲ完全ナラシムル爲攻撃ヲ續行シ或ハ其一部ヲ以テ敵陣地ニ於ケル若干ノ要點ヲ奪取シテ翌日ノ攻撃ヲ容易ナラシムル爲夜間攻撃ヲ行ヒ小部隊ニ在リテハ屢々夜暗ニ乘シテ敵ヲ奇襲スルコトアリ
狀況之ヲ要スレハ大部隊ヲ以テ夜間攻撃ヲ敢行シ又時トシテ敵ヲ欺騙シ或ハ我カ行動等ヲ秘匿スル爲一部ノ夜間攻撃ヲ實行スルコトアリ

一一六、著眼第四百十三第五百一ヲ参照ス

1、夜間攻撃ノ利害、答案第四百二ヲ見ヨ

2、歩兵及砲兵ノ射撃任務、歩兵ハ其重火器ヲ以テ

攻略セントスル敵陣ト他方面トノ遮斷ヲ行ヒ砲兵ハ通常射撃セントスル敵陣ノ制壓並敵ノ第一線ト後方部隊トノ遮斷ヲ行ヒ要スレハ我攻撃ヲ妨害スヘシト豫想スル敵ノ制壓ニ任ス、而シテ奏效セシ地點ヲ確保スル爲射撃スル場合ニ於テハ砲兵ハ攻撃歩兵ト緊密ニ連絡シ豫メ行ヘル協定ニ基キ敵ノ逆襲ヲ阻止スヘキ要點ニ對シ適時射撃ヲ行フモノトス

一一七、著眼第四百十三乃至第五百ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

1、團結ヲ鞏固ニシ指揮官以下必勝ノ信念旺盛ナルヲ要ス

2、部署ハ巧妙復雜ヲ避ケ實行ノ確實ナルヲ要ス

3、敵ニ我企圖ヲ秘匿シ敵ノ不意ニ乘シ之ニ肉薄シ白兵ヲ揮ヒ一舉ニ決戦ヲ求ムルコト

4、計畫ヲ精密ニシ諸準備ニ遺漏ナキコト

5、敵情殊ニ地形ニ通曉スルコト

6、混雜ヲ防キ靜肅ヲ旨トシ殊ニ方向ヲ誤ラス又友軍相撃スルコトナカラシム

7、決戦ニ必要ナル兵力ヲ第一線ニ備ヘ且各部隊ヲ

シテカメテ兵力ヲ集結セシムルコト

一一八、答案第四百二前段ヲ見ヨ

一一九、著眼第四百十三及第四百十六ヲ参照ス

1、夜間ノ特性ハ答案第四一ヲ見ヨ

2、必要缺クヘカラサル要件 夜間攻撃ノ部署ハ巧妙復雜ヲ避ケ實行ノ確實ナルヲ要ス而シテ軍隊ヲシテ攻撃地區ノ地形ニ通曉セシムルハ攻撃奏效ノ爲必要缺クヘカラサル要件トス

一二〇、夜間ノ特性 答案第一百五ノ一ヲ見ヨ

夜間攻撃奏功ノ爲要件 答案第十七ヲ見ヨ

一二一、著眼第四百十六第四百十七第四百十九ヲ参照ス

1、夜間攻撃ノ目標ハ情況特ニ敵陣ノ狀態並攻撃ノ目的ニ應シ選定スヘキモノナリト雖モ其縱深ハ通常晝間ニ比シ限定セラルルモノトス
大部隊ノ攻撃ニ在リテハ各部隊ニ特ニ明確ナル各個ノ攻撃目標ヲ指示スルヲ要ス

2、攻撃部署 巧妙復雜ヲ避ケ實行ノ確實ナルヲ要ス即チ歩兵ハ通常第一線ト豫備隊トニ區分ス然レトモ縱深深ク敵陣地ヲ奪取セントスル場合ニ於テ

ハ二線ノ攻撃部隊ヲ設クルヲ可トスルコトアリ

一二二、答案第二百一ノ一ヲ見ヨ

一二三、著眼第五百一ヲ引用記述ス

1、夜間火器ノ威力ヲ利用シ攻撃ヲ強行スルヲ要スル場合ニ於テハ砲兵ハ通常攻撃セントスル敵陣ノ制壓並敵ノ第一線ト後方部隊トノ遮斷ヲ行ヒ要スレハ我カ攻撃ヲ妨害スヘシト豫想スル敵ノ制壓ニ任シ歩兵ハ其重火器ヲ以テ攻略セントスル敵陣ト他方面トノ遮斷ヲ行フモノトス而シテ攻撃奏功セシ地點ヲ確保スル爲射撃スル場合ニ於テハ砲兵ハ攻撃歩兵ト緊密ニ連絡シ豫メ行ヘル協定ニ基キ敵ノ逆襲ヲ阻止スヘキ要點ニ對シ適時射撃ヲ行フモノトス

此等火器ノ使用ハ我カ企圖ヲ暴露シ且動モスレハ組織ヲ生シ友軍ニ危害ヲ與フルノ虞アルヲ以テ各部隊ハ晝間ヨリ十分ナル準備ヲ整ヘ且歩、砲兵ノ協調ヲ綿密周到ニシテ遺漏ナキヲ期セサルヘカラス

2、夜間攻撃ノ奏功ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ一部隊ノ行動若ハ砲兵ノ射撃其他照明等ニ依リ敵ノ

注意ヲ他方面ニ牽制セントスル如キ處置ハ却テ敵ノ注意ヲ喚起シ全般ノ計畫ヲ阻礙セシムルノ因ヲ成スコトアルヲ以テ特ニ慎重ナル考慮ト綿密ナル準備トヲ緊要トス

一二四、著眼第五百五十三乃至第五百五十八ヲ参照ス

- 1、防禦ノ主眼トスル所ハ地形ノ利用工事ノ施設戰闘準備ノ周到ナルコト等物質的利用ニ依リ兵力ノ劣勢ヲ補ヒ且火力及逆襲ヲ併用シテ敵ノ攻撃威力ヲ破壊シ以テ爾後ノ攻撃ヲ有利ナラシムルニアリ
- 2、防禦ハ動モスレハ受動ニ陥リ易キヲ以テ各級指揮官ハ特ニ堅確ナル意志ヲ以テ主動的ニ其意志ヲ遂行シ敵ヲ致シ荷モ乘スヘキノ罅隙ヲ發見セハ機ヲ逸セス之ヲ利用スルヲ要ス

- 3、一地ヲ固守スルヲ目的トスル防禦ニ在リテハ成ルヘク敵ノ攻撃ヲ阻礙スヘキ地形ヲ利用シ且諸種ノ障礙ヲ設置シ各方面ニ對シ陣地ヲ設備シ全力ヲ盡シテ之ヲ死守スルモノトス而シテ荷モ逆襲ノ好機ヲ得ハ斷然之ヲ決行スルヲ要ス
- 4、總テ防禦ニ在リテハ敵情就中其企圖ヲ速ニ察知スルト共ニ我カ企圖ヲ秘匿スルコト極メテ肝要ナ

リ故ニ各級指揮官以下諸種ノ手段ヲ盡シテ此要求ヲ充足シ得サルヘカラス

一二五、著眼第五百五十七第五百五十八ヲ参照左ノ如ク記述ス

防禦陣地ハ我カ企圖並兵力ニ適合シ有利ニ攻勢ニ轉シ得ル如ク選定スルヲ要ス

一二六、著眼第六百六十三ヲ引用記述ス

- 1、歩兵ノ火力配置ノ要領ハ其抵抗地帯ノ前方ニ於テ各種歩兵火器ヲ以テ濃密ナル火網ヲ構成シ且火網外ノ要點及陣地内ヲモ有效ニ火制シ得ル如ク設備スルニ在リ
- 2、敵歩兵ニ對スル砲兵ノ火力配置ノ要領ハ警戒部隊ノ前方ヨリ主陣地帯ノ直前ニ亘ル地域ニ其火力ノ大部ヲ指向シ特ニ主陣地帯歩兵火網ノ直前及内部ニ於テ濃密ナラシメ且主陣地帯内部ニ對シテモ火力ヲ指向シ得ル如クスルモノトス此際徒ラニ各方面ノ火力ヲ均一ナラシムルコトナク豫期スル敵ノ主攻方面、我カ攻勢ヲ企圖スル方面及逆襲ヲ

豫想スル地域ニ於テ濃密ナラシムルヲ要ス又隣接兵團ノ作戰地域内特ニ之トノ接續部附近ニモ所要ノ火力ヲ指向シ得ル如クスルコト必要ナリ

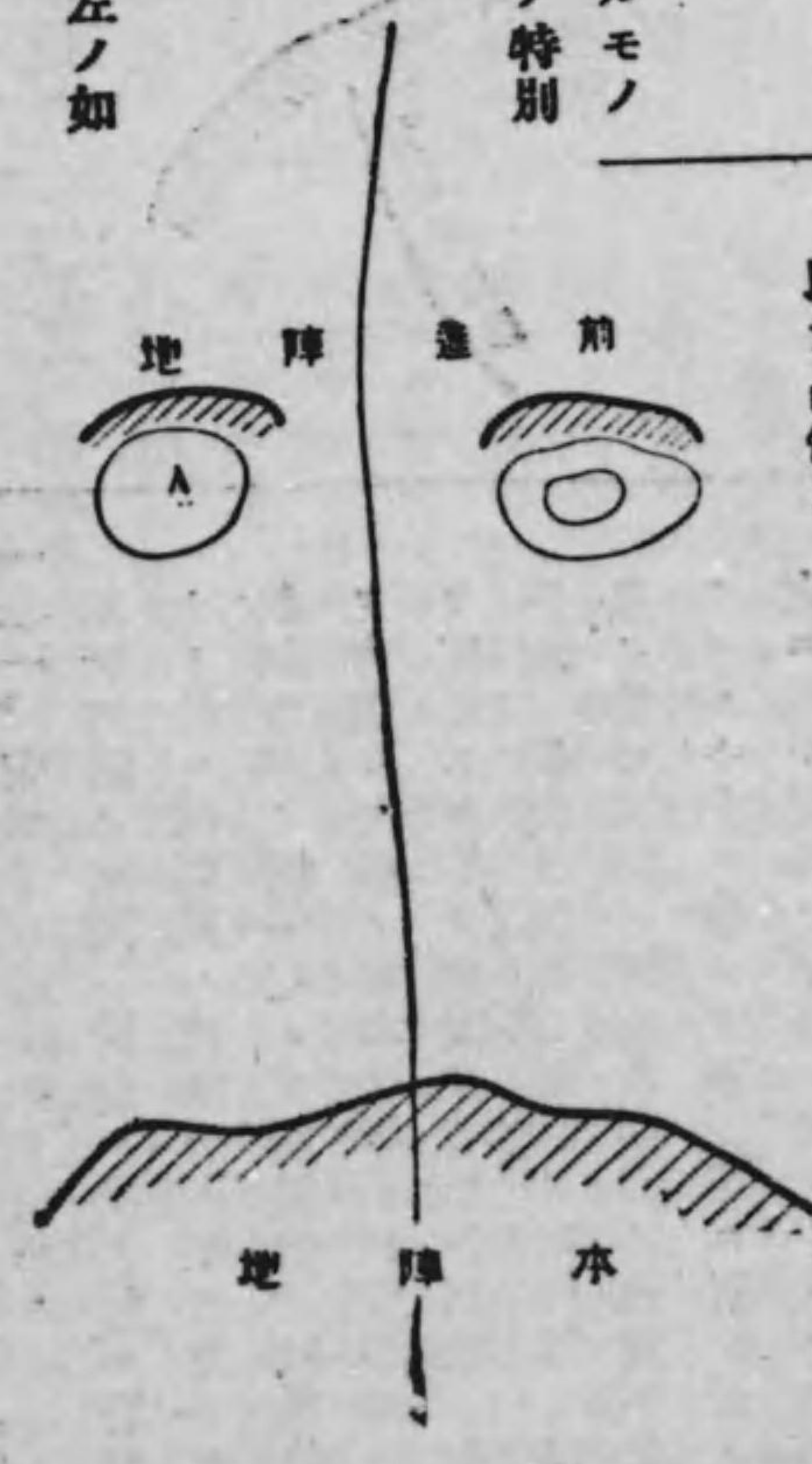
一二七、著眼第七百七十二ヲ参照左ノ如ク記述ス

- 1、警戒部隊ノ任務第七百二十八ノ一ヲ見ヨ
- 2、配備要領(イ)警戒陣地ハ我砲兵ノ支援シ得ル距離ニアリテ成ルヘク良好ニ遮蔽セラレ敵ノ搜索ヲ妨害シ我搜索ノ據點タルニ適スル如ク選定ス(ロ)配備、徒ラニ兵力ノ分散ヲ避ケ概ネ前哨配備ノ要領ニ準シテ配備シ特ニ敵眼ニ遮蔽スル如ク注意スルヲ要ス

一二八、著眼第七百七十二ヲ参照ス

- 1、任務 敵情ヲ搜索シ且主陣地帯ヲ掩護スルモノトス時宜ニ依リ敵ノ攻撃ヲ遲滞セシムル等ノ特別任務ヲ帯フルコトアリ
- 2、兵力、狀況特ニ其任務地形ニ依リテ異ナルモ勉メテ之ヲ小ナラシムルヲ可トス

一二九、著眼第七百七十二及第七百七十三ヲ参照シ左ノ如ク記述ス



一二三〇、著眼第七百七十三ヲ参照左ノ如ク圖示説明ス

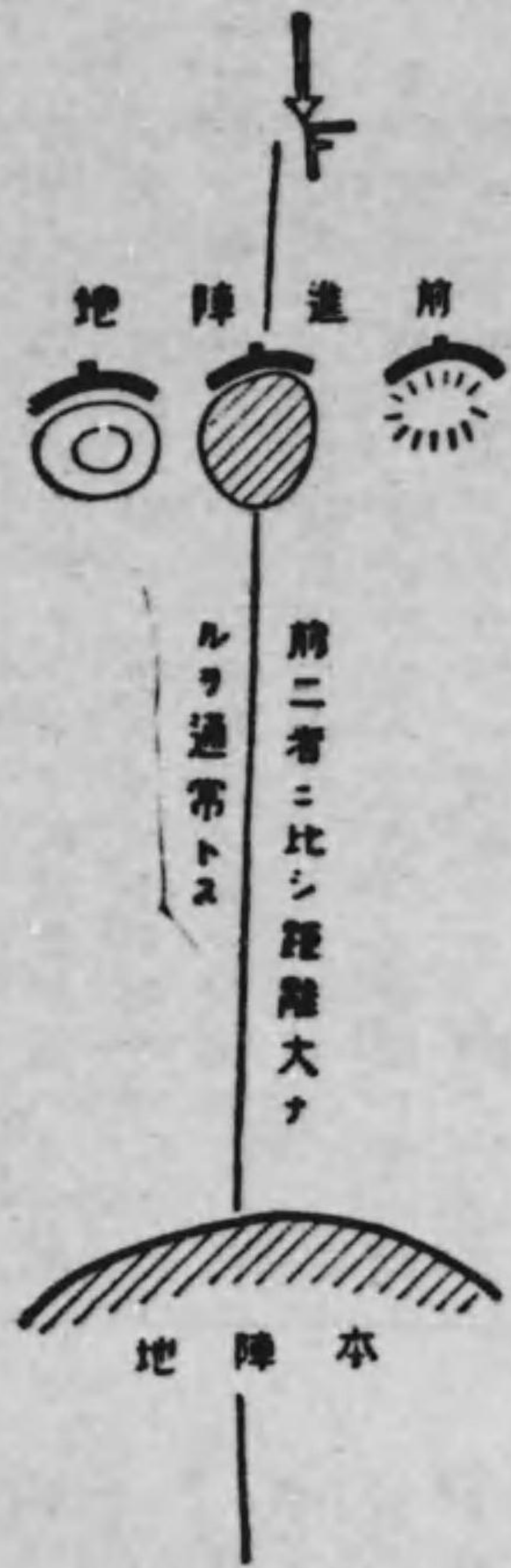
陣地前ノ要點ノ過早ニ敵手ニ歸スルヲ妨クル目的ヲ以テ占領ス

- 1、警戒陣地ノ目的 敵情ヲ搜索シ且主陣地帯ヲ掩護ス時宜ニ依リ敵ノ攻撃ヲ遲滞セシムル等ノ特別ナル目的ヲ以テ占領スルコトアリ
- 2、前進陣地ノ目的 前地ニ於ケル要點ノ過早ニ敵手ニ歸スルヲ妨ケ或ハ敵ヲシテ其展開方向ヲ誤ラシメ或ハ敵ノ我カ陣地ニ近接スル動作ヲ困難ナラシムル等

敵ノ展開方向ヲ誤ラシムル目的ヲ以テ占領ス



敵ノ我陣地ニ近接スル動作ヲ困難ナラシムル目的ヲ以テ占領ス



一三一、著眼第百八十一ヲ引用ス

瓦斯防護ノ施設ハ防禦ニ於テ特ニ肝要ナリ故ニ師團長ハ陣地ノ占領ニ方リ氣象並地形ノ關係敵ノ瓦斯裝備ノ状態等ヲ考慮シ所要ノ事項ヲ指示シ消費材料ヲ配給スル等ノ處置ヲ講シ各部隊モ亦陣地ノ編成及設備、部隊ノ配置等ニ注意ヲ拂ヒ瓦斯ノ警戒及搜索ノ處置ヲ怠ラサルト共ニ敵ノ瓦斯攻撃ニ對シ直ニ之ニ應シ得ルノ準備ニ缺クルトコロナキヲ要ス局地ヲ利用スル部隊ニ在リテ特ニ然リトス

一三二、著眼第百八十二ヲ引用左ノ如ク記述ス

1、手段、(イ)警戒部隊ヲ配置シ敵ノ偵察ヲ妨ク、(ロ)警戒陣地附近或ハ之ト主陣地トノ中間等ニ眞工事ト連繫シテ偽工事ヲナス、(ハ)敵ヲシテ眞陣地ヲ誤認セシメ其攻撃方向ヲ誤ラシムル爲師團長ノ統一セル企畫ニ

基キ偽工事ヲ設クルコトアリ、(ニ)敵航空機ニ對シテハ防空部隊ニ依ルノ外工事ノ開始ニ先テ所要ノ偽裝ヲ行ヒ又交通ノ痕跡ヲ消滅シ工事ヲ地形ニ適合セシメ守兵ノ行動ニ注意シ特ニ砲兵、機關銃ニアリテハ適時移動ヲ行ヒ以テ陣地ノ要點及配備ヲ判別シ難カラシム

2、注意、總テ偽工事ヲ設クルニ際シテハ之ニ對スル敵火ノ爲友軍ニ危害ヲ及ホササコトニ注意スルヲ要ス又我陣地ヲ敵方及上空ヨリ視察スルハ陣地秘匿ノ状態並之ニ應スル處置ヲ知ル爲必要ナリ

一三三、著眼第百八十六ヲ參照ス

陣地前ニ派遣セラレタル騎兵ハ當面ノ敵情就中敵ノ兵力區分、到達地點、後續部隊ノ有無及状態並攻撃準備ノ程度等ヲ適時報告シ上級指揮官ノ戰術指導ニ資スルコト緊要ナリ而シテ其搜索ハ晝夜ヲ問ハス之ヲ繼續スヘキモノトス

敵ノ近接ニ伴ヒ陣地前ニ行動スル能ハサルニ至レハ前進部隊若ハ警戒部隊ト密接ナル連繫ヲ保持シツツ陣地ノ翼側ニ移リ爾後掩蔽ニ任スルト共ニ敵情特ニ包圍又ハ迂回ヲ企圖スル敵ノ行動ヲ搜索シ且爾後ノ

行動ヲ準備スルヲ要ス

一三四、著眼第百九十九ヲ引用ス

夜間防者ハ特ニ警戒ヲ嚴ニシ搜索ヲ周到ニシ且前地ヲ照明スル等諸種ノ手段ヲ盡シテ敵ノ近接ヲ戒ムルヲ要ス而シテ状況特ニ地形ニ依リ豫メ前地ニ於ケル要點ヲ占領スルトキハ敵ノ攻撃企圖ノ遂行ヲ妨害スル爲有利ナルコトアリ

夜間攻撃ヲ受クルニ際シ新ニ軍隊ヲ部署セントスルトキハ多クハ混雜ニ終ルモノトス故ニ各級指揮官ハ所要ニ應シ第一線ヲ增加シ配備ノ間隙ヲ閉塞シ豫備隊ヲ前線ニ近接セシメ要スレハ之ヲ分置シ速ニ前線ヲ増強シ得ヘキ處置ヲ施スヲ要ス

陣地ノ守兵ハ豫メ夜間射撃ノ設備ヲ爲シ砲兵ハ特ニ歩兵ト緊密ナル協定ヲ遂ケ以テ機ニ投スル射撃ノ實施ニ支障ナカラシムヲ要ス、敵兵我陣地ニ近接シテ工事ヲナスカ又ハ其準備ノ爲行動シアルヲ察知セハ第一線部隊ハ小部隊ノ出撃ニ依リ之ヲ妨害シ又敵兵我障礙物ヲ破壞スルヲ察知セハ之ヲ擊退スヘシ

一三五、著眼第百二十二、第二百三ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

追撃ノ主眼ハ速ニ敵ヲ捕捉シテ之ヲ殲滅スルニ在リ
之カ爲廣ク且深ク敵方ニ突進シテ其退路ヲ遮斷シ諸
方面ヨリ敵ヲ包圍シ否サルモ敵ヲ背後連絡線以外ニ
壓迫シ又ハ敵ノ欲セサル地點ニ於テ之ヲ捕ヘ以テ敵
ヲ擊滅スルヲ要ス

師團長ハ右ノ趣旨ニ基キ追撃ヲ指導シ各級指揮官ハ
此趣旨ニ副フ如ク行動スルヲ要ス而シテ各級指揮官
ノ獨斷專行ト放膽ナル行動トハ偉大ナル效果ヲ收ム
ル爲極メテ肝要ナリ

一三六、著眼第二百三、第二百二ヲ参照ス

1、追撃ノ主眼ハ速ニ敵ヲ捕捉シテ之ヲ殲滅スルニ
在リ

2、軍隊指揮官ノ服膺スヘキ要件、戦勝後ニ於ケル
各部隊一般ノ状態ハ多クハ眼前ノ成功ニ満足シ果
敢ナル追撃ヲ躊躇シ途ニ功ヲ一貫ニ虧クノ弊ニ陷
リ易シ故ニ各級指揮官ハ極メテ鞏固ナル意志ヲ以
テ追撃ヲ斷行スルヲ要ス

一三七、著眼第二百三、第二百五ヲ参照左ノ如ク記述
ス

1、追撃ノ主眼ハ答案第三百三十六ノ一ヲ見

四〇

2、工兵ノ動作、工兵ハ速ニ進路上ノ障碍ヲ排除シ
テ追撃中ノ各部隊特ニ砲兵ノ前進ヲ容易ナラシム
ルヲ要ス之カ爲工兵ノ指揮官ハ地形ヲ判断シ敵ノ
退路上ニ於テ其障碍ヲ設備スヘキ地點及其方法ヲ
考慮シ所要ノ器材ヲ準備シ且ツナルヘク速ニ將校
ヲ先遣シテ偵察ヲ爲サシムヘシ

一三八、著眼第二百三及第二百五ヲ引用シ左ノ如ク記
述ス

1、追撃ノ主眼 答案第三百三十六ノ一ヲ見ヨ
2、騎兵ハ其特性ヲ發揮シテ迅速果敢ナル追撃ヲ決
行シテ敵ノ側背若ハ間隙ニ向ヒ行動シテ其退路
ヲ遮斷スルヲ要ス

一三九、著眼第二百三第二百七ヲ参照左ノ如ク記述ス

1、追撃ノ主眼答案第三百三十六ノ一ヲ見ヨ
2、部署 師團長ハ比較的集結シ且進出ニ便ナル部
隊ヲ以テ速ニ追撃隊ヲ編成シテ追撃ニ任セシメ既
ニ追撃中ニ在ル各部隊ヲシテ秩序ヲ整ヘ更ニ前進
スルノ準備ヲ爲サシメ機ヲ失セス縱隊ヲ區分シテ
追撃ヲ決行スルヲ要ス状況ニ依リ師團長ハ追撃中
ノ第一線部隊ニ追撃地域ヲ指定シ且所要ニ應シ軍

區分ヲ變更シ敵ヲ急追セシムルヲ可トスルコトア
リ何レノ場合ニ於テモ敵ヲ包圍シ或ハ其退路ヲ遮
斷スル如ク有力ナル一部隊特ニ砲兵ト機關銃トヲ
有スル騎兵、輕裝セル歩、工兵等ヲ使用スルニ勉
メサルヘカラス此際所在ノ交通機關ヲ利用スルノ
著意ヲ肝要トス

追撃隊ニハ特ニ多クノ砲兵ヲ配屬スルヲ有利トシ
且十分ナル彈藥ヲ携行セシムルコト緊要トス

一四〇、著眼第二百三ヨリ左ノ如ク摘記ス

1、追撃ノ主眼 答案第三百三十六ノ一ヲ見ヨ
2、主眼達成ノ爲採ルヘキ手段

敵兵退却ノ虞アル時ハ諸種ノ手段ヲ盡シテ敵情ヲ
搜索シ以テ敵ヲ逸セサルヲ要ス之カ爲航空部隊ハ
特ニ敵線内部ノ状況ヲ搜索シ速ニ敵ノ企圖ヲ看破
シ前線ニアル各級指揮官ハ益々敵ト接觸ヲ密ニシ
之ヲ捕捉スルノ用意ヲ嚴ニシ縱ヒ戦況一時交綏シ
アル場合ニ於テモ斷乎トシテ攻撃ヲ遂行スルヲ要
ス

一四一、著眼本問題ハ第二百六第二百五ヲ参照ス

1、追撃目標ノ選定、追撃目標ハ敵軍退却ノ動機及

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

其状態、退却開始ノ時機我カ補給能力、友軍トノ
關係並地形特ニ交通網ノ状態等ヲ判断シ容易ニ敵
ヲ捕捉シ得ル場合ノ外勉メテ遠キ地點ニ之ヲ選定
スルモノトス

一四二、著眼第二百五第二百十八第二百十九ヲ参照シ
左ノ如ク記述ス

1、追撃 砲兵ハ退却スル敵ノ主ナル部分特ニ其關
集シテ通過スヘキ隘路、橋梁等退路上ニ於ケル要
點ニ火力ヲ集中シテ其退却ヲ遮斷シ若ハ尙頑強ニ
抵抗スル敵ヲ壓倒スル如ク之ヲ猛射シ以テ之ヲ混
亂ニ陥ラシムヘシ此際航空兵ノ機宜ニ適スル協力
ハ砲兵ノ射撃ヲシテ著シク有效ナラシムルモノト
ス而シテ砲兵ハ歩兵ノ前進ニ伴ヒ危險ヲ顧ミルコ
トナク逐次陣地ヲ變換シ緊密ニ歩兵ニ協力スルヲ
要ス此場合ニハ勉メテ多クノ砲兵ヲ第一線歩兵ノ
指揮官ニ配屬スルヲ有利トス

2、退却、砲兵ノ主力ハ收容隊既ニ其陣地ニ就キ第

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

一線ヲ收容シ得ルニ至レハ適時退却ニ就ク然レトモ敵ノ壓迫急ナルカ或ハ輕舉暴進シ來ル場合ニ於テハ之ニ反撃ヲ加ヘ敵トノ離脱ヲ容易ナラシムルヲ要スルコトアリ

又敵ノ攻撃ヲ受クル場合ニ於テハ砲兵ハ損害ヲ顧ミルコトナク我歩兵ニ最モ危害ヲ與フル敵ヲ射撃スルヲ要ス特ニ我カ歩兵、敵ニ擊退セラレタル時ニ於ケル砲兵ノ犧牲的行動ハ其效果顯著ナルモノトス

高射砲隊ハ退却スル部隊ニ先行シ主トシテ橋梁隘路等退路上ノ要點ノ近傍ニ於テ友軍ヲ掩護スルヲ要ス

一四三、著眼第二百十ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

彈藥補充ノ適否ハ追撃能力ニ大ナル影響ヲ與フルモノナリ從テ師團長ハ輻重ヲ適切ニ運用シテ補給ノ圓滑ヲ圖ルヲ以テ輻重ハ全力ヲ盡シテ需要ヲ充足シ第一線部隊ヲシテ彈藥ノ不足ナカラシメ追撃ノ成果ヲ完フセシムルニ遺憾ナカラシムヘシ

又追撃數日ニ亘ル時ニ於テハ彈藥ノミナラス糧秣ノ補給ニ就テモ右ト同様ナリ要スルニ輻重ハ右補給ニ

ト運動性トヲ利用シテ之ヲ急襲的ニ使用スルヲ要ス此際迅速ニ收メ得タル效果ヲ利用スルト共ニ之ヲ孤立ニ陥ラシメサルノ著意肝要ナリ

一四五、著眼第二百三十四第二百三十五第二百三十八第二百四十一第二百四十二第二百四十四第二百四十五ヲ參照ス

1、騎兵ニ配屬セラレタル歩兵ハ成ル可ク之ヲ集結シテ大ナル火力及突撃力ヲ必要トスル方面ニ使用スルヲ可トス而シテ之カ使用ニ於リテハ地形ニ制限セララルコト少ナク隱蔽シテ行動シ得且手馬ノ煩累ヲ有セサル特性ヲ利用スルコトニ著意ス

2、自動車ニテ輸送スル歩兵部隊アルトキハ時トシテ要點占領ノ爲之ヲ先遣スルコトアリ

3、攻撃ニ在リテハ騎兵ヲシテ機動力ヲ利用シ敵ノ側背ニ向ヒ攻撃セシムル爲歩兵ヲ基幹トスル部隊ヲ以テ正面ヨリ敵ヲ攻撃セシムルコト多シ

4、防禦ニアリテハ歩兵ハ陣地ノ重要部ニ使用シ又ハ狀況特ニ地形ニ依リ歩兵ヲ總豫備隊ト爲シ攻勢移轉ニ使用スルコトアリ

5、追撃ニ在リテハ歩兵ヲ基幹トスル部隊ヲシテ正

四二

關シ第一線部隊ヲシテ不自由ナカラシムル爲全能力ヲ發揮スルノ覺悟ヲ必要トス

一四四、著眼第二百三十四ヲ引用ス

1、騎兵ニ配屬セラレタル歩兵ハ成ルヘク之ヲ集結シテ大ナル火力及突撃力ヲ必要トスル方面ニ使用スルヲ可トス而シテ之カ使用ニ方リテハ地形ニ制限セララルコト少ク隱蔽シテ行動シ得且手馬ノ煩累ヲ有セサル特性ヲ利用スルコトニ注意スヘシ

2、騎兵ニ配屬セラレタル砲兵ハ騎砲兵ト合シ統一シテ使用スルヲ本則トスルモ一部ヲ分割シテ使用スルヲ有利トスルコトアリ而シテ之カ使用ニ方リテハ射撃ノ爲準備時間ノ十分ナラサルト通信連絡ノ完全ヲ期シ難キ場合多キトニ注意スルコト肝要ナリ

騎兵ニ飛行機ヲ配屬セラレタルトキハ騎兵ノ行動上通信連絡ノ困難ナルニ鑑ミ騎兵ノ企圖、飛行機ノ達成スヘキ目的、其行動ノ準備トナルヘキ要綱及連絡地點等ヲ明示シテ其行動ヲ適切ナラシムルヲ要ス

騎兵ニ裝甲自動車ヲ配屬セラレタルトキハ其火力

面ヨリ急迫セシム

一四六、著眼第四百四十五ヲ見ヨ

一四七、著眼第三百十三第三百十六ヲ參照ス

1、速ニ我岸ニアル敵ヲ驅逐シ廣正面ニ亘リ小部隊ヲ以テ河岸ヲ占領シ敵ノ搜索ヲ妨害シ且我行動ヲ掩護セシム

2、夜間ニ於ケル行動、軍隊ノ遠蔽

3、敵ノ空中搜索及諜報手段ノ妨害

4、地方住民秘密漏洩ノ防止

5、眞渡河ト誤認セシムルニ適スル地點ニ於ケル陽

渡河ノ實施

6、渡河材料ノ開進動作ノ秘密

7、渡河部隊ノ秘密動作等

一四八、著眼第三百十八ヲ引用左ノ如ク記述ス

師團長ハ工兵ノ主力並渡河材料ヲ以テ渡河作業隊ヲ編成シ各部隊ノ渡河ニ任セシムルヲ通常トスルモ各渡河點ニ於ケル渡河ノ目的、渡河部隊ノ兵力並渡河準備及實施ノ難易等ヲ考慮シ第一線部隊ノ指揮官ニ必要ナル工兵及渡河材料ヲ配屬スルヲ有利トスルコトアリ

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

◇ 戰 闘 綱 要 ◇

師團長渡河作業隊ヲ編成シテ渡河ヲ實施スル場合ニ於テハ第一線部隊ノ渡河情況ニ依リ所要ノ作業隊ヲシテ渡河部隊ノ指揮官ノ指揮ヲ受ケシムルヲ可トス

一四九、1、前進陣地占領ノ目的 答案第百二十九ノ2ヲ見ヨ

2、陽渡河ノ地點選定及實施上ノ著眼第三百十六ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

成ルヘク眞渡河ト誤認セシメ得ル地點ニ選定シ且其諸動作モ眞渡河點ニ於ケルモノト判別スルコト能ハサル如ク實施スルヲ可トス

3、第五十五ヲ参照ス

連絡ヲ完全ナラシムルノ基礎ハ進ンテ連絡セントスル精神ト連絡ニ關スル適切ナル部署トニ存ス

一五〇、著眼第八十一ヲ参照シ左ノ如ク圖示ス

戰闘部隊ノ後方ニ續行セシムル場合



陣中要務令

陣中要務令問題

一、左ノ事項ヲ簡單ニ説明セヨ(七年9各兵)

- 1 日々命令
 - 2 強行軍
 - 3 前哨區
 - 4 隊編帶所
 - 5 運送船監督將校
- 二、命令、通報、報告、秘密保持上注意スヘキ事項ヲ列記セヨ(七年1各兵、七年3各兵)
- 三、左記要圖ト報告文トヲ比較對照シ記述上誤アラハ訂正スヘシ(七年2步)

○報告文

前衛司令官殿

某軍曹

報告(一月一日午前九時松村ニ於テ)

◇陣中要務令◇



一、敵ハ目下竹村ニ步兵約二中队高地ニ約一中隊展開中ナリ

二、約二大隊ノ敵ハ午前八時三十分其先頭ヲ以テ梅野東端通過東進中ナリシモ其後ノ情況不明ナリ

三、杉山、松村道上ニハ敵部隊ヲ見ス

四、桐川ハ桃谷橋ヨリ上流ハ其左岸ノ斷崖險

◇陣中要務令◇

峻ニシテ單獨兵ト雖徒涉困難ナリ

四、左ノ事項ヲ問フ(七年16各兵)

- 1 傳令ニ示スヘキ件(八年0各兵)
- 2 報告ノ時機

五、戰鬪要報ノ目的及提出スヘキ時機ヲ問フ(七年臺歩)

六、戰鬪要報、戰鬪詳報、陣中日誌、留守日誌作製ノ目的及之ヲ作製スヘキ騎兵部隊ヲ問フ(七年6騎)

七、戰況ヲ假想シ步兵中隊ノ戰鬪要報ノ一例ヲ作爲スヘシ

但シ假想セル戰況ハ特記スルニ及ハス戰鬪要報中「戰鬪經過ノ概要」中ニ收ムヘシ(七年6步)

八、戰鬪要報ノ目的及之ニ記載スヘキ事項如何

一五、各種搜索ノ特性ヲ簡單ニ説明スヘシ(七年8各兵八年近重砲)

一六、搜索ニ任スル者ノ報告ノ時機及分量等ニ就キ詳述スヘシ(七年2步騎14各兵八年3各兵(騎兵))

一七、斥候ノ休憩ニ際シ注意スヘキ件如何(七年2騎)

一八、諜報材料蒐集ノ手段ヲ問フ(七年2工)

一九、秘密保持ノ爲留意スヘキ事項ヲ述ヘヨ(七年8各兵)

二〇、警戒ノ目的並警戒隊ノ特ニ注意スヘキ要件ヲ述ヘヨ(七年近電)

二一、上空ニ對シ警戒ノ要領ヲ説明スヘシ(七年近各兵八年近氣球)

二二、航空機ニ對スル行軍宿營及戰鬪間ノ警戒ノ要領ヲ述ヘヨ(七年7各兵)

◇陣中要務令◇

(六年16各兵)

九、戰鬪要報ヲ説明スヘシ(七年近電)

一〇、戰鬪要報及戰鬪詳報ノ目的及之ヲ調製並報告上注意スヘキ事項ヲ問フ(六年3師要報八年近師)

一一、戰鬪詳報ノ記載事項ヲ列舉セヨ(七年近飛)

一二、遞傳哨ノ種類、配置、警戒法等ニ就キ述フヘシ(六年3各兵)

一三、左記事項ヲ問フ(七年1各兵)

- 1 傳令ニ示スヘキ事項
- 2 搜索ニ任スル者ノ報告スヘキ場合及報告上注意スヘキ事項
- 3 對空監視哨ノ編成、行動及位置選定ノ要領

一四、傳令ニ示スヘキ要件(七年近工)

二三、對空監視哨ノ編成、配置並ニ位置ノ選定ニ就キ知レル所ヲ記セ(七年2騎)

二四、駐軍間上空ニ對スル警戒法ヲ述ヘヨ(七年11步騎10各兵)

二五、行軍間ニ於ケル警戒一般ノ要領如何(七年3各兵)

二六、行軍並駐軍間ニ於ケル警戒目的及前衛並ニ前哨ノ區分ヲ問フ(六年3各兵)

二七、前衛ノ區分及兵力編組ヲ圖示説明セヨ(七年近航)

二八、前進行ニ於ケル前衛、側衛、後衛ノ兵力及編組決定ノ要旨ヲ述ヘヨ(七年近工)

二九、尖兵ト行軍間ノ斥候トノ行動ノ差異ヲ問フ(七年2步)

三〇、側敵行ノ側衛ノ行動ノ準據ヲ記述シ且主

◇陣中要務令◇

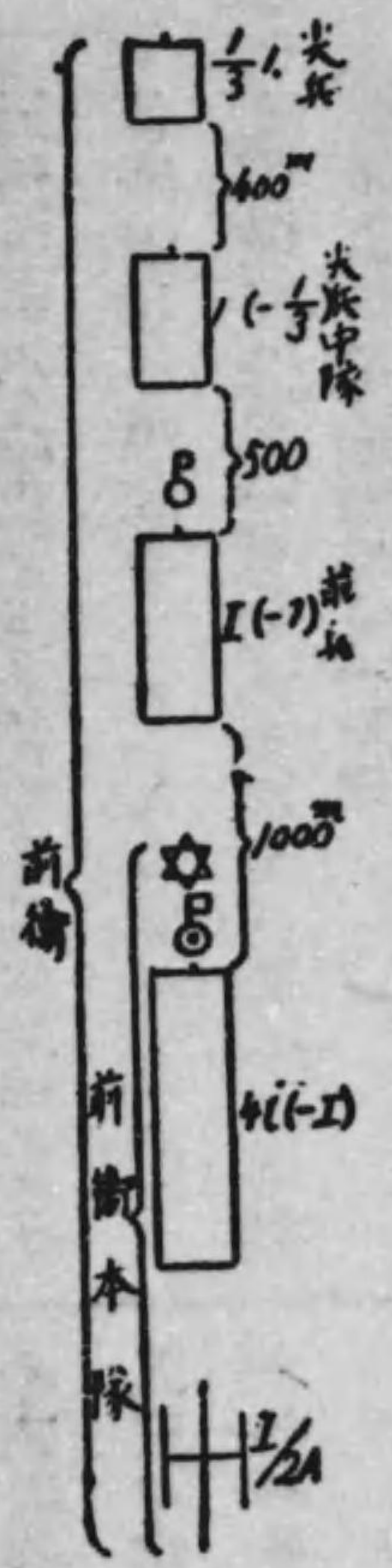
- 力縦隊ト併進スル場合ノ側衛各部ノ名稱ヲ圖示スヘシ(六年3)
- 三一、側敵行ニ於ケル側衛ノ準據タルヘキ行動ノ要領ヲ圖示説明スヘシ(七年9各兵8各兵)
- 三二、左記ノ任務ヲ問フ(七年近畿)
- 1、前哨
 - 2、前哨本隊
 - 3、前哨中隊
 - 4、小哨
 - 5、歩哨
- 三三、前哨配置ノ方法ニ就テ述フヘシ(七年14各兵)
- 三四、狀況ヲ想定シ普通ノ場合ニ於ケル前哨配置ヲ圖示シ前哨各部ノ任務ヲ附記スヘシ(五年3輜)
- 三五、一般ノ前哨ニ於テ敵情ニ應シ配置上如何ナル差異アリヤ圖示シテ説明スヘシ(七年16各兵)

四

- 三六、軍隊敵軍ニ近接シ敵襲ヲ受クルノ危険大ナル場合ヲ假想シ歩兵一大隊ヲ以テスル前哨ノ警戒ノ一例ヲ圖示スヘシ(七年臺步)
- 三七、下士哨ニ關シ左ノ事項ヲ説明スヘシ(六年3各兵)
- 1 配置スル場合
 - 2 警戒法
 - 3 人員
 - 4 複哨トノ利害
- 三八、歩哨ノ特別守則トシテ示スヘキ事項及其順序ヲ問フ(七年2工)
- 三九、高等司令部等ノ掩護隊ノ掩護要領ヲ述フヘシ(七年2步)
- 四〇、強行軍ト急行軍トノ差異ヲ比較説明スヘシ(六年3各兵)
- 四一、夜行軍ヲ行フ場合及之カ實施ニ方リ軍隊指揮官トシテ注意スヘキ事項ヲ記述スヘシ

(七年3各兵11各兵)

- 四二、夜行軍ニ就キ説明スヘシ(七年6步)
- 四三、行軍力保持増進ノ爲行軍間ニ於ケル中隊長及之ニ準スル者ノ責任ヲ述ヘヨ(七年2輜)
- 四四、行軍力保持増進上ノ方法ヲ問フ(五年22輜・七年2砲3各兵八年近砲、重砲0各兵)
- 四五、敵ト遭遇ヲ豫期シ第二師團ノ前衛ハ左圖ノ如キ行軍部署ヲ以テ前進中ナリ前衛ニ屬スル砲兵大隊ノ觀測班及中隊觀測小隊竝ニ大隊段列ハ通常何レノ位置ニ在リテ前進スルヤ圖示シ所要ノ説明ヲナスヘシ(七年2砲)



◇陣中要務令◇

- 四六、遭遇ヲ豫期シ一縱隊ヲ以テ前進スル師團ノ行軍部署ヲ圖示シ之ニ基ク軍隊區分ヲ記述セヨ(七年1各兵)
- 四七、戰鬥ヲ豫期シ晝間一縱隊トナリテ前進スル混成旅團ノ行軍序列ヲ圖示シ所要ノ説明ヲ附スヘシ(六年3各兵)
- 混成旅團ノ兵力編組左ノ如シ
- 歩兵一旅團
 - 騎兵一中隊
 - 野砲兵一大隊
 - 野砲兵聯隊段列一小隊
 - 野戰重砲兵一大隊
 - 同聯隊段列半部
 - 高射砲一隊
 - 工兵一中隊

◇陣中要務令◇

通信隊一小隊

偵察飛行一中隊

衛生隊三分の一

旅團輜重(歩砲彈藥各一中隊
糧秣中隊(野戰病院二個))

四八、左記事項ヲ問フ(六年一各兵)

1 行軍ノ爲出發時刻選定ノ要旨

2 宿營法ノ種類及適用スヘキ場合

四九、行軍ノ爲軍隊ノ集合法ノ種類ヲ述ヘ各利

害用途及注意スヘキ事項ヲ簡單ニ説明スヘシ

(七年一各兵)

五〇、行軍間ノ對空處置及舍營間瓦斯警報アリ

タル時ノ處置ヲ問フ(七年一各兵)

五一、炎熱地ニ於ケル行軍ニ際シ注意スヘキ事

項ヲ問フ(七年一各兵)

五二、盛夏時並に寒地ノ行軍實施上ノ注意事項

ヲ述ヘヨ(七年近各兵・20各兵)

五三、宿營法ニ就キ左記事項ヲ説明スヘシ(六年16各兵八年3各兵(騎欠))

1 宿營法ノ種類

2 各種宿營法ノ利害及之ヲ用フル場合

五四、宿營ノ種類ヲ舉ケ且之ヲ實施スル場合ヲ

述ヘヨ(六年3各兵)

五五、左ノ混成部隊一舍營區ニ舍營スル場合ニ

於ケル勤務員並各其任務ヲ記述スヘシ

歩兵一大隊、騎兵一小隊、野砲兵一中隊、工

兵一小隊(七年7各兵)

五六、舍營ニ於ケル勤務員ノ系統ヲ表示スヘシ

(六年3各兵)

五七、舍營ニ於ケル勤務員ノ系統及其任務ヲ述

ヘヨ(七年3各兵)

11山)

六三、舍營間非常警報アリタルトキ各兵ノ動作

ヲ述ヘヨ(七年9步)

六四、舍營間瓦斯警報アリタルトキノ處置ヲ問

フ(七年一各兵)

六五、露營地選定ノ要旨ヲ述ヘヨ(七年近各兵)

戰術上並に休養上ニ於ケル露營地選定ノ要旨ヲ

説明スヘシ(七年3各兵八年2砲工)

(注意)右兩題ハ字句ヲ異ニセルモ同一意義

ナリ

六六、村落露營ニ於ケル勤務員及勤務部隊ヲ圖

示シ其任務ヲ附記スヘシ(七年6步)

六七、各種通信法ノ特性ヲ述ヘヨ(六年3各兵・

七年2砲・9各兵・20各兵)

六八、通信機關ヲ列舉シ其任務ヲ述ヘヨ(六年

五八、舍營日直將校、部隊日直將校、下士官ノ

任務ヲ問フ(七年2輔)

五九、舍營地ニ於ケル防空ノ處置ヲ説述スヘシ

(七年8各兵)

六〇、警急舍營ノ要領ヲ述ヘヨ(七年2騎)

六一、舍營ニ於ケル警報ヲ説明シ之ニ應スル歩

兵(騎兵・砲兵・工兵・輜重兵)ノ行動ヲ述フヘ

シ(七年8各兵)

(注意)本問題ハ警報ニ應スル動作ハ當該兵

科ニ關スル動作ニ就キテ答フヘク出題セラ

レタルモノナルモ各兵科ノ分ヲ併合シテ一

問題中ニ記セルモノナリ

六二、舍營ニ於ケル警報ノ種類ヲ列舉シ且各種

警報ニ際シ步兵(騎兵・砲兵・工兵・輜重兵)ノ

爲スヘキ行動ヲ述ヘヨ(五年3各兵・七年2各兵

◇陣中要務令◇

◇陣中要務令◇

1 各兵)

六九、戰地ニ於ケル人馬ノ給養方法ヲ問フ(七年近鐵)

七〇、戰地ニ於ケル人馬ノ給養法ノ種類ヲ舉ケ且之ニ依ルヘキ各場合ヲ述フヘシ(七年11騎)

七一、戰地ニ於ケル人馬給養法ノ種類竝大行李輜重ニ積載スル一日分ノ定規糧秣ノ數量如何(七年6輜)

七二、戰地ニ於ケル給養ノ種類ヲ列舉シ又携帶糧秣使用上注意スヘキ件ヲ述フヘシ(七年14各兵)

七三、左ノ事項ヲ問フ(六年7各兵)

1 軍隊ノ携行スル糧秣ニ依リ給養スル場合完全定量ニ對スル不足分ヲ充足スル爲各級指揮官ノ處置

八一、鐵道ノ修理及保護ニ就テ説明スヘシ(七年6工)

八二、輸送船中ニ於テ一般ニ服膺スヘキ諸件ヲ述ヘヨ(七年11工)

八三、飛行機ト地上部隊トノ通信連絡法ヲ述ヘヨ(五年3輜)

八四、通信筒投下ニ對スル地上部隊ノ動作ヲ述ヘヨ(七年16各兵)

八五、橋梁哨ノ任務竝ニ勤務ノ區分ヲ述ヘヨ(七年2工)

八六、各種通信法ノ種類及利害ヲ問フ(七年騎八年10砲)

八七、地上部隊ト航空部隊トノ相互間ノ通信法ノ種類ヲ問フ(七年)

八八、空地連絡ノ種類及其要領ヲ概説スヘシ

◇陣中要務令◇

八

2 兵站ノ任務及主要ナル業務

七四、携帶糧秣ノ使用、携帶法及定量ニ就テ述ヘヨ(七年9各兵八年0各兵)

七五、携帶糧秣ノ種類竝之カ使用法如何(七年臺步)

七六、彈藥補充ノ系統ヲ圖示スヘシ(七年8各兵)

七七、部隊ノ携行スル糧秣ノ用途及補充ニ就テ説明スヘシ(七年近鐵騎八年5輜)

七八、歩兵彈藥ハ内地ヨリ第一線迄如何ナル順序ヲ經テ補給セラルルヤ圖示スヘシ(七年6步)

七九、兵站地ニ就テ知レル所ヲ記セ(七年2輜)

八〇、鐵道輸送ニ於ケル兵員ノ給養ヲ説明スヘシ(五年3輜)

(七年20騎)

八九、布板及標示幕ノ用途及布置スルニ方リ注意スヘキ件ヲ問フ(七年14步)

九〇、對空通信法及使用器械(七年1步騎)

九一、戰地ニ於ケル人馬給養ノ種類ヲ舉ケ簡單ニ説明ヲ附スヘシ(八年1步)

九二、夜間行軍ノ利害ヲ述ヘ將來戰ニ對スル之カ趨勢ヲ述ヘヨ(八年10步)

九三、步哨配置ノ要領ヲ記セ(八年10步)

九四、命令ノ作爲ニ方リ著意スヘキ主ナル要件ヲ記述スヘシ(八年5工)

九五、駐軍間ニ於ケル對空監視哨ノ位置竝其守則ヲ述ヘヨ(八年5輜)

九六、行軍能力保持増進ノ爲ノ幹部ノ著意ヲ問フ(八年5工2工)

九

◇陣中要務令◇

- 九七、前哨ニ配屬セラレタル工兵ノ任務ヲ述フ
ヘシ(八年五工)
- 九八、搜索ノ目的及搜索スヘキ事項ヲ記シ各種
搜索機關ノ特性ヲ述ヘヨ(八年五砲)
- 九九、戰備行軍ニ於ケル行軍序列決定ノ要旨及
野戰砲兵ノ行軍序列ニ就キ説明スヘシ(八年
五砲)
- 一〇〇、舍營ニ於ケル勤務員ヲ列舉シ其ノ任務
ヲ記セ(八年五砲)
- 一〇一、搜索隊ニ就キ説明スヘシ(八年五騎)
- 一〇二、情報獲得ノ各種手段ヲ列舉シ簡單ニ説
明ヲ附記スヘシ(八年五騎)
- 一〇三、各種通信法ノ特性ヲ問フ(八年五歩10工
砲)
- 一〇四、前哨ノ区分ヲ圖示シテ其ノ任務ヲ説明

一〇

- スヘシ(八年五騎歩)
 - 一〇五、各種搜索機關ノ特性ヲ説明スヘシ(八
年五歩騎砲輜)
 - 一〇六、戰鬪搜索ト近距離搜索トノ区分ヲ説明
シ且其搜索スヘキ事項ヲ述ヘヨ(八年五各兵)
 - 一〇七、A 斥候ノ報告中誤謬若シクハ適當ナラ
サル點ヲ指摘スヘシ(附圖第一圖参照)
- 注意
- 答解ハ別紙報告文中ニ訂正セルモノヲ各行ノ
右側ニ記入スヘシ(八年五各兵)
- ・ A 斥候報告(第二號)二十日午前十時
於大森西側林端
 - A 旅團長 B 少將閣下 A 少尉
- 一、敵陣地ノ右翼ハ河本ニシテ同地ニハ約半小
隊ノ敵兵アリ

二、山口東端附近ニハ正面約四百米ノ工事アリ
其前面ニハ鐵條網ヲシキモノアルモ確實ナ
ラス

ラス

三、田村ニハ敵兵目下工事中ナルモ詳細明ナラ
ス

四、180 高地上ニハ砲兵觀測所アリ又其西北方

三三二——五一三附近ニハ乘馬者ノ往來多キ
ヨリ判斷スルニ砲兵陣地アルモノノ如シ

五、太田川ハ諸所徒涉場アリ、又河本西方太田
川右岸ノ水田ハ深田ニシテ通過不可能ナルモ
ノノ如シ

六、斥候ハ尙現在地附近ニアリテ搜索ヲ續行セ
ントス

一〇八、近ク敵ト遭遇ヲ豫期シ一縱隊ヲ以テ前

◇陣中要務令◇

一一

- 進中ナル混成旅團(BKAPS)ノ行軍ノ状態
ヲ圖示説明スヘシ
- 注意
- 前衛ノ各部ノ部署及本隊ノ行軍序列ヲ明ナラ
シムヘシ(八年五各兵)
- 一〇九、命令ノ作爲、下達及傳達上祕密保持ノ
タメ採ルヘキ手段竝注意ヲ列記スヘシ(八年
五各兵)
 - 一一〇、陣中ニ於ケル軍隊炊事ノ方法、利害、
用途、注意ニ就キ述フヘシ(八年三騎)
 - 一一一、鐵道輸送ニ於テ列車運行中ノ心得ヲ述
フヘシ(八年〇各兵)
 - 一一二、舍營ニ於ケル部隊日直將校下土ノ任
務、動作ヲ説明スヘシ

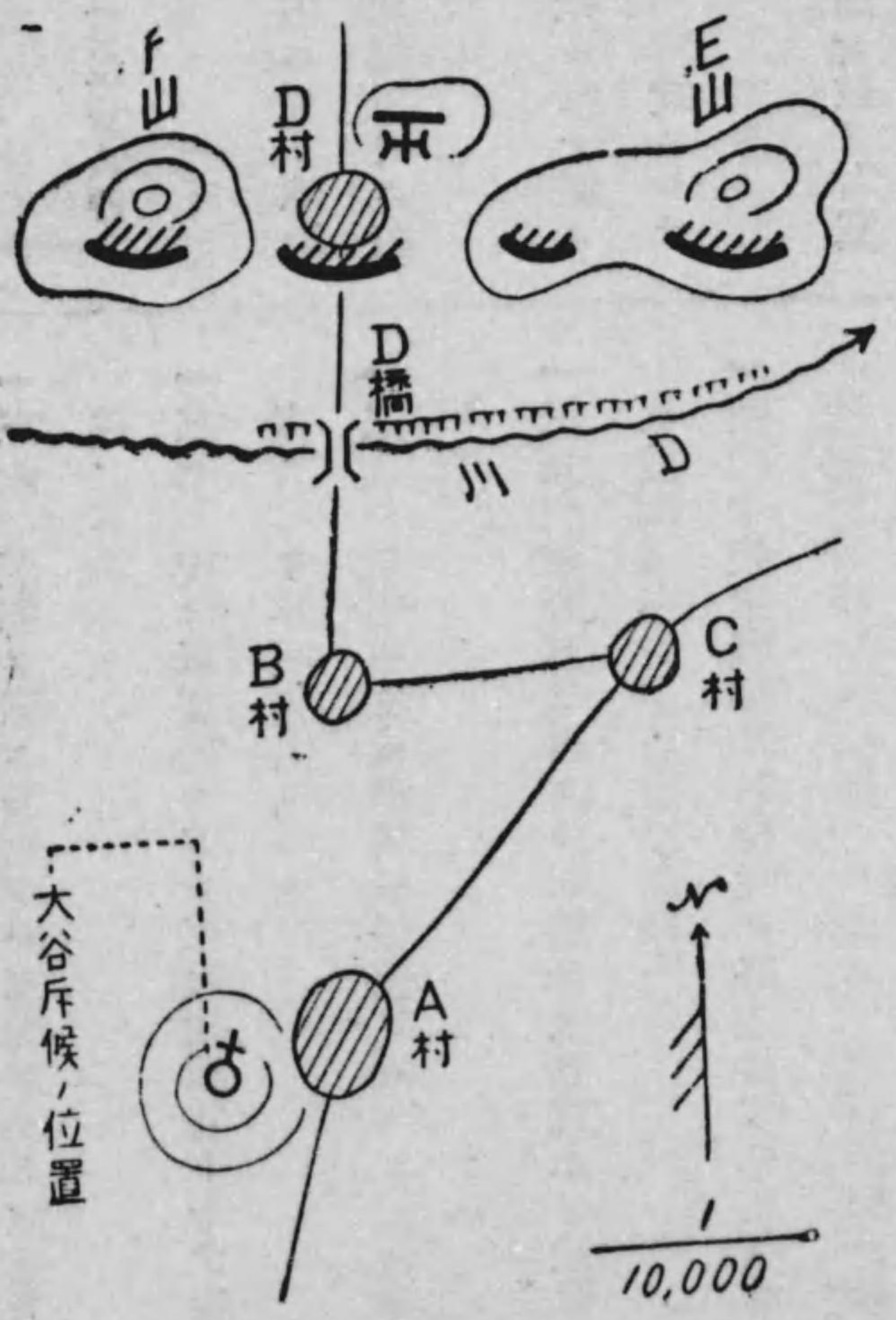
◇陣中要務令◇

- 一一三、戦闘要報戦闘詳報ノ目的作製スヘキ部隊及提出上ノ注意ヲ問フ(八年〇各兵)
- 一一四、搜索隊ノ任務及一搜索隊ノ兵力ニ就キ説明セヨ(八年三騎)
- 一一五、搜索ニ任スル者ノ報告上注意スヘキ事項ヲ述ヘヨ(八年三各兵(騎ヲ除ク))
- 一一六、對空警戒一般ノ要領ヲ説明セヨ(八年三各兵(騎ヲ除ク))
- 一一七、陣中日誌及留守日誌ノ目的、作製スヘキ騎兵部隊竝期間ヲ問フ(八年三騎)
- 一一八、舍營ニ於ケル舍營衛兵ノ任務及兵力、配置、服務ニ就キ説明スヘシ(八年三騎)
- 一一九、戦闘要報及戦闘詳報ノ目的竝之ヲ提出スヘキ時期、部隊ヲ問フ(八年〇各兵)
- 一二〇、命令ハ如何ナル方法手段ニ依リ下達セ

- ラルルヤ(八年10輜)
- 一二一、對空監視哨ノ特別守則ニハ如何ナル事項ヲ示スヤ(八年10輜)
- 一二二、橋梁哨勤務ノ要領ヲ圖示シ勤務員及任務ヲ説明セヨ(八年10工)
- 一二三、報告ノ時機内容ニ就キ説明スヘシ(八年10工)
- 一二四、左ノ諸項ヲ説明スヘシ(八年10輜)
 - 1、病馬收容所
 - 2、兵站主地
- 一二五、携帶口糧ハ如何ナル場合使用シ且其補充ハ如何ニシテ行フヤヲ説明スヘシ(八年10輜)
- 一二六、戰備行軍ニ於ケル砲兵ノ行軍位置ニ就キ述ヘヨ(八年10野砲)

- 一二七、騎兵集(旅)團ヲ以テスル搜索ノ方法ヲ問フ(八年10砲)
- 一二八、戦闘要報竝戦闘詳報ノ目的ヲ述ヘヨ(八年10野砲)
- 一二九、各種搜索機關ノ利害用途ヲ問フ(八年14各兵)
- 一三〇、露營ニ於ケル各勤務員ノ系統ヲ圖示スヘシ(八年14各兵)
- 一三一、鐵道輸送ニ於ケル輸送指揮官ノ業務ヲ説明スヘシ(八年14各兵)
- 一三二、戦闘要報、戦闘詳報、陣中日誌ニ就キ左ノ事項ヲ答ヘヨ
 - 提出ノ目的、提出ノ時機、提

◇陣中要務令◇



- 出スル部隊(八年14各兵)
- 一三三、左ノ報告文ヲ要圖ト對照シ誤ヲ訂正スヘシ

◇陣中要務令◇

大谷軍曹

前衛司令官殿

十一月十五日午前八時

報告

- 一、敵ハF山ヨリD村ヲ經テF山ニ亙リ陣地ヲ占領シアリ其砲兵ハD村西北側高地ニ在ルモノノ如シ
- 二、D川ハD橋ヨリ下流ハ水深概ネ五十糎ニシテ徒渉シ得ルモ右岸ノ斷崖ハ險峻ニシテ通過シ得ス
- 三、斥候ハ今ヨリC村方向ニ前進シ敵ノ右翼ヲ搜索セントス A村東北側高地ニ於テ
- 一三四、對空監視哨ノ編成配置並位置選定ニ就キ記述スヘシ(八年2工)
- 一三五、小哨ノ任務及兵力ニ就キ説明スヘシ

一四

(八年2工)

- 一三六、沍寒ノ際ニ於ケル行軍實施上ノ注意ヲ述フヘシ
- 一三七、夜行軍實施ニ方リ軍隊指揮官トシテ注意スヘキ事項ヲ記述スヘシ
- 一三八、前哨中隊及小哨ノ任務ヲ述ヘヨ(八年2歩)
- 一三九、夜行軍ヲ行フヘキ場合及實施上ノ注意ヲ説明スヘシ(八年20歩騎砲工)
- 一四〇、搜索機關竝其特性ヲ略述スヘシ(八年20歩騎砲工)
- 一四一、舍營間ニ於ケル警報ノ種類及之ヲ命スヘキ責任者ヲ述ヘ且各種警報ニ際シ採ルヘキ處置ヲ略述セヨ(八年20歩騎砲工)
- 一四二、行軍力保持増進ノ爲行軍間幹部ノ注意

スヘキ事項ヲ問フ(八年2工)

- 一四三、沍寒時ニ於ケル行軍ニ於テ凍死凍傷豫防ニ就キ述フヘシ(八年2騎砲)
- 一四四、舍營ニ方リ住民敵意ヲ有スル時ニ於ケル警戒法ニ就キ記述スヘシ(八年2砲)
- 一四五、對空監視哨ニ就キ左ノ件ヲ答解セヨ(八年2砲)
- 1、之ヲ設クル部隊、2、人員
- 3、位置
- 4、一般守則
- 一四六、遞傳哨ノ人員及相互間ノ距離並位置選定上ノ注意ニ就キ述フヘシ(八年2騎)
- 一四七、近距離搜索及戰鬥搜索ニ於ケル搜索事項ヲ列擧スヘシ(八年2騎)
- 一四八、高等司令部掩護隊ノ掩護要領ヲ述フヘシ(八年2騎)

◇陣中要務令◇

一五

- 一四九、軍隊行進交叉ヲ爲スノ已ムナキ場合ノ前進法ニ就キ説明スヘシ(八年2輜)
- 一五〇、行軍力ヲ保持増進シ且之ヲ増進スル爲最モ有效ナル方法ヲ述ヘヨ(八年2輜)
- 一五一、大行李ニ積載スル糧秣、携帶糧秣及輜重ノ有スル糧秣ノ特性ヲ使用ノ見地ヨリ簡單ニ比較説述スヘシ(八年2輜)
- 一五二、傳令ニ示スヘキ事項ヲ記スヘシ(八年16)
- 一五三、左ノ事項ニ就キ知ル處ヲ記セ(八年10騎)
- 1、兵站基地
- 2、隊糺帶所
- 3、軍隊區分
- 一五四、各種通信法ノ特性並用途ヲ説明スヘシ(八年11歩砲工輜)

◇陣中要務令◇

- 一五五、行軍力ヲ保持増進スル爲中隊長以下幹部ノ著意スヘキ要件ヲ問フ(八年11歩砲工輜)
- 一五六、行軍力ヲ保持増進スル爲著意スヘキ件ヲ舉ケヨ(八年7各兵)
- 一五七、文書ヲ記述スルニ方リ受信者ニ理解ヲ容易ナラシムル爲著意スヘキ件ヲ列舉スヘシ(八年7各兵)
- 一五八、敵ノ遠近ニ依ル前哨配備ノ差異ヲ圖示説明スヘシ(八年7各兵)
- 一五九、歩兵一ヶ聯隊砲兵一大隊工兵一大隊ヨリナル前衛ノ内部區分各區分ノ兵力距離等ヲ一例ヲ以テ圖示スヘシ(八年16歩)
- 一六〇、戦闘要報ノ必要ナル所以ト之ニ記述スヘキ事項ヲ舉ケヨ(八年近工)
- 一六一、作戰命令ハ概ネ如何ナル列次ニ從ヒ記

一六

- 述スヘキモノナリヤヲ説明スヘシ(八年近重砲9各兵)
- 六二、左記事項ニ就キ説明スヘキ(八年0工)
 - 1、橋梁衛兵
 - 2、輸送指揮官ノ任務
- 一六三、師團騎兵ノ搜索要領ヲ述ヘヨ(八年近騎)
- 一六四、騎兵ノ前哨カ一般前哨ノ要領ト差異アル點ヲ圖示スヘシ(八年近騎)
- 一六五、住民敵意ヲ有スル場合ニ於ケル舍營ニ際シ警備上如何ニ注意スヘキヤヲ説明スヘシ(八年9各兵)
- 住民敵意ヲ有スルトキノ舍營要領ヲ問フ(八年近重砲)
- 一六六、各種搜索機關ノ特性ヲ述ヘヨ(八年近歩)

- 一六七、對空監視哨ヲ置クヘキ場合及其位置選定上着意スヘキ事項ヲ問フ(八年近歩)
- 一六八、舍營ニ於ケル勤務員ノ隸屬關係ヲ圖示シ且巡察將校ノ任務ヲ附記スヘシ(八年近騎)
- 一六九、夜間行軍ノ利害ヲ述ヘヨ(八年近重砲)
- 一七〇、道標ヲ設置スル場合及其設置要領ヲ記述スヘシ(八年近工)
- 一七一、各種宿營法ヲ舉ケ其利害竝之ヲ用フル場合ヲ問フ(八年近鐵)
- 宿營ノ種類ヲ舉ケ且之ヲ實施スル場合ヲ述ヘヨ(八年近鐵)
- 一七二、定規ノ通信紙ヲ使用セサル場合ノ命令、通報、報告記載ノ様式ヲ問フ(八年近鐵)
- 一七三、上空ニ對スル警戒ニ就テ説明スヘシ(八年近電)

◇陣中要務令◇

一七

- 一七四、行軍ノ種類及之ヲ實施スヘキ場合ニ就キ説明スヘシ(八年近電)
- 一七五、駐軍間ニ於ケル對空監視哨ノ位置選定上ノ著意竝一般守則及特別守則ニ示スヘキ事項ヲ記セ(八年近電)
- 一七六、各部隊ニ舍營地區ヲ配當スルニ際シ特ニ注意スヘキ事項ヲ列舉スヘシ(八年近飛)
- 一七七、夜行軍ノ利害及實施スヘキ場合竝之カ部署ニ關シ説明スヘシ(八年近鐵)
- 一七八、對空監視哨ノ編成、一般守則竝位置選定ノ要領ヲ述ヘヨ(八年近輜)
- 一七九、行軍實施ニ方リ上空ニ對スル顧慮上爲スヘキ處置ヲ列舉セヨ(八年9各兵)

陣中要務令答案

一、著眼1ハ第二十、2ハ第二百五十六、3ハ第七十六、4ハ第八十、5ハ第四百六十七、6ハ第五百七十ノ集成問題ナリ以上ノ各中ヨリ左ノ如ク記述ス

1 日々命令

日々命令ハ軍隊ノ内務、人事、人馬ノ補充、戰場掃除、俘虜ノ取扱、雜役勤務等ノ内直接作戦ニ關係セサル事項ヲ規定スルモノニシテ團隊等ノ稱號ヲ冠ス(某師團日々命令、某旅團日々命令、某支隊日々命令等)

2 強行軍

(イ)強行軍トハ旅次行軍ト戰備行軍トヲ問ハス情況ニ依リ日々ノ行程ヲ増大シテ行軍スルモノヲ謂フ

(ロ)強行軍ノ實施要領左ノ如シ

行軍間ノ休日ヲ廢ス。休宿ノ時間ヲ減少ス。要スレハ晝夜ヲ通シテ行軍ヲ繼續ス

(注意) (ロ)ハ問題要求程度ニテハ記セサルモ

◇陣中要務令◇

可ナラン

3 前哨區

前哨ノ警戒地域ヲ天然ノ地形地物ニ依リ區分シテ決定セラルルモノニシテ一前哨區ニハ大隊若クハ其以下ノ兵力ヲ配置セラルルモノトス

4 除糞帶所

(イ)除糞帶所トハ歩兵隊附衛生部員及衛生材料ヲ以テ開設スルモノニシテ
(ロ)之ヲ設クル場合ハ戰間多數ノ患者ヲ生スルニ至ルモ衛生隊未タ到着セサルカ 或ハ遠隔シアルトキ

5 運送船監督將校

運送船ニハ所要ニ應ジ一名ノ監督將校ヲ乗込マシメ、關係船トノ連絡ニ任シ且船長ノ任務實行及船員其他乗組員ノ勤務ヲ監督セシムルモノナリ

二、著眼本問ハ第二十二、第二十四、第二十五、第二十八、第三十、第四十二、第四百二十ノ各項目ヨリ所事項ヲ採萃シテ記スヘキモノナリ即チ左ノ

◇陣中要務令◇

如シ

- 1 秘密保持ノ爲之ヲ要スレハ一部ノ部隊ニハ作戰ニ關スル一般ノ命令ヲ與フルコトナク別ニ該部隊ノ爲必要ナル事項ノミヲ記載セル命令ヲ與ヘ又一般ノ命令ニ於テモ此必要上該命令中ノ日時ヲ省キ必要ノ時機ニ於テ別ニ之ヲ示スヲ可トスルコトアリ(以上第二十二參照)
- 2 斥候、飛行機搭乗者、最前線ノ部隊等ニ與フル命令等敵手ニ入ルノ虞アルモノニ在リテハ單ニ口達ニ止ムルカ或ハ我目的、行動等ニ關スル事項ハ成ルヘク之カ筆記ヲ避ケ若ハ受令者ノ了解スルト同時ニ之ヲ破棄セシムヘシ
- 3 我軍ノ行動、配備等ニ關スル命令其他我軍ノ企圖ヲ判斷セラルル虞アル資料ハ受令者ヲシテ濫ニ地圖上等ニ記載若ハ描畫セシムヘカラス
- 命令ノ下達ニ際シテハ敵ノ間諜等ニ對スル警戒ヲ懈ルヘカラス(以上第二十四參照)
- 命令ノ筆記ト印刷 重要ナル命令ノ筆記ハ他メテ將校自ラ之ニ當リ又其印刷ハ必ス將校ノ監視下ニ於テシ誤刷紙ノ燒却及原稿ノ保管ヲ確實ニシ

◇陣中要務令◇

如シ

- 1 秘密ノ漏洩ヲ防クヘシ(以上第二十五參照)
- 2 全般ノ行動ヲ規定セル師團命令ノ如キモノノ全文ヲ所要ノ部隊ニ分配スルニ當リテハ其取扱ニ就テハ秘密保持上特別ノ注意ヲ爲サシメサルヘカラス(以上第二十八參照)
- 3 自己部隊ノ情況ヲ通報若ハ報告スルニ方リ自己ノ下シタル命令ヲ利用スルヲ便トスルコトアリ此場合ニ在リテハ特ニ秘密保持ノ顧慮ヲ必要トス(以上第三十參照)
- 4 電話ヲ以テ秘密ニ關スル事項ヲ通話スル場合ニ在リテハ主任者以外ノ者ヲ遠サケ其漏洩ヲ豫防スルノ注意ヲ必要トス之カ爲スルノ如キ通話ヲ要スルコト多キニ從ヒ特別ナル設備ヲ爲シアルトキハ極メテ便利ナリ(以上第四十二參照)
- 5 各種通信法ハ絕對ニ敵ニ竊信セラルルコトヲ防止スルヲ得ス故ニ苟モ敵ニ竊信セラルルノ虞アル場合ニ於テハ重要ナル通信文ハ悉ク暗號ヲ以テ組立ツルヲ要ス(以上第四百二十參照)
- (注意) 本問題ノ如ク多クノ項目中ヨリ出題セララルモノハ當社發行ノ見出附陣中要務令ヲ使用

セハ發見願ル迅速容易ナリ

- 三、善眼陣中要務令ノ原則ニ從ヒ訂正スヘキモノタルコトハ言フ俟タズ、其要領ヲ示セハ左ノ如シ
- 問題ノ「一」「二」ヲ順序ヲ改メタルハ第六十九第四項ノ原則ニ從フ
- 標高ニ依リ地點ヲ示ス場合ノ記述ノ原則ハ第七十二ニ依リ改メタルモノトス
- 「三」ノ道路ノ記述法ハ第七十一第五項ノ原則ニ依ルヘキナリ
- 「四」ニ於テ左岸ヲ右岸ト改メシハ第六十九ノ第三項ノ原則ニ依ル

某軍曹

前衛司令官殿

報告 於 一月一日午前九時 松村

- 一、約二大隊ノ敵ハ午前八時三十分其先頭ヲ以テ梅町東端通過東進中ナリシモ其後ノ情況不明ナリ
- 二、敵ハ目下南部竹村ニ歩兵約二中隊杉山北方獨立標高15高地ニ約一中隊展開中ナリ

◇陣中要務令◇

三、松村——杉山道上ニハ敵部隊ヲ見ス

四、桐川ハ桃谷橋ヨリ上流ハ其右岸ノ斷崖險峻ニシテ單獨兵ト雖徒涉困難ナリ

四、善眼 1ハ第五十二、2ハ第三十三、第三十四、第三十六及第八十三ノ中ヨリ左ノ如ク記述スヘシ

- 1 傳令ニ示スヘキ件概ネ左ノ如シ
- 受信者及其所在地
- 經路
- 速度若ハ歩度(要スレハ到着時刻)
- 傳達後ノ處置
- 其他必要ノ注意

又敵ニ關シ顧慮スヘキ事項ヲ指示シ經過路ノ要圖若ハ之ヲ記入シタル地圖ヲ與フルヲ要スルコトアリ

2 報告ノ時機

(イ) 戰鬥ニ關スル報告

(一) 戰鬥間各部隊長ハ其觀察セシ敵情、地形及自己ノ行動等機ヲ失セス之ヲ上級指揮官ニ報告スヘシ

(二) 戰鬥要報提出ノ時機

◇陣中要務令◇

一部ノ戰闘局ヲ結ヒタルトキ

當日未タ局ヲ結フニ至ラサル場合ニ於テハ通常日没後速ニ提出

戰闘數日ニ互ル場合ニ於テハ通常所定ノ時刻

(三)戰闘詳報提出ノ時機

戰闘後ニ纂錄提出

(四)搜索ニ任スル者ノ報告ノ時機

搜索ニ任スル者一事件ヲ觀察シタルトキ直ニ之

ヲ報告スヘキヤ或ハ爾後ノ搜索ノ結果ヲ待チテ

報告スヘキヤ等報告ノ時機及分量等ハ善ク指揮

官ノ意圖ニ投合セサルヘカラス然レトモ次ノ如

キ場合ハ速ニ之ヲ報告スルヲ要ス

始メテ敵ヲ發見シタルトキ

有力ナル部隊殊ニ歩兵ト遭遇シタルトキ

指揮官既知ノ情況ト相違セシトキ

情況ノ激變ヲ認メタルトキ及某目的又ハ一任

務ヲ達成シタルトキ

其他某地方ニ於テ未タ敵兵ヲ發見セサルコトヲ

知ルモ亦指揮官ノ爲ニ往々緊要ナルコトアリ又

爾後ノ搜索ニ依リテ既往ノ情報ヲ確實ニシ或ハ

一定ノ時間中ニ於ケル形勢變化ノ有無ヲ知ル等

ハ指揮官ノ爲大ニ價値アルモノトス

(注意) 本問題12ハ一問題中ノ小問題ナルヲ

以テ右ノ答案ノ如ク廣範圍ノ要求ニアラサルヤ

モ計リ難シ宜シク時間ノ多少ト出題者ノ意圖ト

ヲ察シテ適宜ニ取捨スヘシ、編者ハ時間ニ制限

ナク問題ノ字句通りノ要求ニ應シテ立案シタル

モノナリ

五、著眼第三十四ヨリ左ノ如ク摘記ス

1 戰闘要報ノ目的

戰闘要報ハ上級ノ指揮官ヲシテ爾後ノ戰闘若ハ戰

闘直後ノ指揮ヲ適切ナラシムル爲極メテ重要ナル

モノナリ

2 戰闘要報ノ提出時機

答案四ノ2(ロ)ヲ見ヨ

六、著眼1ハ第三十四、2ハ第三十六、3ハ第六百

二ヲ参照シテ左ノ如ク記シ最後ニ之ヲ纏メテ騎兵

トシテ之等ヲ作製スヘキ部隊ヲ記スルヲ可トス

騎兵以外ノ者ハ本問ヲ當該兵科ニ換ヘ研究スヘシ

1 戰闘要報ノ目的

答案五ノ1ヲ見ヨ

2 戰闘詳報ノ目的

高級指揮官ヲシテ爾後ノ作戦ヲ正確適當ニ計畫セ

シムル爲必要ナル材料ヲ十分收領セシメ且將來ニ

於ケル戰闘ノ參考ト爲サムカ爲廣ク實戰ニ於ケル

經驗ヲ蒐錄スルニ在リ

3 陣中日誌、留守日誌ノ目的

左ノ二項ニ在リ

甲 各部隊若ハ各人ノ經歷及遭遇シタル實況並所

見ヲ記載シ一ニハ戰史ノ用ニ資シ一ニハ他日各

人ノ勤務及功績ヲ銓衡スルノ參考ニ供ス

乙 編制、教育、補充、給養、衛生、武器、彈藥、

器具、材料、被服、裝具等凡テ軍事ニ關スル事

物ノ經驗ヲ錄シ將來改良ノ資料ト爲ス

4 騎兵部隊トシテ右各項ノ作製部隊

(イ)戰闘要報 各部隊長

(ロ)戰闘詳報 中隊以上(獨立シテ戰闘セシト

キハ小隊ニ至ルマテ)

(ハ)陣中日誌 聯隊、中隊(長時日獨立シテ行動

セシ小隊ヲ含ム)、機關銃隊

◇陣中要務令◇

(ニ)留守日誌 右ニ同シ

七、著眼問題ハ歩兵中隊戰闘要報ノ一例ヲ要求セル

ヲ以テ要務令第三十四ヲ参照シ某戰況ノ許ニ左ノ

如ク記述ス

第一中隊戰闘要報

一、A高地ノ敵ヲ攻撃スヘキ任務ヲ以テ午前七時

三十分〇〇村西端ニ展開シ攻撃準備ヲ終ル

二、午前七時四十分前進ヲ起スヤB高地方向ヨリ

敵ノ砲火ヲ受ケタルモ前進ヲ繼續シ午前七時五

十分大川右岸ニ於テ射撃ヲ開始ス、此時西村東

端ヨリ敵ノ機關銃ノ猛射ヲ受ケタルモ我歩兵砲

ノ共力ニ依リ前進ヲ繼續ス

三、午前八時十五分〇〇堤防ニ於テ突撃準備ヲ完

了

四、午前八時二十分突撃ヲ實施シ頑強ニ抵抗セル

敵ヲ撃退シ直ニ追撃射撃ヲナシ次テ追撃前進ヲ

起シ午前八時五十分中村西端ニ達ス

五、我正面ニ在リシ敵ハ第十九路軍ニ屬スル歩兵

第〇〇聯隊ニシテ優良ナル輕機關銃ヲ有ス

六、敵ハ旭町方向ニ退却中ニシテ其一部ハ〇〇高

○陣中要務令○

地ニ據リ頑強ニ抵抗シアルモ主力ハ續テ退却中ナリ

七、中隊ハ追撃ヲ續行スル目的ヲ以テ一部ヲ以テ
○○高地ノ敵ニ對セシメ主力ヲ以テ竹村方向ニ
前進セントス

八、此ノ戦闘ニ於テ戦死下士一兵八負傷下士二兵
十二名ヲ出セリ、敵ノ遺棄戦死者ハ約五十負傷
者約三十名ナリ

九、殘餘彈藥約五千發

八、著眼第三十四ヲ左ノ如ク記ス

1 戦闘要報ノ目的

答案五ノ1ヲ見ヨ

2 戦闘要報ニ記載スヘキ事項

部隊ノ大小ト情況トヲ顧慮シ左ノ事項中必要ト認
ムル件ヲ取捨蒐録スヘキモノトス

戦闘經過ノ概要

敵ノ兵力、團隊號及特異ナル裝備、敵ノ退却方
向等

現時ニ於ケル彼我ノ態勢及敵情判斷並之ニ對ス
ル自己ノ企圖

彼我損害ノ概數

殘餘彈藥及要スレハ消費彈藥ノ概數

其他重要ナル事項

九、著眼第三十四ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 戦闘要報ヲ出スヘキ時期

答案四ノ2(ロ)ヲ見ヨ

2 戦闘要報ノ目的

答案五ノ1ヲ見ヨ

3 戦闘要報調製並報告上ノ注意

機ヲ逸シタル戦闘要報ハ其價値ナキヲ以テ報告事
項ノ完備ニ拘泥スルコトナク又部下團隊ノ報告ヲ
待ツコトナク速ニ先ツ自己ノ報告ヲ出シ後漸次之
ヲ補修スヘキモノトス

4 戦闘要報ニ記載スヘキ事項

答案八ノ2ヲ見ヨ

一〇、著眼第三十四及第三十六中ヨリ左ノ如ク記ス

1 戦闘要報ノ目的

答案五ノ1ヲ見ヨ

2 戦闘要報ノ目的

答案六ノ2ヲ見ヨ

戦闘ノ成績並勝敗一決セシトキノ景況

戦闘後ニ於ケル彼我ノ陣地若ハ行動

參考ト爲ルヘキ所見

右ハ一般ニ必要ナル事項ヲ列舉セシモノナルカ故
ニ之ヲ記載スルニハ其部隊ノ獨立シテ戦闘セルト
大兵團内ニ在リテ戦闘セルトニ從ヒ取捨セサルヘ
カラス

一一、著眼第四十八、第四十九、第五十ノ中ヨリ左
ノ如ク記ス

1 遞傳哨ノ種類

遞騎哨、遞步哨、遞自轉車哨トス

2 配置

遞傳哨ノ人員及其相互間ノ距離ハ交通ヲ保タント
スル時間ノ長短、豫想スル通信ノ繁閑、交通路及
哨所ノ安否等ニ依リテ差異アルモノトス即チ概ネ
左ノ如シ

哨名	人員	相互間距離
遞騎哨	通常兵三	十乃至十五軒
遞步哨	乃至六人	二乃至四軒
遞自轉車哨	三人以上	十乃至二十軒

○陣中要務令○

陣地占領若ハ攻撃部署及其主ナル理由並戰鬥ニ
關シ下シタル命令
各時期ニ於ケル戦闘經過及之ニ關聯セル隣接團
隊ノ動作

3 戦闘要報調製並報告上ノ注意

答案九ノ3ヲ見ヨ

4 戦闘要報調製並報告上ノ注意

此詳報ノ記述ハ適確精細ナルニ從ヒ其價値益、大
ニシテ又其提出迅速ナルニ從ヒ其效果愈、多キモ
ノナリ

戦闘詳報ノ進達ニ方リ已ムヲ得サル場合ニ於テハ
各級指揮官ハ速ニ先ツ自己ノ詳報ヲ進達シ部下團
隊ノ詳報ハ後日之ヲ進達スルモノトス

一一、著眼第三十七ヲ左ノ如ク記ス

戦闘詳報ニハ概ネ左ノ事項ヲ記載スルモノトス

戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

戦闘ニ影響ヲ及ホセシ天候、氣象(日出時刻、日没時刻、
夜間照明ノ度等ヲモ)
及戰鬥地ノ狀態
彼我ノ兵力、交戦セシ敵兵ノ團隊號及將帥ノ氏
名

陣地占領若ハ攻撃部署及其主ナル理由並戰鬥ニ
關シ下シタル命令

各時期ニ於ケル戦闘經過及之ニ關聯セル隣接團
隊ノ動作

◇陣中要務令◇

3 警戒法

警戒上左ノ事項ニ注意スヘシ

(イ) 通傳哨ハ民心疑ハシキ部落ヲ避ケ警戒出入
容易ナル位置ヲ選ムヘシ

(ロ) 情況ニ應スル警戒法ヲ設クルコト

(ハ) 敵襲ニ際シテノ處置ヲ準備スヘシ

(ニ) 書信ノ往復ナキト雖隣哨トノ連絡ヲ保
持スヘシ

(ホ) 敵地ニ在リテハ通傳哨及遞送者ノ危険ヲ豫
防スル爲嚴罰ヲ以テ住民ヲ脅嚇シ、或ハ人質ヲ
取ルカ如キ特別ノ方法ヲ講スルヲ要ス

一三、著眼 1ハ第五十二、2ハ第三十三、3ハ第百
四十二ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 傳令ニ示スヘキ事項

答案四ノ1ヲ見ヨ

2 搜索ニ任スル者ノ報告スヘキ場合

答案四ノ2(ロ)ノ前部ヲ見ヨ

同報告上注意スヘキ事項

答案四ノ2(ロ)ノ後部ヲ見ヨ

3(イ)對空監視哨ノ編成

一哨所毎ニ下士又ハ上等兵ヲ長トセル五名乃至
八名(内一名ハ喇叭手)

(ロ)對空監視哨ノ行動

通常一名又ハ二名ヲ以テ監視ニ任セシメ殘餘ハ
交代兵トシテ適宜ノ位置ニ在ラシム

左ノ守則ニ從ヒ行動ス

一、對空監視哨ハ常ニ四周ノ上空ヲ監視シ又ハ
音響ニ注意シ若シ飛行機、氣球等ヲ發見セハ
監視ヲ中絶スルコトナク直ニ其情況ヲ指揮官
ニ報告スヘシ

二、發見シタル飛行機敵ノモノタルカ或ハ疑ハ
シキモノニシテ我ニ近接シ來ルトキハ直ニ示
サレタル防空部隊ニ通報スヘシ

三、敵飛行機全ク我視界ヲ去ラハ之ヲ指揮官ニ
報告スヘシ

四、其他ハ概テ歩哨ノ動作ニ準ス

對空監視哨ヲ配置スル指揮官ハ之ニ特別守則ヲ與
ヘテ一般守則ヲ補足ス其事項及順序概テ左ノ如シ

監視哨ノ名稱

彼我飛行機ノ識別法

必要ナル道路地點等ノ名稱
要スレハ特ニ監視スヘキ方向
連絡スヘキ防空部隊ノ位置
報告又ハ通報ノ手段

(ハ)位 置

駐軍間ニ於ケル對空監視哨ノ位置ハ地上ノ敵ニ
對シ掩護セラレ且上空ニ對スル視界廣潤ニシテ
附近ハ特ニ靜肅ナルヲ要ス

一四、著眼 第五十二ノ中左ノ通り記ス

答案四ノ一ヲ見ヨ

一五、著眼 第七十七ヲ左ノ如ク分解シテ記スヘシ

各種搜索ノ特性左ノ如シ

1 飛行機

飛行機ハ迅速ニ遠距離ノ地域ニ進出シ敵線ノ内部
ニ互リ搜索ヲ行フコトヲ得

2 騎兵

騎兵ハ飛行機ノ活動ヲ制限セラルル天候及夜間ニ
在リテモ騎搜索ヲ續行シ地上ヨリ細部ノ事項ヲ確
認シ得ル等ノ特性ヲ有ス

3 歩兵

◇陣中要務令◇

歩兵ハ時ト處トヲ問ハス特ニ敵火ノ下ニ在リテモ
騎搜索ヲ續行スルコトヲ得ルヲ以テ敵ニ近接シタ
ル場合ノ搜索ニ適ス

4 氣球

氣球ハ一定ノ地域ヲ連續監視シ得ルノミナラス地
上トノ連絡容易ナル特性ヲ有ス

5 砲工兵

砲工兵ハ特種ノ技術的搜索ノ爲缺クヘカラサルモ
ノナリ

故ニ搜索ハ此等機關ノ適當ナル運用並相互ノ密接
ナル協同ニ依リ長短相補ヒ以テ其完全ヲ期セサル
ヘカラス

一六、著眼 第八十三ニ依リ記述スヘキモノナリ、而

シテ答案四、答案十三等ノ小問題トシテ記述シア
レト獨立問答トシテ再記ス

搜索ニ任スル者一事件ヲ觀察シタル時直ニ之ヲ報
告スヘキヤ或ハ爾後ノ搜索ノ結果ヲ待チテ報告ス
ヘキヤ等報告ノ時機及分量ニ就テハ克ク指揮官ノ
意圖ニ投合セサルヘカラス然レトモ 初メテ敵ヲ
發見シタル時 有力ナル部隊殊ニ歩兵ト遭遇シタ

◇陣中要務令◇

ル時 指揮官既知ノ情況ト相違セシ時 情況ノ激變ヲ認メタルトキ 及某目的又ハ一任務ヲ達成シタル時等ハ速ニ之ヲ報告スルヲ要ス
其他某地方ニ於テ未タ敵兵ヲ發見セサルコトヲ知ルモ亦指揮官ノ爲ニ往々緊要ナルコトアリ又爾後ノ搜索ニ依リテ既往ノ情報ヲ確實ニシ或ハ一定時間中ニ於ケル形勢變化ノ有無ヲ知ル等ハ指揮官ノ爲大ニ價値アルモノトス

一七、著眼第百十六ニ依リ左ノ如ク記スヘシ

- 1 適當ノ潜伏所ヲ索メ敵ニ發見セラレサルコト
- 2 敵情監視ヲ中絶セサルコト
- 3 敵意ヲ有スル地方ニ於テハ大ナル住民地ヲ再ヒ通過セサルコト
- 4 村落及圍堵内ニハ長ク位置セサルコト
- 5 夜間ニ在リテハ其位置ヲ變換シ却テ安全ヲ期シ得ルコトアリ

一八、著眼第百二十六ニ依リ左ノ如ク記ス

- 1 住民ノ言ヲ聞キ、新聞、信書、電信(原書、現字紙)及郵便局ノ通信所、官公署ニアル書類ノ奪取

左ノ如ク記スヘシ

1 警戒ノ目的

警戒ノ目的ハ不意ノ敵襲ヲ豫防シ且敵ノ搜索ヲ妨クルニ在リ

2 警戒隊ノ特ニ注意スヘキ要件

凡テ警戒隊ノ常ニ服膺スヘキハ敵方ニ近キ小ナル部隊ハ一層戦備ヲ嚴ニシ以テ逐次大ナル部隊ノ警戒ヲ擔任スルニ在リ

二一、著眼第百四十、第百四十一、第百四十二及第百四十四ニ依リ左ノ如ク記ス

1 要旨

上空ニ對スル警戒ハ高級指揮官ニ於テ飛行隊及野戰高射砲隊等ヲ以テ之ニ任セシムヘシト雖各部隊モ亦自ラ所要ノ處置ヲ爲スヲ要ス

2 對空射擊部隊

行軍及戰間ハ概ネ歩兵ノ大隊毎ニ駐軍間ハ前哨區又ハ合營(露營)區毎ニ機關銃一中隊若ハ歩兵一小隊以上ノ兵力ヲ指定シテ對空射擊部隊ト爲シ對空監視哨ニ連絡シ敵ノ飛行機ノ行動ニ注意シ我ニ危險ヲ與ヘムトスルトキ又ハ低空ヲ飛行シ我射擊

◇陣中要務令◇

- 2 諸種ノ徵候ヲ判斷スルコト
- 3 敵ノ通信ヲ竊取スル爲各通信部隊ハ計畫ニ基キ敵ノ通信ヲ監察シ要スレハ之ヲ妨害ス
- 4 俘虜、投降者及遺留シタル傷病者ノ首竝其攜帶圖書、戰死者ノ携帶圖書或ハ敵ノ遺留シタル圖書
- 5 住民ノ意向、態度、敵兵宿營ノ跡、交通通信機關設置ノ方向及其破壞方法ヲ觀察スルコト
- 6 敵ノ鳩、傳令犬ヲ捕獲スルコト

一九、著眼第百三十四ヲ左ノ如ク記スヘシ尙ホ二ニ屬スル事項ハ答案二ノ著眼ヲ見ヨ

1 諜報上ノ注意

我軍ノ企圖、行動等軍ノ秘密ハ各人ノ私信ニ依リ漏洩スルコト少カラス故ニ高級指揮官ハ所要ノ規定ヲ設ケテ秘密保持ノ手段ヲ講スルト共ニ各人モ亦注意ヲ倍徒シテ不慮ノ間之ヲ漏洩スルコトアルヘカラス特ニ私信中ニ我軍ノ狀態、部隊號、地點、日時等ヲ記載スルハ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス

- 2 命令、通報、報告ノ秘密保持上ノ注意
答案二ヲ見ヨ

二〇、著眼一ハ第百三十五、二ハ第百三十七ニ依リ

有效ナルトキハ通常對空射擊部隊長ノ命ニ依リ射擊スルモノトス

凡テ射擊ハ直ニ其位置ヲ暴露シ敵飛行機ヲシテ搜索ノ端緒ヲ得シメ又友軍ニ危害ヲ與フルコトアルヲ以テ射擊開始ニ方リテハ能ク全般ノ情況ヲ顧慮スルヲ要ス

3 對空監視哨

對空監視哨ハ駐軍間ニ在リテハ前哨區又ハ合營(露營)區毎ニ之ヲ設クルモノニシテ一哨所毎ニ下士又ハ上等兵ヲ長トセル五名乃至八名(内一名ハ喇叭手)ヨリ成リ通常一名又ハ二名ヲ以テ監視ニ任セシメ殘餘ハ交代兵トシテ適宜ノ位置ニ在ラシムルモノトス

對空監視哨ハ小ナル部隊ニ在リテハ情況ニ依リ他ノ哨兵ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

3 行軍及戰間ノ對空警戒

行軍及戰間ニ在リテハ各級指揮官ハ情況特ニ敵飛行機ノ行動ニ應ジ駐軍間ニ於ケルモノニ準シ對空警戒ノ爲適宜監視ノ方法ヲ講スルモノトス

4 將校ノ對空警戒

◇陣中要務令◇

將校ハ敵飛行機、氣球等ノ行動ニ注意シ適時必要ノ場所ニ報告、通報スルヲ要ス

二三、著眼 第四百四十、第四百四十一、第四百四十三参照左ノ如ク記スヘシ

行軍、宿營及戦闘間ニ於ケル對空警戒ノ要領左ノ如シ

1 對空射撃部隊

答案二〇ノ三ヲ見ヨ

2 駐軍間ノ對空監視

答案二〇ノ三ヲ見ヨ

3 行軍及戦闘間ノ對空警戒

答案二〇ノ四ヲ見ヨ

4 將校ノ對空責任

答案二〇ノ五ヲ見ヨ

二三、著眼 答案一三ノ三ト略ト同様ナルモ再記ス

1 編成

一哨所毎ニ下士官又ハ上等兵ヲ長トセル五名乃至八名(内一名ハ嗽叭手)ヨリ成リ通常一名又ハ二名ヲ以テ監視ニ任セシメ殘餘ハ交代兵トシテ適宜ノ位置ニアラシム小ナル部隊ニ在リテハ情況ニヨリ

他ノ哨兵ヲシテ兼ネシム

2 配置

駐軍間ニアリテハ前哨區又ハ合營(露營)區毎ニ之ヲ設クルモノナリ又行軍間及戦闘間ニアリテハ各指揮官ハ情況特ニ敵飛行機ノ行動ニ應ジ駐軍間ニ於ケルモノニ準シ適宜監視ノ方法ヲ講スルモノトス

3 位置ノ選定

地上ノ敵ニ對シ掩護セラレ且上空ニ對スル視界廣潤ニシテ附近ハ特ニ靜肅ナルヲ要ス

二四、著眼 第四百四十二及第三百五十ノ要領ニ依ル

1 駐軍間ノ對空監視哨ノ編成及警戒法

答案二〇ノ三ヲ見ヨ

2 合營間ノ對空警戒

合營地防空ノ爲ニハ各合營區毎ニ一若ハ數箇ノ對空監視哨ヲ備ヘ合營日直將校指揮ノ下ニ上空ノ監視ニ任セシムル外要スレハ對空射撃部隊ヲ指定シ敵航空機ノ來襲ニ備フ

二五、著眼 第四百四十五ヲ記スヘシ

行軍間ニ於ケル警戒ハ前衛、側衛又ハ後衛ヲ以テ

ス而シテ其任務ハ敵ニ對シ本隊ニ行動ノ自由ヲ得シメ又其行進ヲシテ滯滞ナカラシムルニ在リ

二六、著眼 1ハ第四百四十五、2ハ第四百七十、3ハ第四百五十二、4ハ第四百八十一ヲ左ノ如ク記ス

1 行軍間ニ於ケル警戒ノ目的

敵ニ對シ本隊ニ行動ノ自由ヲ得シム

其行進ヲシテ滯滞ナカラシムルニ在リ

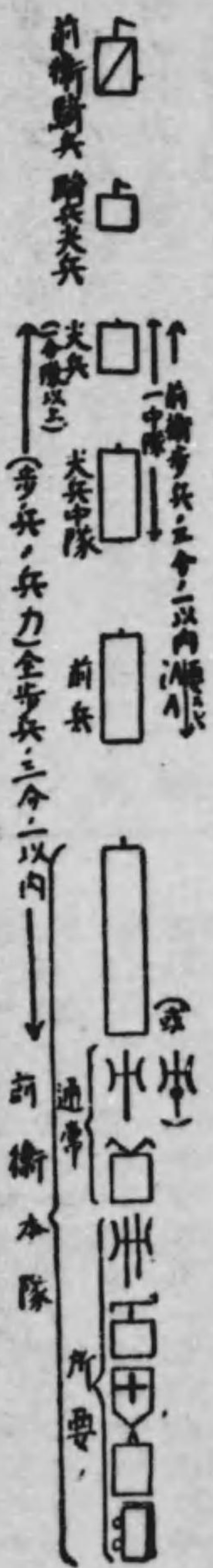
2 駐軍間ニ於ケル警戒ノ目的

敵情ヲ搜索シ敵ノ奇襲ニ對シテ休止ノ軍隊ヲ掩護シ之ニ戦闘準備若ハ出發準備ヲ整フルノ時間ヲ與フ

我軍ノ情況ヲ掩蔽スルニ在リ

3 前衛ノ区分

前衛ハ通常前衛本隊及前兵ニ區分シ前衛ニ騎兵ノ



◇陣中要務令◇

主力ヲ附セラレタルトキハ之ヲ前衛騎兵ト爲シ更

ニ前方ニ派遣スルモノトス而シテ前兵ハ通常其警戒ヲシテ益々確實ナラシムル爲メ尖兵中隊ヲ、尖兵

中隊ハ尖兵ヲ出シテ警戒スルモノトス

情況ニ依リ適宜前項ニ示ス區分ヲ省略シ又ハ本隊

ヨリ直ニ尖兵中隊若ハ尖兵ノミヲ出スコトアリ

一中隊ヲ兼テトスルモノトス

ハ常ニ尖兵中隊ト稱呼ス

4 前哨ノ区分

前哨ハ通常前哨本隊及前哨中隊ニ區分シ前哨中隊ハ小哨ヲ、小哨ハ歩哨ヲ出シテ警戒ス情況ニ依リ前哨本隊或ハ更ニ其後方ノ部隊ヨリ直ニ其前方及側方ニ小哨ヲ配置スルコトアリ而シテ前哨本隊及前哨中隊ニハ所要ノ騎兵ヲ配屬シ搜索及傳令勤務ニ充ツルモノトス

二七、著眼 第四百四十九ヲ参照シ左ノ如ク圖示ス

◇陣中要務令◇

一四

二八、著眼 1ハ第四百十九、2ハ第五百十九、3ハ
 第六十九ヲ左ノ如ク記ス

1 前衛ノ兵力編組

前衛ノ兵力及編組ハ我軍ノ目的、縱隊ノ大小、敵
 情、地形及明暗ノ度等ニ從フモノトス
 前衛歩兵ノ兵力ハ通常全歩兵ノ三分ノ一以内トス
 而シテ前衛ニハ通常所要ノ騎兵、野(山)砲兵及工
 兵ヲ配屬シ又所要ノ野戰重砲兵、通信隊、衛生隊、
 架橋材料中隊、裝甲自動車等ヲ配屬スルヲ可トス
 ルコトアリ

2 側衛ノ兵力編組

側方警戒ノ爲斥候ノミニテ不充分ナルトキハ形勢
 ニ應シ前兵若ハ前衛本隊ヨリ或ハ直ニ本隊ヨリ更
 ニ側衛ヲ出ス

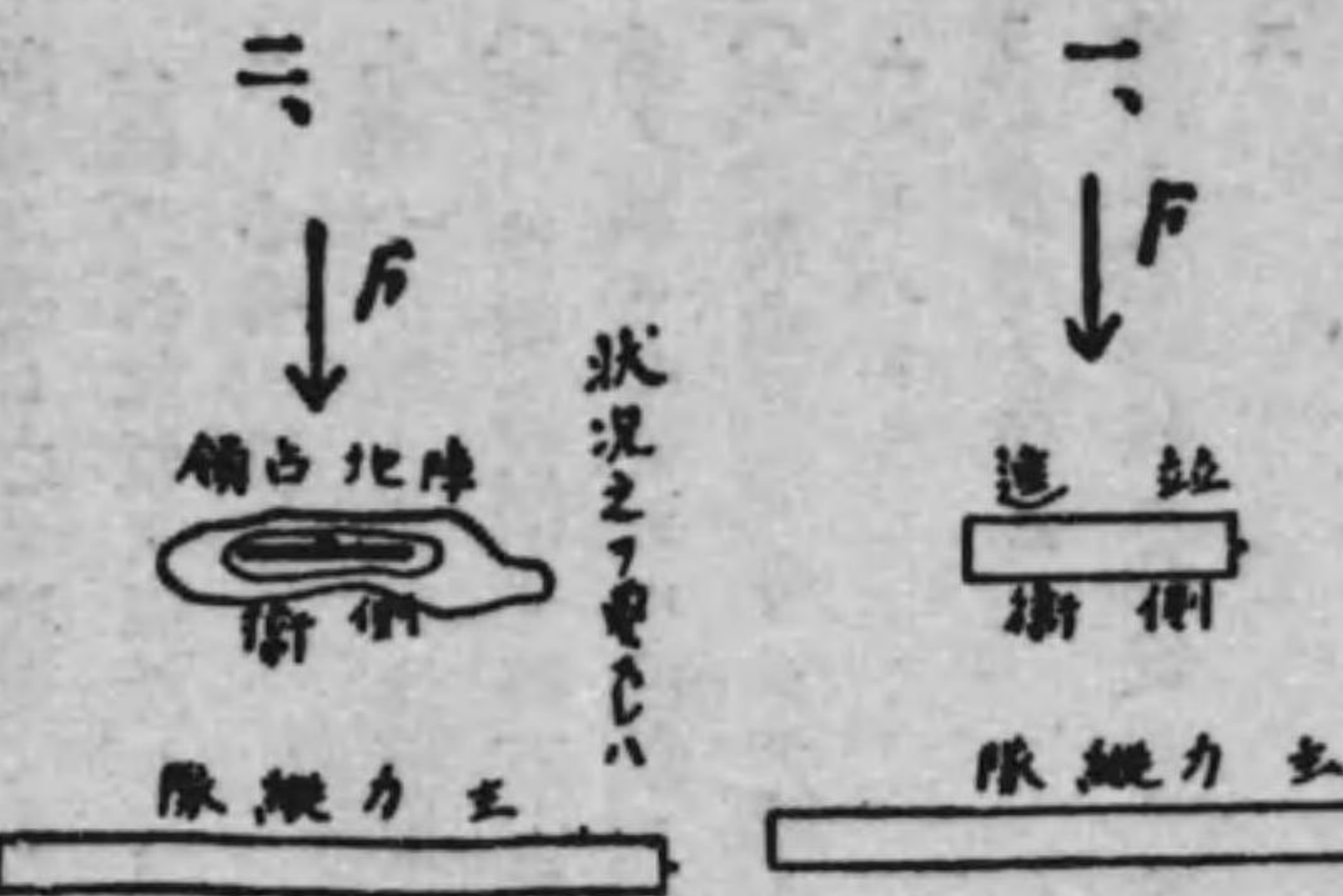
3 後衛ノ兵力編組

前進行ニ於テモ情況特ニ之ヲ要スレハ警戒ノ爲後
 衛ヲ備フ而シテ其兵力編組ハ主トシテ危險ノ大小
 ニ應シ之ヲ定ム

二九、著眼 尖兵ハ警戒勤務ニ屬シ斥候ハ搜索勤務ニ
 任スル原則上ノ差異ヨリ考察シ左ノ如ク記ス



三一、著眼 第六十ノ原則ヲ圖示説明スルコト左ノ
 如シ



主力縦隊ト併進シ其側
 敵行動ヲ掩護ス
 要スレハ主力縦隊ノ側
 方ニ陣地ヲ占領シテ其
 通過ヲ安全ナラシム

◇陣中要務令◇

等シク廣義ノ警戒ノ爲ノ一手段ナルモ
 任務上 尖兵ハ直接ノ警戒ヲ主トシ
 斥候ハ搜索ヲ主トス

從テ其行動ニ於テ尖兵ハ制限拘束ヲ受クルモ斥候
 ハ獨立不規ナリ

三〇、著眼 1ハ第六十二ニ依リ、2ハ第六十二ニ
 依リ記述、圖示スヘシ

1 側衛行ニ於ケル側衛ノ行動ノ準據

側衛行ニ於ケル側衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモ
 ノトス

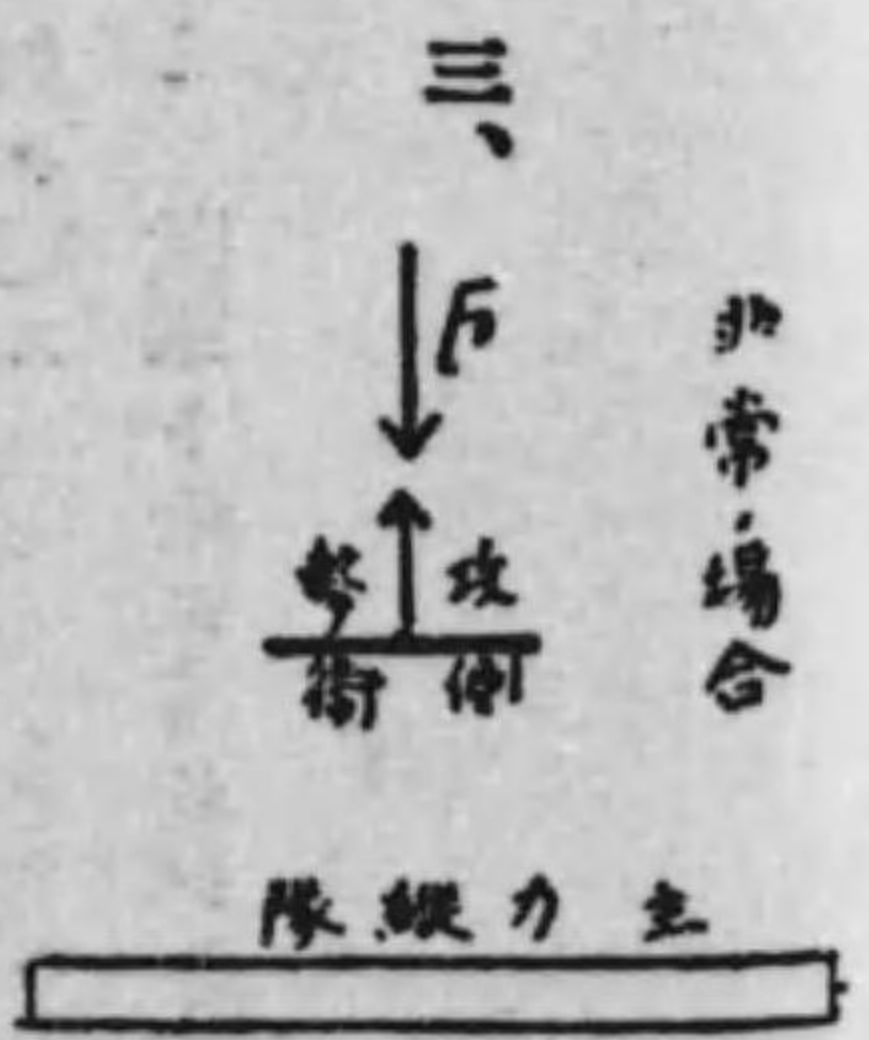
一、主力縦隊ト並進シ其側敵行動ヲ掩護ス

二、要スレハ主力縦隊行進路ノ側方ニ陣地ヲ占領
 シテ其通過ヲ安全ナラシム

三、非常ノ場合ニ於テハ敵ヲ攻撃シテ之ヲ抑留シ
 敵ヲシテ我主力縦隊ニ近迫スル能ハサラシム

側衛ハ如何ナル場合ニ在リテモ主力縦隊ヲシテ戰
 闘ヲ避ケシムルコト必要ナリ

2 主力縦隊ト併進スル場合ノ側衛各部ノ名稱ヲ
 圖示スレハ左ノ如シ



非常ノ場合ニ於テハ敵
 ヲ攻撃シテ之ヲ抑留シ
 敵ヲシテ我主力縦隊ニ
 近迫スル能ハサラシム

三一、著眼 第七十、第九十七、第二百二、第二
 百九、第二百二十一ヨリ摘記ス

1 前哨ノ任務

駐軍間ニ於ケル警戒ハ通常前哨ヲ以テス其任務ハ
 敵情ヲ搜索シ敵ノ奇襲ニ對シテ休止ノ軍隊ヲ掩護
 シ之ニ戰闘準備若ハ出發準備ヲ整フルノ時間ヲ與
 ヘ又我軍ノ情況ヲ掩蔽スルニ在リ

2 前哨本隊ノ任務

前哨本隊ハ前哨ノ豫備ニシテ敵襲ニ際シ前哨中隊
 ヲ増援シ要スレハ之ヲ收容ス之カ爲通常主要ナル
 道路ノ近傍ニシテ交通便利ナル地點ニ位置スルモ
 ノトス

3 前哨中隊ノ任務

前哨中隊ハ主要ナル抵抗線ヲ形成スルモノニシテ

◇陣中要務命令◇

- 敵襲ニ際シ之ヲ拒止スルヲ任トス故ニ別命ナケレハ極力其位置ヲ保持スヘキモノトス
- 1 小哨ノ任務
 - 2 小哨ハ歩哨ノ支援及後據タルモノニシテ前哨中隊(若ハ前哨本隊)ノ前方(或ハ側方)要點ニ位置シ警戒ノ爲ニ必要ナル搜索ニ任シ敵襲ニ際シ前哨中隊(若ハ前哨本隊)ヲシテ戦備ヲ整フルノ時間ヲ得シムルモノトス
 - 3 歩哨ノ任務
 - 4 歩哨ハ最前線ニ位置シテ監視線ヲ形成スルモノトス
 - 5 三三、著眼第八十三ヲ左ノ如ク記スヘシ前哨ヲ配置スルニハ敵方ニ通スル主要ナル道路及敵ノ近接容易ナル地區ヲ警備スル外敵方ノ展望ニ便ナル地點及我軍ノ情況ヲ觀察シ得ル地點ヲ領有シ置クヲ要スルコトアリ又翼側ニ對スル注意ヲ怠ルヘカラス時トシテ一部隊ヲ前方ニ在ル防禦或ハ阻絶ニ容易ナル地隙迄前進スルトキハ警戒上特ニ有利ナルコトアリ
- 敵兵裝甲自動車又ハ戰車ヲ以テ奇襲ヲ行フノ顧慮

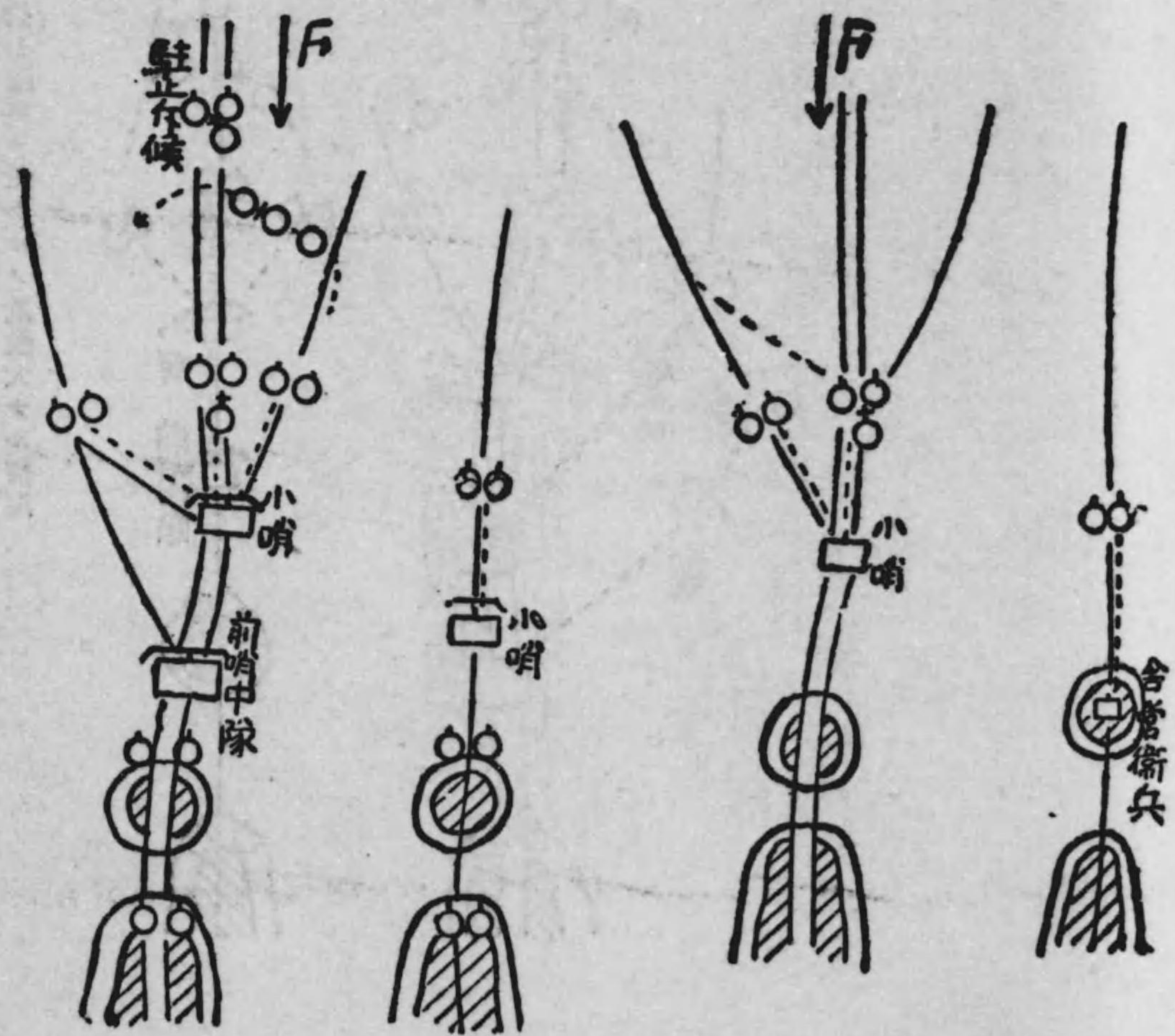
アルトキ之ニ對シ或ハ道路ヲ阻絶シ或ハ地雷又ハ陷穽ヲ設ケ或ハ歩兵砲、砲兵等ヲ配置スルヲ要ス

三四、著眼第七十二ヲ參照シテ前哨配置ヲ圖示ス前哨各部ノ任務ノ記述ハ問題三二ヲ參照スヘシ

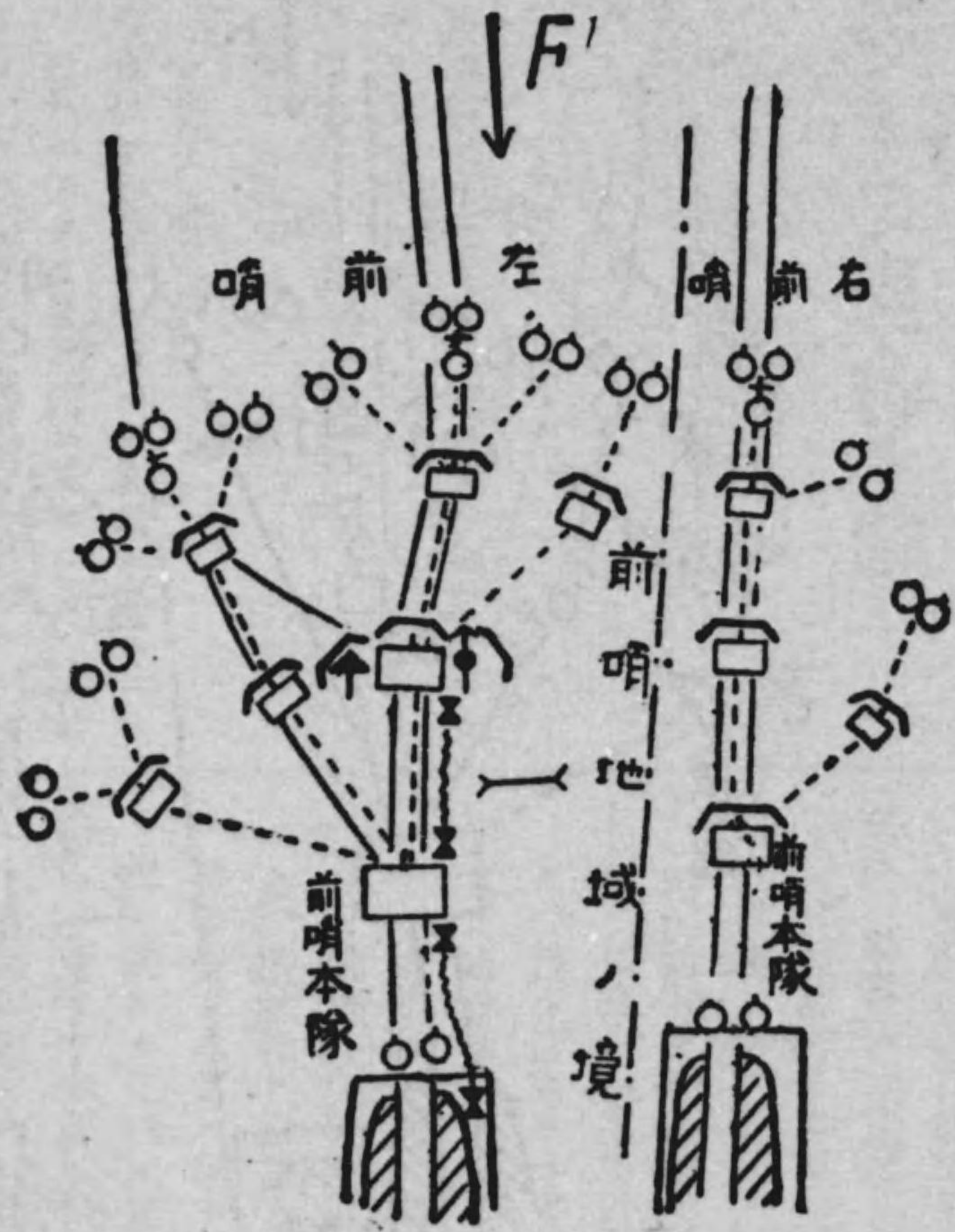


- 1 前哨配置圖例
 - 2 前哨各部ノ任務
- 答案三二ヲ見ヨ
- 三五、著眼第七十二乃至第七十五ヲ參照シ左ノ如ク記ス
- 1 敵軍ト未ダ甚ダシク近接セサルトキ

2 稍、敵ニ近接シ敵襲ノ顧慮アルトキ

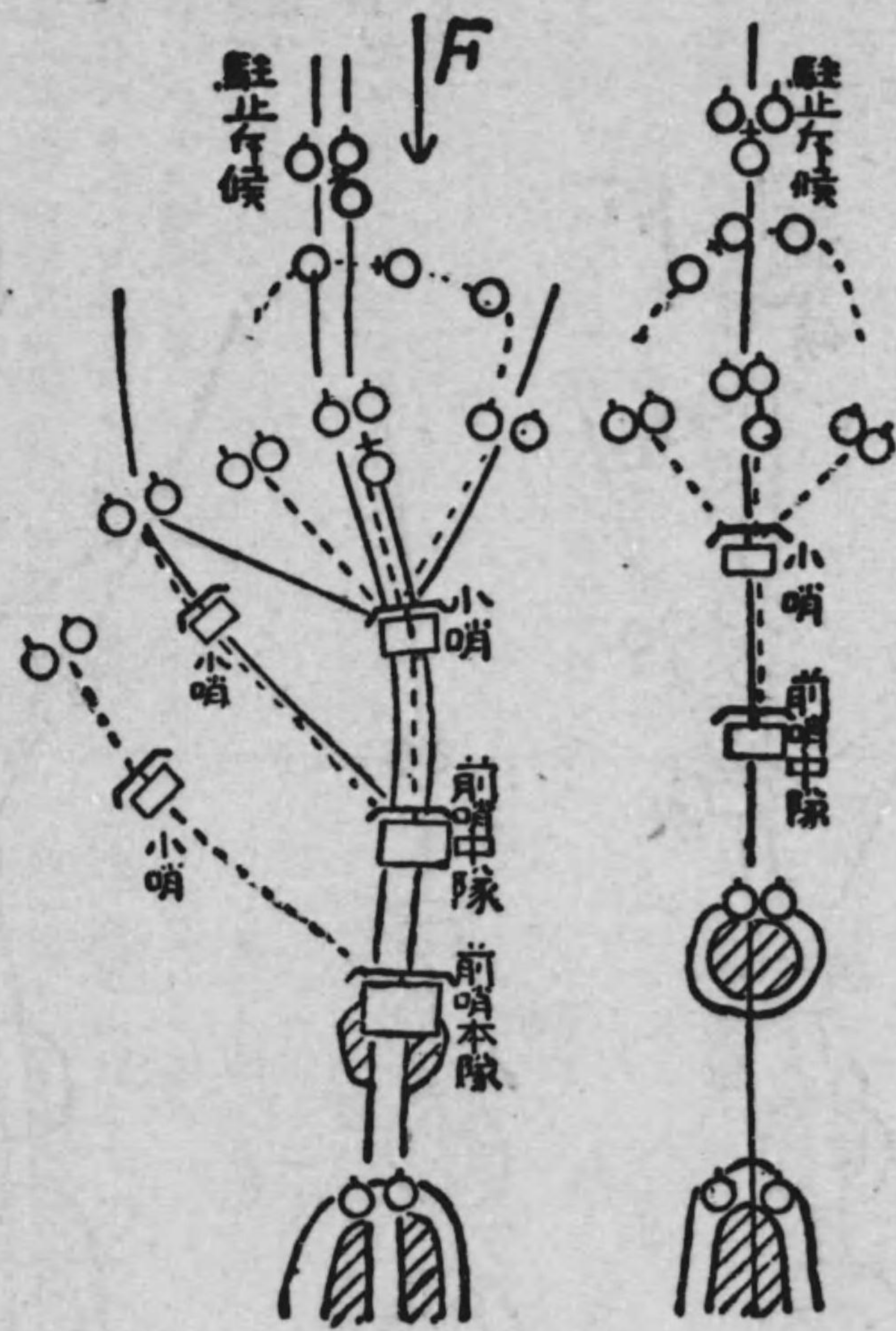


◇陣中要務命令◇



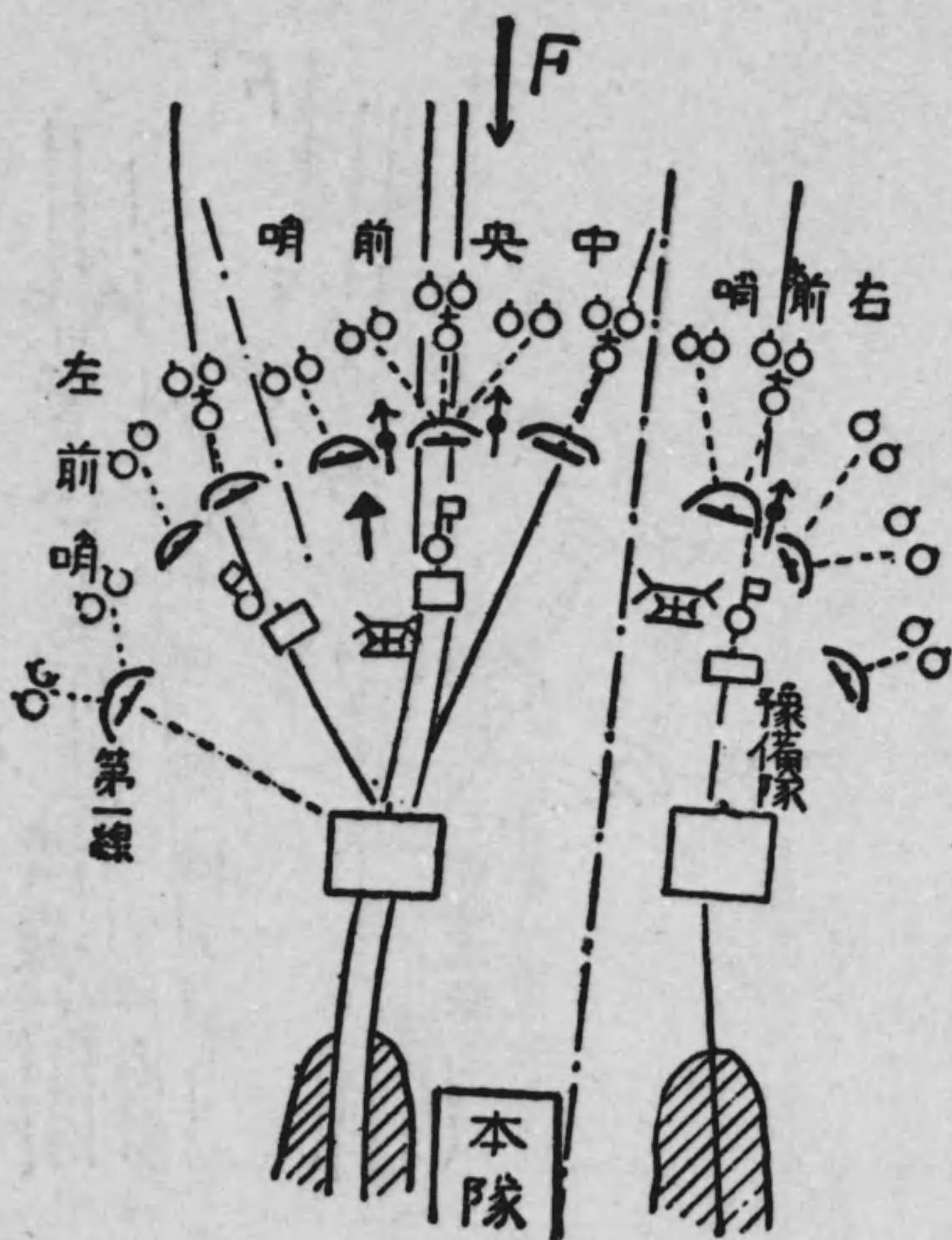
4 軍隊向ハ敵ニ近接シ其ノ全部ノ戦闘準備ヲ必要トスルトキ

8 軍隊敵軍ニ近接シ敵襲ヲ受クルノ危険大ナル情況

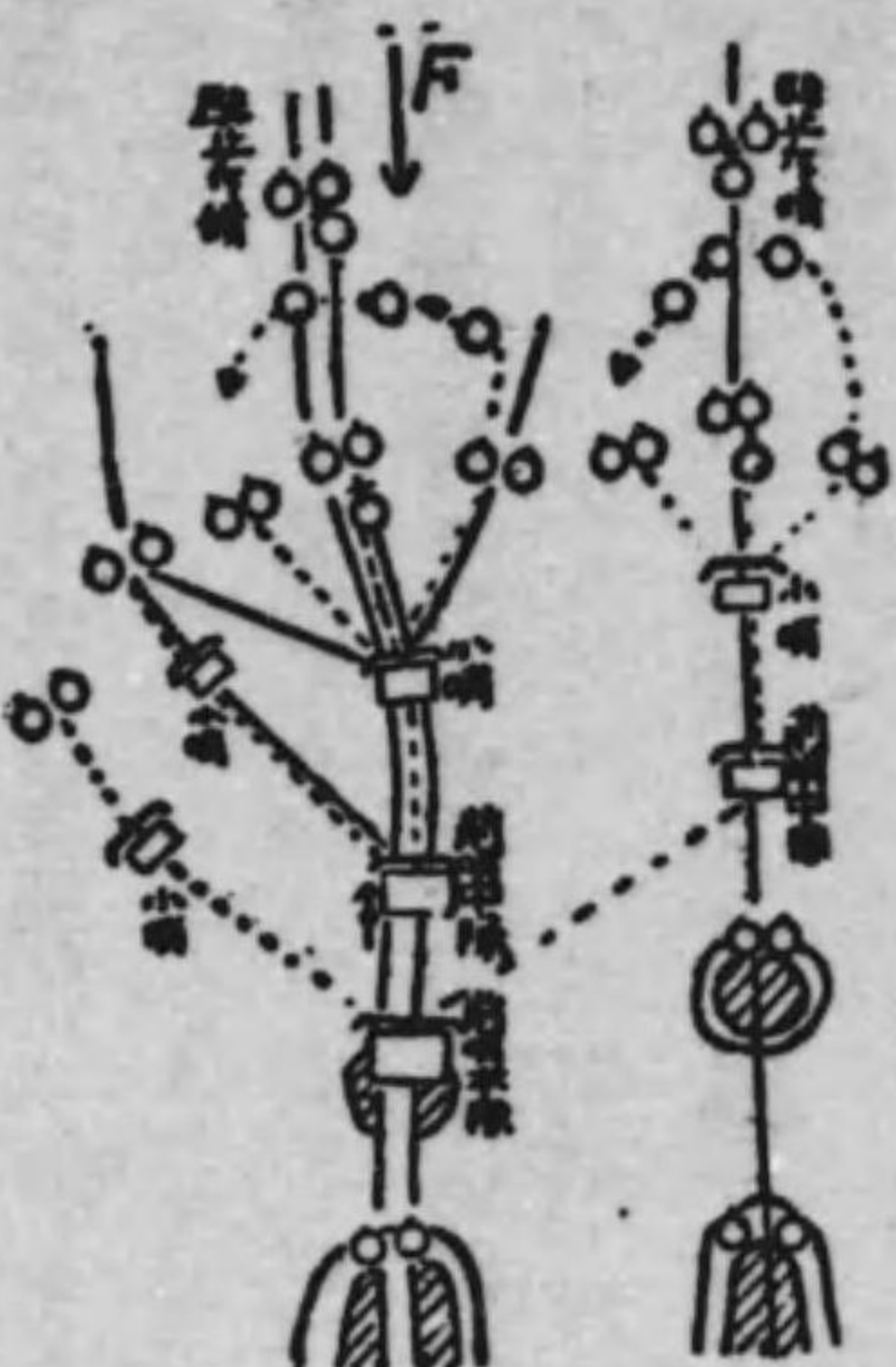


◇陣中要務令◇

5 前哨各部ノ区分ヲ省略シ其ノ主力ヲ以テ防禦陣地ヲ占領スル場合



三六、著眼 第七十三ヲ参照シ左ノ如ク記ス



三七、著眼 第二百二十二中ヨリ左ノ如ク摘記スヘシ

1 下士哨ヲ配置スル場合

- (イ) 歩哨線中特ニ重要ナル地點
- (ロ) 小哨ヨリ交代不便ナル地點

2 下士哨ノ警戒法

下士哨ハ哨長以下哨所ニ位置シテ警戒ニ任スルモノニシテ、通常一部ヲ以テ監視ニ任セシメ、爾餘ハ直接其近傍ニ位置シ勉メテ遮蔽シアルモノトス

3 人員

重要ノ度ニ依リ哨長以下四人乃至七人トシ時宜ニ依リ更ニ之ヲ大ナラシムルコトアリ

4 下士哨ノ複哨トノ利害

◇陣中要務令◇

下士哨ハ前線ニ於ケル警戒ヲ嚴ナラシムルノ利アリモ小哨ノ兵員ヲ少カラシムルノ不利アリ

三八、著眼 第二百二十九ニ依リ左ノ如ク記スヘシ

一、其歩哨ノ番號

二、敵情

三、前方ニ在ル我部隊及斥候ノ情況

四、必要ナル道路、村落等ノ名稱

五、特ニ監視スヘキ要地

六、隣歩哨ノ位置、番號及之トノ連絡法

七、小哨竝中隊ノ位置及此等各位置ニ通スル経路

八、敵襲ニ際シ取ルヘキ處置

九、其他特ニ注意スヘキ事項

又歩哨ノ人員ニ應シ如何ニ監視スヘキカ等須要ノ事ニ關スル守則ヲ定ムヘシ

三九、著眼 第二百五十ヲ参照記述スヘシ

掩護隊ハ通常被掩護部隊ヲ掩護スルニ便ナル位置ニ占位シ危險ナル方向ニ對シ斥候ヲ派遣シ情況ヲ明ニシ監視展望ニ便ナル地點ニ歩哨及對空監視哨ヲ配置シテ警戒シ要スレハ同時ニ對空射擊部隊トナリ防空ニ任ス

四〇、著眼第二百五十六及第二百五十七ノ原則ヲ對照比較ニ便ナル如ク記スヘシ

實施	目的	強行軍	急行軍
行軍間ノ休日ヲ廢ス 休息ノ時間ヲ減少ス 要スレハ晝夜ヲ通シテ行軍ヲ繼續ス	情況ニ依リ日ノ行程ヲ增加ス	情況ニ依リ短時間ニ到着スル如ク	情況ニ依リ短時間ニ到着スル如ク
		歩度ヲ増加ス 休憩ノ回数及時間ヲ減少短縮シテ行進ス	

四一、著眼第二百五十九及第三百八ノ中ヨリ左ノ如ク記スヘシ

1 夜行軍ヲ行フ場合

- (イ) 敵ニ對シテ我行動及企圖ヲ秘匿スルノ要アルトキ
- (ロ) 軍隊ノ移動急ヲ要スル爲拂曉ヲ待ツ邊ナキカ如キ場合
- (ハ) 往々夏季炎熱ヲ避クル爲或ハ強行軍ノ爲夜

行軍ヲ行フコトアリ

2 夜行軍實施ニ方リ軍隊指揮官トシテ注意スヘキ事項

夜行軍ヲ爲スニ方リテハ暗夜ト雖滯滞ナク行軍ヲ實施セシムル爲必要ナル種々ノ規定ヲ爲シ且之ヲ監督スルコト特ニ緊要ナリ即縱隊ニ嚮導ヲ附シ縱隊中ノ集結ヲ正シク保持シ且要スレハ後續部隊ノ爲連絡兵ヲ殘置シ或ハ適宜ノ標識ヲ爲シ或ハ利用セサル道路ノ分岐點ハ之ヲ閉塞シ又部隊間ノ距離ヲ短縮シ要スレハ此間ニ連絡兵ヲ増加配置シ或ハ道路ノ障礙ヲ除キ或ハ之ヲ迂回シ尙兵卒ノ假眠ヲ戒メ休憩ハ成ルヘク其時間ヲ短縮シ回数ヲ増加スル等ノ處置ヲ必要トス其他敵ノ近傍ニ在リテハ靜肅ニ行進スルコト肝要ナリ敵ノ飛行機近接セハ要スレハ道路ノ中央部ヲ開放シ或ハ停止又ハ伏臥シ敵ノ地上照明ニ對シ遮蔽ヲ圖ルヲ可トス

夜行軍ニ於テハ又特ニ給養ヲ良好ニスルコトニ注意スルヲ要ス冬季ニ於テ特ニ然リ

四二、著眼第二百五十九ノ如ク記ス

1 夜行軍ヲ行フヘキ場合

答案三九ノ一ヲ見ヨ

2 夜行軍ノ爲考慮スヘキ事項

夜行軍ハ軍隊ヲ疲勞セシムルコト大ニシテ特ニ未知不良ノ地形ニ於テ行フトキハ軍隊ノ戰鬥力ヲ著シク消耗スルノミナラス敵ノ妨害ヲ受クルニ方リテハ其實施極メテ困難ニ陥ルヘキヲ以テ常ニ當時ノ情況ヲ顧慮シテ之ヲ實行スルノ要否ヲ決定シ且其實施ニ際シテハ特別ノ考慮ヲ必要トス而シテ數夜ニ互リ夜間ノ行軍ヲ實施スルハ特別ノ場合ニ限ルモノトス

敵ノ空中搜索ニ對シテ全ク行軍ヲ秘匿セムカ爲行季、輜重ノ行動ヲモ夜間ニ於テノミ爲サシメムトセハ一夜ノ行程著シク減少スルヲ免レサルヲ以テ縱隊ヲ分チテ全長徑ノ短縮ヲ圖ル等ノ手段ヲ講シ

細密ナル計畫ヲ爲スヲ要ス

四三、著眼第二百六十三ノ(ロ)ヲ左ノ如ク記スヘシ兵、馬匹及車輛等ニ就キ絶エス服裝、馬裝、蹄鐵、及機能等ニ注意シ特ニ行軍間ノ休憩及宿營ニ於テ兵自ラ足部ノ保護、馬匹ノ愛護ニ關シ適當ノ注意ヲ爲スヤ否ヤヲ觀察シ且此等ノ事ヲ忽ニスル者ナカラシムルト共ニ諸材料ヲ整正ニ保持スルハ中隊長及之ニ準スル部隊ノ責任トス

四四、著眼第二百六十三ノ中前項ヲ左ノ如ク記ス

行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ志氣ヲ振作シ人馬衛生特ニ徒歩兵ノ靴傷、馬裝ニ因ル傷痕、四肢ノ疾病ノ豫防及處置ニ注意シ又人馬ノ給養ヲ良好ナラシメ且諸材料ノ保護ニ努ムルハ行軍力ヲ保持シ且之ヲ増進スルニ最モ有效ナル方法ナリ

四五、著眼第二百七十七ヲ參照シテ次ノ如ク圖示ス



◇陣中要務令◇

四六、著眼 第二百六十八乃至第二百七十五参照

1 師團行軍部署ノ圖示

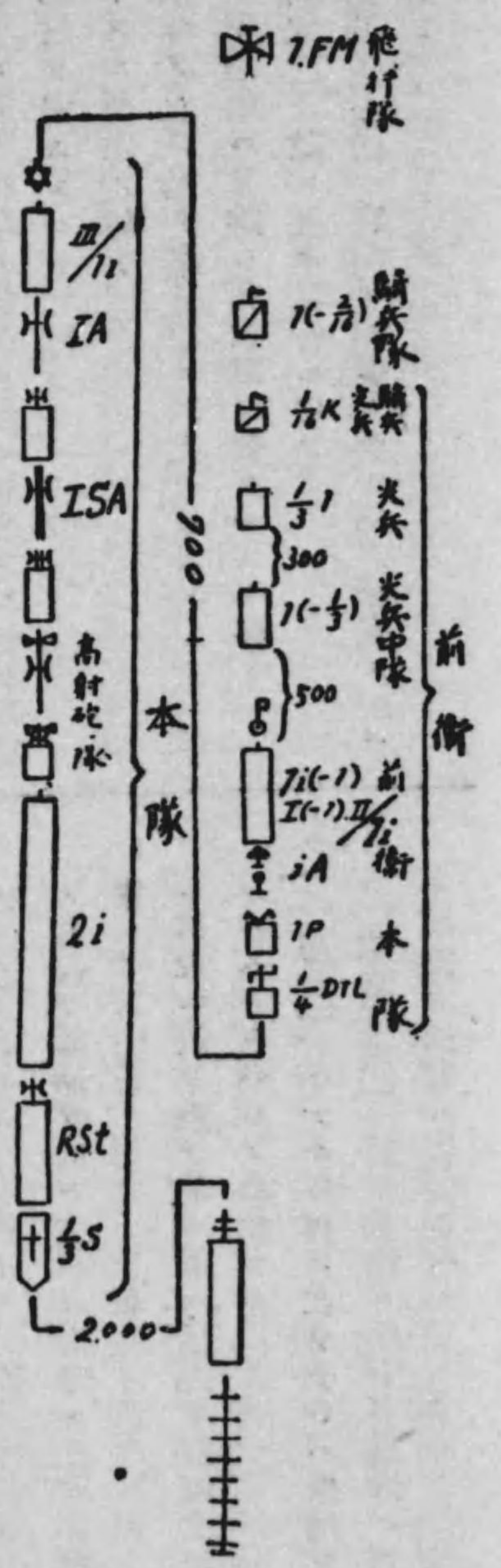


2 軍隊區分

- 飛行隊
- 飛行第一中隊
- 騎兵隊
- 騎兵第一聯隊(一小隊欠)
- 前衛
- 司令官 少將某
- 步兵第一旅團(第二聯隊欠)
- 騎兵一小隊(二分隊欠)
- 野砲兵第一聯隊第一大隊
- 工兵第一大隊(一中隊欠)
- 衛生隊三分ノ一
- 本隊(同行軍序列)

- 通信隊
 - 無線小隊
 - 騎兵一分隊
 - 師團司令部
 - 步兵第二聯隊
 - 工兵第二中隊
 - 野砲兵第一聯隊
 - 步兵第二旅團
 - 野砲兵聯隊段列
 - 衛生隊(三分ノ一欠)
- 四七、著眼 第二百六十八乃至第二百七十三参照
ヲ左ノ如ク記ス

四八、著眼 1 第二百八十四ヲ左ノ如ク記ス
2 第二百二十一乃至第三百二十四ヲ参照シ左ノ如ク記スヘシ



ヲ出發シ日出前遮蔽物ニ入ル如ク行軍計畫ヲ定メサルヘカラス而シテ到着後ニ於ケル對空遮蔽ノ方法ニ就テハ情況之ヲ許ス限リ豫メ偵察準備スル所アルヲ要ス

- 宿營法ノ種類及適用スヘキ場合
- 宿營法ノ種類
- 合營、露營、村落露營ノ三種トス
- 合營スル場合
- 露營スル場合
- 戰術上並衛生上妨ナケレハ合營ヲナス
- 露營スル場合
- 敵ニ接觸シ戰術上ノ顧慮ヨリ一定ノ地域ニ位置セサルヲ得サルトキ或ハ合營スヘキ住民地

◇陣中要務令◇

1 行軍ノ爲出發時刻ノ選定ノ要旨
出發時刻ハ戰術上ノ要求ニ依リテ之ヲ定ムヘシト雖情況之ヲ許セハ行軍行程、季節、天候及部隊ノ狀態等ヲ顧慮シ之ヲ定ムルヲ要ス過早ノ出發ハ軍隊ノ休養ヲ妨クト雖拂曉前ニ熱地ヲ出發スルハ日暮後生地ニ到着スルニ優レトス又返寒時ニ於テハ日沒前適時目的地ニ達スルコト必要ナリ
行動ヲ秘匿スル爲夜行軍ヲ實施スルトキハ其出發及到着ヲ暴露セサル如ク日沒前後ノ天光ヲ顧慮シ

◇陣中要務令◇

ニ乏シク又ハ然ラサルモ傳染病等ノ爲之ヲ利
用スル能ハス他ニ方法ナキトキ
ニ、村落露營ヲナス場合

敵ニ近接シ戰術上若干部隊ノ迅速ナル戰闘準
備ヲ必要トスルカ或ハ一定地域ニ宿營スルヲ
要スル軍隊ニシテ其地方ニ家屋ノ乏シキカ爲
全隊合營ヲ爲スコト能ハサルトキハ村落露營
ヲ爲スモノトス

四九、著眼第二百八十五ヲ左ノ如ク記ス

1 大部隊ヲ一地ニ集合スル法
利トスル處左ノ如シ

出發時刻ニ至ル迄各部隊ヲ直接ニ掌握シ最新ノ
情報ニ基キ現時ノ情況ニ最モ適合スル如ク行軍
部署ヲ定ムルコトヲ得
害トスル所左ノ如シ

軍隊ヲシテ長ク集合場ニ駐止セシム
空中搜索ニ暴露シ其攻撃ヲ受クルコト多シ

「用途」 敵ニ近キ場合ニ用フ

「注意事項」 時間ヲ徒費セサル如ク計畫スルコ
ト

上空ニ暴露セサルコト

2 情況ニ依リ大部隊ヲ一ノ集合場ヨリ逐次一隊
毎ニ出發セシム

利 集合場ヨリ逐次出發シ得ルヲ以テ駐止ノ爲ノ徒
勞少シ

害

動モスレハ齟齬ヲ來シ易シ

「用途」 稍、敵ニ遠キ場合ニ用フ

「注意事項」 出發順序ニ應ジ集合場ニ至ルヘキ
順序及時刻ヲ適當ニ規定スヘシ

3 行軍隊形ヲ以テ路上ニ集合スル方法

利

其儘ノ隊形ヲ以テ直チニ出發シ得ルノ利アリ

害

部隊ニ依リ集合地ニ至ル爲遠キ距離ヲ行進セサ
ルヘカラサルノ不利アリ

「用途」 小ナル部隊ニ在ラサレハ適用シ難シ

「注意事項」 行軍長徑ニ準シ各部隊ノ到ルヘキ
地點ヲ適當ニ指定スヘシ

4 情況ニ依リ各隊ニ通過スヘキ地點及時刻ヲ示
シ集合場ノ選定ハ之ヲ各隊ニ委スルヲ可トスルコ
トアリ

五〇、著眼行軍間ノ對空處置ハ第二百九十五、第二
百九十八、第三百七ヲ參照シ、合營間ノ瓦斯警報
アリタルトキノ處置ハ第三百五十八ヲ參照シテ記
スヘシ

1 行軍間ノ對空處置

(イ) 遮 蔽

上空ニ對シ遮蔽スルヲ必要トスルトキハ不規ノ
隊形ヲ取ラサルヘカラサルコトアリ

(ロ) 對空主任

各司令部及本部ニ於テハ對空監視及其連絡ニ關
スル主任者ヲ定メ彼我飛行機ノ識別、友軍飛行
機ノ信號ニ對スル應答並通信筒ノ拾得等ニ任セ
シムルヲ要ス

(ハ) 飛行機攻撃ヲ受クルトキ

適宜路外ヲ行進シ或ハ縱隊ヲ分割シ或ハ部隊間
ノ距離間隔ヲ開キテ前進スルヲ要スルコトアリ

3 合營間瓦斯警報アリタルトキ

◇陣中要務令◇

直チニ防毒覆面ヲ裝シ別命アル迄之ヲ繼續スヘシ

五一、著眼第三百九中ヨリ左ノ如ク記ス

炎熱ニ際シテ恐ルヘキハ喝病ナリ而シテ其豫防
法ハ行軍中適度ニ水ヲ與ヘ列伍ヲ疎開シ時々帽ヲ
脱シ襟ヲ開カシメ帽ニ垂布ヲ附スルヲ可トス又夜
間ヲ利用シ若ハ晝間ノ酷暑時ヲ避ケ尙成ルヘク睡
眠ヲ不足ナカラシメ又空腹ナラシメス且屢々、休憩
セシムルノ處置ヲ肝要トス又馬匹ノ爲ニハ特ニ歩
度ノ配合ニ注意スルヲ要ス

飲水供給ノ爲ニハ水筒ヲ充填セシメ或ハ先遣者ヲ
シテ住民ヲ促シテ路側ニ水桶ヲ備ヘシムル等諸種
ノ手段ヲ盡シテ之カ補填ヲ爲サシムルヲ要ス之カ
爲小部隊ハ暫時駐止スルコトヲ得ヘキモ大部隊ニ
在リテハ適宜行進中ニ飲水ヲ得テ之ヲ飲ミ且其携
帶スル水筒ニ貯フルノ方法ニ依ラサルヘカラス
生水ヲ用ヒムトスル場合ニハ勉メテ淨水並消毒ヲ
行フヘシ

軍隊沸水車ヲ携行スルトキハ之ヲ使用シ成ルヘク
生水ヲ用ヒシメサルヲ要ス

其他炎熱地ニ於ケル行軍ニ際シテハ害蟲ノ危害豫

◇陣中要務令◇

防ニ注意シ辨當ノ腐敗、發汗又ハ驟雨ノ爲被服ノ
濕潤ニ依ル疾病多キニ注意セサルヘカラス
時宜ニ依リ炎熱ノ際ニ於ケル辨當ニハ「パン」ヲ用
ヒ又情況之ヲ許セハ行軍途中ニ於テ炊事スルヲ有
利トスルコトアリ

五二、著眼第三百九ノ中ヨリ左ノ如ク記ス

沍寒ニ際シ最モ恐ルヘキハ凍死、凍傷ニシテ殊ニ
夜行軍ニ於テ甚シトス而シテ其豫防法ハ野外ニ於
ケル休憩ハ成ルヘク村落ヲ利用シ其時間ヲ短クシ
且回数ヲ多クシ各人ニハ勉メテ運動ヲ爲サシメ特
ニ時々手ヲ動カシ得ル爲銃ハ負革ニテ肩ニ懸ケシ
ムルヲ可トス又常ニ空腹ナラシメサルヲ要ス爲シ
得レハ休憩ノ際成ルヘク熱キ湯茶ヲ給シ又被服特
ニ手套、靴下等ノ濕潤スルトキハ速ニ之ヲ交換又
ハ乾燥セシメ身體濕潤ノトキ若ハ甚シク凍痛ヲ感
スルトキハ直接ニ火熱ニ觸レシムヘカラス又屋外
ノ假眠ト酒類ノ飲用トヲ嚴禁シ釘、紐等ノ解脫ナ
キコトニ注意シ且常ニ手、足、耳、鼻就中足尖ヲ
凍傷ニ罹ラシメサルニ注意スルヲ要トス
其他沍寒地ニ於ケル行軍ニ際シテハ乘馬隊ニ在リ

テハ時々乘馬行軍ヲ行フヲ可トス又適當ナル點火
及可燃材料ヲ携行セシメ以テ休憩時ニ於ケル探暖
ニ便ナラシムルヲ要ス尙水與テ適切ナラシムヘキ
休憩地ヲ選定スルノ注意ヲ必要トス
時宜ニ依リ沍寒ノ際ニ於ケル辨當ニハ「パン」ヲ用
ヒ又情況之ヲ許セハ行軍途中ニ於テ炊事スルヲ有
利トスルコトアリ

五三、著眼第三百二十一、第三百二十二、第三百二
十三、第三百二十四ヲ參照左ノ如ク記スヘシ

1 宿營法ノ種類
答案四八ノ2(イ)ヲ見ヨ
2イ、各種宿營法ノ利害
合營ノ利害
合營ハ戰鬪ノ準備容易ナル能ハサルモ風雨ヲ障
蔽シテ人馬ヲ休養シ需要品ノ補充、調理並裝具、
被服ノ補修ニ便ナリ
露營ノ利害
人馬ノ休養良好ナルヲ得サルモ戰鬪準備容易ナ
ルモノトス
村落露營ノ利害

戰鬪準備ヲ略ト露營ニ同シカラシメタル場合ニ
於テモ騎軍隊休養上ニ於テハ之ニ優ルモノトス
3 各種宿營法ヲ用フル場合
答案四八ノ(ロ)(ハ)(ニ)ヲ見ヨ

五四、答案四八ノ2ヲ見ヨ

五五、著眼第三百三十七、第三百三十八、第三百三
十九及第三百四十九ヲ參照シ左ノ如ク記スヘシ

1 合營司令官
歩兵大隊長之ニ任ス
「任務」 合營區ノ内務及警備ニ關スル事項ヲ統轄
ス

2 合營日直將校

歩兵大隊(若クハ砲兵中隊)ヨリ大尉一名ニ之ヲ命
ス
「任務」 直ニ合營司令官ニ届告シ合營ノ内務及警
備ニ關シ指示ヲ受ケ之ヲ部隊日直將校下士ニ傳ヘ
且合營衛兵、對空監視哨及對空射擊部隊ヲ指揮ス
ルモノトス

3 部隊日直將校(下士)
歩兵大隊ヨリ小隊長一人

◇陣中要務令◇

野砲兵中隊ヨリ下士一人
騎兵小隊及工兵小隊ノ爲ニハ右兩隊ノ中合營地ノ
近接セル部隊日直將校(下士)ヲシテ其勤務ヲ兼ネ
シム

「任務」 合營日直將校ノ業務ヲ輔佐シ其合營地區
内ノ警備ニ任セシム

部隊日直將校、下士ハ直ニ合營日直將校ニ届告シ
合營ノ内務及警備ニ關シ必要ノ指示ヲ受ケ之ヲ所
屬部隊長ニ報告シ之ニ基ク部隊長ノ命令ノ實行セ
ラレアルヤ否ヤヲ警視シ且部隊衛兵ヲ指揮スルモ
ノトス

4 巡察將校(下士)

歩兵大隊ヨリ小隊長一ヲ以テ之ニ任ス
「任務」 直ニ合營司令官ニ届告シ合營ノ内務及警
備ニ關シ指示ヲ受ケ任務ニ服ス
5 合營衛兵(部隊衛兵ノ勤務ヲ兼ネシム)
歩兵大隊ヨリ之ヲ出ス
「任務」 合營日直將校指揮ノ下ニ敵及住民ニ對ス
ル合營區ノ直接警戒、隣接宿營地トノ連絡、居民
ノ行動ノ監視、秘密ノ保持並合營區内ノ安寧秩序

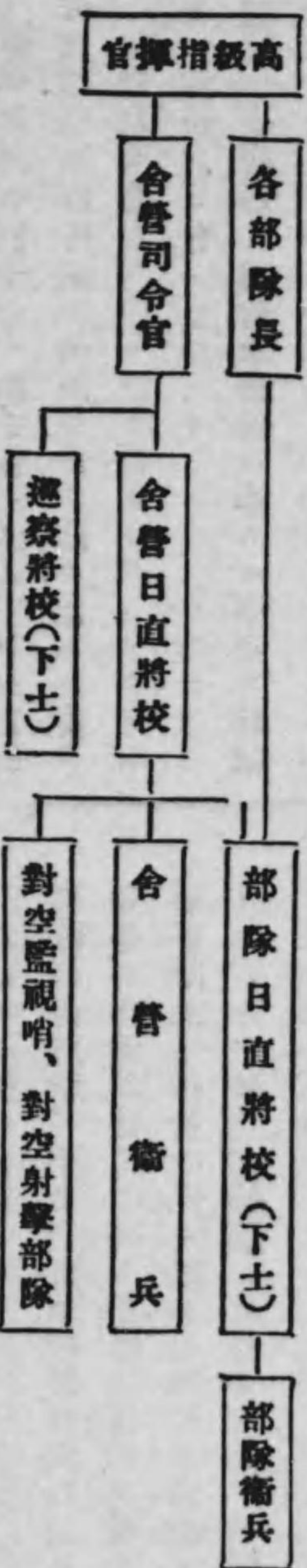
◇陣中要務令◇

ノ維持等ニ任セシム
 合營衛兵ハ擔任區域ノ外方、出口及外圍或ハ其區域内ノ各要點等ニ單哨、複哨若ハ下士哨ヲ配置シ主力ハ交通容易ナル位置ニ集結シ隣接衛兵ト連絡ヲ確保シ内外ノ警戒ニ任スルモノトス

「部隊衛兵トシテノ任務」軍旗、銃廠、砲廠、車

五六、著眼 第三百三十七、第三百三十八、第三百三十九、第三百四十九、第三百五十、第三百五十一ヲ参照シテ記スヘシ

(注意) 第三百四十九乃至第三百五十一ハ合營ノ警備中ノ規定ナルモ勤務ニ屬スルヲ以テ記載スルヲ要ス



五七、著眼 答案第五十六ニ示セル各條文ヲ参照スヘシ

1 勤務員ノ系統

文章ヲ以テ記述スルモ可ナリト雖モ圖示スレハ一層簡明ナリ

2 任務

「合營司令官」合營ノ内務及警備ニ關スル事項ヲ統轄ス
 「合營日直將校」合營司令官ニ届告シテ合營ノ

圖示法ハ答案五六ヲ見ヨ

五八、答案五七ノ2ヲ見ヨ

五九、著眼 第四百十一、第四百十二、第三百五十、第三百五十八第四項ヲ参照左ノ如ク記スヘシ

1 對空射擊部隊

合營區毎ニ機關銃一中隊若ハ步兵一小隊以上ノ兵力ヲ指定シテ對空射擊部隊ト爲シ對空監視哨ト連絡シ敵ノ飛行機ノ行動ニ注意シ我ニ危險ヲ與ヘントスルトキ又ハ低空ヲ飛行シ我射擊有效ナルトキハ通常對空射擊部隊長ノ命ニ依リ射擊スルモノトス

2 對空監視哨

合營區毎ニ設クルモノニシテ敵飛行機ノ來襲ニ對シ警戒スルモノトス

3 飛行機警報

飛行機警報アリタルトキハ特別任務アルモノノ外ハ所在ノ掩護物ヲ利用シ夜間ハ特ニ火光ノ漏洩ニ注意シ上空ニ對シ遮蔽シ別命アルマテ之ヲ繼續スヘシ

六〇、著眼 第三百五十二中左ノ部分ヲ記スヘシ

努メテ建制部隊毎ニ一家屋ニ合營シ服裝ヲ整ヘ武

内務及警備ニツキ指示ヲ受ケ合營司令官ノ指示事項ヲ部隊日直將校、下士ニ傳ヘ且合營衛兵、對空監視哨及對空射擊部隊ヲ指揮スルモノトス

「巡察將校(下士)」直ニ合營司令官ニ届告シ合營ノ内務及警備ニ就キ指示ヲ受ケ合營區内ノ警備ニ任ス

「部隊日直將校(下士)」ハ直ニ合營日直將校ニ届告シ合營ノ内務及警備ニ關シ必要ノ指示ヲ受ケ之ヲ所屬部隊長ニ報告シ之ニ基ク部隊長ノ命令ノ實行セラレアルヤ否ヤヲ監視シ且部隊衛兵ヲ指揮スルモノトス

「合營衛兵」合營日直將校ノ指揮下ニ敵及住民ニ對スル合營區ノ直接警戒、隣接宿營地トノ連絡、居民ノ行動監視、秘密ノ保持並合營區内ノ安寧秩序ノ維持等ニ任ス

「對空監視哨」對空監視ニ任ス

「對空射擊部隊」對空射擊ニ任ス

「部隊衛兵」所屬部隊日直將校(下士)ノ指揮下ニ軍旗、銃廠、車廠、行李等ニ哨兵ヲ配置シ之カ監視ニ任シ小哨勤務ノ規定ニ準シ服務セシム

◇陣中要務令◇

◇陣中要務令◇

器具ヲ身邊ニ置キテ眠臥シ凡テ窓戸ヲ開キ各家屋ニ少クモ兵一人點燈シテ警戒ヲ爲ス又馬匹ニ關シテ馬糞場、閉塞セル庭園等ヲ避ケ要スレハ圍堵等ヲ破壞シ通路ヲ開キ或ハ主路ニ連絡ヲ取り又當時ノ景況一層警備ノ嚴ナルヲ要スルトキハ馬匹ニ勒ヲ衝マシメ鞍ヲ裝シ若クハ輓具ヲ附シテ既外適當ノ場所ニ繫キ又ハ繫駕セシメ時宜ニ依リ宿營地ノ外方ニ在ラシムルコトアリ

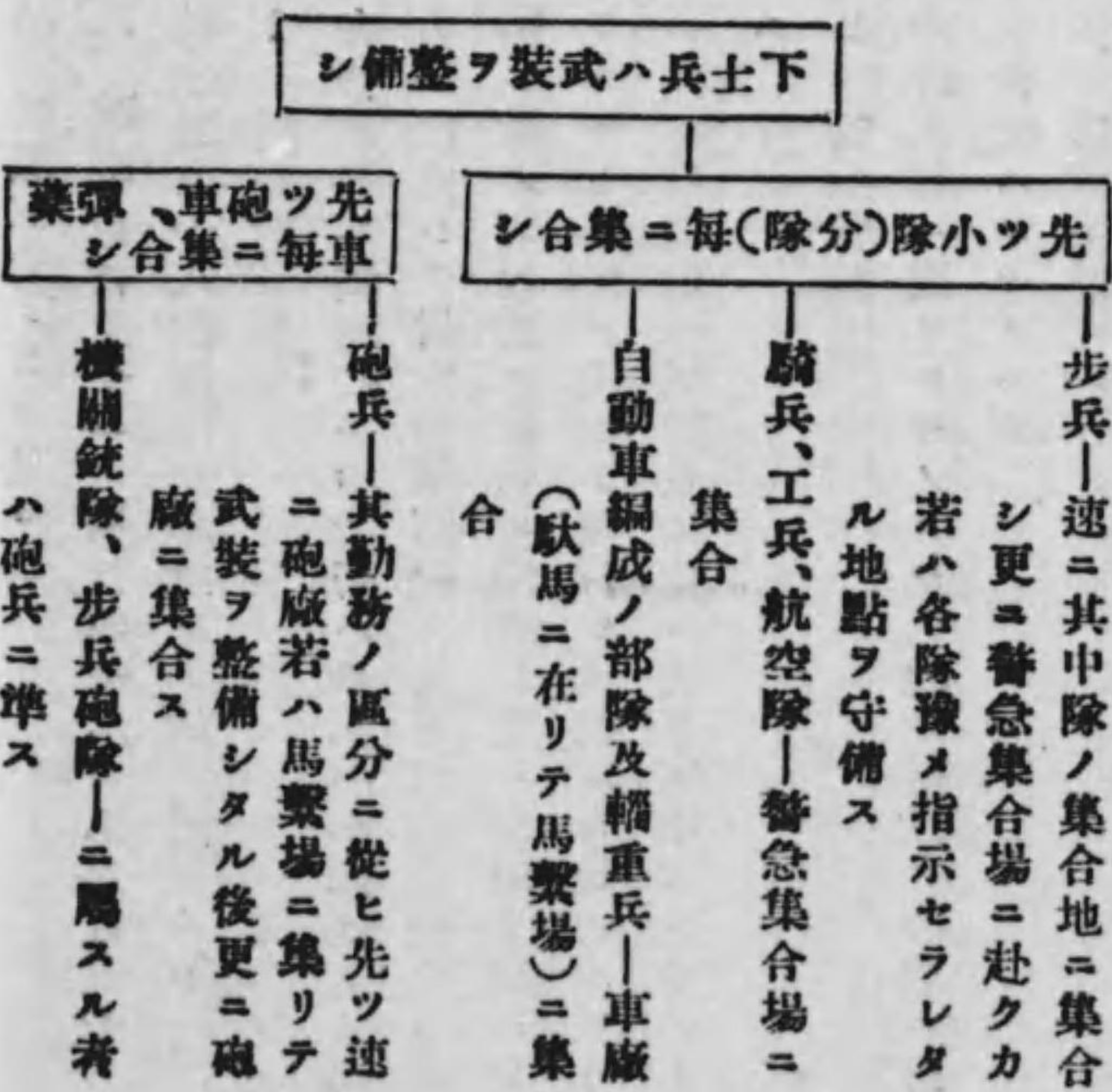
六一、著眼第三百五十八中ニ於テ當該兵科ニ關スル部分ヲ拔萃記述スヘシ

但シ本答案ハ記述ノ便宜ト他兵科トノ比較上一答案中ニ記述セリ研究ニ當リテハ之ニ留意サレ度シ

1 警報一般ノ要領
 合營間ニ於ケル警報ヲ分チテ非常警報、飛行機警報及瓦斯警報ノ三トシ各號音ヲ吹奏シ或ハ信號ヲ爲ス而シテ非常警報ハ上級先任ノ將校或ハ合營司令官、飛行機警報及瓦斯警報ハ合營司令官或ハ合營日直將校之ヲ命スルモノトス若シ事件突發シ豫警セハ不利危險ニ陥ルヘキ場合ニハ合營衛兵、對

空監視哨及各將校ハ身ヲ以テ責ニ任シ速ニ此等ノ號音ヲ吹奏シ或ハ信號セシムルノ義務ヲ有ス又一部隊ヲ速ニ使用シ得ムカ爲號音或ハ信號ヲ用フルコトナク豫急集合ヲナサシムルコトアリ之カ爲ニハ豫メ其準備ヲ爲シ置クヲ要ス

2 非常警報ニ於ケル各兵ノ動作



2 各兵ノ行動

答案六一ノ2ヲ見ヨ

六三、著眼第三百五十八ノ一部ナリ答案六一ノ2ヲ見ヨ

六四、著眼第三百五十八ノ一部ヲ記スヘキモノニシテ答案六一ノ3ヲ見ヨ

六五、著眼第三百五十九ヲ左ノ如ク記スヘシ

露營地ハ戰術上ノ要旨ト休養上ノ利便トニ適合セサルヘカラス

1 戰術上ノ要旨

戰術上ノ要旨ハ敵方上空ニ遮蔽シ敵ノ飛行機又ハ長射程砲ノ攻撃目標ト爲リ易キ土地ヲ避ケ且速ニ集合若ハ出發シ得或ハ豫定陣地ヲ占領スルニ便ナル如ク露營ノ位置ト形狀トヲ選定スルニ在リ

2 休養上ノ要旨

休養上露營地ニ必須ノ條件ハ良水ヲ得ルコト容易且十分ナルト其地ノ乾燥セルト風雨ノ障蔽ヲ得ルコト等ニシテ爲シ得レハ其近傍ニ於テ各種需用品ヲ調達シ得ルヲ可トス凡テ健康ニ害アル地ノ露營ハ其人馬ヲ損耗スルコト戰闘ニ於ケルヨリモ甚シ

◇陣中要務令◇

合營衛兵、部隊衛兵及對空監視哨ハ合營日直將校、下士ヨリ受ケタル命令ニ從ヒテ動作ス
 行李ハ豫メ其動作ヲ規定セラレサルトキハ其宿營地ニ於テ出發準備ヲ整ヘアルヘシ
 敵兵急ニ合營地内ニ侵襲シ之カ爲所屬部隊ニ合スル能ハサル者ハ其位置ニ於テ現在ノ人員協力シテ敵ニ當ルヘシ
 3 飛行機警報ニ於ケル各兵ノ動作
 飛行機警報アルトキハ特別任務アルモノノ外ハ直ニ所在ノ掩蔽物ヲ利用シ夜間ハ特ニ火光ノ漏洩ニ注意シ上空ニ對シ遮蔽シ別命アルマテ之ヲ繼續スヘシ
 4 瓦斯警報ニ於ケル各兵ノ動作
 瓦斯警報アルトキハ直チニ防毒覆面ヲ裝シ別命アル迄之ヲ繼續スヘシ

六二、著眼第三百五十三ヲ次ノ如ク記スヘシ

1 合營ニ於ケル警報ノ種類

(イ)非常警報

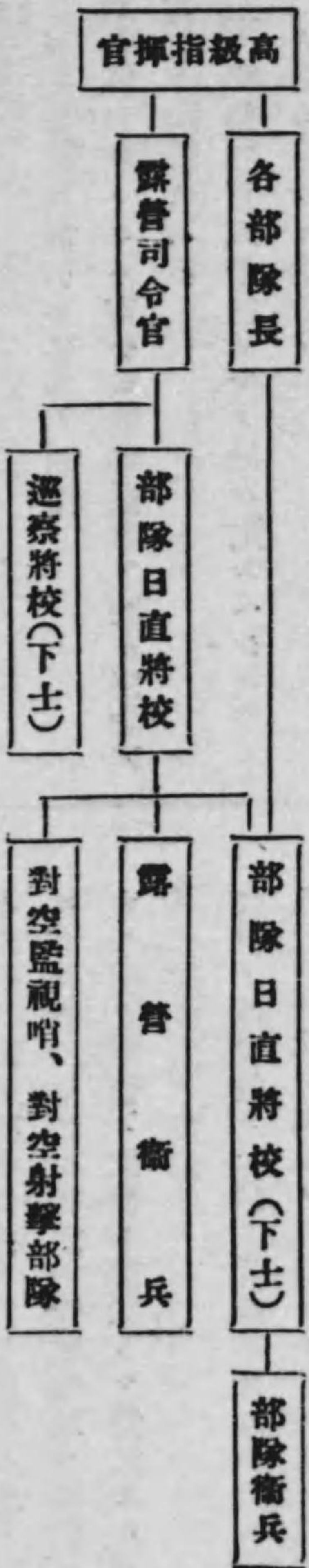
(ロ)飛行機警報

(ハ)瓦斯警報

◇陣中要務令◇

キモノトス

六六、著眼第三百七十三ノ原則ニ基キ合營及露營ノ規定ヲ準用シ左ノ如ク圖示スヘシ、尙ホ答案五四ヲ參照スヘシ



六七、著眼第三百七十七ヲ左ノ如ク記スヘシ

有線通信ハ通信確實ニシテ其能力モ亦大ナリ然レトモ建築ニ時日ヲ要ス
有線電話ハ相互ノ意志ヲ疏通シ通信簡易ナルモ動モスレハ誤謬ヲ來シ又敵ニ聽取セラルルコトアリ

無線電信ハ其開設、撤收比較的迅速ニシテ且諸方向ニ對スル通信ニ適スト雖空中電氣及混信ニ因リ妨害セラレ又敵ニ竊取セラルルコト多シ
視聽通信ハ輕易ニシテ簡單ナル通信ニ適スト雖モ通信所間ノ通視ヲ絕對ニ必要トシ天候地形等ニ左

右セラルルコト大ナリ

鳩ニ依ル通信ハ他ノ通信手段缺如シ又ハ著シク不確實ナル場合ニ於テ猶之ヲ用フルヲ得ヘキモ生地ニ於ケル訓練ニ時日ヲ要シ又天候青島等ニ依リ制限ヲ受ケ且通信能力小ナリ
以上ノ外音響信號、傳令犬等ニ依ル通信法アルモ其能力大ナラス

六八、著眼第三百九十一乃至第三百九十七ニ依リ左

ノ如ク記スヘシ

- 1 通信機關
- イ 歩兵通信班

- ロ 騎兵通信班
- ハ 砲兵通信班
- ニ 通信隊
- ホ 航空通信隊
- ヘ 野戰電信隊
- ト 無線電信隊
- チ 兵站電信隊

2 各種通信機關ノ任務

(イ) 歩兵通信班

歩兵通信班ハ當該隊長ト其直屬隊長、通信機關ヲ有セサル上級指揮官及要スレハ所要ノ部隊間等ニ通信網ヲ構成シ且其通信ニ任スルモノトス
(ロ) 騎兵通信班
騎兵通信班ハ當該隊長ト其直屬隊長及上級指揮官トヲ連絡ス但シ騎兵集(旅)團ト上級指揮官トノ無線電信通信ニ關シテハ無線電信隊之ニ任スルモノトス

(ハ) 砲兵通信班

砲兵觀測班(小隊)ハ當該隊長ト其上級砲兵指揮官要スレハ放列若ハ補助觀測所及所要ノ部隊間

◇陣中要務令◇

ニ通信網ヲ構成シ且其通信ニ任スルモノトス

(ニ) 通信隊

通信隊ハ主トシテ師團司令部ト其直轄指揮官及所要ノ部隊トノ間ニ通信網ヲ構成シ且其通信ニ任スルモノトス
任スルモノトス
トアリ

(ホ) 航空通信隊

航空通信隊ハ航空隊相互間及航空隊ト所屬司令部又ハ臨時航空隊ヲ配屬セラレタル司令部トノ間ニ有線電話網ヲ構成シ且其通信ニ任スルモノトス

(ヘ) 野戰電信隊

野戰電信隊ハ野戰有線通信網ヲ構成シテ通常軍司令部ト其直屬指揮官及隣接軍トノ通信ニ任スルモノトス

(ト) 無線電信隊

無線電信隊ハ無線電信網ヲ構成シ軍司令部ト其直屬指揮官及隣接軍並後方管區トノ通信ニ任スルモノトス

(チ) 兵站電信隊

兵站電信隊ハ野戰電信隊ヲ交代推進シ兵站有線

◇陣中要務令◇

通信網ヲ構成シテ之ヲ後方ノ既設通信網ニ連接シ且其通信ニ從事スルヲ以テ主要ノ任務トス情況ニ依リ野戰電信隊ト同一ノ任務ニ服スルコトアリ

六九、著眼第四百三十三ヲ左ノ如ク記スヘシ

戰地ニ於ケル人馬ノ給養ハ部隊ノ携行スル糧秣(各自携帶スル糧秣及大行李、輜重ニ積載スル糧秣)倉庫ノ糧秣若ハ部隊直接ニ購買、徵發セル糧秣ニ依リ又稀ニ合主ノ供給スル糧秣ニ依リ之ヲ行フ

七〇、著眼第四百三十三及第四百三十八乃至第四百

四十一マテヲ記スヘシ

1 戰地ニ於ケル人馬ノ給養法ノ種類

答案六九ヲ見ヨ

2 各種給養ヲ行フ場合

(イ)大行李ニ積載スル糧秣

大行李ニ積載スル糧秣ハ所屬部隊長自ラ之ヲ使用シ部下ノ給養ニ充ツルモノトス

(ロ)携帶糧秣

携帶糧秣ハ各自携帶スル豫備糧秣ニシテ他ニ給

養ノ方法ナク已ムヲ得サルトキ部隊長自己ノ責任ヲ以テ之ヲ使用スルモノトス

(ハ)輜重ニ積載スル糧秣

輜重ニ積載スル糧秣ハ其屬スル高級指揮官之ヲ以テ大行李糧秣ノ補充ニ使用スルモノトス

(ニ)野戰倉庫

野戰倉庫ハ師團又ハ軍ニ於テ各、其管区内ニ糧秣ヲ集積スル爲當該經理部長ヲシテ設置セシムルモノニシテ其糧秣ハ購買、徵發若ハ追送ニ依ルモノトス

軍隊一地ニ駐留スルトキハ高級指揮官ハ速ニ野戰倉庫ヲ設置シ各部隊ノ給養ニ便ナラシムルヲ可トス而シテ軍隊ニ直接供給スルコトアリ

(ホ)地方糧秣ニ依ル

高級指揮官ヨリ指定セラレタル地域ニ於テ各部隊ヲシテ直接購買セシメ給養ス

(ヘ)各部隊ノ徵發セル糧秣ニ依ル

各部隊ヲシテ直接ニ地方糧秣ヲ徵發セシムルニハ高級指揮官其部隊ニ一定ノ地域ヲ指示シ該部隊ノ徵發隊ヲ以テ其地ニ就キ徵發ヲ實施セシム

ルモノトス然レトモ非常ノ場合ニ際シテハ各部隊長或ハ其地ニ於テ指揮ヲ執ル上級先任ノ將校

ハ徵發ノ權ヲ有ス

此徵發法ハ資源ヲ節用シ且之ヲ平等ニ使用シ得サルノ弊アルヲ以テ給養品ヲ後方ヨリ輸送シ若ハ之ヲ購買スルノ途ナキ等已ムヲ得サル場合ニ限り行フモノトス

(ト)高級指揮官ノ徵發

高級指揮官ノ行フ徵發ハ野戰倉庫ノ充實又ハ直接各部隊ニ對スル補給ニ供スルヲ目的トス

(チ)合主ノ供給スル糧秣

情況ニ依リ合主ノ供給スル糧秣ニ依リ給養ス

七一、著眼第四百三十三及第四百三十四並附錄第十

六ヲ参照シテ記スヘシ

1 戰地ニ於ケル給養法ノ種類

答案六九ヲ見ヨ

2 大行李、輜重ニ積載スル一日分ノ定規糧秣ノ數量左ノ如シ

「二人一日分」

精米六四〇瓦(四合五勺)、精麥二〇〇瓦(1合

◇陣中要務令◇

九勺)、罐詰肉一五〇瓦(四〇匁)、食鹽一二瓦(三匁)、醬油エキス二〇瓦(五匁)、野菜類、乾物類、調味品等若干

「乘馬、鞍馬(行李輜重ニ屬スルモノヲ除ク)一日分」

大麥五、二五〇瓦(五升)、干草三、七五〇瓦(一貫匁)、粟三、七五〇瓦(一貫匁)

「行李輜重ノ鞍馬一日分」

大麥四、二〇〇瓦(四升)、干草三、七五〇瓦(一貫匁)、粟三、七五〇瓦(一貫匁)

七二、著眼第四百三十三及第四百三十九ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 戰地ニ於ケル給養ノ種類

答案六九ヲ見ヨ

2 携帶糧秣使用上注意スヘキ件

携帶糧秣ハ各自携帶スル豫備糧秣ニシテ他ニ給養ノ方法ナク已ムヲ得サルトキ部隊長自己ノ責任ヲ以テ之ヲ使用スルモノトス而シテ各部隊長ハ部下ノ有スル携帶糧秣ノ情況ヲ明ニシ之ヲ使用シタルトキハ速ニ其旨ヲ上級指揮官ニ報告スヘシ

◇陣中要務令◇

携帯糧秣ハ各人馬常ニ完全ニ之ヲ保持スヘキモノトス而シテ各級幹部ハ之ニ關シ常ニ其部下ヲ監視セサルヘカラス

七三、著眼一ハ第四百七十五第二項ヲ参照、二ハ第四百八十六ヲ左ノ如ク記ス

1 完全定量ニ對スル不足分ヲ勉メテ充足スルハ給養單位タル部隊長ノ責任ニシテ之カ調辨區域ハ通常其宿營地區内トス但シ他部隊ノ宿營シ在ラサル地區ニハ適宜調辨區域ヲ擴張スルヲ得然レトモ數部隊相隣接シアル場合ニ於テハ上級指揮官ハ之カ境界ヲ指定スルモノトス

情況之ヲ許セハ高級指揮官ハ其經理部長ヲシテ上記不足品ヲ調辨シテ各部隊ニ交付セシムルヲ可トスルコトアリ

2 兵站ノ任務及業務

兵站勤務ハ軍ノ活動力ヲ保持シ且之ヲ推進スルヲ以テ主要ノ任務トス即馬匹及軍需品ノ前送、補給、作戰ニ必要ナキ人馬物件ノ收容、後送、通行人馬ノ宿泊、給養及診療其他野戰軍ノ後方連絡線ノ確保、遺棄軍需品ノ蒐集利用、戰地ニ於ケル諸資材

ノ調査利用並民政等ヲ包含スルモノトス
七四、著眼第四百三十九及附錄第十三ヲ参照左ノ通り記スヘシ

1 携帯糧秣ノ使用
答案七二ノ2ヲ見ヨ

2 携帯法

携帯口糧 { 徒歩者 背囊(背負袋)ニ收容ス
乗馬者 鞍囊ニ收容ス

携帯馬糧 { 乘馬 旅(鞍)囊ニ收容
輓駄馬 適宜ニ積載ス

3 定量

携帯口糧

甲 精米一日分八五五瓦(六合)

乙 パン一日分六七五瓦(一八〇匁)

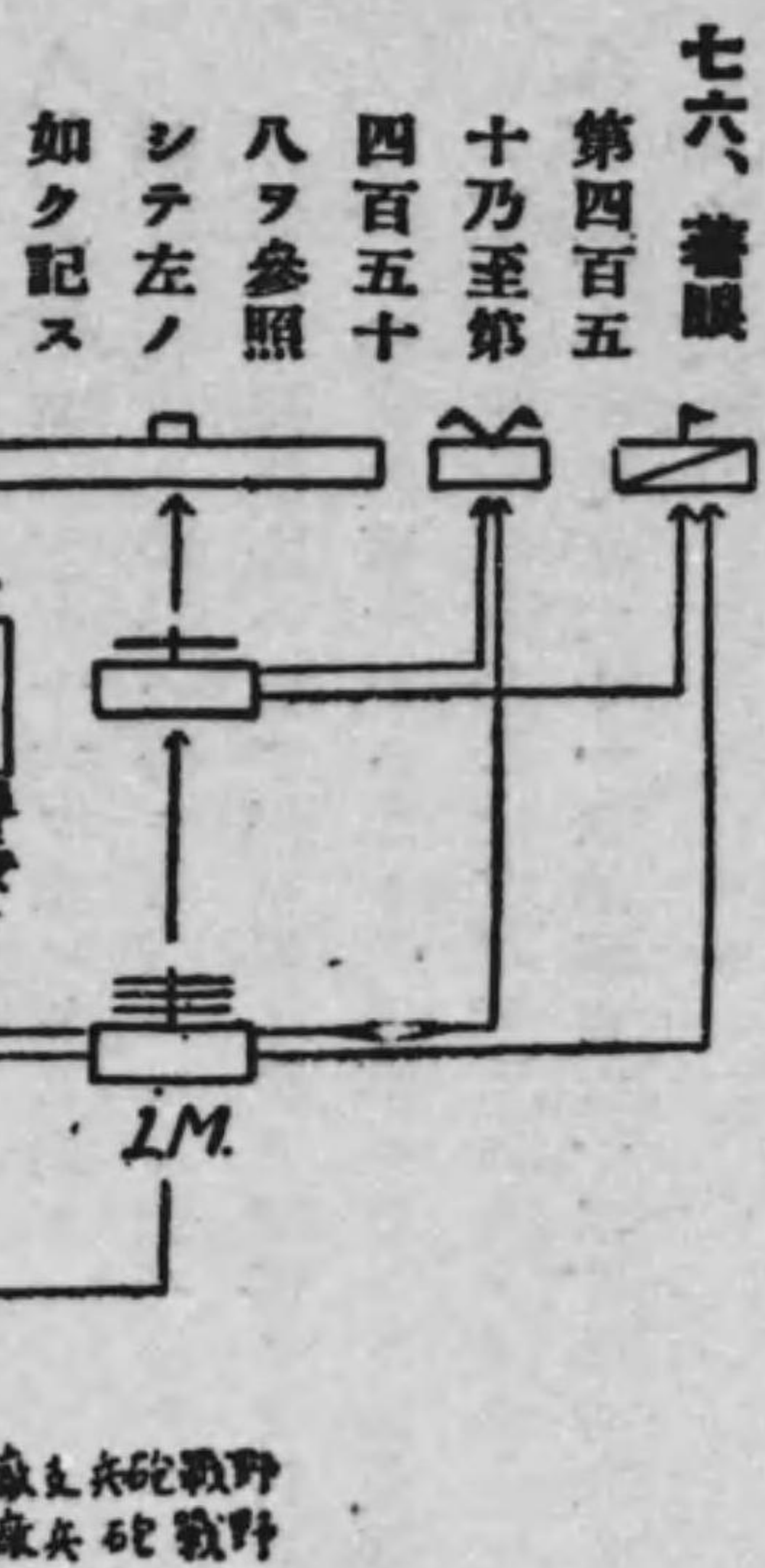
各人 { 副食物 罐詰肉一五〇〇瓦(四〇匁)、食鹽二四瓦(六匁)

携帯馬糧

大麥一升五合(二、六二五瓦)(騎兵及之ト各馬 行動ヲ共ニスル部隊ノ乘馬ハ二升(二、一〇〇瓦)トス

七五、著眼第四百三十九ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 携帯糧秣ノ種類 (イ)携帯口糧(ロ)携帯馬糧
2 携帯糧秣使用法 答案七二ノ2ノ通りニテ可ナリ



七六、著眼

第四百五

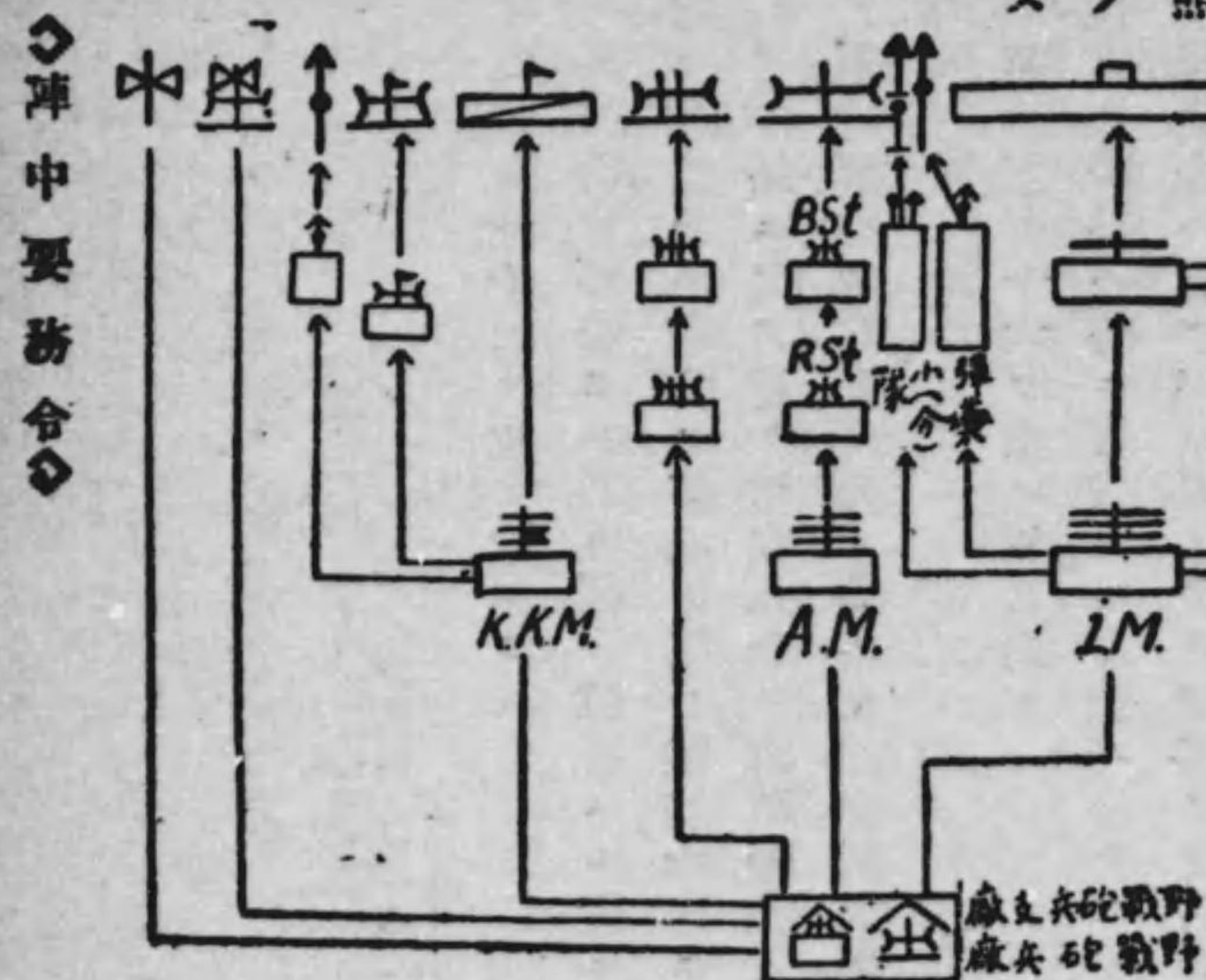
十乃至第

四百五十

八ヲ参照

シテ左ノ

如ク記ス



◇陣中要務令◇

七七、著眼第三十八及第四百四十ヲ左ノ如ク記ス部隊ノ携行スル糧秣ハ大行李及輜重ノ携行スル糧秣トス

1 「大行李ノ糧秣ノ用途」
所屬部隊長自ラ之ヲ使用シ部下ノ給養ニ充ツルモノトス

「大行李糧秣ノ補充」
軍隊行動間ノ補充 通常輜重ノ積載スル糧秣駐軍間ノ補充 倉庫ヨリ補充セラルルコトアリ

2 「輜重ノ糧秣ノ用途」
輜重ニ積載スル糧秣ハ其屬スル高級指揮官之ヲ以テ大行李糧秣ノ補充ニ使用スルモノトス
等所要ノ事項ヲ命スルヲ要ス

「輜重ノ補充」
通常野戰倉庫ヨリ補充セラルモノトス

七八、著眼第四百五十及第四百五十八ヲ参照左ノ如

◇陣中要務令◇



七九、著眼第四百九十二ヲ左ノ如ク記ス

兵站地ハ兵站司令部若クハ同支部ノ位置スル所ニシテ陸路ニ在リテハ適當ノ距離ヲ間シ鐵道水路ニ在リテハ其要點ニ之ヲ設ケ往復人馬ノ宿泊給養及諸物件ノ運送業務並其管区内ノ警備交通通信設備ノ保護等ニ任ス

八〇、著眼第五百五十六ヲ左ノ如ク記ス

輸送間兵員ノ給養ハ特ニ施設セル食堂ニ於テスルカ又ハ出發前若ハ途中停車場ニ於テ辨當ヲ支給シ車内ニ於テ食事セシム而シテ食事ニ要スル湯茶等ハ適當ノ停車場ニ於テ之ヲ準備スルモノトス

八一、著眼第五百六十一及第五百六十二ヲ参考左ノ如ク記入ス

1 修理

占領鐵道ニ於テハ往々ニシテ鐵路ノ大部ヲ破壞セラレアルコトアリ又我軍力之ヲ利用スルニ方リ據

四〇

發スル如キ裝置ヲ施サレアルコトアリ而カモ鐵道ノ新設ハ長時日ヲ要シ神速ナル作戦上ノ要求ニ應シ難シ故ニ鐵道ヲ迅速ニ修理スル爲必要ナル諸般ノ準備ヲ整ヘアルコト極メテ必要ニシテ之カ爲作業列車及工場列車等ヲ準備スルトキハ其價値大ナリ又鐵道破壞ノ情況ヲ速ニ偵知スルハ之カ修理及利用ヲ迅速適切ナラシムル爲特ニ必要ナリトス

2 保護

鐵道ハ線路及通信機關完全ニシテ始メテ能ク其能力ヲ發揮シ得ヘク而モ故障ノ復舊ニハ長日月ヲ要スルヲ常トス故ニ之カ保護ニハ常ニ深甚ノ注意ヲ拂フコト緊要ナリ
運轉中ニ在ラサル鐵道ノ保護及交通路其他ノ爲之カ利用ニ關シテハ高級指揮官適時之ヲ指示スルヲ要ス

鐵道ノ近傍ニ在ル軍隊ハ任務ノ遂行ニ妨ナキ限リ我軍ノ利用中ニ在ル鐵道ハ勿論將來利用スヘキ鐵道ヲモ保護スヘキモノトス

八二、著眼第五百八十六ヲ參照次ノ如ク記スヘシ

船中ニテ一般ニ服膺スヘキ件概ネ左ノ如シ

火災豫防ニ注意スルコト

喫煙、洗面等ハ必ス所定ノ場所ニ於テシ又船内ヲ汚損セシメサルコト

汚水ノ使用ヲ節約スルコト

船橋、船首樓、船尾樓、操舵室、機關室、扈衛其他危險ナル場所等ニ立入り又通路、階梯等ニ立止マラサルコト

妄ニ燈火ヲ點シ又ハ所定ノ位置ニ在ルモノヲ他ニ持チ行カサルコト

船員ノ動作ヲ妨害セサルコト

情況ニ依リ無燈航行ヲ行フ場合ニハ自己ノ船舶ヨリ燈火ノ洩ルルヲ防止スルト共ニ僚船中燈火ノ洩ルルモノナキヤニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ告知スルコト

八三、著眼附錄第二ノ第二ヲ記スヘシ

飛行機ト地上部隊トノ通信連絡ノ爲通常飛行機ハ無線電信、通信筒、煙火信號、鳩ヲ用ヒ地上部隊ハ無線電信、布板、標示幕、地上煙火信號ヲ用フ又情況ニ應シ臨時應用ノ手段ヲ用フルモノトス

八四、著眼附錄第二ノ第七ノ第二項ヲ記スヘシ

◇陣中要務令◇

四一

八五、著眼附錄第九ノ第一第二ヲ左ノ如ク記スヘシ

任務
橋梁哨ハ軍隊ノ渡過、其他増水、風浪若クハ敵ノ上空及地上ヨリスル破壞企圖ニ對シ橋梁ヲ保護スルヲ以テ其任務トス
勤務ノ種類

◇陣中要務令◇

- 1 橋梁哨長
- 2 橋梁日直將校（時宜ニ依リ橋梁哨長自ラ之ヲ執ルコトアリ）
- 3 橋梁衛兵
- 4 橋梁保護兵
- 5 橋梁控兵（情況之ヲ許セハ省略スルヲ得）

八六、著眼此問題ハ通信教範ニアラス陣中要務令中ヨリ摘記ス

- 1 有線電信

通信確實ナリ
能力大ナリ

害

建築ニ時日ヲ要ス

破壊セラレ易シ（人爲的ニモ天候等ノ爲ニモ）

- 2 有線電話

相互ノ或思ヲ疎通シ得
通信簡易ナリ

害

- 3 無線電信

開設、撤收比較的迅速ナリ
諸方向ニ對スル通信ニ適ス

害

空中電氣及混信ニ依リ妨害セラル
敵ニ竊取セラルルコト多シ

- 4 視號通信

輕易ニシテ簡單ナル通信ニ適ス

害

通信所間ノ通視ヲ絕對ニ必要トス
天候地形等ニ左右セラルルコト多シ

- 5 鳩通信

他ノ通信手段著シク缺如シ又ハ著シク不確ナル場合ニ在リテモ猶之ヲ用フルコトヲ得

害

生地ニ於ケル訓練ニ時日ヲ要ス

天候、害鳥等ニ依リ制限ヲ受ク

通信能力小ナリ

八七、著眼陣中要務令ノ問題ナリ從而同書附錄第二ノ第二ヨリ引用

飛行機ト地上部隊トノ通信連絡ノ爲通常飛行機ハ無線電信、通信筒、煙火信號、鳩ヲ用ヒ地上部隊ハ無線電信、布板、標示幕、地上煙火信號ヲ用フ又情況ニ應シ臨時應用ノ手段ヲ用フルモノトス

八八、著眼陣中要務令附錄第二ノ第二乃至第十二ヲ略記スキヘキモノナルモ其儘記述ス

- 1 飛行機ト地上部隊トノ通信連絡ノ爲通常飛行機ハ無線電信、通信筒、煙火信號、鳩ヲ用ヒ地上部隊ハ無線電信、布板、標示幕、地上煙火信號ヲ用フ又情況ニ應シ臨時應用ノ手段ヲ用フルモノトス
- 2 煙火信號ハ飛行機上ヨリ拳銃ヲ以テ發射スル煙火ノ色彩及星數ニ依リ地上部隊ニ對シ隊號布板ノ布置、戰線標示ヲ要求シ或ハ其他簡單ナル

◇陣中要務令◇

事項ヲ通信スルニ用フ

- 3 布板信號ハ地上部隊ヨリ飛行機ニ對スル通信ニ用ヒ隊號布板及信號布板ノ二種ニ區分ス

一 隊號布板ハ飛行機ニ對シ自己ノ部隊號並其指揮官ノ位置又ハ通信筒投下地點ヲ標示シ或ハ信號布板ト併用シテ通信ヲ行フニ用フルモノトス

二 信號布板（通常白布）ハ常ニ隊號布板ト併セ用フルモノニシテ長三米、幅五十糎ノモノ三枚ヲ以テ一組トス而シテ布板間隔ハ通常信號布板ト隊號布板間一米、信號布板相互間ハ二米トス

- 4 標示幕信號ハ行軍縱隊ニ在リテハ其先頭又ハ後尾ノ位置ヲ戰線ニ在リテハ其第一線ヲ飛行機ニ對シ標示スルニ用フルモノニシテ長五米、幅七十糎ノ白布トス
- 5 地上煙火信號ハ地上ニ於テ發射スル信號彈ノ

煙火ノ色彩ニ依リ飛行機ニ對シ重要ノ時機ニ於テ他ノ信號ヲ行ハンカ爲其注意ヲ喚起シ又ハ極メテ簡易ナル事項ヲ通信スルニ用フ

◇陣中要務令◇

6 通信筒投下ニ依ル連絡ハ左ノ要領ニ據ルモノトス
 飛行機ハ隊號布板ノ位置若ハ地上部隊ヨリ準據ヲ與ヘラレタル地點ニ近ク落達スル如ク通信筒ヲ投下ス若シ通信筒ヲ投下スヘキ豫想地點ノ上空ニ到リ隊號布板ヲ認メ得サル時ハ煙火信號ニ依リ其布置ヲ要求スルカ若ハ單ニ其行動例ヘハ低空ニ於ケル旋回等ニ依リ地上部隊ノ注意ヲ喚起ス
 地上部隊ハ友軍飛行機ヨリ隊號布板ノ布置ヲ要求セラルルカ又ハ其飛行狀態ニ依リ通信筒ヲ投下セムトシツツアルコトヲ推知シタルトキハ速ニ隊號布板ヲ布置シ投下位置ヲ示ス又隊號布板ヲ有セサル部隊ト雖飛行機カ通信筒投下ノ形勢ヲ示ス時ハ臨機ノ手段例ヘハ速ニ手旗又ハ布片ヲ振ル等ノ處置ニ依リ直ニ之ニ應答シ投下地點ニ準據ヲ與フルヲ要ス而シテ飛行機ノ投下セシ通信筒ヲ受領スルカ又ハ未タ之ヲ拾得シ得サル場合ニ於テモ落下地點ヲ推知シ得ハ直ニ通信受領ノ布板信號ヲ行フカ若ハ臨機ノ手段ニ依リ之

カ應答ヲ爲スモノトス
 飛行機ハ地上部隊ノ通信受領ノ信號ヲ認ムルカ又ハ地上ニ於テ通信筒ヲ拾得セルコトヲ確認シタル後飛去ス
 7 煙火信號ニ依リ通信ヲ行フ場合ニ在リテハ通常地上部隊ノ隊號布板展置ヲ待ツテ之ヲ行フモノトス
 二種以上ノ煙火信號彈ヲ連續發射スル場合ニハ各發射ノ間ニハ少クモ十秒時ヲ間スルヲ要ス
 地上部隊ハ其信號ヲ了解セハ了解ノ布板信號ヲ行フ
 8 布板信號ニ依リ通信ヲ行フ場合ニ在リテハ地上部隊ハ自己ノ上空ニ在ル飛行機ニ對シ規定ニ從ヒ信號布板ヲ配置ス此際飛行機ノ注意ヲ喚起スル爲メ地上信號彈ヲ使用シ又ハ手旗其他布片ヲ振ル等臨機ノ處置ヲ必要トスルコトアリ而シテ飛行機ヨリ了解ノ信號ヲ得ハ直ニ布板ヲ撤ス若シ飛行機ヨリ了解ノ信號ナキ場合ニ於テ敵機ニ依リ認識セラルル虞ナキ時ハ停止間ノ部隊ニ在リテハ少クモ布板布置後約十分間、移動中ノ部

隊ニ在リテハ約五分間之ヲ存置スルヲ要ス
 9 飛行機カ友軍ノ戰線又ハ縱隊ノ先頭(後尾)ヲ知ラムカ爲メ標示幕ノ展置ヲ要求セムトスル場合ニハ第九ニ示セル要領ニ依リ所定ノ煙火信號ヲ爲シ之ヲ認メタル第一線又ハ縱隊ノ先頭(後尾)部隊ハ標示幕ヲ布置シ飛行機ノ了解ヲ俟テ之ヲ撤去スルモノトス
 10 地上煙火信號ハ前掲諸條ノ要領ニ準シ實施スルモノトス
 11 地上ヨリ飛行機ニ對シ信號ヲ行フニハ敵飛行機ヨリ發見セラレシ且我飛行機ノ受信容易ナル時機及場所ヲ選定スルコト肝要ナリ
 地上部隊ノ布板ヲ布置スルニ方リテハ空中ヨリノ識別ヲ容易ナラシムル爲メ其配置ヲ正確ニシ布板ト類似ノ色ヲ有スル土地ニ布置スルコトナク附近ニ混同シ易キ色彩、形狀ノ物件ヲ存置セシムヘカラス尙敵機ニ發見セラレサル爲メハ敵方ニ反スル斜面ヲ選定スルヲ利トスルコトアリ
 八九、著眼陣中要務令附錄第二ノ第三第四ヲ引用ス

答案123ヲ見ヨ
 九〇著眼、陣中要務令附錄第二ノ第二ヲ引用スヘシ
 答案八八ノ1ヲ見ヨ
 九一、著眼第四百三十三第四百三十八乃至第四百四十一ヲ参照
 答案第七十七ヲ見ヨ
 九二、著眼第二百五十九ヲ参照シ左ノ如ク記述ス
 1、利、敵ニ對シ我行動企圖ヲ秘匿シ又夏期炎熱ヲ避クルノ利アリ
 2、害、軍隊ヲ疲勞セシムルコト大ニシテ特ニ未知不良ノ地形ニ於テ行フトキハ軍隊ノ戰鬥力ヲ著シク消耗スルノミナラス敵ノ妨害ヲ受クルニ方リテハ其實施極メテ困難ニ陥ルノ弊アリ又進路ヲ誤ルコトナキニアラス
 3、將來戰ニ對スル之カ趨勢、將來ノ戰場ニ於テハ航空機ノ活動ハ一層目覺マシカルヘキハ豫想ニ據カラス然ルニ我企圖ノ秘匿並機動力ハ益々其要大ナルヲ以テ夜行軍ハ將來益々賞用セラルル趨勢ニアリ
 九三、著眼第二百二十二第二百二十三第二百二十四ヲ引用ス

ノ如ク記ス
 歩哨ノ配置法ハ通常一哨所ニ屬スル兵卒(交代兵共)ヲ歩哨掛又ハ下士哨長タル下士或ハ上等兵ニ引率セシメテ小哨ノ位置ヨリ各々速ニ豫メ指示シタル地點ニ到ラシメ小哨長ハ逐次各哨所ノ位置ニ到リ歩哨掛又ハ下士哨長ニ守則ヲ授ケ且兵卒ニモ聽聞セシム
 歩哨ノ交代法ハ小哨長之ヲ定ムルモノトス
 歩哨ノ配置及交代ノ際其位置ヲ敵ニ察知セラレサルコトニ就テハ特別ノ注意ヲ肝要トス
 小哨長ハ地形、天候、時刻等ノ爲歩哨ヲ配置スヘキ位置ノ指示困難ナルトキ又ハ歩哨ノ數及位置ヲ初メヨリ概定スル能ハサルトキハ豫想セル配置人員ヲ率キ必要ナル方面ヨリ逐次ニ之ヲ配置スヘシ
 小哨長ハ歩哨配置ノ間前方ニ斥候ヲ派遣シテ警戒スヘシ
 九四、著眼第六第七ヲ引用左ノ如ク記述ス
 1、命令ハ發令者ノ意思及受令者ノ任務ヲ明確適切ニ示ササルヘカラス又受令者ノ識量ト性質トニ適應シ且受令者ノ自ラ處斷シ得ル事項ヲ安ニ拘束スヘカラス而シテ發令者ハ常ニ身ヲ受令者ノ位置ニ

置キ如何ニ之ヲ解釋シ如何ニ行動スヘキカ又該命令カ受令者ニ到達スル迄ノ情況ノ變化ニ適應スルモノナルヤ否ヤ等ヲ考査スルコト必要ナリ
 2、命令ニハ其之ヲ命シタル理由若ハ臆測ニ係ルコトヲ示スヘカラス而シテ將來ヲ希望シ或ハ種々未然ノ形勢ヲ舉ケテ一々之ニ對スル處置ヲ定ムルカ如キハ宜シク之ヲ避クヘシ殊ニ下達セル命令ノ外溢ニ指示ヲ與ヘ爾後ニ於ケル統帥ニ錯誤ヲ來サシムルカ如キハ嚴ニ之ヲ戒ムヘキモノトス
 九五、著眼第四百三ヲ引用左ノ如ク記述スヘシ
 駐軍間ニ於ケル對空監視哨ノ位置ハ地上ノ敵ニ對シ掩護セラレ且上空ニ對スル視界廣潤ニシテ附近ハ特ニ靜肅ナルヲ要ス其一般守則左ノ如シ
 1、對空監視哨ハ常ニ四周ノ上空ヲ監視シ又ハ音響ニ注意シ若シ飛行機、氣球等ヲ發見セハ監視ヲ中絶スルコトナク直ニ其情況ヲ指揮官ニ報告スヘシ
 2、發見シタル飛行機敵ノモノタルカ或ハ疑ハシキモノニシテ我ニ近接シ來ルトキハ直ニ示サレタル防空部隊ニ通報スヘシ
 3、敵飛行機全ク我視界ヲ去ラハ之ヲ指揮官ニ報告

スヘシ

4、其他ハ概ネ歩哨ノ動作ニ準ス

對空監視哨ヲ配置スル指揮官ハ之ニ特別守則ヲ與ヘテ一般守則ヲ補足ス其事項及順序概ネ左ノ如シ

監視哨ノ名稱

彼我飛行機ノ識別法

必要ナル道路、地點等ノ名稱

要スレハ特ニ監視スヘキ方向

連絡スヘキ防空部隊ノ位置

報告又ハ通報ノ手段

九六、著眼第三百九第十四ヲ參照ス

行軍力保持増進ノ爲ニハ徒勞ヲ避ケ徒歩兵ノ靴傷乘馬者ノ鞍傷ヲ豫防シ且ツ空腹ナラシメサル事ニ留意シ特ニ炎熱及沍寒ニ對スル適當ノ注意ヲナスヲ要ス
 1、徒勞ヲ避クル爲ノ著意、進止急進セサル事ニ留意シ休止ニ際シテハ速ニ休憩ニ移リ休憩時間ヲ減スル等ノ事ナカラシム之レカ爲ニハ豫メ自轉車兵乘馬者ヲ先道シテ準備セシメ且ツ休憩時間ヲ一般ニ告知ス
 2、靴傷鞍傷ノ豫防、第一回休憩間徒歩兵ノ靴下ノ

伸展、靴ノ手入、乘車者ノ馬裝ノ改裝ヲ行ハシメ爾後ノ休憩ニ於テモ常ニ之ニ留意セシム
 3、給養ヲ豊富ニシナシ得ル限り間食ヲ給シ又腐敗等ノ事ナカラシムルヲ要ス
 4、炎熱及沍寒ニ對スル注意
 1、炎熱ニ際シテ恐ルヘキハ喘病ナリ其豫防法ハ行軍中ニ水ヲ與ヘ列伍ヲ疎開シ時々帽ヲ脱シ襟ヲ開カシメ帽ニ垂布ヲ附スルヲ可トス又睡眠ヲ不足ナカラシメ又空腹ナラシメ且屢々休憩セシムルノ處置ヲ講シ馬匹ノ爲ニハ特ニ歩度ノ配合ニ注意ス
 2、沍寒ニ際シテ最モ恐ルヘキハ凍死、凍傷ニシテ殊ニ夜行軍ニ於テ甚シトス而シテ其豫防法ハ野外ニ於ケル休憩ハ成ルヘク村落ヲ利用シ其時間ヲ短クシ且回数ヲ多クシ各人ニハ勉メテ運動ヲ爲サシメ特ニ時々手ヲ動カシ得ル爲銃ハ負革ニテ肩ニ懸ケシムルヲ可トス又常ニ空腹ナラシメサルヲ要ス爲シ得レハ休憩ノ際成ルヘク熱キ湯茶ヲ給シ又被服特ニ手套、靴下等ノ濕潤スルトキハ速ニ之ヲ交換又ハ乾燥セシメ身體濕潤ノト

◇陣中要務令◇

キ若ハ甚シク凍痛ヲ感スルトキハ直接ニ火熱ニ觸レシムヘカラス又屋外ノ假眠ト酒類ノ飲用トヲ嚴禁シ鉤、紐等ノ解脫ナキコトニ注意シ且常ニ手、足、耳、鼻就中足尖ヲ凍傷ニ罹ラシメサルコトニ注意スルヲ緊要トス

其他近寒地ニ於ケル行軍ニ際シテハ乘馬隊ニ在リテハ時々牽馬行軍ヲ行フヲ可トス又適當ナル點火及可燃材料ヲ携行セシメ以テ休憩時ニ於ケル探暖ニ便ナラシムルヲ要ス尙水與ヲ適切ナラシムヘキ休憩地ヲ選定スルノ注意ヲ必要トス時宜ニ依リ炎熱近寒ノ際ニ於ケル辨當ニハ「パソ」ヲ用ヒ又情況之ヲ許セハ行軍途中ニ於テ炊事スルヲ有利トスルコトアリ

九七、著眼第七十四第八十二第八十三第九十九

二第九十九ヲ參照シ左ノ如ク記ス

前哨ニ配屬セラレタル工兵ハ重要ナル工事ノ實施ニ任スルモノニシテ左ノ如シ

1、敵兵裝甲自動車又ハ戰車ヲ以テ奇襲ヲ行フノ顧慮アルトキハ之ニ對シ或ハ道路ヲ阻絶シ或ハ地雷又ハ陷穿ヲ設ク

本隊ノ先頭ニハ爾後ノ使用並警戒ヲ顧慮シ通常歩兵ノ一部ヲ行進セシムルヲ可トス

2、野戰砲兵ノ行軍序列 野戰砲兵ハ其警戒ノ許ス限リ前方ニ在リテ行進セシメ長大ナル行軍縱隊ニ在リテハ其中間ニ歩兵部隊ヲ行進セシメ以テ上空及地上ニ對スル警戒ニ任セシムルヲ可トス而シテ野戰重砲兵ハ通常野(山)砲兵ヨリモ後方ヲ前進セシム

野戰砲兵ノ大隊觀測班及各中隊觀測小隊ハ通常大隊ニ一團ト爲リ所屬大隊ノ先頭ニ、聯隊(旅團)觀測班ハ聯隊(旅團)ノ先頭ニ在リテ行進セシム然レトモ情況ニ依リ其一部又ハ大部ヲシテ更ニ前方ヲ行進セシムルコトアリ

聯隊段列ハ通常師團戰列部隊ノ直後ニ在リテ行進セシム
聯隊段列ノ一部ヲ砲兵大隊ニ分屬スルコトアリ此場合ニ於テモ其位置ハ前項ニ準ス

100、著眼第三百三十七乃至第三百四十四ヲ參照シ左ノ如ク記ス

1、會營司令官 會營區ノ内務及警備ニ關スル事項

◇陣中要務令◇

2、敵ニ近接シテ長ク對峙スル場合ニ於テ村落或ハ森林等ノ如キ蔽蔽甚タシキ地ヲ貫通シテ前哨ヲ配布スル時ハ各部隊ヲシテ其區内ノ地理ヲ暗シ暗夜ト雖モ行動ニ混雜ナカシムル爲道標ヲ設ケ交通路ヲ開ク等所要ノ工事ヲナサシム

3、軍隊愈々敵ニ近接シ其全部ノ戰鬪準備ヲ必要トスル場合ニ於テハ要點ニ於ケル重要工事ニ任ス

九八、著眼第七十三及第七十七ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

搜索ノ目的ハ敵情ヲ明ニスルニ在リ之カ爲直接敵ノ位置、兵力、行動及施設ヲ探知スルト共ニ諜報ノ結果ヲ利用シテ之ヲ補綴確定シ又諜報ノ結果ニ依リテ搜索ノ端緒ヲ得ルニ努メサルヘカラス

九九、著眼第二百六十八及第二百七十ヲ參照左ノ如ク記述ス

1、行軍序列決定ノ要旨 戰備行軍ニ於ケル行軍序列ヲ定ムルニハ主トシテ豫メ考定セル軍隊使用ノ順序ニ從フヘシト雖尙軍隊建制ノ保持、行進及警戒ヲ容易ナラシムルコトヲモ顧慮スルヲ要ス

ヲ統轄ス

2、會營日直將校 會營司令官ヲ補佐シ會營ノ内務及警備ニ關シ其指示ヲ受ケ之ヲ部隊日直將校、下士ニ傳達シ且會營衛兵對空監視哨及對空射擊部隊ヲ指揮ス

3、部隊日直將校 會營日直將校ノ業務ヲ補佐シ所屬部隊會營地區内ノ警視ニ任ス

又會營日直將校ヨリ會營ノ内務及警備ニ關シ必要ノ指示ヲ受ケ之ヲ所屬部隊長ニ報告シ之ニ基ク部隊長ノ命令ノ實行セラレアルヤ否ヤヲ警視シ且部隊衛兵ヲ指揮スルモノトス

4、巡察將校、下士 會營日直將校ヨリ會營ノ内務及警備ニ關シ指示ヲ受ケ會營地内外ヲ巡察シ警視ニ任ス

100一、著眼第九十八第九十九及第一百ヲ參照左ノ如ク記述スヘシ

1、搜索隊ヲ出スヘキ部隊

騎兵集(旅)團ハ搜索ノ爲搜索隊ヲ出ス

2、搜索隊ノ數及兵力ノ決定

搜索地域ノ廣狹、地形特ニ道路網ノ關係、敵情及

◇陣中要務令◇

我兵力等ニ依リ變化スト雖敵ノ地上搜索機關ト衝突スル場合ニ於テ著シク我騎兵集團ノ兵力ヲ減殺セサルコトヲ顧慮スヘシ

3、搜索隊ノ任務

主トシテ敵本陣ノ情況ヲ搜索スルニ在リ然レトモ騎兵集(旅)團先ツ敵ノ搜索機關ヲ擊破セント欲スルトキハ搜索隊ハ通常敵騎兵ノ情況ヲ搜索スルモノトス

4、一搜索隊ノ兵力編組

通常約一中隊トスルモ時トシテ數中隊ニ上ルコトアリ又機關銃、通信機關要スレハ裝甲自動車、騎砲若干等ヲ配屬スルコトアリ

一〇二、著眼第三百三十三第三百三十七第三百三十六ヲ参照ス

1、間諜ノ使用

間諜ノ使用ニハ細心ノ注意ヲ要ス而シテ間諜ニハ我知ラント欲スル點ヲ明瞭ニ示スヲ要スト雖我目的トスル所ハ決シテ之ヲ知ラシムヘカラス敵方ヨリ來レル我間諜ハ審問スルコトナク之ヲ派遣シタル司令部ニ護送スヘシ敵ノ間諜ノ疑アル者ノ取扱モ亦之ニ準ス

五〇

2、俘虜投降者ニ依ル、俘虜、投降者及遺留シタル傷病者ノ言並其携帯セル圖書、戦死者ノ携帶圖書或ハ敵ノ遺留シタル圖書ハ情況判斷ノ爲特ニ重要ナル材料トナルモノナリ

3、住民ノ言ヲ聽キ又新聞紙、信書電信(原書、現字紙)及郵便局、通信所、官公署等ニ在ル書類ヲ奪取シ其他諸種ノ徵候等ヲ判斷スルトキハ重要ノ事件ヲ探知シ得ルモノトス

4、直接敵ノ通信ヲ窃取シ之ヲ解讀スルトキハ敵ノ兵力、配置及其企圖等ニ關シ有利ナル情報ヲ獲得シ得ルコトアリ之カ爲各通信部隊ハ特ニ綿密ナル技術的計畫ヲ立テ常ニ敵ノ通信ヲ監察シ要スレハ之ヲ妨害スヘシ然レトモ敵ノ偽電ニ依リ欺カレサルヲ要ス

5、敵ノ使用スル鳩、傳令、犬等ヲ捕獲スルトキハ有利ナル候察資料ヲ得ルコトアリ

一〇三、著眼第三百七十七ヲ引用左ノ如ク記述ス

1、有線電信ハ通信確實ニシテ其能力モ亦大ナリ然レトモ建築ニ時日ヲ要ス

2、有線電話ハ相互ノ意志ヲ疎通シ通信容易ナルモ動モスレハ誤謬ヲ來シ又敵ニ聽取セラルルコトアリ

3、無線電信ハ其開設、撤收比較的迅速ニシテ且諸方向ニ對スル通信ニ適スト雖空中電氣及混信ニ因リ妨害セラレ又敵ニ窃取セラルルコト多シ視號通信ハ輕易ニシテ簡單ナル通信ニ適スト雖通信所間ノ通視ヲ絶對必要トシ天候地形等ニ左右セラルルコト大ナリ

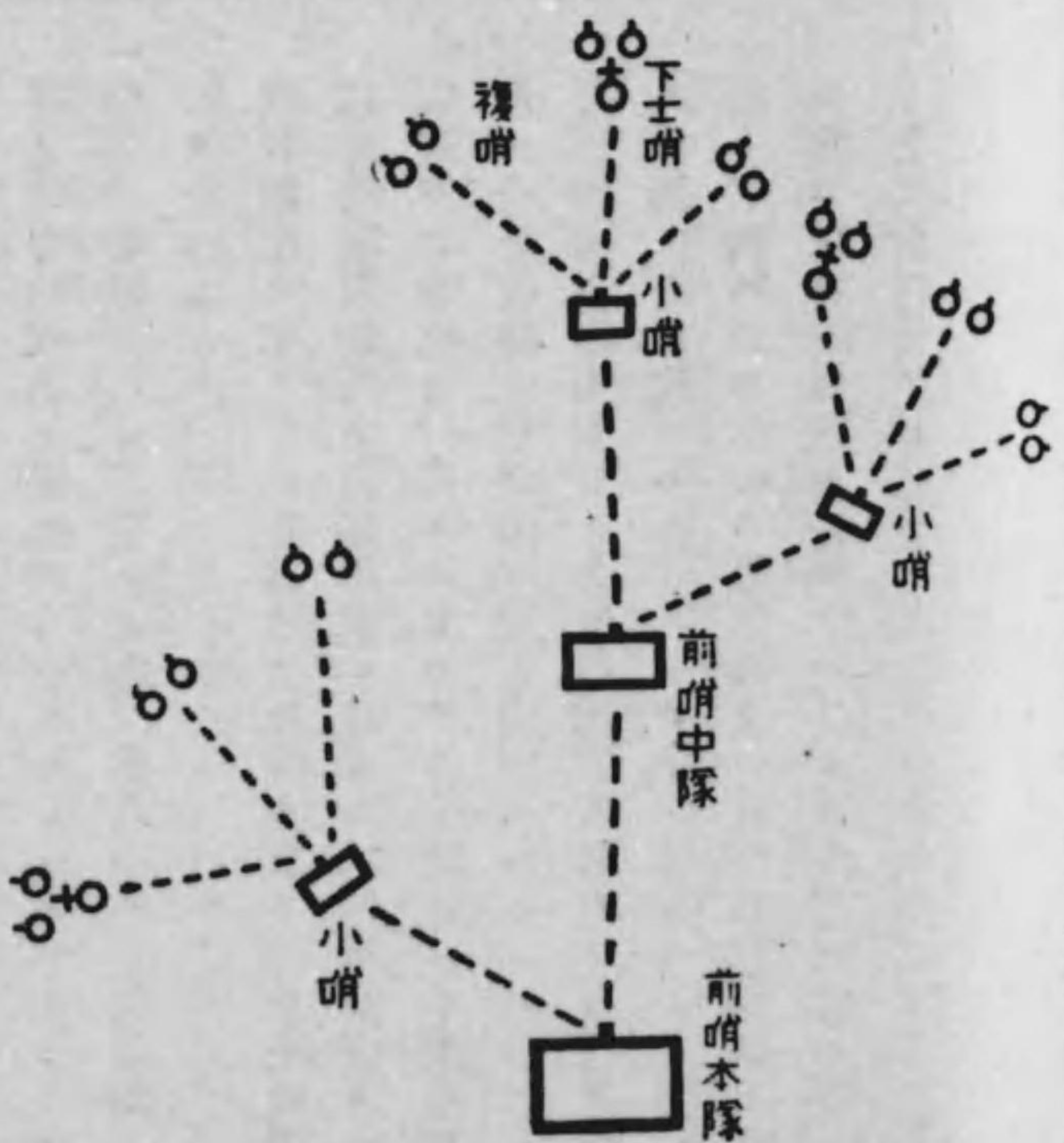
4、鳩ニ依ル通信ハ他ノ通信手段缺如シ又ハ著シク不確實ナル場合ニ於テ猶之ヲ用フルヲ得ヘキモ生地ニ於ケル訓練ニ時日ヲ要シ又天候、害鳥等ニ依リ制限ヲ受ケ且通信能力小ナリ

5、以上ノ外音響信號、傳令犬等ニ依ル通信法アルモ其能力大ナラス

一〇四、著眼第九十七第二百二百九第二百二十乃至第二百二十三第二百三十九第二百四十四ヲ参照シ左ノ如ク圖示ス

前哨中隊 主要ナル抵抗線ヲ成形スルモノニシテ敵襲ニ際シテハ之ヲ拒止スルヲ任トス故ニ別命ナケ

◇陣中要務令◇

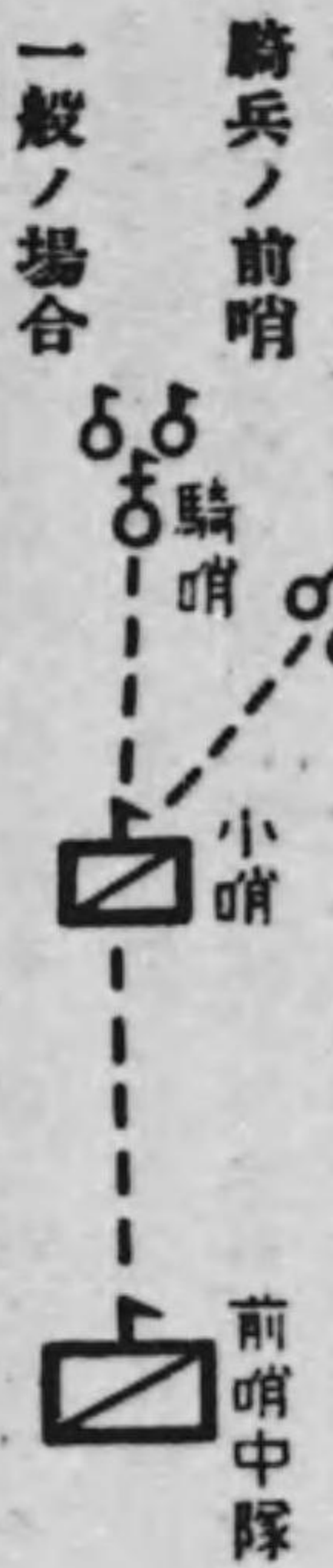


レハ極力其位置ヲ保持スルモノトス
前哨本隊 前哨ノ豫備ニシテ敵襲ニ際シ前哨中隊ヲ増援シ要スレハ之ヲ收容ス
下士哨、復哨 最前線ニ位置シテ監視線ヲ成形ス
小哨 歩哨ノ支援及後據タルモノニシテ前哨中隊

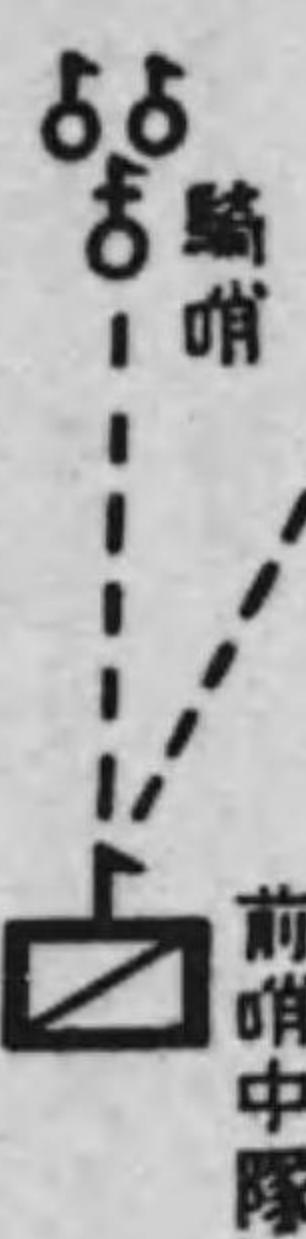
◇陣中要務令◇

五二

(若クハ前哨本隊)ノ前方或ハ側方要點ニ位置シ警戒ノ爲必要ナル搜索ニ任シ前哨中隊(若ハ前哨本隊)ヲシテ戰備ヲ整フルノ時間ヲ得セシムルモノトス



一般ノ場合
特ニ緊要ナル場合



前哨中隊又ハ小哨ノ任務ハ常ニ戰備ヲ整ヘ敵襲ニ方リテハ之ヲ拒止シ後方部隊ヲシテ之ニ應スル時間ノ餘裕ヲ得セシムルニアリ
騎兵ノ前哨ニアリテハ前哨中隊ヨリ直接ニ下士哨復哨ヲ配置シ特ニ緊要ナル時ハ前哨中隊ヨリ小哨ヲ分遣ス
騎哨ノ任務ハ一般歩哨ニ同シ

一〇五、著眼第七十七ヲ引用左ノ如ク記述スヘシ
飛行機ハ迅速ニ遠距離ノ地域ニ進出シ敵線ノ内部ニ

互リ搜索ヲ行フコトヲ得騎兵ハ飛行機ノ活動ヲ制限セラルル天候及夜間ニ在リテモ猶搜索ヲ續行シ地上ヨリ細部ノ事項ヲ確認シ得ル等ノ特性ヲ有シ又歩兵ハ時ト所トヲ問ハス特ニ敵火ノ下ニアリテモ猶搜索ヲ續行スルヲ得ルヲ以テ敵ニ近接シタル場合ノ搜索ニ適ス其他氣球ハ一定ノ地域ヲ連續監視シ得ルノミナラス地上トノ連絡容易ナル特性ヲ有シ砲工兵ハ特種ノ技術的搜索ノ爲缺クヘカラサルモノナリ

一〇六、著眼第八十、第七十九、第八十一ヲ引用左ノ如ク記述ス
戰闘搜索ハ主トシテ各部隊ノ戰闘實施ノ爲及高級指揮官戰闘開始後ノ戰闘指導ニ資スル爲近距離搜索ニ連繫シテ實施スヘキモノニシテ各部隊有ユル機關ヲ以テ行ヒ戰闘ノ全經過ニ互リ繼續スヘキモノトス
近距離搜索ハ主トシテ各級指揮官戰術上ノ部署ヲ爲ス爲極メテ重大ナルモノニシテ敵ニ接近スルニ從ヒ益々周密ニ行ハサルヘカラス之カ爲先ツ航空隊及騎兵之ニ任スト雖敵ニ近ツクニ從ヒ漸次各兵種モ亦自ラ之ヲ實行セサルヘカラス
近距離搜索及戰闘搜索ハ彼我兩軍相接觸スルニ方リ

テハ自然ノ經過ニ伴ヒ相連接シテ遂ニ之カ區分ヲ爲ス能ハサルニ至ル從テ其搜索スヘキ事項モ亦相一致スル所多ク概ネ左ノ諸項ニ關ス
敵ノ兵力區分、位置及行動、敵歩兵ノ到達地點、後續部隊ノ有無及狀態、敵ノ配備及陣地ノ狀態、其他直接戰闘ニ關係アル敵背後ノ情況、戰闘經過ニ伴フ敵情ノ變化、戰闘實行及戰闘指導ニ關係アル地形等

一〇七著眼第六十乃至第七十二ヲ參照ス

A 少尉

旅團長 殿

A 斥候報告(第二號) 十月二十日午前十時 於大森西側林端

- 一、敵陣地ノ左翼ハ河本ニシテ約三、四十名ノ敵騎兵徒歩占領シアリ
- 二、山口東端附近ニハ正面約四百米ノ工事アリ其前面ニハ鐵條網ヲシキモノアルモ確實ナラス
- 三、田村ニハ敵兵工事中ナルモ詳細明ナラス
- 四、田村西北側130高地ニハ敵砲兵觀測所アリ又其西北方五一、三——三三、二附近ニハ乘馬者ノ往復多キヨリ列斷スルニ砲兵陣地アルモノノ如シ
- 五、太田川ハ大森北方附近ニ於テ諸所徒涉場アリ又土人ノ言ニ依レハ河本西方太田川左岸ノ水田ハ深田ニシテ通過不可能ナルモノノ如シ

◇陣中要務令◇

五三

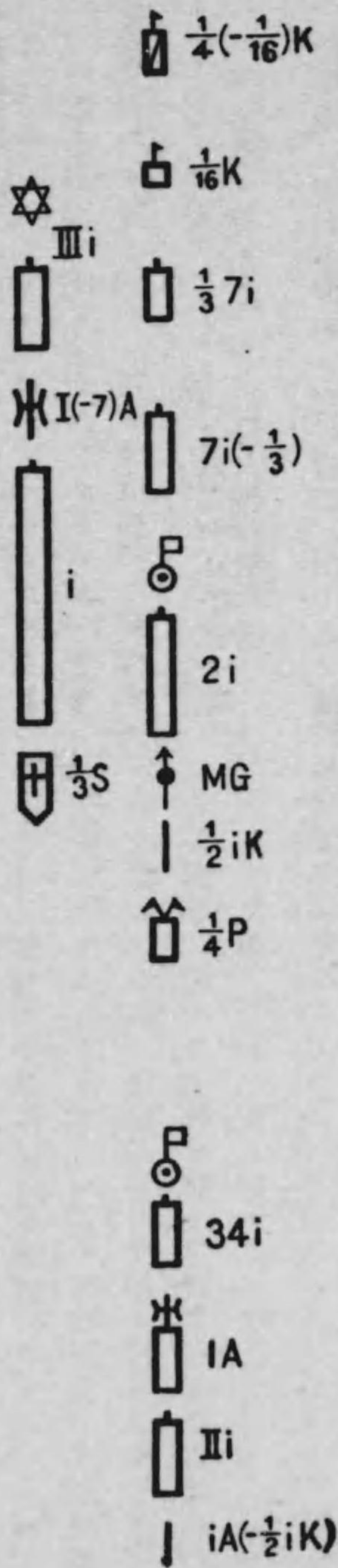
◇陣中要務令◇

六、斥候ハ尙現在地附近ニ在リテ搜索ヲ續行セントス

一〇八、著眼第四百四十九、第五百五十一乃至第五百五十四ヲ参照左ノ如ク記述ス

說明

- 一、前衛本隊ニアルヘキ工兵ハ前兵ノ後尾ニアリテ行進セシム
- 二、本隊、前衛、本隊、前兵等ハ二三騎ノ傳騎ヲ附ス
- 三、歩兵通信班ハ聯隊本部ノ前方ニアリテ行進ス



一〇九、著眼第二十二第二十四第二十五第三十八ヲ参照左ノ如ク記述ス

- 1、命令ノ作爲上、(イ)一部ノ部隊ニハ作戰ニ關スル一般ノ命令ヲ與フルコトナク別ニ該部隊ノ爲必要ナル事項ノミヲ記載セル命令ヲ與フルコトアリ(ロ)一般ノ命令ニ於テモ該命令中ノ日時ヲ省キ必要ノ時機ニ於テ別ニ之ヲ示スコトアリ、(ハ)重要ナル命令ノ筆記ハ勉メテ將校自ラ之ニ當リ又其印刷ハ必

ス將校ノ監視下ニ於テシ誤刷紙ノ燒却及原稿ノ保管ヲ確實ニスルコト

- 2、下達及傳達ニ就テ、(イ)命令ノ下達ニ際シテハ敵ノ間諜等ニ對スル警戒ヲ懈ラサルコト、(ロ)斥候飛行機搭乗者最前哨ノ部隊等ニ與フル命令等ハ單ニ口達ニ止ムルカ或ハ我目的、行動等ニ關スル事項ハナルヘク之カ筆記ヲ避ケ若シクハ受令者ノ了解スルト同時ニ之ヲ破棄セシムルコト

- 3、注意 (イ)我軍ノ行動配備等ニ關スル命令其他我軍ノ企圖ヲ列斷セラルル虞アル資料ハ受令者ヲシテ遙ニ地圖上ニ記載若ハ描畫セシメサルコト、(ロ)全般ノ行動ヲ規定セル師團命令ノ取扱ニ就テハ特別ノ注意ヲ要ス

- 一一〇、著眼第四百四十八ヲ参照シ左ノ如ク記述ス
 - 1、方法 (イ)飯盒ニ依ル法 (ロ)地方炊具ニ依ル法 (ハ)大行李ニ有スル炊具ニ依ル法ノ三トス
 - 2、利害 (イ)ハ迅速ナルモ多人數ヲ要シ從テ混雜ヲ惹起シ戰備ニ缺陷ヲ生スルノ虞アリ又水ノ使用亂雜ニ流レ易ク上空ニ對シ火光火焰ヲ曝露シ易キ不利アリ(ロ)ハ(イ)ノ害トスル事ノ不利少キモ微

◇陣中要務令◇

用不便ナルコト多キ不利アリ、(ハ)ハ(イ)ノ害ト

スル所少キモ供用前ノ卸下受領及供用後ノ返納積載等ニ時間ヲ要スル不利アリ

- 3、用途、軍隊行動間ニアリテハ主トシテ(イ)ニ依リ駐軍間ニアリテハカメテ(ロ)ヲ利用シ(ハ)ハ軍隊行動間ニアリテハ(イ)ニ依ルヲ不便トスルカ或ハ之ヲ不利トスル部隊ノ使用ニ供シ駐軍間ハ對陣間ニアリテハ(ロ)炊具ノ不足ヲ補フ爲使用スルモノトス

- 4、注意 何レノ方法ニ依ルヲ問ハス上空及地上ヨリスル敵ノ偵察ニ對シ特ニ掩蔽スルノ注意ヲ必要トス

- 一一一、著眼第五百五十二ヲ左ノ如ク引用記述ス
 - 1、一般鐵道ノ規則ヲ守リ遙ニ其位置ヲ離レ其車輛ノ戸口或ハ側板上ニ踏スルヲ禁ス
 - 2、糧秣及彈藥等火災ノ虞アル物品又ハ馬匹ヲ載セタル車中ニ於テ喫煙シ或ハ擅ニ點火スヘカラス又馬積貨車内ノ燈火ニ注意スヘシ
 - 3、非常ノ危害(車輛ノ折損火災列車ノ分離脱線等)ニ際シテハ先ツ之ヲ發見シタルモノハ何人ヲ諭セ

◇陣中要務令◇

ス鐵道係員ノ注意ヲ喚起スルノ手段ヲ採ルヘシ
4、車窓外ニ赤布又ハ赤旗類ヲ出シ又ハ手腕ヲ振ル
カ如キ動作ハ危害ノ信號ト誤認セララルル虞アルヲ
以テ濫ニ之ヲ行フヘカラス

一一二、著眼第三百三十九ヲ引用左ノ如ク記述ス

1、任務 舍營日直將校ノ業務ヲ補佐シ其舍營地ノ
警備ニ任ス

2、動作 直ニ舍營日直將校ニ届告シ舍營ノ内務及
警備ニ關シ必要ノ指示ヲ受ケ之ヲ所屬部隊長ニ報
告シ之ニ基ク部隊長ノ命令ノ實行セラレ有ヤ否ヤ
ヲ時々巡察監視シ且部隊衛兵ヲ指揮シテ之ニ任務
及其歩哨ニ守則ヲ與ヘ服務セシムルモノトス

一一三、著眼第三十四第三十六ヨリ左ノ如ク記述ス

答解第百十九ヨリ2ヲ除キ次ニ左ノ一項ヲ加フ

揚出上ノ注意

イ、戦闘要報、機ヲ逸シタル戦闘要報ハ其價值ナキ
ヲ以テ報告事項ノ完備ニ拘泥スルコトナク又部下
團隊ノ報告ヲ待ツコトナク速ニ先ツ自己ノ報告ヲ
出シ後漸次之ヲ補修スヘキモノトス

ロ、戦闘詳報進達ニ方リ已ムヲ得サル場合ニ於テハ
各級指揮官ハ速ニ先ツ自己ノ詳報ヲ進達シ部下團
隊ノ詳報ハ後日之ヲ進達スルモノトス

一一四、著眼第九十九及第百ヲ引用シ左ノ如ク記述ス

1、搜索隊ノ任務ハ主トシテ敵本軍ノ情況ヲ搜索ス
ルニアリ然レトモ騎兵集(旅)團先ツ敵ノ搜索機關
ヲ撃破セント欲スル時ハ搜索隊ハ通常敵騎兵ノ情
況ヲ搜索スルモノトス

2、一搜索隊ノ兵力ハ通常約一中除トスルモ時トシ
テ數中隊ニ上ルコトアリ又機關銃、通信機關要ス
レハ裝甲自動車騎砲若干等ヲ配屬スルコトアリ

一一五、著眼第八十三ヲ引用ス

答解第十六ニ同シ

一一六、著眼第四百四十乃至第四百四十四ヲ参照左ノ如ク
拔萃記述ス

1、上空ニ對スル警戒ハ高級指揮官ニ於テ飛行隊及
野戰高射砲隊ヲ以テ之ニ任セシムヘシト雖モ各部
隊モ亦自ラ所要ノ處置ヲ爲スヲ要ス

2、各部隊ハ左ノ方法ニ依リ警戒ス

イ、監視、駐軍間ニアリテハ前哨區又ハ舍營(露

營)區毎ニ監視哨ヲ設ケ上空ヲ監視ス行軍及戰
闘間ニアリテハ各級指揮官ハ情況特ニ敵飛行機
ノ行動ニ應ジ駐軍間ニ於ケルモノニ準シ對空警

戒ノ爲適宜監視ノ方法ヲ講シ又將校ハ敵飛行機
氣球等ノ行動ニ注意シ適時必要ノ場所ニ報告通
報スルヲ要ス

監視哨ノ兵力ハ一哨所毎ニ下士又ハ上等兵ヲ長
トセル五名乃至八名(内一名ハ喇叭手)ヨリ成リ
通常一名又ハ二名ヲ以テ監視ニ任セシメ殘餘ハ
交代兵トシテ適宜ノ位置ニアラシムルモノトス
小ナル部隊ニアリテハ情況ニ依リ他ノ哨兵ヲシ
テ之ヲ兼シムルコトヲ得

ロ、射撃 行軍間及戰鬥間ハ概ネ歩兵ノ大隊毎ニ
駐軍間ハ前哨區又ハ舍營(露營)區毎ニ機關銃一
中隊若ハ歩兵一小隊以上ノ兵力ヲ指定シテ對空
射撃部隊ト爲シ對空監視哨ニ連絡シ敵ノ飛行機
ノ行動ニ注意シ我ニ危険ヲ與ヘムトスルトキ又
ハ低空ヲ飛行シ我射撃有效ナルトキハ通常對空
射撃部隊長ノ命ニ依リ射撃スルモノトス
凡テ射撃ハ直ニ其位置ヲ暴露シ敵飛行機ヲシテ

◇陣中要務令◇

搜索ノ端緒ヲ得シメ又友軍ニ危害ヲ與フルコト
アルヲ以テ射撃開始ニ方リテハ能ク全般ノ情況
ヲ顧慮スルヲ要ス

一一七、著眼第六百二第六百五第六百六第六百十ヨリ
左ノ如ク拔萃記述ス

1、目的 陣中日誌及留守日誌ヲ作ルノ目的ハ左ノ
二項ニ在リ

甲 各部隊若ハ各人ノ經歷及遭遇シタル實況並所
見ヲ記載シ一ニハ戰史ノ用ニ資シ一ニハ他日各
人ノ勤務及功績ヲ銓衡スルノ參考ニ供ス

乙 編制、教育、補充、給養、衛生、武器、彈藥
器具、材料、被服、裝具等凡テ軍事ニ關スル事
物ノ經驗ヲ錄シ將來改良ノ資料ト爲ス

2、作製スヘキ騎兵部隊、旅團、聯隊、中隊、騎兵
機關銃獨立シテ作戰スル騎隊部隊ノ大行李ヲ編
メテ行動シタル時ハ其指揮官ニ於テ其期ニ限り作
製ス

3、期間各部隊動員令受領ノ日ヨリ復員完結ノ日迄
トス

一一八、著眼第三百四十九第三百五十ヨリ拔萃シ左ノ

◇陣中要務令◇

如ク記述ス

- 1、任務
 - イ、合營衛兵、敵及住民ニ對スル合營區ノ直接警戒、隣接宿營地トノ連絡、居民ノ行動ノ監視、秘密ノ保持並合營地區内ノ安寧秩序ノ保持等ニ任ス
 - ロ、部隊衛兵、軍旗、銃廠、砲廠、車廠、行李等ノ監視ニ任ス
- 2、兵力及配置
 - イ、合營衛兵ノ兵力及配置ハ危殆ノ度、地形及合營區等ノ大小ニ應シテ定ムルモノトス
 - ロ、部隊衛兵ハ擔任區域ノ外方出口及外圍或ハ其區域内ノ各要點等ニ單哨復哨若ハ下士哨ヲ配置シ主力ハ交通容易ナル位置ニ集結シ隣接衛兵ト連絡ヲ確保シ内外ノ警戒ニ任ス而シテ之ニハ喇叭手一名ヲ屬シ時宜ニ依リ機關銃ヲ附スル事アリ
 - ロ、部隊衛兵、主トシテ哨所ノ數ニ依リテ定マルモノニシテ配置ハ監視スヘキ目的物ニ近ク位置シテ單哨(特別ナル場合ハ復哨)ヲ配置シ主力ハ前項ニ準シ位置ス

3、服務

- イ、合營衛兵、小哨勤務ノ規定ニ準シ當時ニ於ケル情況ニ適應スル如ク動作スルモノトス
 - ロ、部隊衛兵、小哨勤務ノ規定ニ準シ服務ス
- 一一九、著眼第三十四第三十六ヲ引用シ左ノ如ク記述ス
- 1、目的
 - イ、戰聞要報、上級ノ指揮官ヲシテ爾後ノ戰聞若シクハ戰聞直後ノ指揮ヲ適切ナラシム
 - ロ、戰聞詳報、高級指揮官ヲシテ爾後ノ戰聞ヲ正確適切ニ計畫セシメンカ爲必要ナル材料ヲ十分收領セシメ且將來ニ於ケル戰聞ノ參考トナサン爲廣ク實戰ニ於ケル經驗ヲ蒐録スルニアリ
 - 2、提出スル時期
 - イ、戰聞要報、一部ノ戰聞局ヲ結フヤ機ヲ逸スルコトナク提出ス
 - 又當日未タ其局ヲ結フニ至ラサル場合ニ於テハ通常日没後速ニ提出ス
 - 戰聞數日ニ亘ル場合ニ於テハ通常所定ノ時刻ニ提出ス

ロ、戰聞詳報

戰聞後提出スヘキモノニシテナルヘク迅速ナルヲ良トス

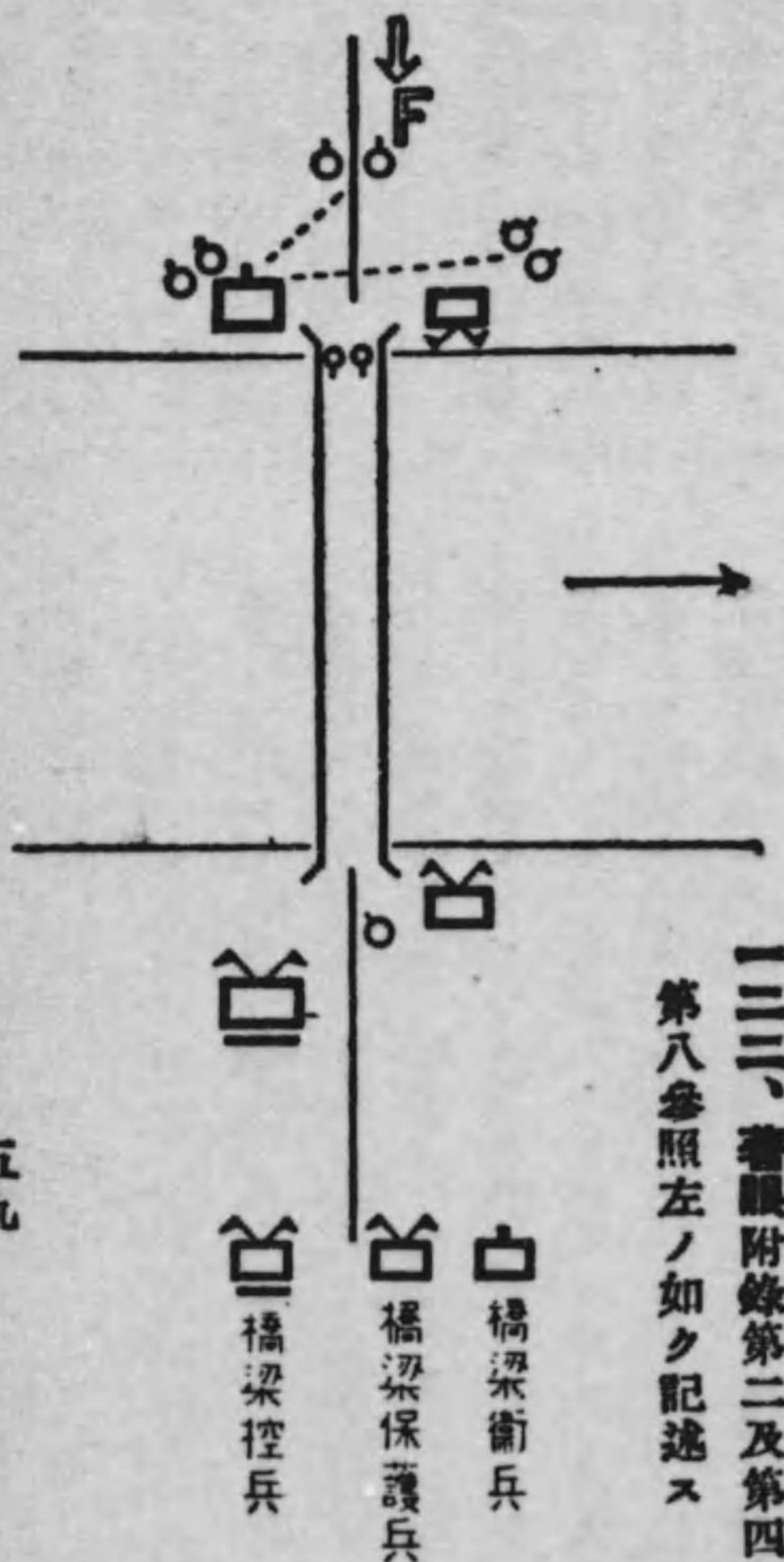
2、提出スヘキ部隊

- ロ、戰聞要報 當面ノ各部隊長
- ロ、戰聞詳報 歩兵及砲兵ハ大隊以上其他ノ兵種ハ中隊以上ノ各部隊(獨立シテ戰聞シタル時ハ小隊ニ至ルマテ)毎ニ

一一〇、著眼第二十四第二十七ヲ參照左ノ如ク記述ス

- 1、直接必要ナル指揮官ヲ招致シ下達ス
- 2、指揮官自ラ或ハ其幕僚ヲシテ受令スル指揮官ノ許ニ到リテ口達シ又ハ筆記命令ヲ交付セシム
- 3、命令受領者ヲ集メ口達筆記セシメ又ハ印刷或ハ筆記セシモノヲ交付ス
- 4、傳騎傳令(重要ナルモノハ將校)等ヲシテ印刷物等

◇陣中要務令◇



一一三、著眼附錄第二及第四乃至第八參照左ノ如ク記述ス

- ヲ送達セシム時トシテ鳩ヲ併用シ又ハ飛行機ヨリ投下スルコトアリ
- 5、電信電話又ハ無線電信ニ依リ下達ス但シ電話ニ依ル時ハ一句毎ニ復唱筆記セシム
- 一一一、著眼第四百三十三ヲ引用左ノ如ク記述ス
- 監視哨ノ名稱
- 彼我飛行機ノ識別法
- 必要ナル道路、地點ノ名稱
- 要スレハ特ニ監視スヘキ方向
- 連絡スヘキ防空部隊ノ位置
- 報告又ハ通報ノ手段

◇陣中要務令◇

橋梁衛兵ハ橋ノ兩端ニ單哨又ハ復哨ヲ又危險ノ虞アル地ニ所要ノ警戒兵ヲ出シ對空監視哨ヲ出ス、情況之ヲ許セハ橋梁控兵ハ省略スルコトヲ得
勤務員

橋梁哨長 橋梁哨ヲ統轄ス

橋梁日直將校 橋梁日直將校ハ橋梁哨長ノ命令ニ基キ橋梁衛兵及橋梁保護兵ヲ配置シテ之ニ守則ヲ與ヘ而シテ監視ニ便ナル地點ニ位置シ通信連絡ノ設備ヲ完全ニシ以テ直接橋梁ノ警戒及保護ニ任スルモノトス

軍隊ノ渡橋及橋門ノ開閉其他不意ノ事變ニ際シテハ橋梁日直將校ハ自ら橋梁保護兵ヲ指揮シテ所要ノ處置ヲ施スヘシ

橋梁衛兵 橋梁衛兵ハ橋梁直接ノ掩護兵ニシテ渡橋者ヲ監視シ渡橋ノ規定ヲ實行セシメ敵襲ノ虞アルトキハ特ニ之ニ對スル警戒及保護ニ任スルモノトス

橋梁保護兵 橋梁ノ保存ニ關スル監視及要務ニ任ス
橋梁控兵 必要ニ應シ橋梁保護兵ヲ援助ス

一二三、著眼第二十九第八十三ヲ參照シ左ノ如ク記述

以テ部隊ノ前進ニ妨ナカラシム而シテ收容馬數其他必要ノ事項ヲ兵站監ニ通報シ兵站病馬廠ノ前進ヲ待チテ速ニ病馬ヲ其職員ニ引渡シ病馬收容所ヲ撤スルモノトス

2、兵站主地ハ通常兵站監部ノ位置スル所ニシテ野戰軍ノ兵站管區内ニ於テ交通便利ナル地ニ設ク而シテ同地ニ軍補給諸廠其他必要ノ機關ヲ置キ軍需品ノ蓄積、整理、前送、後送、分配等ノ業務ニ任ス

一二五、著眼第四百三十九第四百四十カヲ參照ス

1、使用、携帶口糧ハ各自携帶スル豫備糧秣ニシテ他ニ給養ノ方法ナク已ムヲ得サルトキ部隊長自己ノ責任ヲ以テ之ヲ使用ス

2、補充、部隊長ハ部下ノ有スル携帶口糧ノ情況ヲ明ニシ之ヲ使用シタルトキハ速ニ其旨ヲ高級指揮官ニ報告スルモノトス

高級指揮官ハ機ヲ逸セス輻重ニ積載スル糧秣ヲ以テ之カ補充ヲサシムルヲ要ス之カ爲ナルヘク速ニ輻重隊長ニ前送交付スヘキ數量地點時刻要スレハ交付直後ニ於ケル行動ニ關シ命令ヲ與フ

◇陣中要務令◇

六〇

ス
1、時機

搜索ニ任シタル者一事件ヲ觀察シタルトキ直ニ之ヲ報告スヘキヤ或ハ爾後ノ搜索ノ結果ヲ待チテ報告スヘキヤ等報告ノ時機及分量等ハ善ク指揮官ノ意圖ニ投合セサルヘカラス然レトモ初メテ敵ヲ發見シタルトキ、有力ナル部隊殊ニ歩兵ト遭遇シタルトキ指揮官既知ノ情況ト相違セシトキ、情況ノ激變ヲ認メタルトキ及某目的又ハ一任務ヲ達成シタルトキ等ハ速ニ之ヲ報告スルヲ要ス

2、内容

報告ニハ日次、場所、兵種、員數及動作並地形、交通路、交通機關、通信網、地方物資ノ情況住民ノ意向、動靜等ニ關シ緊要ナル事項ヲ記述スルヲ要ス

一二四、著眼第四百八十三、第四百九十一ヲ引用シ左ノ如ク記述ス

1、病馬收容所 行軍間多數ノ病馬發生スルモ未ダ兵站司令部設置ニ至ラス又其附近ニ兵站病馬廠開設セラレサルトキハ師團長ハ適宜ノ地點ニ病馬收容所ヲ設ケ或ハ其移動班ヲ設ケシメ病馬ヲ收容レ

輻重隊長ハ右ノ命令ニ基キ所要ノ部隊ヲ先進セシメ高級指揮官ハ糧秣主任官ヲ糧秣交付所ニ派遣シテ之ヲ受領シ交付セシムルモノトス時トシテ輻重ヨリ直ニ各部隊ニ交付スルヲ要スルコトアリ

一二六、著眼第二百七十ヲ引用ス

答案第九十九ノ2ヲ見ヨ

一二七、著眼第九十八第一百八ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

騎兵集(旅)團ハ搜索ノ爲搜索隊又ハ將校斥候ヲ派遣シ又ハ之ヲ併用ス遠距離搜索ノ爲搜索隊ノ前方ニ派遣スヘキ將校斥候ハ騎兵集(旅)團長之ヲ出スヘキヤ又ハ搜索隊長ニ委スヘキヤハ一ニ情況ニ依ル而シテ後者ノ場合ニアリテハ所要ノ斥候ヲ搜索隊ニ増加配屬スルコトアリ

搜索隊ノ數及兵力等ハ搜索地域ノ廣狹地形特ニ道路網ノ關係敵情及我兵力ニ關ス

搜索隊ニハ搜索地域ニ於ケル大體ノ前進路及搜索隊主力ノ日々に到着スヘキ概略ノ地點ヲ示スヲ可トス數個ノ搜索隊ヲ出ス時ハ搜索地域ノ兩側又ハ一側ノミヲ示スモノトス

◇陣中要務令◇

騎兵隊ノ主力ハ地形特ニ道路網ノ狀態ニ依リ一縱隊若ハ數縱隊トナリテ前進ス
騎兵集(旅)團ニ飛行機配屬セラレタル時ハ其搜索地域内ニ於テ通常騎兵ノ爲戰術的搜索ニ任スルモノトス

一二八、著眼第三十四及第三十六ヨリ引用ス

答案第十ノ前段ヲ見ヨ

一二九、著眼第七十七ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

1、飛行機ハ迅速ニ遠距離ノ地域ニ進出シ敵ノ内部ニ互リ搜索ヲ行フコトヲ得ルモ細部ノ配備及地形ノ偵察困難ニシテ又天候並夜暗ノ爲其使用ヲ制限セララル不利アリ故ニ天候ノ影響ヲ受クルコトナク晝間ニシテ且ツ配備地形ノ細部搜索目的以外ニ用フ

2、騎兵ハ飛行機ノ如ク天候夜暗ノ影響ヲ受クルコトナク地上ヨリスル細部ノ確認ヲナシ得ルモ距離ニ於テ飛行機ニ及ハス又敵ノ爲行動ヲ制肘セラルル要少カラサルモ通常ノ情況ニ於テ用ヒラル

3、歩兵ハ時ト處トヲ問ハス特ニ敵火ノ下ニ在リテモ搜索ヲ持續スルコトヲ得ルモ遠距離ニ及フ能ハ

ヲ得)ハ所要ノ人員ヲ伴ヒ乗車停車場ニ先行シ停車場司令官ヨリ乗車ニ關スル諸件即集合場、乗降場、交通路、軍隊ノ到着時刻、警戒法、使役兵、其他特別ノ規定ニ就テ指示ヲ受ケ之ニ基キ乗車ニ關スル部署ヲ定ム而シテ乗車スヘキ人員材料(荷物ヲ含ム以下同シ)豫定ノ數景ト異ナル時ハ此際之ヲ停車場司令官ニ通報スルヲ要ス

2、輸送指揮官ハ將校若ハ下士官ヲ以テ通常人員、馬匹、材料毎ニ搭載(卸下)掛ヲ設ケ之ニ所要ノ人員要スレハ器材ヲ配屬ス

3、輸送指揮官ハ乗下車ノ爲所要ノ命令ヲ下ス之カ爲乗車ニ在リテハ通常先ツ勤務ノ割出其他停車場ニ到着スルマテノ事項ヲ命シ次テ軍隊乗車停車場ニ到着セハ之ヲ停車場司令官ニ通報シ豫メ定メタル所ニ從ヒ軍隊ノ集合、乗降場ノ配當、搭載法及搭載ノ開始並終了ノ時刻其他乗車ニ關スル命令ヲ下シ搭載スヘキ人員材料ヲ各車ニ配當ス此際準備セル車輛ニ剩餘ヲ生セシ時ハ之ヲ停車場司令官ニ通報ス

4、乗車ニ際シテハ輸送指揮官ハ乗車ノ命令ヲ下ス

◇陣中要務令◇

ス故ニ敵ニ近接シタル場合ニ用ヒラル

4、氣球ハ一定ノ地域ヲ連續監視シ得ルノミナラス地上トノ連絡容易ナルモ一定ノ地域殊ニ一方面ヨリノミニ限定セラレ又天候夜暗ノ影響ヲ受クルコト大事ナルヲ以テ晝間且ツ天候晴朗ナル場合ニ用ヒラル

5、砲工兵ハ特種ノ技術的搜索ニ適スルモ距離ノ短少、部隊トノ連絡不便ナルヲ以テ特種ノ搜索ヲ要スル場合ニ用ヒラル

一三〇、著眼第三百六十三、第三百三十七ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

露營司令官——露營日直將—部隊日直將校(下士) 巡察將校(下士)

一三一、著眼第五百七第五百三十三第五百三十四第五百四十四乃至第五百四十八ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

輸送指揮官ハ乗下車ノ指揮及輸送途中ノ取締ニ任シ且給養ニ關スル事項ヲ區署スルモノニシテ其業務左ノ如シ

1、輸送指揮官(時宜ニ依リ代理者ヲ以テスルコト

5、輸送指揮官ハ列車中ノ車ヲ各將校ニ配當シ輸送中之カ監視ニ任セシム

6、乗車ヲ完了セハ之ヲ停車場司令官又ハ鐵道掛員ニ通報ス

7、下車ニ際シテ下車停車場ノ前ニ於ケル最後ノ停車時ニ於テ下車準備ニ關スル命令ヲ下ス

8、下車停車場ニ到着セハ停車場司令官ノ規定スル所ニ基キ下車ニ關スル命令ヲ下ス

9、輸送指揮官ハ濫帶ナク下車シ且停車場ヲ速ニ退去スル爲百般ノ手段ヲ採ルモノトス殊ニ大ナル輸送ニ於テ此注意ヲ緊要トス

一三二、著眼第三十四第三十六第三十七第六百二第六百五第六百十ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

1、戰聞要報戰聞詳報ノ目的、第十ヲ見ヨ

2、陣中日誌ノ目的ハ左ノ如シ
甲、各部隊若ハ各人ノ經歷及遭遇シタル實況並所見ヲ記載シ一ニハ戰史ノ用ニ資シ一ニハ他日各人ノ勤務及功績ヲ詮衡スルノ參考ニ供ス
乙、編制、教育、補充、給養、衛生、武器、彈藥、器具、材料、被服、裝具等凡テ軍事ニ關スル事

◇陣中要務令◇

物ノ經驗ヲ錄シ將來改良ノ資料ト爲ス

2、提出ノ時機

戰闘要報 一部ノ戰闘局ヲ結フヤ機ヲ逸スルコトナク提出ス

當日局ヲ結フニ至ラサル場合ニ於テハ通常日没後速ニ、戰闘數日ニ亘ル場合ニ於テハ通常所定ノ時刻ニ、

戰闘詳報、戰闘後ニシテナルヘク早キヲ價値多シトス

陣中日誌 概ネ一ヶ月毎ニ(戰闘等頻發シ記述ノ邊ナキ時ハ其一段落後直ニ)

3、提出スル部隊

戰闘要報、當面ノ各部隊長

戰闘詳報 歩兵、砲兵ハ大隊以上其他ノ兵種ハ中隊以上ノ各部隊(獨立シテ戰闘セシ時ハ小隊ニ至ル迄)

陣中日誌 聯隊、大隊、中隊(要塞ニアリテハ獨立シテ行動セシ小隊ヲ含ム) 歩兵砲隊、騎兵砲機關銃、隊兵聯(大)隊段、列衛生隊其他獨立部隊

一三四、著眼第四百二十二第四百三ヲ参照ス

1、對空監視哨ハ駐軍間ニアリテハ前哨區又ハ舍營(露營)區毎ニ設クルモノニシテ一哨所毎ニ下士哨又ハ上等兵ヲ長トセル五名乃至八名(内一名ハ喇叭手)ヨリ成ルモノトス

小ナル部隊ニアリテハ情況ニ依リ他ノ哨兵ヲシテ兼ネシムルコトアリ

2、駐軍間ニ於ケル對空監視部隊ノ位置ハ地上ノ敵ニ對シ掩護セラレ且上空ニ對スル視界廣潤ニシテ附近特ニ靜肅ナルヲ要ス

一三五、著眼第二百九第二十ヲ参照左ノ如ク記述ス

1、任務、小哨ハ歩哨ノ支援及後據タルモノニシテ警戒ノ爲必要ナル搜索ニ任シ敵襲ニ際シ前哨中隊(若ハ前哨本隊)(ヲシテ戰備ヲ整フルノ時間ヲ得セシムルモノトス

2、小哨ノ兵力ハ其重要ノ度ニ應シ將校又ハ下士官ヲ以テ長ト爲シ小隊以下ノ兵力ヲ用フ而シテ之ニ輕機關銃ヲ附スヘキヤ否ヤハ一ニ小哨ニ期待スヘキ抵抗ノ程度ニ依ルモノニシテ特ニ重要ナルニアラサレハ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス然レトモ情況之ヲ要スレハ機關銃、歩兵砲等ヲモ配屬スル事アリ

一三三、此問題ハ左記要圖ト對照シテ報告文ノ誤ヲ訂正スルモノニシテ第六十乃至第七十二ヲ参照シテ記述ス

左記報告ハ原報告(誤アルモノ)ニシテ其右側ニ()内ニ記シタルモノハ其部ヲ訂正シタルモノトス

大谷軍曹

前衛司令官殿

報告 十一月十五日午前八時 於A村西側高地

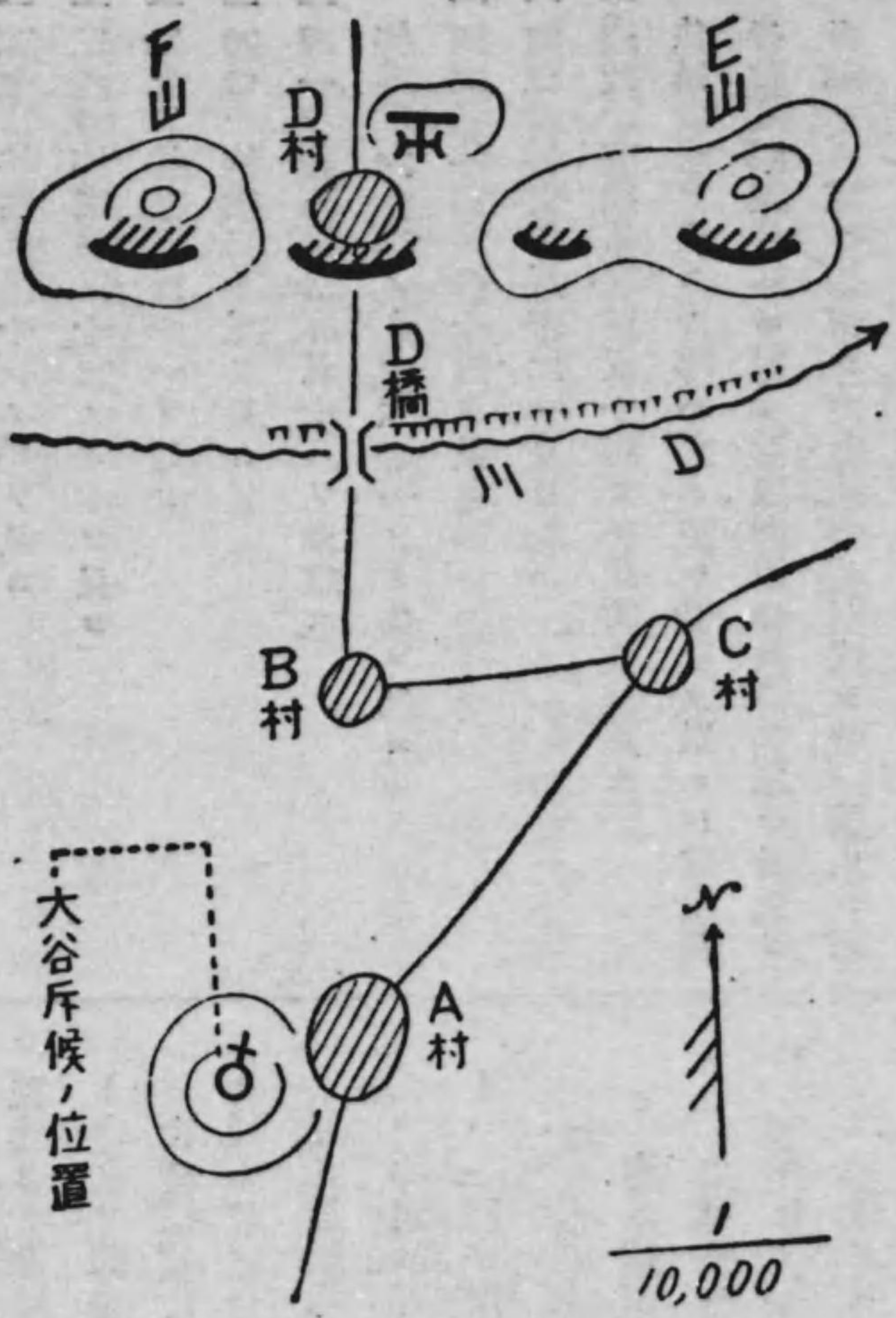
一、敵ハF山ヨリD村ヲ經テE山ニ亘リ陣地ヲ占領シアリ其砲兵ハD村西北側高地ニ在ルモノノ如シ

二、D川ハD橋ヨリ下流ハ水深概ネ五十糎ニシテ徒涉シ得ルモ右岸ノ斷崖ハ險峻ニシテ通過シ得ス

三、斥候ハ今ヨリO村方向ニ前進シ敵ノ右翼ヲ搜索セントス

A村東側高地

(月日時ノ左ニ併列記載ス)



◇陣中要務令◇

◇陣中要務令◇

- 一三六、答案第五十二ヲ見ヨ
 - 一三七、答案第四十一ノ(2)ヲ見ヨ
 - 一三八、答案第三十三ノ(3)(4)ヲ見ヨ
 - 一三九、答案第四十一ヲ見ヨ
 - 一四〇、答案第十五ヲ見ヨ
 - 一四一、著眼第三百五十八ヲ参照ス
 - 答案第六十二ノ1、六十一ノ12ヲ見ヨ
 - 一四二、答案第四十四ヲ見ヨ
 - 一四三、答案第五十二ヲ見ヨ
 - 一四四、著眼第三百五十四ヲ引用其儘記述ス
- 住民敵意ヲ有スル時ハ之ニ對シ警戒ヲ嚴ニシ其敵對行動及間諜行為ニ對スル豫防法即嚴罰ヲ以テ居民ヲ脅嚇シ人質ヲ拘留シ交通通信ヲ制限シ若ハ禁止シ炬火若ハ燈火ヲ以テ街路ヲ照シ家屋ヲ開放セシムル等ノ方法ヲ設ケサルヘカラス而シテ軍隊ハ戰備ヲ嚴ニシ會營衛兵ヲ強大ニシテ巡察ヲ頻繁ニシ必要ニ應ジ會營會營ヲ爲シ且會營地防禦ノ準備ヲ爲ス等ノ處置ヲ必要トス

- 一四五、著眼第四百十二、第四百十三ヲ参照左ノ如ク記述ス
- 1、之ヲ設クル部隊、駐軍間ニアリテハ前哨區又ハ會營(露營)區毎ニ設ク
- 2、人員、一哨所毎ニ下士官又ハ上等兵ヲ長トセル五名乃至八名(内一名ハ喇叭手)ヨリナル
- 3、答案第三百三十四ノ2ヲ見ヨ
- 4、一般守則、左ノ如シ
- 一、對空監視哨ハ常ニ四周ノ上空ヲ監視シ又ハ音響ニ注意シ若シ飛行機氣球等ヲ發見セハ監視ヲ中絶スルコトナク直ニ其情況ヲ指揮官ニ報告スヘシ
- 二、發見シタル飛行機敵ノモノタルカ或ハ疑ハシキモノニシテ我ニ近接シ來ルトキハ直ニ示サレタル防空部隊ニ通報スヘシ
- 三、敵飛行機全ク我視界ヲ去ラハ之ヲ指揮官ニ報告スヘシ
- 四、其他ハ概ネ歩哨ノ動作ニ準ス

一四六、著眼第四十九ヲ参照左ノ如ク記述ス

- 1、遞傳哨ノ人員及相互間ノ距離ハ交通ヲ保タムトスル時間ノ長短、豫想スル通信ノ繁閑、交通路及哨所ノ安否等ニ依リテ差異アルモノトス而シテ其人員ハ哨長(通常下士官)ノ外遞騎哨及遞步哨ニ在リテハ通常兵三乃至六人、遞自轉車哨ニ在リテハ三人以上トス又各哨相互間ノ距離ハ遞騎哨ニ在リテハ十乃至十五軒、遞自轉車哨ニ在リテハ十乃至二十軒、遞步哨在リテハ二乃至四軒ト爲スモノトス而シテ遞傳哨ハ常ニ其傳送スル所ノ書信ヲ受領シ速ニ之ヲ轉送スルノ準備ヲ爲シアルヘシ
- 2、遞傳哨ハ民心疑シキ村落ヲ避ケ警戒出入容易ナル位置ヲ選定スヘシ

一四七、著眼第八十一ヲ引用左ノ如ク記述ス

搜索事項
敵ノ兵力區分、位置及行動、敵歩兵ノ到達地點、後續部隊ノ有無及狀態、敵ノ配備及陣地ノ狀態其他直接戰闘ニ關係アル敵背後ノ情況戰闘經過ニ伴フ敵情

ノ變化、戰闘實行及戰闘指導ニ關係アル地形等

一四八、著眼第二百五十第三百三十六ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

- 1、掩護隊ハ司令部直接ノ掩護ニシテ常ニ附近ノ軍隊ト連絡ヲ取り殊ニ間諜ヲ警ムヘシ又常ニ上空ノ敵ニ注意スルヲ要ス
- 2、行動間ニ於テハ行動間警戒ノ要領ニ依リ周圍ノ近距離ヲ搜索シ特ニ敵騎兵等ノ潜入ニ對シ警戒スヘシ又追撃間ニ於テハ敵ノ潜伏者ヲ警ムルヲ要ス
- 3、駐止及宿營間ハ前哨勤務ノ要領ニ依リ直接ノ掩護ニ任ス殊ニ敵意ヲ有スル敵地ニアリテハ土民ノ動靜ニ注意スヘシ又常ニ對空監視ニ任シナシ得レハ射擊部隊ヲ設ケ敵ノ爆撃ヲ警ムヘシ

一四九、著眼第三百六ヲ引用左ノ如ク記述ス

高等指揮官ノ規定ニ依ルカ若ハ相互責任者各任務ニ稽ヘテ協調シ或ハ先任者獨斷ヲ以テ之ヲ區署スルヲ要ス斯クノ如キ場合ニアリテハ行進交又ヲナス部隊ハ之カ爲所要ノ間隔ヲ作り他部隊ヲシテ急速ニ通過セシムルコトヲ圖リ通過スヘキ部隊ハ若干部隊毎ニ閉縮スルヲ待チテ逐次一舉ニ前進スヘシ而シテ自動

◇陣中要務令◇

車編制ノ如キ速度迅速ナル部隊ト然ラサル部隊トノ
行進交又ニ於テハ概シテ先ツ速度迅速ナル部隊ヲ行
進セシムルヲ要ス

一五〇、答案第四十四ヲ見ヨ

一五一、著眼第四百三十八乃至第四百四十一ヲ参照シ
殊ニ「使用ノ見地ヨリ」ニ注意シ左ノ如ク記述ス

1、大行李ニ積載スル糧秣ハ定規糧秣ニシテ保存及
運搬ニ適當ナルモ授受ニ時間ヲ要シ炊爨遅レル弊
多シ而シテ一地ニ駐留シ倉庫ヨリ補充ヲ受クル場
合ニ於テハ大行李ノ定規糧秣ハ之ヲ存置スルヲ可
トス

2、携帶糧秣ハ定規糧秣ニシテ保存運搬ニ便ナルハ
大行李糧秣ニ優リ且授受ノ煩ナク極メテ有利ナル
モ補充ヲ願慮セサレハ軍隊爾後ノ活動ニ支障ヲ生
スルヲ以テ他ニ給養ノ方法ナク止ムヲ得サルトキ
ニ限リ部隊長自己ノ責任ヲ以テ使用スルモノトス

3、輜重ニ積載スル糧秣ハ大行李糧秣ノ補充ニ供セ
ラルモノニシテ保存運搬便ナリ故ニ一地ニ駐留
スル場合ニ於テハナルヘク倉庫ノモノヲ以テ大行
李糧秣ヲ補充スルヲ良シトス

案ササルヲ要スルモノナリ

一五四、著眼第三百七十七ヲ参照左ノ如ク記述ス

1、特性ニ就テハ答案第八十六ヲ見ヨ

2、用途

イ、有線電信ハ稍々久シキニ亙リ使用スル場合ニ

シテ大本營軍司令部間軍司令部——師團司令部
間等

ロ、有線電話 廣ク用ヒラルモノニシテ師團司
司令部——各部隊間等ニ用ヒラル

3、無線電話ハ特ニ騎兵部隊ノ如キ移動性多キ部隊
ト師團司令部間ノ如ク又各部隊間ニ用ヒラル

4、鳩通信、(3)ノ如キ騎兵部隊又斥候等ノ如キ移
動性ノモノヨリ其部隊間ニ用ヒラレ又數日間駐止
ノ場合ニ於テ各部隊等間

ニ使用ス

5、音響信號、傳令犬ハ戰
場ニ於テ他ノ通信ノ副通
信トシテ使用セラル

一五五、答案第四十三ヲ見ヨ

一五六、答案第四十四ヲ見ヨ

◇陣中要務令◇

一五二、答案第十三ノ1ヲ見ヨ
一五三、著眼第四百八十八第四百七十六第二ヲ参照左
ノ如ク記述ス

1、兵站基地ハ各師管ニ一箇ヲ設クルモノニシテ同
地ニ兵站基地司令部ヲ置キ當該師管内所在ノ留守
部隊ヨリ出征部隊ニ送致スヘキ物件ヲ蒐集シ集積
基地ヲ經テ之ヲ發送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ル
モノヲ各々其目的地ニ分送スル業務ニ任ス

2、隊編帶所トハ戰爭間多數ノ患者ヲ生スルモ衛生
隊未タ到着セサルカ或ハ遠隔シアルトキハ歩兵隊
力直ニ隊附衛生部員及衛生材料ヲ用ヒテ勝クル應
急的患者收容所ニシテ時トシテ附近ニアル他隊ノ
衛生部員ト連合シテ作業スルヲ便トスルコトアリ
而シテ衛生隊到着シ作業ヲ開始セハ隊編帶所ハ之
ヲ撤シ其衛生部員等ハ復隊シ衛生材料馬ハ小行
李ノ位置ニ複スルモノトス但シ情況ニ依リ隊編帶
所ハ其儘作業ヲ續行シ若ハ其位置ヲ變更シテ患者
ノ收容ニ從事スルコトアリ

3、軍隊區分トハ作戰上ノ必要ニ基ク軍隊ノ一時的
編組ニシテ此編組ヲ行フニハ勉メテ軍隊ノ建制ヲ

一五七、著眼第六十第六十一第六十二第六十四ヲ参照
左ノ如ク記述ス

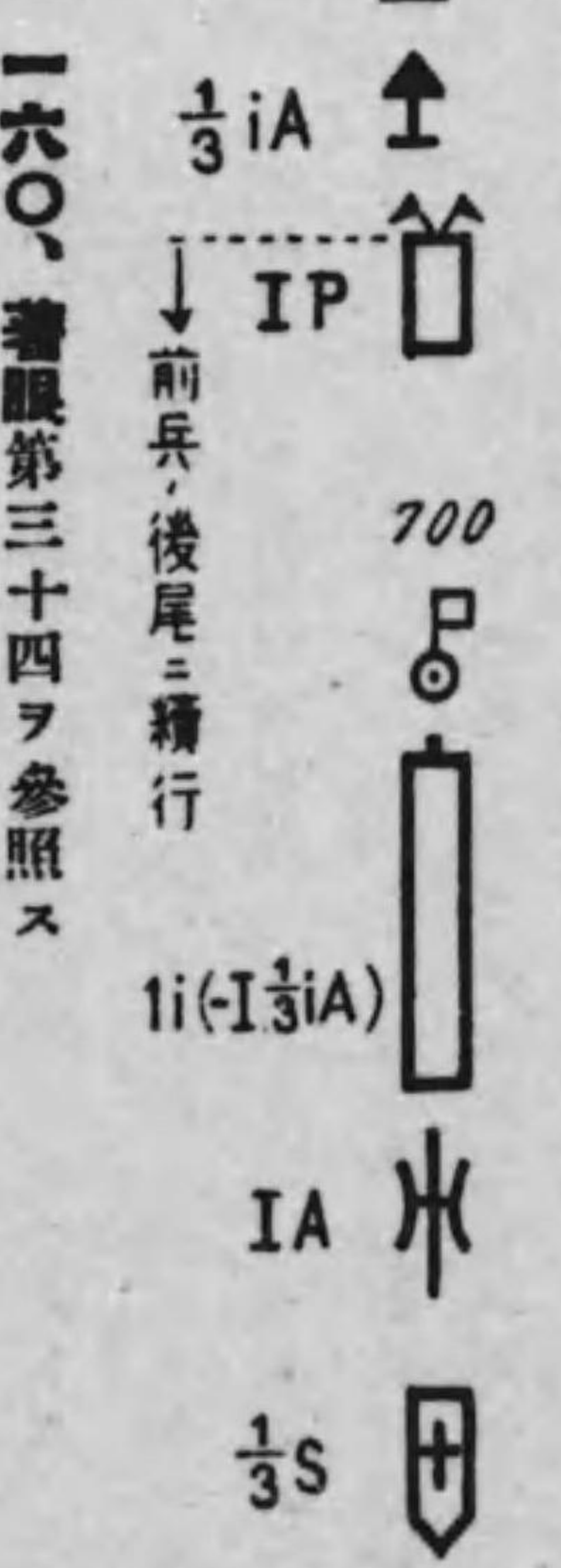
1、ナルヘク簡明平易ナラシム而シテ其長キモノニ
在リテハ適宜條項ヲ分ケ數字等ヲ附シテ列記シ又
一事件ニ關係スルモノハ一條項中ニ記載ス
2、字體ヲ正シク鮮明ニ筆記シ二トニハトハ力トカ
ハ特ニ之ヲ明瞭ニ記載ス

3、要圖又ハ寫景圖ヲ附セハ理解ニ有效ナルコトア
リ

4、記述後自ラ復讀シ又ハ他ノ者ヲシテ之ヲ點檢セ
シム

一五八、答案第三十五ヲ見ヨ

一五九、著眼第四百八十八乃至第五百五十七ヲ参照ス



一六〇、著眼第三十四ヲ参照ス

1、必要ナル所以、戰闘ハ敵ノ配備、兵團ノ分布等
ヲ暴露シ又敵ノ志氣ノ振否、彼我損害ノ程度彈藥

◇陣中要務令◇

七〇

ノ費消及敵ノ退却方向等戦闘直後ノ戦闘指導ニ最モ緊要ナル事項ヲ提供スルモノナリ故ニ是等ノ事項ヲ速ニ上級指揮官ニ報告スルハ最モ緊要ナリ

2、之ニ記述スヘキ事項答案第八二ヲ見ヨ

一六一、第二十一ヲ引用ス

作戰命令ハ概ネ左ノ例次ニ從ヒ記述スルヲ可トス
敵軍及友軍ノ情況但シ命令者ノ爲ニ必要ナルモノニ限ル

指揮官ノ企圖

軍隊区分ニ依リ成立セル各部隊ノ任務

通信、衛生、大行李、輜重等ニ關シ各隊ニ必要ナル事項

發令者ノ所在地及要スレハ其行動、連絡ノ方法、報告送達ノ場所等

一六二、著眼附錄第九第五及第五百三十一—第五百五十ヲ参照ス

1、橋梁衛兵橋、梁衛兵ハ橋梁直接ノ掩護兵ニシテ渡者ヲ監視シ渡橋ノ規定ヲ實行セシメ敵襲ノ虞アルトキハ特ニ之ニ對スル警戒及保護ニ任スルモノニシテ通常歩兵ヲ以テ之ニ充ツ此衛兵ハ橋梁ヲ監



ヨリ直接下士哨又ハ復哨ヲ配置ス

一六五、答案第四百四十四ヲ見ヨ

一六六、答案第十五ヲ見ヨ

一六七、著眼第四百四十二—第四百四十四ヲ参照ス

1、對空監視哨ヲ置クヘキ場合、駐軍間ハ常ニ置キ行軍及戰闘間ニアリテハ情況特ニ敵飛行機ノ行動ニ應シ騎軍間ニ於ケルモノニ準シ監視ノ方法ヲ講ス

2、位置選定上着意スヘキ事項、地上ノ敵ニ對シ掩護セラレ且上空ニ對スル視界廣潤ニシテ附近ハ特ニ靜肅ナルヲ要ス

一六八、著眼第三百三十七乃至第三百四十四ヲ参照ス

1、該關係

◇陣中要務令◇

七一

視シ得ヘキ場所ニ位置シ橋梁ノ一端若ハ兩端ニ單哨或ハ複哨ヲ配置シ其他危險ノ虞アル地ニ所要ノ警戒兵ヲ出シ對空監視哨ヲ配置スルモノトス
2、輸送指揮官ノ任務、(イ)各部隊ノ乘車ニ關スル區署ヲナシ混雜ナク迅速ニ乘車ヲ完了セシムルコト、(ロ)運行中ノ取締、(ハ)敵ノ近接運行ノ遮斷及、危難等ノ爲中途下車ヲ要スル場合ノ區署(ニ)下車ノ區署ヲナシ混雜ナク下車ヲ完了シ速ニ停車場ヲ離退セシム

一六三、著眼第九九ヲ参照ス

師團騎兵ノ搜索要領

1、單ニ將校斥候ヲ必要ノ方面ニ派遣シテ搜索ス

2、騎兵ノ主力ヲ以テ必要ナル方面ニ進出シ搜索ス右ハ遠距離搜索ノ場合ニシテ近距離搜索ハ主力ヲ以テ以テ必要ノ方面ニ進出シ各種斥候ヲ以テ搜索ス

一六四、著眼第二百三十九及第二百四十四ヲ参照ス

一般前哨ニハ前哨本隊アルモ騎兵前哨ニハナシ要スラハ必要ナル方面ノ村落ニ宿營スル部團ニ戰闘準備レナサシメ前哨ノ支援タラシム
小哨ハ特ニ緊要ナルトキ分遣シ通常ハ前哨騎兵中隊

舍營司令官 | 舍營日直將校 | 部隊日直將校(下士)
| 巡察將校(下士)

一舍營區ノ兵員寡少ナル時ハ別ニ舍營日直將校ヲ置カス舍營司令官自ラ之ヲ兼ネ或ハ部隊日直將校ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトアリ

2、巡察將校ノ任務答案第五十七二ヲ見ヨ

一六九、答案第九十二ヲ見ヨ

一七〇、著眼第九十九第三百四十六ヲ参照ス

1、敵ニ近接シテ長ク對峙スルカ如キ場合ニ於テ村落或ハ森林等ノ如キ蔭蔽甚シキ地ヲ貫通シテ前哨ヲ配布スルトキハ道標ヲ設ク

2、宿營ニ於テ一地ニ長ク滞留スルトキハ各司令部本部病院倉庫等ノ所在ハ要スルトキハ舍營地内ニ於ケル此等ノ要點及比隣宿營地及其他ノ要地ニ向フ爲ノ道標ヲ設クルモノトス

3、設置要領 要點ニ到ル方向ヲ明示シ回轉等ノ爲メ指向ノ變易セサルコトニ注意ス又要點ハ敵間諜等ニ秘匿スル爲記號(各部隊ニハ列明シアルヲ要ス)ヲ用フルヲ要スルコトアリ設置ニ際シテハ外力ニ依リ容易ニ折損又ハ除去セラレサル如クスヘ

◇陣中要務令◇

シ道路屈曲ノ内側ニ設置スル場合ニ於テ殊ニ然リ

- 一七一、答案第五十三ヲ見ヨ
- 一七二、著眼第六十三ヨリ引用ス

氏官(職)

氏官(職)殿

命令(通報)(報告) 月 日 時 分 於 何 地

一、.....(本文).....

- 一七三、答案第二十一ヲ見ヨ
- 一七四、著眼第二百五十五乃至第二百五十九ヲ参照ス

- 1、戦備行軍、敵ニ接觸スヘキ虞アリテ戦闘準備ヲ主トスル場合ニ行フ
- 2、旅次行軍、敵ト接觸スヘキ虞ナク主トシテ軍隊ヲ休養セシムルコトニ願慮スル場合ニ行フ
- 3、強行軍、旅次行軍ト戦備行軍ト同ハス情況ニ依リ日々ノ行程ヲ増大シテ強行スルヲ要スル場合ニ行フ
- 4、急行軍、情況ニ依リ短時間ニ所望ノ地點ニ到着スル爲急行スルヲ要スル場合ニ行フ
- 5、夜行軍、敵ニ對シ特ニ我行動及企圖ヲ隠匿スルノ要アルカ又ハ軍隊ノ移動急ヲ要スル爲拂曉ヲ待

- 1、縱隊ニ嚮導ヲ附ス
- 2、要スレハ後續部隊ノ爲連絡兵ヲ殘置シ或ハ適宜ノ標識ヲ爲シ又ハ利用セサル道路ノ分岐點ハ之ヲ閉塞ス又部隊間ノ距離ヲ短縮シ要スレハ此間ニ連絡兵ヲ増加配置シ又ハ道路ノ障礙ヲ除キ又ハ之ヲ迂回シ尙兵ノ假眠ヲ戒メ休憩ハナルヘク其時間ヲ短縮シ回数ヲ増加スル等ノ處置ヲナスモノトス
- 3、又特ニ給養ヲ良好ニスルコトノ部署ヲナスコト必要ナリ

見ヨ
夜行軍ノ部署

- 一七八、對空監視哨ノ編成及位置選定ノ要領ニ就テハ答案第四百十五ヲ見ヨ
- 一般守則ニ就テハ答案第同右ノ4ヲ見ヨ
- 一七九、著眼本問題ハ第四百四十一第四百四十二第四百九十五第四百九十八第三百七第七第三百八第三百十四ニ散在スル諸項ヲ摘出シ左ノ如ク記述ス
- 1、各司令部及本部ニ於テハ對空監視及其連絡ニ關スル主任者ヲ定メ彼我飛行機ノ識別友軍飛行機ニ對スル應答並通信筒ノ收拾等ニ任セシム

◇陣中要務令◇

七二

ツ邊ナキ場合ニ行フ又ハ往々夏季炎熱ヲ避クル爲或ハ強行軍ノ爲夜行軍ヲ行フコトアリ

- 一七五、答案第九十五ヲ見ヨ
- 一七六、著眼第三百四十二ヲ引用ス

各部隊ニ會營地區ヲ配當スルニ際シ特ニ注意スヘキ事項概ネ左ノ如シ

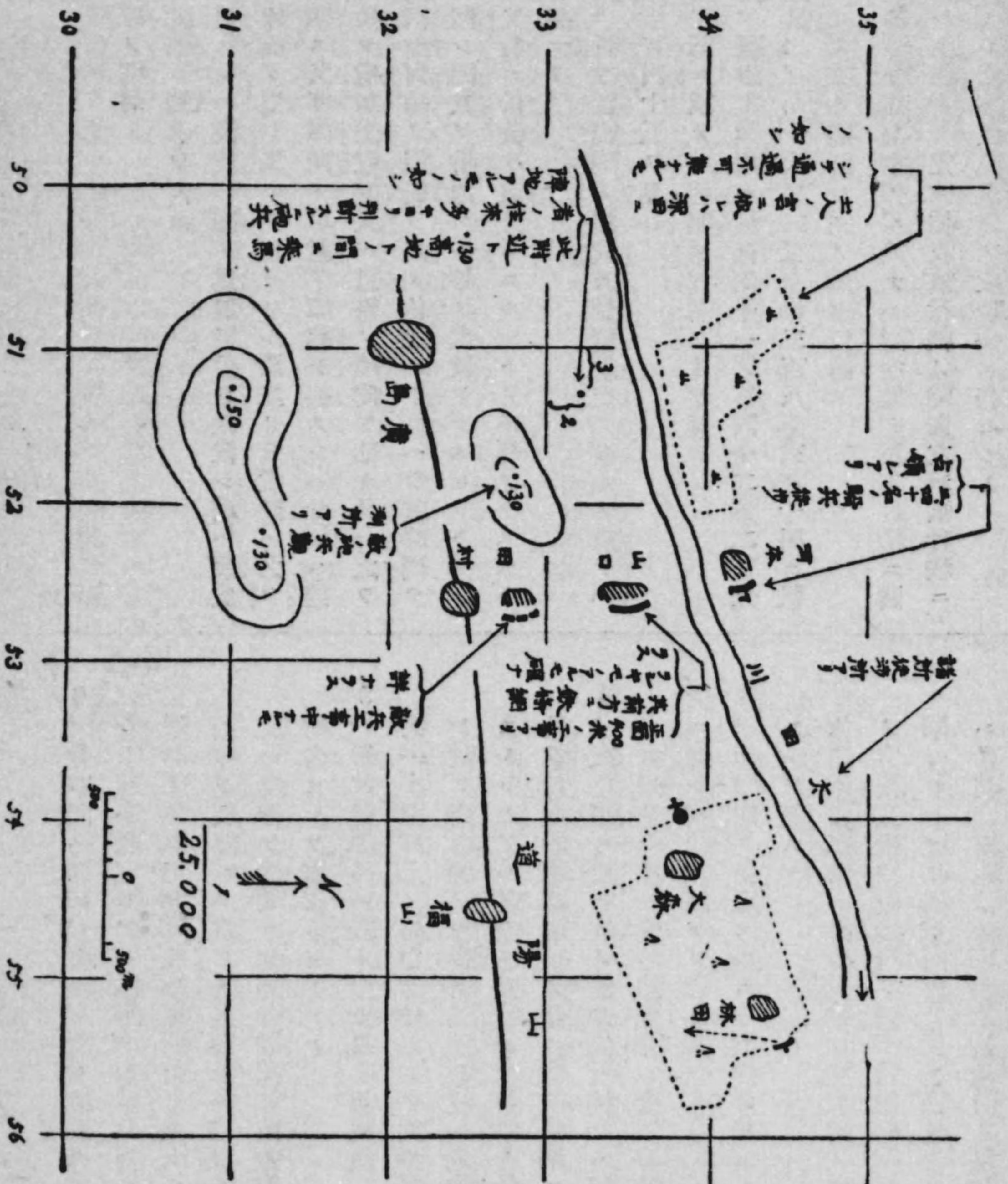
- 1、各部隊ノ會營地區ノ宿營力ハ成ルヘク平等ニシテ且明瞭ナル境界ニ依リ區分セラルルコト
- 2、各部隊ハ適當ナル緊急集合場、砲(銃)(車)廠、馬繋場、飲馬場ノ位置ヲ得ルコト
- 3、對空遮蔽ノ願慮ヲ要スル場合ニ在リテハ砲兵其他車馬ヲ有スル部隊ノ爲適當ナル遮蔽物ヲ得シムルコト
- 4、給水不便ノ會營地ニ在リテハ井、泉、貯水、水流等ヲ適當ニ配當スルコト
- 5、傳染病ノ願慮アル家屋及厩ヲ避クルコト
- 6、市街地又ハ交通不便ナル村落ニアリテハ要スレハ各部隊ニ交通路ヲ配當スルコト
- 一七七、夜行軍ノ利害ニ就テハ答案第九十二ヲ見ヨ
- 夜行軍ヲ實施スヘキ場合ニ就キテハ答案第四十一ヲ

- 2、行軍間ノ隊形、上空ニ對シ遮蔽スルコト必要ナルトキハ規定シアル隊形ヲ取ルコトナク不規則ノ隊形ヲ取ルコトアリ又行軍間敵ノ強大ナル飛行機ノ射撃ヲ受クルノ虞アルニ至レハ適宜路外ヲ行進シ或ハ縱隊ヲ分割シ或ハ部隊間ノ距離間隔ヲ開キテ前進スルヲ要スルコトアリ
- 3、行軍間歩兵ハ概ネ大隊毎ニ機關銃一中隊若ハ步兵一小隊以上ノ兵力ヲ指定シテ對空射撃部隊ト爲シ敵ノ飛行機ノ行動ニ注意シ我ニ危害ヲ與ヘントスルトキ又ハ低空ヲ飛行シ我射撃有效ナルトキハ通常對空射撃部隊長ノ命ニ依リ射撃スルモノトス
- 4、夜行軍ニ於テ敵ノ飛行機近接セハ要スレハ道路ノ中央ヲ開放シ或ハ停止又ハ伏臥シ敵ノ地上照明ニ對シ遮蔽ヲ圖ルヲ可トス
- 5、休憩地ヲ選定スルニハ上空ニ對スル遮蔽ニ注意スルヲ要ス
- 休憩中各部隊ハ必要ニ應ジ駐軍間ノ如キ對空防禦ノ方法(對空監視哨ヲ設ケ對空射撃部隊ヲシテ射撃セシム)ヲ講シ所要ノ直接警戒法ヲ設ケ要スレハ又銃、車輛、材料等ノ監視法ヲ規定スルヲ要ス

七三

◆ 敵中斷線 ◆

十四



陣中要務令第四圖則敵要圖
印別部會新令二編五大地

附圖

小銃・輕機關銃
拳銃
射擊教範

小銃、輕機關銃、拳銃、射擊教範問題
機關銃、步兵砲射擊教範問題

- 一、射擊ニ於テ左記事項ヲ説明スヘシ (七年3
工)
- 存速、定偏、高低角、水平半數必中界、安全
界
- 二、射擊上天候氣象ノ感及ヲ射擊指揮上如何ニ
利用スヘキカ(七年2步)
- 三、氣壓及氣温ノ高低中射距離若クハ彈著點ニ
及ス影響ヲ説明スヘシ(六年3步騎工輜)
- 四、縱風及橫風ノ彈道ニ及ホス影響ヲ述ヘヨ
(七年近輜)
- 五、天候氣象ノ射擊ニ及ホス影響ヲ説明スヘシ
(七年6步騎工輜)
- 六、射彈散布ノ原因ニ就テ説明スヘシ (七年3
騎)
- 七、半數必數界ヲ説明スヘシ(七年20騎八年近輜)
- 八、三八式步兵銃ノ單一銃ヲ以テスル射擊ノ五
〇〇米ニ於ケル半數必中界ハ垂直三十二糎、
水平三十糎ナリ射彈ノ全數ヲ收容スル垂直被
彈面ノ廣サヲ問フ(七年9步)
- 九、平均彈著點ヲ求ムル方法如何 (六年3步騎
工輜・七年近騎)
- 一〇、小銃、輕機關銃ヲ以テ友軍ノ間隙ヲ通シ
テ射擊シ得ル限界ヲ述ヘヨ(七年近騎)
- 一一、小銃ヲ以テスル友軍超過及間隙射擊ノ限

◇小銃輕機關銃拳銃射擊教範問題 機關銃步兵砲射擊教範問題◇

◇小銃輕機關銃射擊教範問題 機關銃步兵砲射擊教範問題◇

二

界ヲ問フ(七年一工。11 輯)

二二、小銃、輕機關銃、機關銃、步兵砲ノ間隙射擊ニ就キ述ヘヨ(七年20 步)

二三、小銃、輕機關銃及機關銃ヲ以テスル友軍ノ間隙及超過射擊ノ限界ヲ述フヘシ(七年8 步11 步騎。16 步八年7 步)

二四、危險界ヲ説明シ水平地上ニ於ケル騎銃危險界ヲ示セ(六年1 騎輯)

二五、遮蔽界、安全界、危險界ヲ圖示説明セヨ(七年1 騎工輯)

二六、危險界ノ長短ハ目標所在地ノ傾斜及射擊位置ト目標位置トノ比高ニヨリ變化スル理由ヲ圖示説明スヘシ(七年近畿。8 步。14 輯)

(注意、問題ノ字句多少異ナルモノアリシモ意義同一ナルヲ以テ併合ス)

一七、十一年式輕機關銃ノ間斷ナキ連續發射ノ限度ハ銃ノ保存上幾何ナリヤ(七年近歩)

一八、小銃射擊ニ於テ狹窄射擊、基本射擊、戰鬪射擊ノ各目的ヲ述ヘヨ(七年9 步騎工輯)

一九、輕機關銃各射法ノ要領ヲ説明スヘシ(七年7 步。8 騎)

二〇、十一年式輕機關銃ニテ數發毎ノ點射ヲ移動スルニ脚桿及兩肘ノ位置ヲ變スルコトナク照準線ヲ移動シ得ル範圍如何(七年9 步騎工輯)

二一、輕機關銃射擊間發生スル故障ノ原因及其豫防方法ヲ説明スヘシ(七年8 步)

二二、輕機關銃射擊ニ於ケル故障ノ原因ヲ發見スル爲有力ナル資料トナルヘキ事項如何(七年3 步)

二三、輕機關銃ヲ配屬セラレタル第一線小隊長トシテ射擊效果觀測ノ要領ヲ説明スヘシ(七年16 騎)

二四、小銃及輕機關銃ヲ以テスル飛行機射擊ノ要領ヲ説明スヘシ(六年1 步。8 騎。20 步)

二五、小銃ヲ以テ飛行機ヲ射擊スル要領如何(五年3 輯。六年3 步騎輯。七年3 騎輯)

二六、小銃ヲ以テスル飛行機射擊ニ就キ採用照尺、照準點、射擊ノ限界ヲ述ヘ且本射擊法採用ノ理由ヲ説明スヘシ(六年3 步騎工輯。前段八年2 輯)

二七、小銃、輕機關銃、機關銃ヲ以テスル飛行機射擊ニ關シ左ノ諸項ヲ問フ(七年8 步)

- 1 射距離ノ限界及採用照尺
- 2 飛行機ニ至ル直距離六〇〇米ナルトキノ照準點及其理由

3 照準ノ方法並射法

二八、直距離六百米ノ飛行機ヲ射擊セントス照準點如何又其理由ヲ説明スヘシ(七年14 步騎工輯)

二九、飛行機射擊ニ於ケル照準點及目視ノ景況ニ依ル距離ノ標準如何(七年1 輯)

三〇、小銃各個戰鬪射擊ニ於テ演練スヘキ主要ナル事項ヲ問フ(六年16 騎。七年3 騎)

三一、戰鬪射擊一般ノ目的及各個戰鬪射擊ニ演練スヘキ主要ナル事項ヲ問フ(七年3 步騎。八年20 步)

三二、輕機關銃ノ送彈不良及突込ノ主ナル原因ヲ舉ケヨ(七年10 步)

三三、夜間射擊ノ效力ニ就テ説明スヘシ(七年步騎。八年16 步)

三四、射擊目標ヲ補助ノ地物ニヨリ指示スル方

◇小銃輕機關銃射擊教範問題 機關銃步兵砲射擊教範問題◇

三

小銃輕機關銃拳銃射擊教範問題 機關銃步兵砲射擊教範問題

四

法ヲ述ヘヨ(七年20騎)

三五、左ノ事項ニ就キ記述スヘシ(七年3步)

1 射擊目標ヲ補助ノ地物ニヨリ指示スルニ
ハ如何ナル方法ヲ便トスルヤ

2 夜間射擊ノ效力ニ影響ヲ及ホス主要事項
ヲ問フ

三六、射擊指揮ニ方リ目標ノ指示法ヲ述ヘヨ
(七年11工)

三七、小銃射擊ニ於ケル射擊觀測ノ要領ヲ述ヘ

ヨ(六年16騎・七年2騎・近歩・3步騎工幅・7步・8
步・11步騎工幅・16步・臺歩八年2騎)

三八、小銃射擊ニ於テ其射彈ノ效果、觀察要領
及夜間射擊ノ效力ニ就キ説明スヘシ(七年6
工幅)

三九、小銃、輕機關銃射擊ニ於ケル彈著觀測ノ

要項ヲ説明スヘシ(七年6步騎・8騎・9步騎工
幅)

四〇、距離測量ニ方リ目測ヲ遠ク誤リ易キ場合
ヲ問フ(七年1步)

四一、音響ニヨル距離測量法ヲ記述スヘシ(七
年臺歩)

四二、彈丸ノ發射及飛行ノ音響ニ依リ距離ヲ如
何ニ判定スルヤ(五年3騎)

四三、音響測量及彈丸ノ音響ニ依ル距離測定要
領ヲ述ヘ發射位置方向判定上ノ注意ヲ附記ス
ヘシ(七年14步騎工)

四四、左ノ事項ヲ問フ(七年14工)

1 工兵隊射擊教育ノ目的
2 斜射、側射及跳彈ノ及ホス射擊效力

四五、左ノ字句ヲ説明セヨ(八年10工)

(イ)初速 (ロ)彈道 (ハ)存速 (ニ)定偏

(ホ)高底角 (ヘ)發射角

四六、左ノ事項ヲ説明セヨ(八年10騎)

1、存速 2、集束彈道

四七、各銃ニ腔綫ヲ施シアル理由如何(八年14
步)

四八、左ノ件ヲ説明スヘシ(八年10步)

1、一密位 2、銃身ニ腔綫ノ附シアル理由
3、定偏 4、高低角 5、躲避及平均點躲

避

四九、照星ニ對スル光線射照ノ狀態力彈著ニ如
何ナル影響ヲ及ホスヤ圖示シテ説明スヘシ

(八年9步)

五〇、小銃、輕機關銃、重機關銃、平射步兵砲

ヲ以テスル友軍ノ間隙射擊並超過射擊ノ限界

ヲ問フ(八年16步、後段7步、小銃輕機20騎)

五一、小銃、輕機關銃、機關銃、步兵砲ノ間隙
射擊ニ就キテ述ヘヨ(八年近歩)

五二、超過射擊ニ於ケル限界ヲ圖示説明スヘシ
(八年近騎)

五三、小銃、輕機關銃ヲ以テ間隙射擊並超過射
擊ヲ行フ場合友軍ニ危害ヲ及ホササル爲ノ限
界ヲ問フ(八年9騎)

五四、小銃、輕機關銃、重機關銃ヲ以テスル友
軍超過及間隙射擊ノ限界ヲ問フ(八年7步)

五五、小銃、輕機關銃及機關銃ヲ以テ間隙射擊
ヲ行フニ方リ友軍ニ危害ヲ及ホササル爲ノ限
界ヲ説明スヘシ(八年9步)

五六、射擊ニ關シ左記事項ヲ圖示説明セヨ

小銃輕機關銃拳銃射擊教範問題 機關銃步兵砲射擊教範問題

五

1、危險界 2、掃射地帯(八年3步)

五七、危險界ヲ圖示説明シ小銃、輕機關銃ヲ以テスル超過射擊ノ限界ヲ述フヘシ(八年5步前段5工)

五八、危險界ヲ説明スヘシ(八年10步)

五九、左記事項ヲ説明スヘシ(八年5步)

1、射擊散布ノ原因 2、危險界、遮蔽界、安全界ヲ圖示説明セヨ(八年5步)

六〇、遮蔽界、危險界ヲ圖示説明セヨ(八年10步)

六一、射擊豫行演習ノ目的及特ニ意ヲ用ヒテ教育スヘキ事項ヲ問フ(八年近騎)

六二、輕機關銃夜間射擊ニ於ケル故障ノ豫防並排除ニ就テ注意スヘキ諸件ヲ述フヘシ(八年11步)

六三、輕機關銃故障ノ原因發見ノ爲ノ有力ナル

資料ヲ問フ(八年16步)

六四、射擊效力觀測ノ要領ヲ述ヘヨ(八年16步20步)

六五、小銃及輕機關銃ヲ以テスル飛行機射擊ニ於ケル照準點及照尺ヲ記シ且其射擊法ノ理由ヲ説明スヘシ(八年2步)

六六、小銃及輕機關銃ヲ以テスル飛行機射擊ノ要領如何(八年11步、前段ハ工、幅、14步、5步騎工、7步、3步)

六七、飛行機射擊ノ限界、採用照尺、照準點ニ就キ説明スヘシ(八年20步)

六八、小銃ヲ以テスル飛行機射擊ノ要領ヲ問フ(八年10工)

六九、小銃、輕機關銃ヲ以テスル飛行機射擊ニ於テ射距離、照尺、照準點決定ノ要領ヲ説明ス

(八年9步)

七〇、小銃、輕機關銃、機關銃ヲ以テスル友軍ノ間隙及超過射擊ノ要領ヲ圖示説明セヨ(八年3步)

七一、輕機關銃ノ活塞後退不足ノ原因ヲ述ヘヨ(八年14步)

七二、小銃、輕機關銃各個戰團射擊ニ於テ演練スヘキ主要ナル事項ヲ述ヘヨ(八年20步10騎)

七三、射擊目標ノ選定法ニ就キ説明スヘシ(八年0騎)

七四、左記事項ヲ説明スヘシ(八年9步)

(イ)密位 (ロ)跳彈ノ效力 (ハ)小銃、輕機關銃、機關銃ノ飛行機射擊ノ照準點 (ニ)射擊指揮精熟ノタメ練磨スヘキ事項

七五、小銃部隊射擊ニ於テ跳彈ニ依ル效力ニ就

キ説明スヘシ(八年9步)

七六、夜間射擊ノ效力ニ就テ説明スヘシ(八年16步)

七七、斜射、側射及夜間射擊ノ效果ニ關シ説明セヨ(八年0步)

七八、小銃部隊射擊ニ於ケル照準點ノ選定法ヲ説明スヘシ(八年3工)

七九、小銃、輕機關銃射擊ニ於テ左記事項ヲ説明スヘシ(八年20步)

一、彈著ノ良好ナル景況トハ如何ナル場合ヲ謂フヤ
二、彈著ノ觀測及修正要領

八〇、小銃射擊ニ於ケル射擊效果觀測ニ就キ説明スヘシ(八年16幅)

八一、小銃、輕機關銃、機關銃ノ射擊效果觀察

◇小銃輕機關銃拳銃射擊教範問題 機關銃步兵砲射擊教範問題◇

- ノ要領ヲ述ヘヨ(八年3、5步、騎(除重機))
- 八二、小銃射擊ノ狀態良好ナル場合ニ於ケル彈著觀測ノ要領(八年0幅)
- 八三、小銃ノ射擊效果觀察ノ要領ヲ述フヘシ(八年0步・3幅)
- 八四、目測ヲ誤リ易キ場合ヲ説明セヨ(八年近電)
- 八五、距離目測ニ誤差ヲ生セシムル場合ヲ列舉セヨ(八年5工)
- 八六、命中試驗ハ如何ナル場合ニ實施スルモノナリヤ又其要領ヲ簡單ニ説明セヨ(八年10幅)
- 八七、工兵ノ各個戰鬪射擊ニ於テ演練スヘキ主要ナル事項ヲ舉ケヨ(八年5工)
- 八八、夜間射擊ノ效果ヲ收ムル爲採ルヘキ手段ヲ述ヘヨ(八年11工)

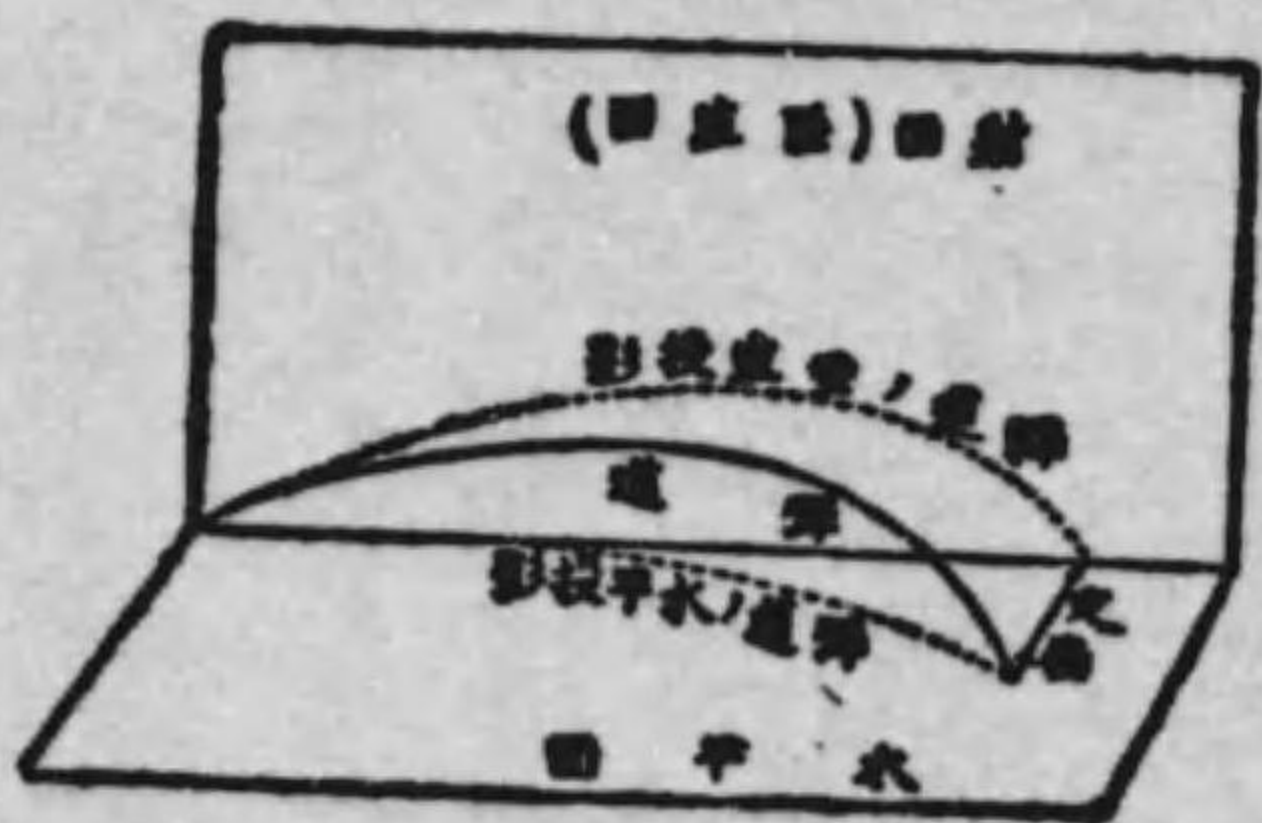
- 八九、曲射步兵砲ニ托筒ヲ設ケアル理由如何(八年14步)
- 九〇、左記事項ニツキ述ヘヨ
 - イ 三年式機關銃發射速度及保存上間斷ナキ連續發射ノ限度
 - ロ 十一年式平射步兵砲彈道ノ概要
 - ハ 十一年式曲射步兵砲ノ定偏及偏流

小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範答案
機關銃、步兵砲射擊教範答案

- 一、著眼左記答案()内ニ記入セル條項ヲ參照シテ記スヘシ
- 1 存速(第八)

彈道ノ某點ニ於ケル彈丸ノ速度ヲ「存速」ト謂フ
 - 2 定偏(第九)

彈丸ノ旋動ハ彈丸ヲシテ其腔繞旋回ノ方側ニ偏移セシムルモノニシテ其射面(銃身軸ヲ含ム垂直面)ヨリ離隔スル量ヲ「定偏」ト謂フ

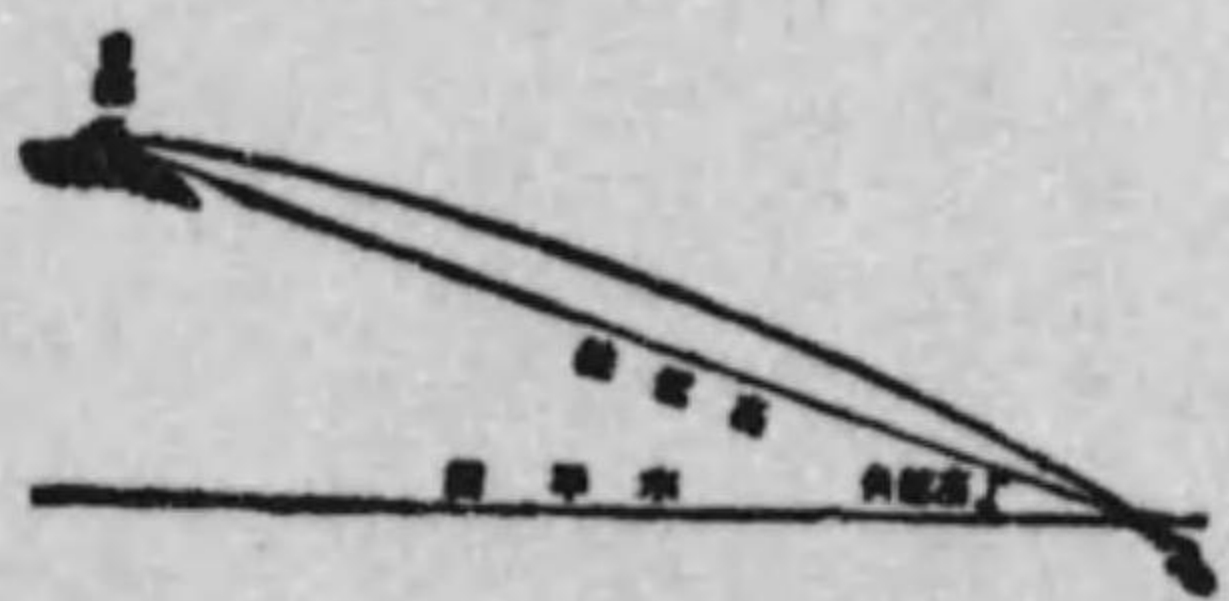


- 3 高低角(第十二)

銃口ト彈著點ト同一水平面ニ在ラサルトキ兩者ヲ連ヌル線ヲ高低線、高低線ト水平面トノ成ス角ヲ高低角ト謂フ
- 4 水平半數必中界(第十九)

多數射彈ノ垂直被彈面ニ於テ平均彈著點ヲ中央トシテ其兩側ニ於テ總彈著ノ半數ヲ含ム部分ヲ垂直線ヲ以テ區劃スルトキハ其兩界線ハ平均彈著點ヨリ等距離ニ在ルモノニシテ此兩界線間ノ長サヲ水平半數必中界ト謂フ
- 5 安全界(第二十七)

遮蔽界中目標ノ全部危險ヲ免ルルヲ得ヘキ地界



◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範、機關銃、步兵砲射擊教範◇

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

ヲ其目標ノ安全界ト謂フ

二、著眼第七十ヲ基礎トシテ之ヲ記述シ結論的ニ第十四第二項ヲ参照シテ左ノ如ク記スヘシ

射撃ニ方リテハ銃ノ固有弊及射撃當時ニ於ケル天候氣象並照尺距離ト目標距離トノ差ヲ顧慮シテ所要ノ修正ヲ爲シ照準點ヲ選定スルヲ理想トスルモ戰場ニ於テ各種ノ條件ヲ彼此較量シテ至當ノ照準點ヲ求ムルコトハ至難トスルコトコナルヲ以テ小銃ニ在リテハ通常照準點ヲ修正ヲ行フコトナク目標ノ下際ヲ照準シ輕機關銃ニ在リテハ彈著觀測ノ結果ニ依リ照準點ヲ修正スルモノトス然レトモ小銃ニ在リテモ照準點ヲ修正スルヲ有利ト認ムル場合ニ於テハ所要ノ修正ヲ行フヲ可トス故ニ天候氣象ノ感及カ射撃指揮上ニ特ニ利用セラルルコトナキモ橫風ノ影響ノミハ稍、大ナルヲ以テ修正ヲ要スルコトアリ即チ射線ニ直角ニ吹ク風ハ彈著ヲ偏セシムルヲ以テ照準點ヲ修正ヲ要スルコトアリ

三、著眼第十三中ヨリ左ノ如ク記ス

空氣ノ濃淡即チ氣壓及氣溫ノ高低ハ彈丸ニ對スル空氣抗力ニ差異ヲ生シ射距離ヲ増減ス

空氣ハ土地ノ高サヲ増シ氣溫ノ上昇スルニ伴ヒ稀薄トナルモノニシテ標高三百米ノ高地ハ氣壓三十耗ノ減少ヲ來シ射距離ニ及ス影響ハ氣溫約十五度ノ上昇ニ等シ而シテ基準氣溫(攝氏十五度)ニ比シ十度ノ差ハ射距離五百米ニ於テ其彈著點上下ニ約十種、遠近ニ約十五米ヲ轉移スルニ過キス故ニ近距離ニ於テハ通常照尺ヲ修正スルヲ要セサルモノトス

四、著眼第十四ヲ左ノ要領ニ依リ記スヘシ

後方或ハ前方ヨリ來ル風(縱風)ハ射距離ヲ増減シ側方ヨリ吹ク風(橫風)ハ彈丸ヲ側方ニ偏セシム其量ハ射距離及風速ノ増加スルニ從ヒ益々大ナリ毎秒五米ノ速度ヲ有スル縱風ハ射距離五百米ニ於テ約一米、射距離千米ニ於テ約七米ノ増減ヲ生ス而シテ風速十米ナルモ増減量ハ其二倍トナルニ過キササルヲ以テ通常修正ヲ要セス然レトモ橫風ノ彈丸ニ及ス影響ハ比較的大ニシテ修正ヲ行フヲ要スルモノトス

五、著眼第十三、第十四ノ主要部分ヲ記スヘキモノナリ即チ左ノ如シ

1 氣壓、氣溫ノ影響

答案三ヲ見ヨ

2 風ノ影響

答案四ヲ見ヨ

六、著眼第十七ヲ左ノ如ク記ス

射撃散布ノ原因ハ銃器及彈藥構造上ノ差異、天候、氣象ノ影響、目標ノ明暗並射手ノ照準、擊發時ニ犯ス過誤ニ依ルモノニシテ又射撃位置、姿勢、體力、精神狀態、射撃速度ニモ關係ス就中操作ノ不良ニ起因スルモノハ其影響最モ甚シキモノトス

七、著眼第十九ノ中ヨリ左ノ如ク拔萃記述ス

多數射彈ノ垂直被彈面ニ於テ平均彈著點ヲ中央トシ其兩側ニ於テ總彈著ノ半數ヲ含ム部分ヲ垂直線ヲ以テ區劃スルトキハ其兩界線ハ平均彈著點ヨリ等距離ニ在ルモノニシテ此兩界線間ノ長サヲ水平半數必中界ト謂フ

八、著眼第十九ヲ参照シテ左ノ如ク記ス

總射彈ハ平均彈著點ヲ中心トスル水平、垂直半數必中界ノ各、約四倍ノ帶内ニ收容セラルルモノナリ故ニ次ノ算式ヲ得

$32 \times 4 = 1.28 \dots \dots$ 垂直半數必中界
 $30 \times 4 = 1.20 \dots \dots$ 水平半數必中界
 故ニ五百米ニ於ケル全射彈ハ垂直一米 38 種水
 平一米 30 種ノ間ニ收容セラルルモノトス

九、著眼第二十一ヲ左ノ如ク記ス

平均彈著點ノ位置ヲ求ムルニハ通常左ノ方法ニ依ル

多數彈ヲ發射セル場合ニ於テハ總彈著ノ上方及下方ヨリ各、其四分ノ一ヲ算ヘテ一線ヲ畫キ次ニ右方及左方ヨリ同様ニ總彈著ノ四分ノ一ヲ算ヘテ一線ヲ畫キ此等ノ線ニ依リ得タル矩形ノ對角線ノ交點ヲ以テ平均彈著點トス

少數彈ヲ發射セル場合ニ於テハ計算又ハ圖解法ニ依リ垂直及水平方向ニ總彈著ノ平分線ヲ畫キ其交點ヲ以テ平均彈著點トス

何レノ場合ニ於テモ躲避者シク大ナル彈著ハ之ヲ不規彈トシ除外スルヲ可トス

一〇、著眼第二十二ヲ左ノ如ク記ス

小銃、輕機關銃ヲ以テ友軍ノ間隙ヲ通シテ射撃スルニハ射彈ノ散布ニ鑑ミ友軍ニ危害ヲ及ササル爲

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

照準線ヲ其翼ヨリ左ノ如ク離隔セシムルヲ要ス

射撃位置ト友軍トノ距離 五十米以内 三米
同 百 米以内 四米
同 百五十米以内 五米

一一、第二十二及第二十三ヲ左ノ如ク記ス

1 小銃ヲ以テスル友軍間隙射撃ノ限界

答案一〇ヲ見ヨ

2 小銃ヲ以テスル友軍超過射撃ノ限界

小銃、輕機關銃ヲ以テスル超過射撃ハ射撃位置ト友軍トノ距離通常百五十米以内ニ在リテ照準線友軍ノ頭上三米以上ニ通スル場合ニ於テ實施スルコトヲ得

一二、著眼小銃、輕機關銃ニ關シテハ第二十二ヲ參照シテ記述シ、機關銃ニ就テハ機關銃步兵砲射撃教範第十八ヲ步兵砲ニ關シテハ同教範第三十三ヲ參照記述スヘシ

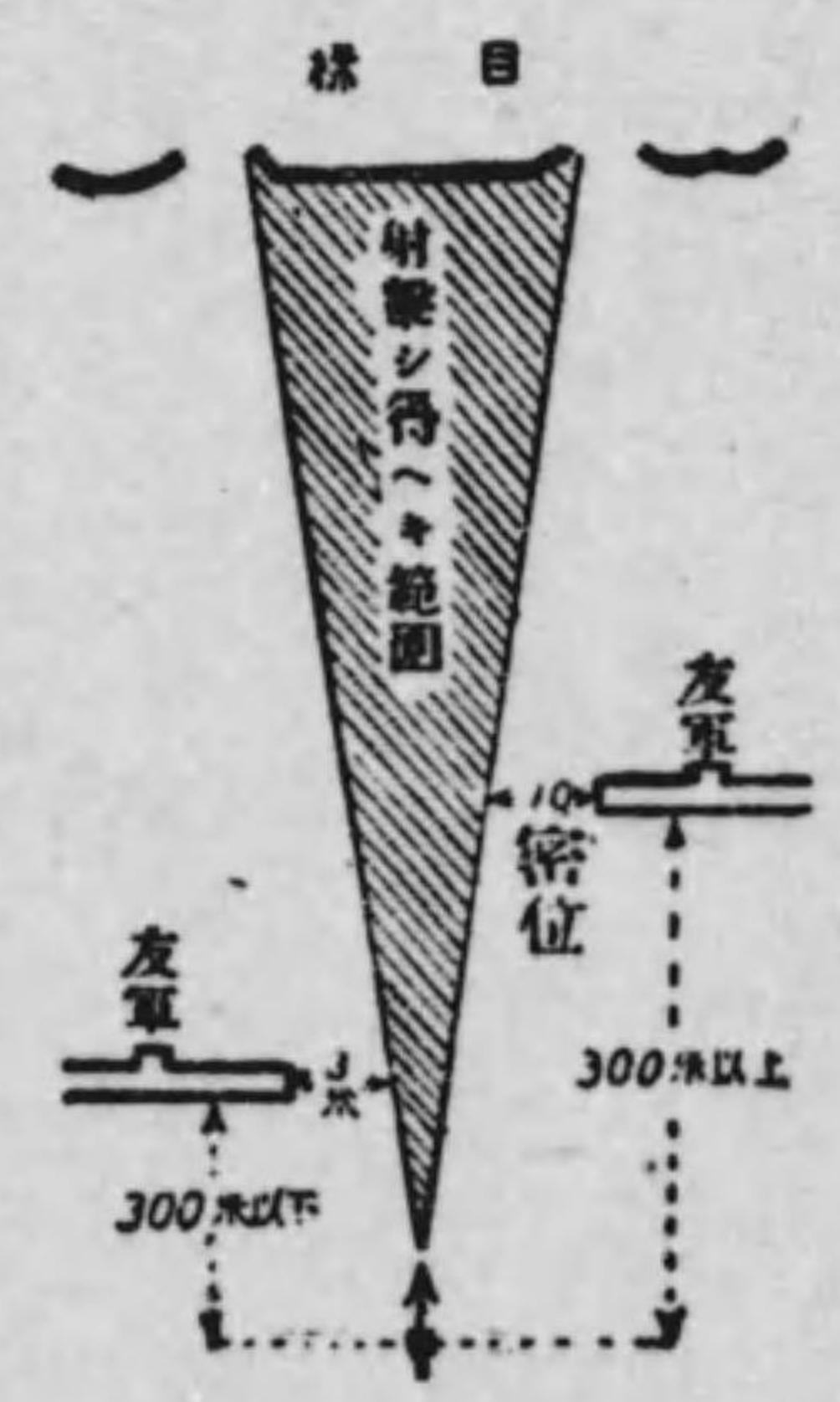
1 小銃及輕機關銃ノ間隙射撃

答案一〇ヲ見ヨ

2 機關銃ノ間隙射撃

間隙射撃ヲ行フニ方リ友軍ニ危害ヲ及ササル爲

ノ限界左圖ノ如シ



3 平射步兵砲ノ間隙射撃

右圖ニ同シ

一三、著眼第二十二、第二十三及機關銃、步兵砲射撃教範第十六、第十七、第十八ヲ參照次ノ如ク記ス

小銃、輕機關銃ニ就テハ答案一〇及一一ヲ見ヨ

機關銃ヲ以テスル友軍間隙及超過射撃左ノ如シ

1 友軍間隙射撃ハ答案一二ノ二ヲ見ヨ

2 友軍超過射撃

平垣地ニ於テ超過射撃ヲ行フニ方リ目標ニ至ル距離千三百米以下ニ於テハ友軍ニ危害ヲ與フル虞アルヲ以テ通常之ヲ行ハサルヲ可トス千三百

一四、著眼第二十六及第七表中ヨリ必要ノ部ヲ拔書スヘシ

1 危險界

彈道ノ目標高ヲ超過セサル地界ノ長サヲ危險界ト謂フ

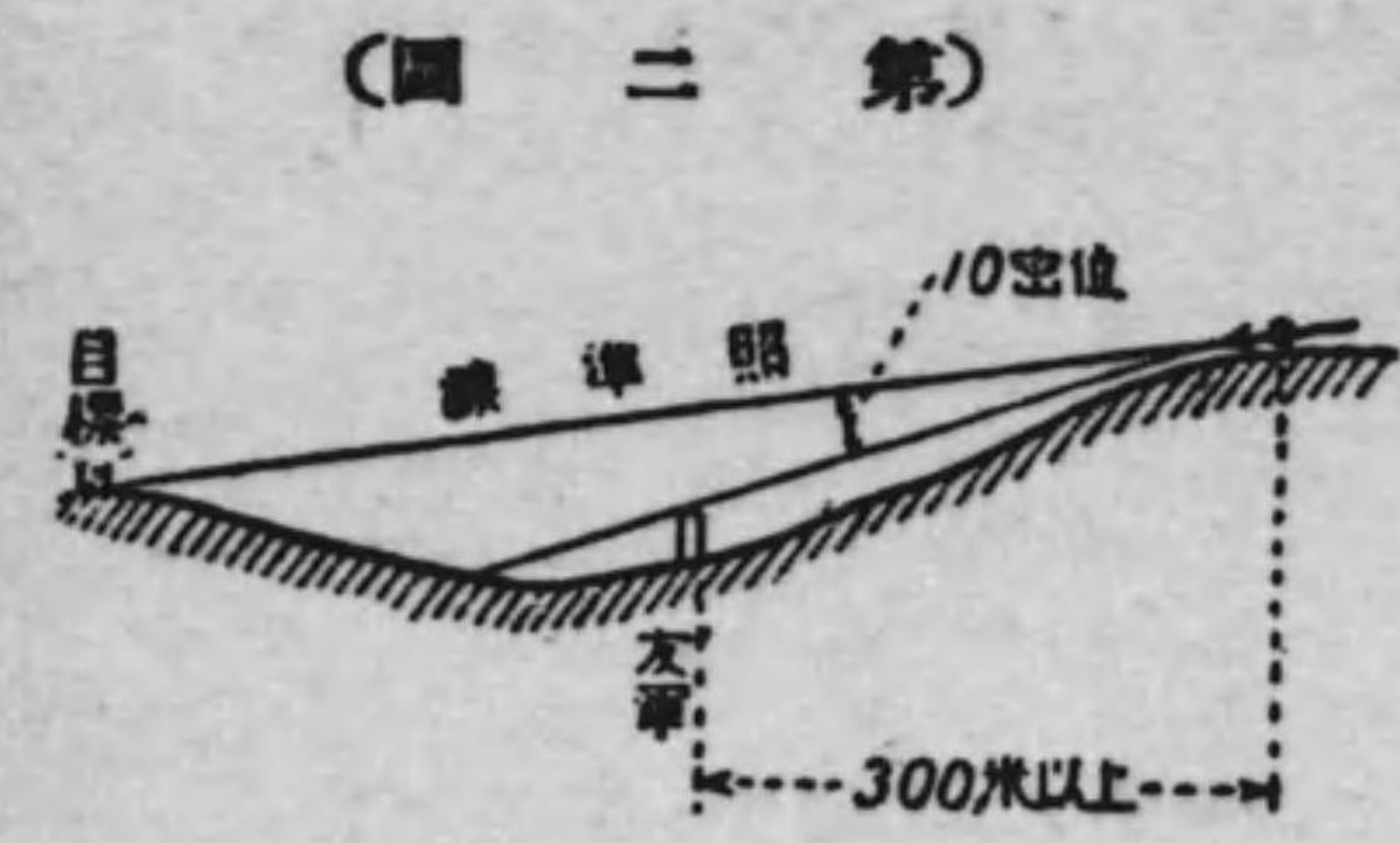
2 水平地上ニ於ケル四四(三八式)騎銃危險界

標目	徒歩			乘馬目標	射距離
	伏姿	膝姿	立姿		
123	400	400	400	400	400
65	500	500	500	500	500
44	101	600	600	600	600
31	67	128	240	240	700

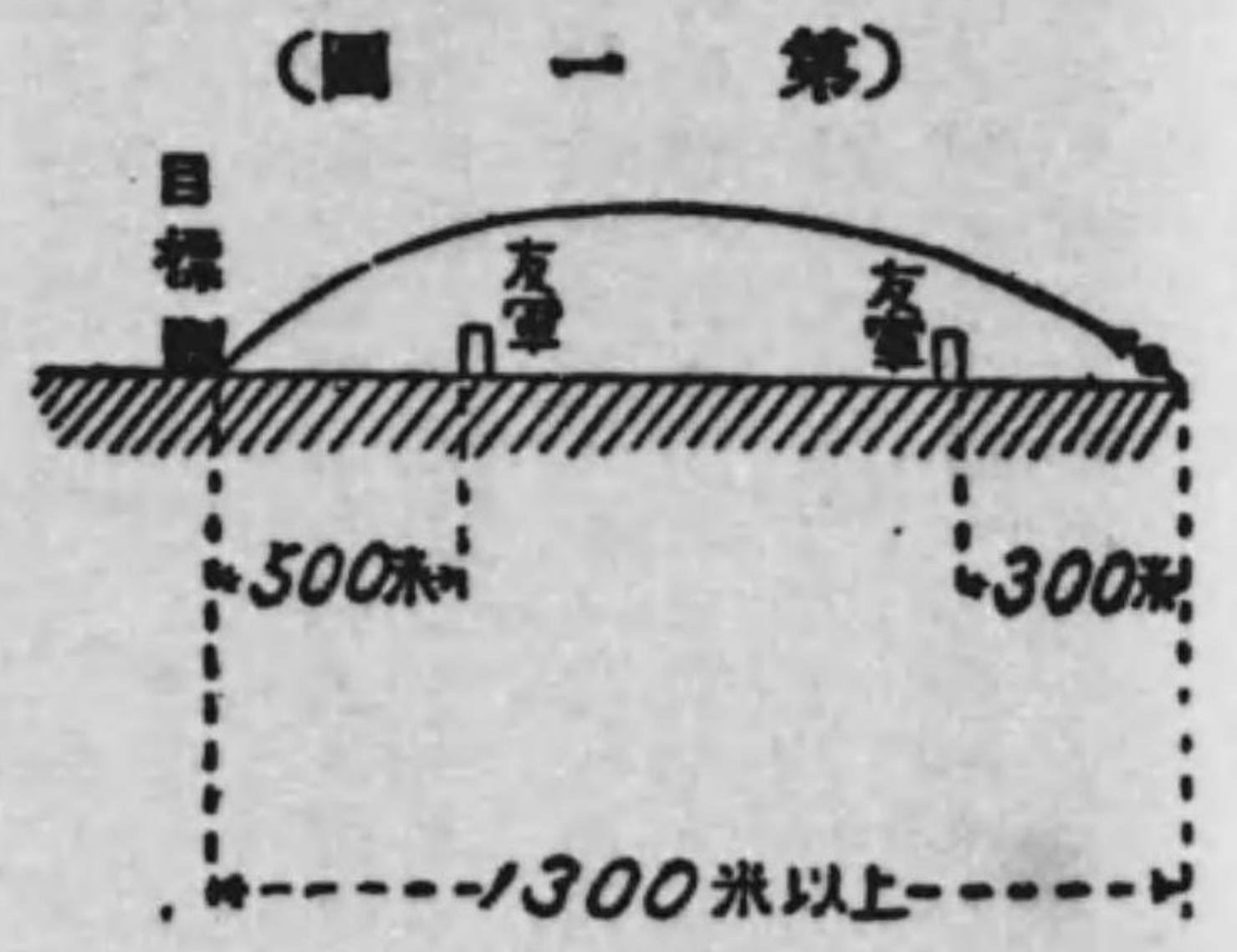
一五、著眼第二十六及第二十七中ヨリ左ノ如ク記ス

1 危險界

彈道ノ目標高ヲ超過セサル地界ノ長サヲ危險界ト謂ヒ其長短ハ射距離、目標高及地形殊ニ目標所在地ノ傾斜、射撃位置ト目標位置トノ比高等ニ依リ變化スルモノナリ(左圖)



(圖二第)



(圖一第)

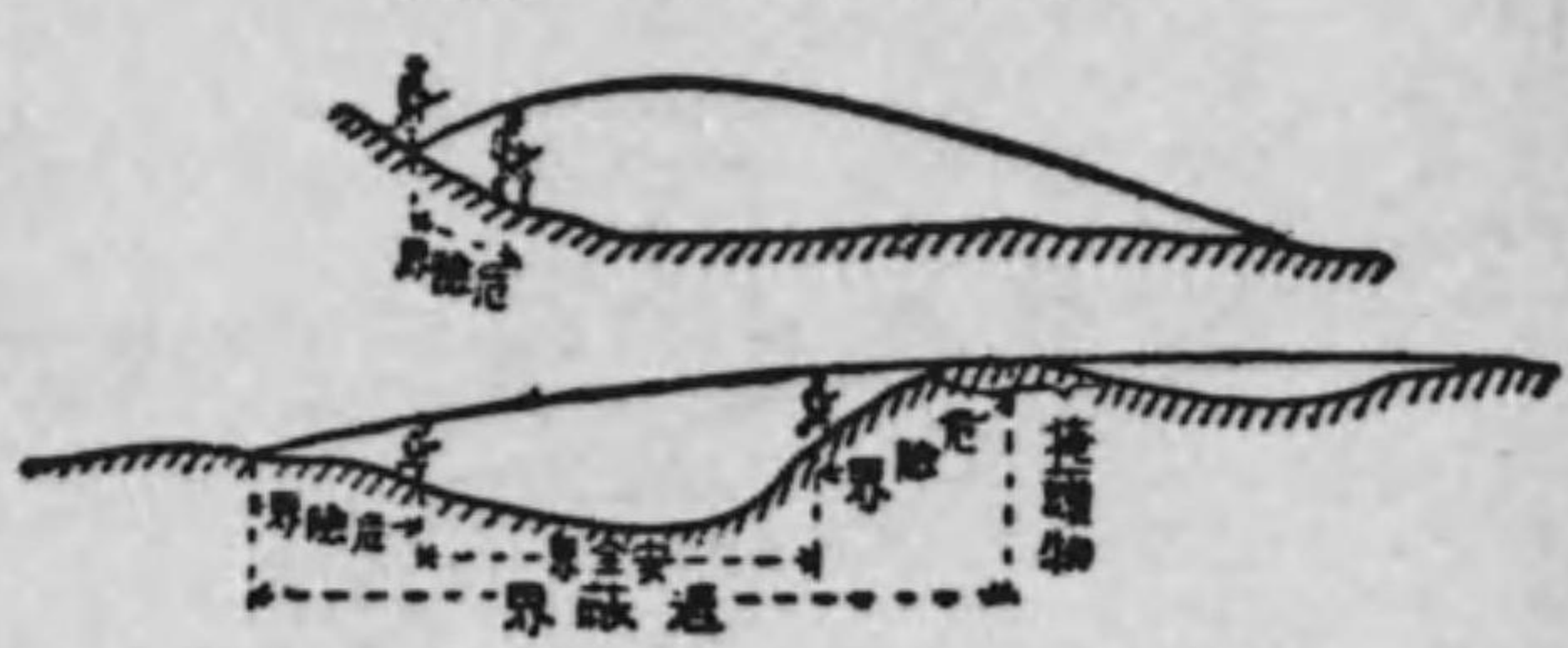
米以上ニ在リテハ概ネ第一圖ニ示ス量ヲ其限界トス
陣地ト友軍ノ頭上トヲ連ヌル線ノ上方ニ目標存在スル場合ニ於テ超過射撃ヲ行フニ方リ友軍ニ危害ヲ及ササル爲ノ限界第二圖ノ如シ

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

界險危ルス間ニ高標目及離距射(甲)
(ス示例キ就ニ銃兵歩式八三)



保開ノト界險危ト形地(乙)



保開ノト界險危ト量位擊射(丙)



2 遮蔽界

遮蔽物ノ基脚ヨリ其頂點ヲ通過スル彈道ノ彈著點ニ至ル距離ヲ遮蔽界ト謂フ(乙圖)

3 遮蔽界中目標ノ全部危險ヲ免ルルヲ得ヘキ地界ヲ其目標ノ安全界ト謂フ(乙圖)

(注意) 問題ニ於テ字句ノ多少異ナリタルモノアリシモ意義ノ同一ナル爲之ヲ併合セリ

- 一七、著眼第三十三ヲ記ス
間斷ナキ連続發射ノ限度ハ銃ノ保存上約三百發トス
- 一八、著眼第六十四、第六十九、及第二百十九ヲ左ノ如ク記ス
- 1 狹窄射擊ノ目的
命中彈ニ依リ直ニ動作ノ可否ヲ證明シ射擊ノ動作殊ニ照準、擊發ノ要領ヲ演練スルヲ目的トシ尙ホ射擊ノ嗜好心ヲ喚起シシムルニ效果アルモノトス
- 2 基本射擊
基本射擊ニ在リテハ射手ヲシテ特ニ爆音及反撞ヲ伴フ擊發ノ要領及銃ノ特性ヲ理解セシメテ射擊術ノ進歩向上ヲ圖リ銃ト自己ノ伎倆トニ確信ヲ得シムルヲ目的トス
- 3 戰團射擊ノ目的
戰團射擊ハ野外ニ於ケル實包射擊ニ依リ射擊術ト戰團動作トヲ渾然調和セシムル如ク演練シ以テ射擊教育ノ完成ヲ圖ルモノニシテ各個戰團射擊ニ在リテハ射手ヲシテ戰場ニ現出スヘキ目標

ニ對スル射擊術ヲ練磨シ部隊戰團射擊ニ在リテハ指揮官ヲシテ諸種ノ戰況ニ應スル射擊指揮ニ慣熟セシムルト共ニ兵卒ヲシテ克ク實戰的射擊能力ヲ得シムル如ク演練シ且嚴正ナル射擊軍紀ヲ涵養スルヲ目的トス

一九、著眼第九十八、第九十九、第百及第百一ヲ左ノ如ク記ス

「數發毎ノ點射」ヲ行フニハ約五發ツツ發射スル如ク食指ヲ屈伸シ更ニ照準シテ同一動作ヲ反復スルモノトス

「數發毎ノ點射ヲ移動」スルニハ通常目標ノ一端ヲ照準シ數發ノ點射ヲ行ヒ脚桿及兩肘ノ位置ヲ變スルコトナク微小ナル肩ノ移動ニ依リ迅速ニ目標ノ他部ニ照準線ヲ移シ更ニ數發ノ點射ヲ行ヒ逐次他端ニ及スモノトス

脚桿及兩肘ノ位置ヲ變スルコトナク照準線ヲ移動シ得ル範圍ハ射手ノ體格ニ依リ差アリト雖概ネ距離ノ百米數ニ三ヲ乘シタル正面(三十密位)ヲ適度トス故ニ點射ノ移動ニ在リテハ此範圍ヲ超過スル毎ニ射手ハ兩肘ヲ移動セサルヘカラス而シテ此動

作ヲ迅速ニ行フ爲ニハ先ツ腰ヲ僅ニ捻ル如クシテ移動スルヲ可トス雜射ニ在リテモ亦然リ

「連續點射」ヲ行フニハ通常先ツ數發ノ點射ヲ行ヒ其彈著ニ依リ照準點ノ基準ヲ得タル後照準線ヲ目標ニ沿ヒ平等ニ移動シ射擊スルモノトス

雜射ノ速度ハ距離ノ遠近、目標ノ狀態ニ依ルモ脚桿及兩肘ノ位置ヲ變スルコトナクシテ照準線ヲ移動シ得ル正面内ニ十五發ヲ發射スルヲ以テ標準トス

二〇、著眼第九十九ノ一部ヲ左ノ如ク記ス

脚桿及兩肘ノ位置ヲ變スルコトナク照準線ヲ移動シ得ル範圍ハ射手ノ體格ニ依リ差アリト雖概ネ距離ノ百米數ニ三ヲ乘シタル正面(三十密位)位ヲ適度トス故ニ點射ノ移動ニ在リテハ此範圍ヲ超過スル毎ニ射手ハ兩肘ヲ移動セサルヘカラス而シテ此動作ヲ迅速ニ行フ爲ニハ先ツ腰ヲ僅ニ捻ル如クシテ移動スルヲ可トス雜射ニ在リテモ亦然リ

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

二一、著眼第百十ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 故障ノ原因

銃ノ手入ノ不良、機能ノ不整並射擊動作ノ不正
確珠ニ裝填操作ノ不真ハ故障發生ノ主ナル原因
トナルモノナリ

2 豫防方法

幹部ハ屢、銃ノ手入及機能ヲ検査シテ其整備ヲ
圖リ又射擊動作ヲ正確ニシ故障ノ豫防ニ勉ムル
ヲ要ス

二二、著眼第百十二ヲ左ノ如ク記ス

故障ノ原因ヲ發見スルニハ生起セル現象ヲ基礎ト
シテ判断スルモノナルモ尙左ノ諸項ハ有力ナル資
料トナルモノトス

銃ノ固有癖

發射中ニ於ケル爆音ノ調子、藥莖賦出ノ状態、藥
莖塗油ノ程度、雷管ノ擊莖衝痕

射手ノ動作

規整子、油槽點檢ノ確否

故障發生ノ時機射擊開始ノ直後ナリヤ、多數彈發
射後ナリヤ、分解結合後ナリヤ、運動直後ナリヤ等

二三、著眼第百二十第百二十一ヲ引用シテ左ノ如ク
記スヘシ

彈著ノ觀測修正ハ遠近及方向ヲ同時ニ行フモノト
ス
彈著ノ景況ハ主トシテ地形、土質ニ依リ異ナルモ
平坦地ニ在リテハ彈著概シテ目標ノ直後ニシテ時
時目標ノ直前ニ近彈ヲ觀測シ得ル場合ニ於テ良好
ナリ

二四、著眼第百二十五ヲ左ノ如ク記スヘシ

小銃、輕機關銃ヲ以テスル飛行機射擊ハ通常飛行
機ニ至ル直距離六百米以下ニ於テ行ヒ輕機關銃ニ
在リテハ通常數發毎ノ點射ヲ用フルモノトス
射擊ハ常ニ三百米ノ照尺ヲ以テ飛行機ノ移動ニ追
隨シテ行フモノニシテ其照準點左表ノ如シ

飛行機射擊ニ於ケル照準點	
飛行機ニ至ル直距離(米)	照 準 點
一〇〇〇 以 内	飛行機ノ前輪
二〇〇〇乃至四〇〇〇	眼ニ映スル飛行機ノ長 サノ三倍前

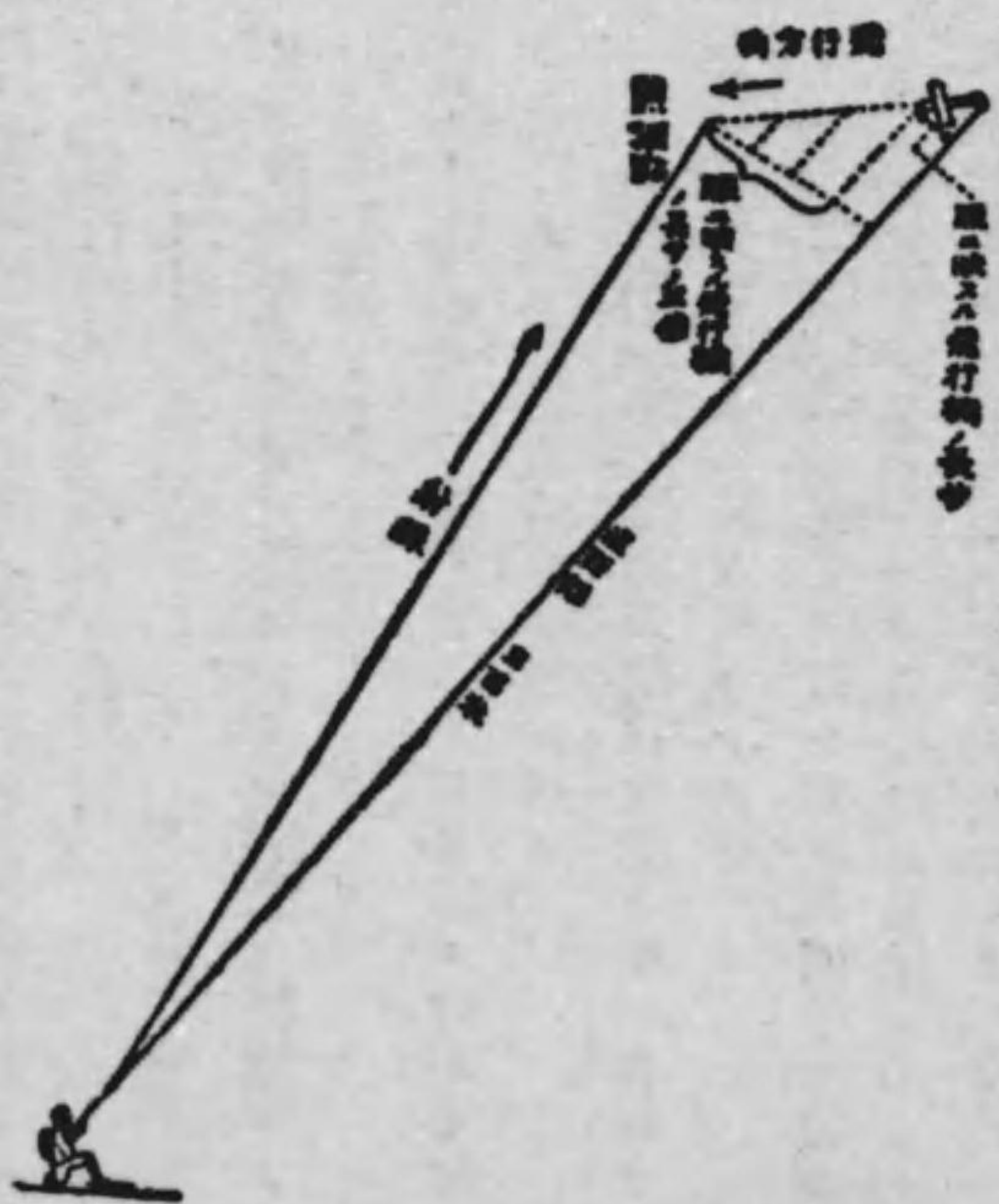
五〇〇〇 以上

眼ニ映スル飛行機ノ長
サノ三倍前

本射擊法ハ仰角三十度以上ニ於ケル彈道ヲ略、直
線ニ近キモノト看做シ射距離ニ應スル照尺度ハ顧
慮スルコトナク常ニ三百米ノ照尺ヲ用ヒ單ニ彈丸
ノ經過時間内ニ飛行機ノ移動スル量ヲ飛行機ノ進
路上ニ修正スル如ク定メタルモノナリ之ヲ直距離
約六百米ニ於ケル射擊ニ就キテ例示セハ小銃及輕
機關銃ノ彈丸ノ經過時間ハ概ネ一秒ニシテ此間飛
行機ハ約五十米移動スルヲ以テ飛行機ノ長サヲ約
八米トスレハ機長ノ約六倍前ヲ照準スルヲ要スル
モノトス而シテ照準點ヲ各距離毎ニ定メサルハ刻
々射距離ヲ變化スル飛行機ニ對シテハ實用上却テ
不便ナルヲ以テナリ又仰角三十度以下ノ飛行機ニ
對シテモ近距離ニ於テハ彈道ノ彎曲度小ナルヲ以
テ本射擊法ヲ適用シ得ルモノトス

飛行機我ニ向ヒ前進スル場合ノ例

(飛行機退却スル場合モ亦此要領ニ準ス)



飛行機我カ射擊ニ對シ略、直角ニ飛行スル場合
ノ例



◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範。機關銃、步兵砲射擊教範◇

二五、著眼 答案二四ニ同シ但シ輕機關銃ニ關スル記述ヲ除ク

二六、著眼 本問題ハ第二十五問題ト同様ノ問題ナレトモ稍、詳シク区分シタルニ過キス從テ答案ハ同様ニテ可ナリ

二七、著眼 本問題モ第二十五問題ト文章ノ構成ヲ異ニセルノミニテ同一問題ナリ從テ答案ヲ略ス

二八、著眼 第二十四問題ノ一部ナルモ左ニ必要部分ノミ再記ス

1 照準點

眼ニ映スル飛行機ノ長サノ六倍前ヲ照準ス

2 理由(第二十四問題ノ圖參照)

本射擊法ハ仰角三十度以上ニ於ケル彈道ヲ略、直線ニ近キモノト看做シ射距離ニ應スル照尺度ハ照慮スルコトナク常ニ三百米ノ照尺ヲ用ヒ單ニ彈丸ノ經過時間内ニ飛行機ノ移動スル量ヲ飛行機ノ進路上ニ修正スル如ク定メタルモノナリ之ヲ直距離約六百米ニ於ケル射擊ニ就キテ示セハ小銃及輕機關銃ノ彈丸ノ經過時間ハ概ネ一秒ニシテ此間飛行機ハ約五十米移動スルヲ以テ飛

行機ノ長サヲ約八米トスレハ機長ノ約六倍前ヲ照準スルヲ要スルモノトス而シテ照準點ヲ各距離毎ニ定メサルハ刻々射距離ヲ變化スル飛行機ニ對シテハ實用上却テ不便ナルヲ以テナリ又仰角三十度以下ノ飛行機ニ對シテモ近距離ニ於テハ彈道ノ彎曲度小ナルヲ以テ本射擊法ヲ適用シ得ルモノトス

二九、著眼 第百二十五ノ表及第百二十六ヲ記スヘシ

1 飛行機射擊ニ於ケル照準點

答案二四ノ表ヲ見ヨ

2 飛行機ノ目視ノ景況ニ依ル距離ノ標準左ノ如シ

一、〇〇〇米 機ノ輪廓ノミヲ認メ得ルモ其各部ヲ識別シ得ス

六〇〇米 標誌及翼柱ヲ認メ機ノ各部ヲ識別スルコトヲ得

二〇〇米 搭乗者數ヲ算シ其帽子ヲ識別シ得

三〇、著眼 第百三十二ヲ左ノ如ク記ス

各個戰團射擊ニ於テ演練スヘキ主要ナル事項次ノ

如シ

一 瞬間現出スル目標ニ對スル射擊

二 目視困難ナル目標ニ對スル射擊

三 劇動後ノ射擊

四 諸種ノ地形、地物ヲ機敏ニ利用シテ行フ射擊

此等ノ事項ヲ如何ナル程度ニ要求スヘキヤハ基本教育ニ於テ射手ノ修得セル射擊技能ニ關スルモノニシテ其要求緩ニ過キテ基本射擊ト違フトコロナキカ如キ或ハ其要求急ニ過キテ射手ノ自信ヲ失ハシムルカ如キハ共ニ適當ナラサルモノトス

三一、著眼 第百二十九及第百三十二ヲ左ノ如ク記ス

1 戰團射擊一般ノ目的

戰團射擊ハ野外ニ於ケル實包射擊ニ依リ射擊術ト戰團動作トヲ渾然調和セシムル如ク演練シ以テ射擊教育ノ完成ヲ圖ルモノニシテ各個戰團射擊ニ在リテハ射手ヲシテ戰場ニ現出スヘキ目標ニ對スル射擊術ヲ練磨シ部隊戰團射擊ニ在リテハ指揮官ヲシテ諸種ノ戰況ニ應スル射擊指揮ニ慣熟セシムルト共ニ兵卒ヲシテ克ク實戰的射擊

能力ヲ得シムル如ク演練シ且嚴正ナル射擊軍紀ヲ涵養スルヲ目的トス

2 各個戰團射擊ニ於テ演練スヘキ主要ナル事項 答案二十九ヲ見ヨ

三二、著眼 第百四十中左ノ如ク記ス

1 送彈不良ノ主ナル原因

一 活塞後退不足

二 裝填操作不良

三 槓桿ノ引キ方不良

四 發射中ニ於ケル食指ノ弛緩

五 捕彈子ノ變形

2 突込ノ主ナル原因

打發藥莢藥室內ニ在ル場合(主ナル原因)

一 抽筒子ノ缺損

二 抽筒子發條ノ衰損若ハ折損

三 藥莢ノ膠著

1 藥室ニ異物ノ介在

2 塗油ノ缺乏

(連續多數彈ヲ發射シ銃著シク加熱セラルルトキハ塗油燃焼シ爲ニ一層本故障ヲ生起

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

シ易シ)

打殺藥莖藥室內ニ在ラサル場合(主ナル原因)

- 一 支彈發條ノ機能不良
- 二 其他支彈部ノ作用不良

三三、著眼 第六十七ヲ左ノ如ク記スヘシ

夜間射撃ノ效力ハ地形、明暗ノ度及設備ノ適否特ニ射手ノ精神狀態及夜間射撃ノ伎倆ニ依リ大ナル差異アルモ射線ヲ地面ト平行セシムルハ效力ヲ收ムルノ基礎ナリ而シテ夜間射撃ノ設備適切ナラサルトキハ却テ效力ヲ著シク減少スルニ至ルモノニシテ之ニ反シ兵卒夜間射撃ノ動作ニ慣熟シ且沈著シテ射撃スルトキハ縱ヒ設備ヲ缺ク場合ニ於テモ相當ノ效力ヲ收メ得ルモノナリ

三四、著眼 第七十一ヲ參照左ノ如ク記ス

射撃目標ヲ補助ノ地物ニ依リ指示スルニ方リ補助ノ地物ヨリ目標マテノ間隔ハ密位位置ニ依リ指示スルヲ便トス

一密位ハ圓周ノ六千四百分ノ一ノ圓弧ニ對スル中心角ノ大サトス此圓弧ハ半徑ノ約千分ノ一ノ長サニ等シク腕長ニ於テ一指幅ハ約三十密位、測銃ノ

場合ノ遊標幅ハ約百密位ニ相當ス(小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範附圖第二十八參照)而シテ百密位ヲ一分畫ト稱ス

其他目標指示ノ爲ニハ透明板(同教範附圖第二十九參照)又ハ時計(同教範附圖第三十參照)ヲ用フルヲ便トスルコトアリ

三五、著眼 一ハ第七十一、二ハ第六十七ヲ答案

三二、同三三ノ要領ニ依リ記スヘシ

三六、著眼 第七十一ヲ參照左ノ如ク記ス

射撃目標ヲ指示スルニハ小隊ノ射撃スヘキ區域ヲ以テスルヲ通常トス然レトモ特ニ射撃スヘキ部分若ハ現實ノ目標ヲ以テスルヲ有利トスルコトアリ補助ノ地物ニ依リ射撃目標ノ指示法ハ答案三三ヲ見ヨ

三七、著眼 第七十二ヲ左ノ如ク記ス

一 小銃射撃ニ於テ彈著ヲ觀測スルニハ射撃區域ノ全部ニ亘リ目標ヨリ近方位ノ地域ヲ稍、長ク注視スルヲ要ス

二 低目標ニ對シテハ全彈著ノ約二分一、高目標ニ對シテハ約三分ノ一ヲ目標直前ニ認ムルヲ以テ

學理上良好ナル景況トスルモ實際小銃ノ彈著ヲ觀測スルニ當リテハ其多クノ射撃目標ニ近ク其前方ニ落達シ時々遠彈ヲ發見シ得ルヲ以テ良好ナル射撃ノ狀態ト認ムルコトヲ得蓋シ近彈ハ一般ニ觀測容易ニシテ顯著ニ觀測者ノ眼ニ映スルニ反シ遠彈ハ常ニ彈著ノ觀察困難ニシテ時トシテ全然觀測シ得サル事アルヲ以テナリ

三八、著眼 答案三七及同三三ヲ見ヨ

三九、著眼 第二百二十及第二百二十一ヲ左ノ如ク記ス

一 小銃ノ彈著觀測

答案三七ヲ見ヨ

二 輕機關銃彈著觀測

彈著ノ觀測修正ハ遠近及方向ヲ同時ニ行フモノトス

彈著ノ景況ハ主トシテ地形、土質ニ依リ異ナルモ平坦地ニ在リテハ彈著概シテ目標ノ直後ニシテ時々目標ノ直前ニ近彈ヲ觀測シ得ル場合ニ於テ良好ナリ

四〇、著眼 第八十五ノ中左ノ如ク記ス

遠ク誤リ易キ場合

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範◇

目標ノ見エ方不明瞭ナルトキ殊ニ目標線ノ大部ヲ目視シ得サルトキ、炎熱ノトキ、陽炎アルトキ、測手太陽ニ面スルトキ、目標其背後ノ物色ノ關係ニ依リ鮮明ナラサルトキ、曇天、濃霧、曉暮、森林内及狹長ナル土地等

低キ姿勢ニテ目測スルトキハ遠キニ失スルヲ常トス

四一、著眼 第九十一ヲ左ノ如ク記ス

音響波動ノ速度ヲ利用シ距離ヲ測量スルコトアリ即チ天候平穩ノ場合ニ於テ音響ハ一秒時間ニ約三百三十三米ニ達スルモノナルヲ以テ三秒時間ニ一ヨリ十マテノ數ヲ連呼シ得ル如ク口調ヲ練習スルトキハ一箇ノ呼唱ハ百米ニ相當ス即チ發光ヲ見テヨリ音響ノ耳ニ達スル間ニ要スル時間ヲ口調ニ依リ測ルトキハ其距離ヲ概測シ得ルモノトス

四二、著眼 第九十二ヲ左ノ如ク記ス

彈丸發射ノ際及飛行間相異ナル三種ノ音響ヲ發生ス即チ彈丸銃口ヲ離ルルトキ發射音(トーン)大速度ヲ以テ飛行スル間生スル飛行音(パン)及存速音波ノ速度以下トナリタルトキ生スル飛行音

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範。機關銃、步兵砲射擊教範◇

(レニウツ)是ナリ

彈丸ノ音響ハ銃側附近ニ在リテハ「トン」音ト「パン」音トヲ同時ニ發生スルヲ以テ單ニ激烈ナル一音ヲ聽取スルノミナルモ射線ノ方向ニ銃口ヲ遠サカルニ從ヒ「パン」音、「トン」音ノ順序ニ區別シテ聽クヲ得ヘク約八百米ニ至レハ其間隔〇・八秒ヲ算ス而シテ約九百米以上ニ在リテハ其間隔内ニ「シニウツ」音ヲ聽キ約千五百米附近ニ於テハ「ト」音及「シニウツ」音ヲ略、同時ニ聽取スルニ至ルモノトス

彈丸ノ音響ニ依リ發射位置ノ方向ヲ判定スルニハ常ニ「トン」音ニ依ラサルヘカラス而シテ「パン」音ハ屢、發射位置ノ方向ヲ誤ラシムルモノナルヲ以テ注意スルヲ要ス

四三、著眼音響測量ニ就テハ答案四〇ヲ、彈丸ノ音響ニ依ル距離測定ハ答案四一ヲ見ヨ

四四、著眼第二百十二、第百六十五及第百六十六ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 工兵隊射擊教育ノ目的
工兵隊ノ射擊教育ノ目的ハ指揮官及兵本ヲ訓練

シ克ク其自衛ヲ完ウシ得ルト共ニ狀況ニ依リ步兵部隊ノ間ニ位シテ戰鬥ヲ遂行シ得ルノ射擊技能ヲ養成スルニ在リ

2 斜射及側射ノ效力

斜射、側射ハ正面射ニ比シ其命中效力著大ナルノミナラス敵ニ與フル精神的效果モ亦著シキモノトス

3 跳彈ニ依ル效力

跳彈ニ依ル效力ハ射距離及目標附近ノ地形並土質ニ依リ著シク差異アルモノナリ而シテ小銃及輕機關銃ノ堅硬地ニ於ケル跳彈ノ命中數ハ概ネ直射彈ノ命中數ノ三分ノ一乃至五分ノ一ト認ムルヲ得ヘシ
水上、積雪上及水上ニ於テモ亦跳彈ヲ生シ特ニ水上及凝固セル積雪上ニ於テハ著シク其數ヲ增加ス

四五、著眼第六乃至第九第十一第十二ヲ参照ス

1、初速、藥室内ニテ點火セラレタル裝藥ハ瓦斯ヲ發生シ其壓力ハ彈丸ヲ銃腔中ニ壓進シ其速度ヲ以テ銃腔外ニ射出ス其銃口ニ於ケル彈丸ノ速度ヲ初速ト云フ

2、3、彈道、存速、發射セラレタル彈丸重心ノ過クル線ヲ彈道ト言ヒ其形狀ハ重力、空氣抗力、彈丸ノ速度及旋動並銃ノ傾度ニ關係ス

重力ハ飛行スル彈丸ヲ落下セシムルモノニシテ其落下尺度ハ經過時間ト共ニ増加ス空氣抗力ハ絶エス彈丸ノ飛行速度ヲ減シ同距離ヲ經過スルニ漸次長時間ヲ費スニ至ラシム、之カ爲彈道ハ曲線狀ヲ成シ其彎曲ノ度ハ銃口ヲ遠サカルニ從ヒ益々甚シク其最高點ハ銃口ヨリ概ネ射距離ノ五分ノ三ノ所ニアリ而シテ彈道ノ某點ニ於ケル彈丸ノ速度ヲ其點ノ存速ト云フ

4、定偏 彈丸ノ旋動ハ彈丸ヲシテ其腔繞旋回ノ方側ニ偏移セシムルモノニシテ其射面(銃身軸ヲ含ム垂直面)ヨリ離隔スル狀ヲ定偏ト謂ヒ射距離ノ増加スルニ從ヒ其景大トナルモノナリ

◇小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範。機關銃、步兵砲射擊教範

5、ホ高低角、銃口ト彈著點ト同一水平面ニ在ラサルトキ兩者ヲ連ヌル線ヲ高低線、高低線ト水平面トノ成ス角ヲ高低角ト謂フ彈著點銃口ヲ通スル水平面ニ對シ上下ニ位置スルニ從ヒ高低角ニ正負ノ別ヲ生ス

6、發射角、彈丸發射時銃口ニ於ケル彈道ノ切線ヲ發射線、發射線ト水平面トノ成ス角ヲ發射角ト謂フ發射角ハ射角ト僅少ノ差アルモノナリ

四六、著眼第八十六ヨリ引用ス

1、存速、彈道ノ某點ニ於ケル彈丸ノ速度ヲ其點ノ存速ト云フ

2、集束彈道、彈丸ハ諸種ノ原因ニ因リ縱ヒ同一ノ銃ヲ用ヒ銃身ノ位置方向ヲ同一ニシテ射擊ヲ行フモ每發其彈道ヲ同シクセス其範圍内ニ散布スヘシ而シテ多數ノ彈丸ヲ發射スルトキハ其彈道ハ恰モ東蕪ノ如ク曲圓錐形ヲ成スモノニシテ射彈ハ中央ニ近ツクニ從ヒ益々稠密トナルモノトス之ヲ集束彈道ト謂フ

四七、著眼第九ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

旋動ナキ長形彈ハ一度ヒ銃口ヲ出ツルヤ其尖頭ヲ射

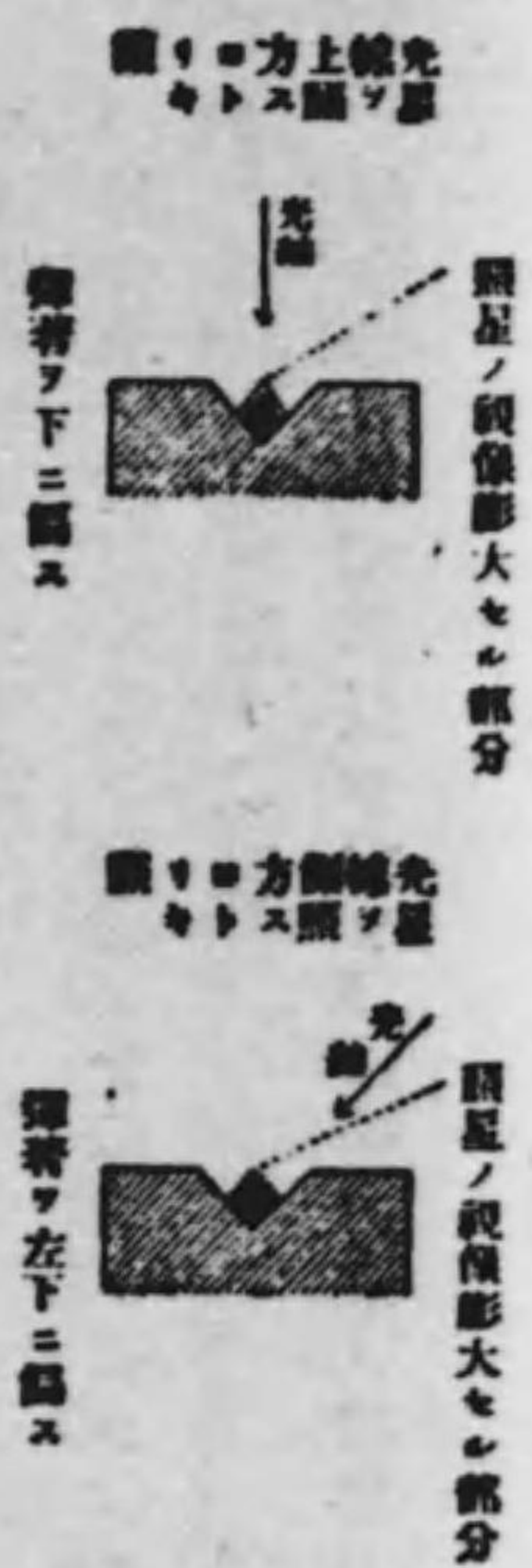
小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範、機關銃、步兵砲射擊教範



線ノ方向ニ保タントスルモ空氣ノ抵抗ニ依リテ彈道彎曲スルヲ以テ上圖ノ如ク長彈ノ長面ニ空氣ノ抵抗力ヲ受クルニ至リ彎曲ノ度ヲ増スニ從ヒ其抵抗力ノ方向ト彈丸中心線トノナス角度増大シ遂ニ轉倒シ規正ノ運動ヲナシ得サルニ至ルモノナリ、故ニ彈丸ヲシテ常ニ其尖頭ヲ前方ニ維持セシメ終始規正ノ彈道ヲ畫カシメンカ爲銃身ニ腔鏡ヲ施シ以テ飛行間其長軸ノ周圍ニ旋動ヲナサシメンカ爲ナリ

四八、著眼第七十一、第九、第十二、第十九ヲ參照ス

一、一密位トハ圓周ノ六千四百分の一ノ圓弧ニ對スル中心角ノ大サヲ云フ此圓弧ハ半徑ノ約千分の一ノ長サニ等シク腕長ニ於テ一指幅ハ約三十密位ニシテ指幅、遊標幅等ヲ以テ目標指示ニ應用スルモノナリ



五〇、著眼小銃射擊第二十二、第二十三機關銃步兵砲射擊第十六、第十七、第十八、第三十一、第三十二ヲ參照シ左ノ如ク記述ス

一、間隙射擊

小銃、輕機關銃ヲ以テ友軍ノ間隔ヲ通シテ射擊スルニハ射彈ノ散布ニ鑑ミ友軍ニ危害ヲ及ボササル爲照準線ヲ其翼ヨリ左ノ如ク離隔セシムルヲ要ス

射擊位置ト友軍トノ距離

五十米以内	三米
同	四米
同	百五十米以内
同	五米
同	三百米以下
同	三米
同	三百米以上
同	一〇密位

二、超過射擊

(イ) 小銃、輕機關銃ヲ以テスル超過射擊ニ關シテハ 答案第十二ヲ見ヨ

小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範、機關銃、步兵砲射擊教範

二、銃身ニ腔鏡ヲ附シアル理由 答案第四十七ヲ見ヨ

三、定偏 答案第四十五ノ4ヲ見ヨ

四、高低角、答案第四十五ノ5ヲ見ヨ

五、躲避トハ平均彈著點ト各射彈著點トノ離隔ノ量ヲ謂ヒ平均點躲避トハ命中セシメントスル點ト平均彈著點トノ離隔ノ量ヲ謂フ其量小ナルニ從ヒ命中精度良好ナルモノトス

四九、著眼第十五ヲ利用ス

光線上方ヨリ照星ヲ照ストキハ射手ノ眼ニ映スル視像大トナルヲ以テ自然照星ヲ低ク照門内ニ現シ射距離ヲ減ス若側方ヨリ之ヲ照ストキハ照星ノ輝ク方ノ視像他ノ方ヨリ膨大スルカ故ニ其膨大セル部ヲ以テ照準シ自ラ眞ノ照星頂ヲ一側ニ偏シテ照門内ニ現シ彈丸ヲシテ暗黒ナル方ニ偏セシム(左圖)

曇天、曉暮、森林内等總テ照星ヲ視ルコト明瞭ナラサルトキ及不明瞭ナル目標ヲ射擊スル場合ニハ自然照星ヲ高ク現シ從テ射距離ヲ増大ス

(ロ) 機關銃ヲ以テスル超過射擊ニ關シテハ答案第十三ヲ見ヨ

(ハ) 平坦地ニ於テ平射砲ヲ以テ超過射擊ヲ行フニ方リ目標ニ至ル距離ハ百米以下ニ於テハ友軍ニ危害ヲ與フル虞アルヲ以テ通常之ヲ行ハサルヲ可トス

百米以上ニ在リテハ友軍トノ距離昇弧ニ於テ二百五十米降弧ニ於テ二百米ヲ限界トス

陣地ト友軍ノ頭上ヲ連ヌル線ノ上方ニ目標存在スル場合ニ於テ平射砲ヲ以テ超過射擊ヲ行フニ方リ友軍ニ危害ヲ及ボサル爲ノ限界ハ答案第十三ノ第二圖ヲ見ヨ

(ニ) 曲射砲ヲ以テ超過射擊ヲ行フニ方リテハ友軍ニ危害ヲ及ボサル爲友軍トノ離隔度ハ千米以内ニ於テハ百五十米ヲ標準トス

五一、答案第五十一ヲ見ヨ

五二、答案第十三ヲ見ヨ

五三、間隙射擊ハ答案第十超過射擊ハ答案第十二ヲ見ヨ

五四、答案第十三ヲ見ヨ

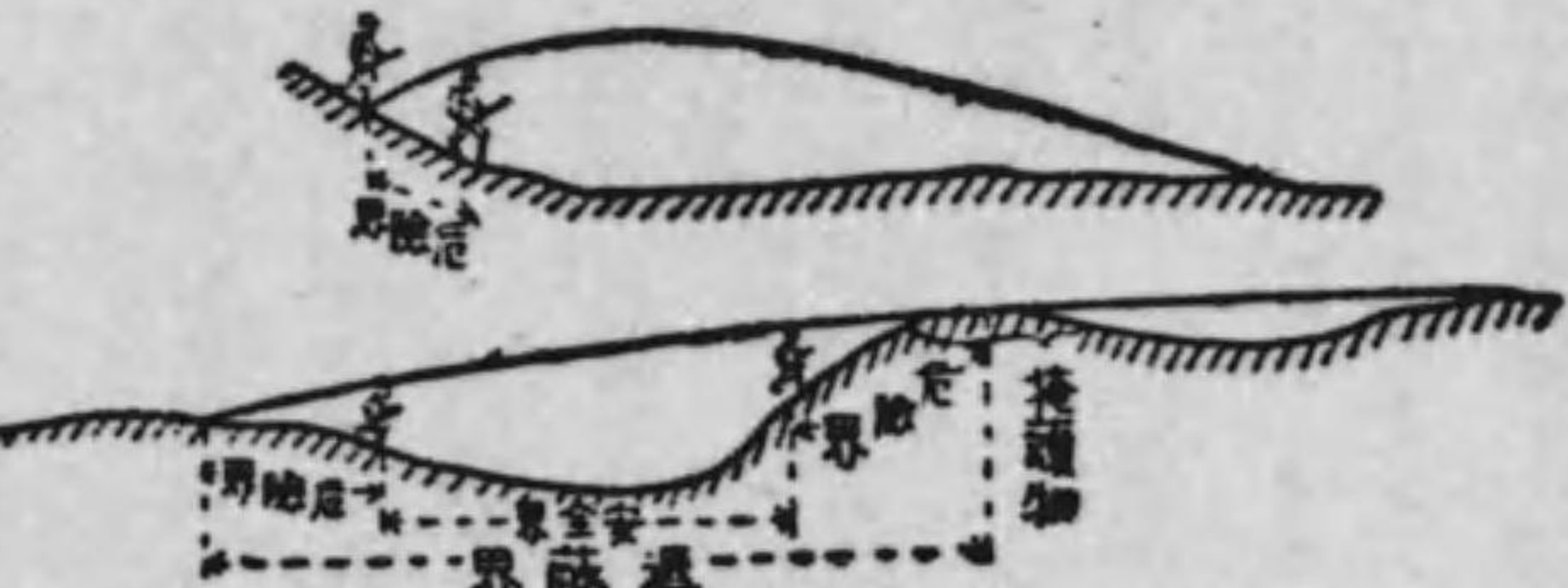
五五、答案第十、第十二ヲ見ヨ

五六、答案第二十六ヲ引用ス

圖 甲
界險危ルス間ニ高標目及離距離射(甲)
(ス示例キ就ニ銃兵步式八三)



係關ノト界險危ト形地(乙)



係關ノト界險危ト位置射(丙)

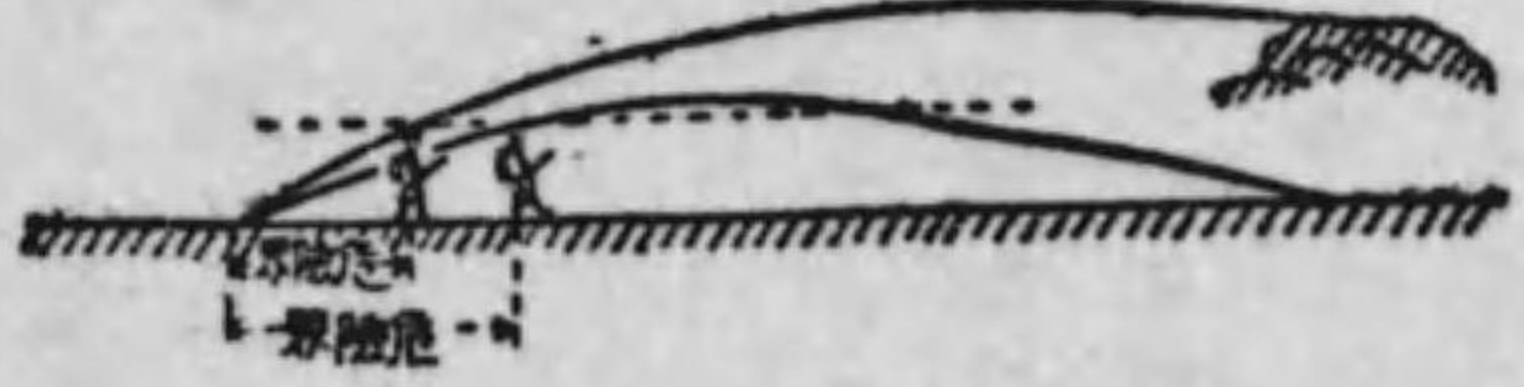


圖 乙



- 1、彈道ノ目標高ヲ超過セサル地界ノ長サヲ危險界ト謂ヒ其長短ハ射距離、目標高及地形殊ニ目標所在地ノ傾斜、射擊位置ト目標位置トノ比高等ニ依リ變化スルモノナリ(甲圖)
 - 2、被彈地ノ縱長ニ最下彈道ノ危險界ヲ合シタル地域ヲ掃射地帯ト謂フ(乙圖)
- 五七、危險界ハ答案第五十六ヲ、超過射擊ノ限界ハ答案第十三ヲ見ヨ

- 五八、答案第五十六ヲ見ヨ
- 五九、1、射彈散布ノ原因答
案第六ヲ見ヨ
- 2、危險界、遮蔽界、安全界ハ答案第十五ヲ見ヨ
- 六〇、答案第十五ヲ見ヨ
- 六一、著眼第四十六第四十七ヲ参照ス
- 1、射擊進行演習ノ目的ハ射手ヲシテ据銃照準及擊發ノ要領ヲ修得セシメ以テ射擊術ノ基礎ヲ作り且諸種ノ目標ニ對シ各種ノ状態ニ於ケル射擊ヲ練習ス

セシメ益々其技術ヲ進歩向上セシムルニ在リ

2、特ニ意ヲ用ヒテ教育スヘキ事項

瞬間現出スル目標或ハ運動スル目標ニ對スル射擊及劇動後ニ行フ射擊ハ射擊教育ノ進歩ニ伴ヒ射擊豫行演習ニ於テ十分意ヲ用ヒテ教育スヘキ事項トス

六二、著眼第百十一ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

夜間ニ於テハ射擊前ノ點檢ヲ確實ニスルコト、射擊動作殊ニ裝填動作ノ正確ナルコトハ故障ノ豫防上特ニ注意スルヲ要ス

又夜暗ニ於ケル分解結合、部品ノ交換、規整子ノ潤合、指頭ノ觸感ヲ以テスル故障ノ判斷、藥莢、油槽、抽筒子、規整子分畫並遊底ノ閉鎖状態等ノ點檢ニ習熟シ是等ノ點ニ注意スルハ故障ノ豫防及排除ノ爲肝要ナリ

六三、著眼第百十二ヨリ左ノ如ク引用記述ス

銃ノ固有癖

發射中ニ於ケル爆音ノ調子、藥莢噴出ノ状態、藥莢塗油ノ程度、雷管ノ擊莖衝痕

射手ノ動作

小銃、輕機關銃、拳銃射擊教範・機關銃、步兵砲射擊教範

規整子、油槽點檢ノ確否

故障發生ノ時機、射擊開始ノ直後ナリヤ、多數彈發射後ナリヤ、分解結合後ナリヤ、運動直後ナリヤ等

六四、著眼第百二十一及第百七十二ヲ引用シ左ノ如ク記述ス

1、小銃射擊ノ效果

射擊效果ヲ觀察スルニハ目標ノ前後ニ於ケル彈著ノ多寡ニ注意スルコト緊要ナリ而シテ彈著觀測ノ難易ハ主トシテ目標所在地ノ地形及土質ニ關スルモノトス

小銃射擊ニ於テ彈著ヲ觀測スルニハ射擊區域ノ全部ニ互リ目標ヨリ近方位ノ地域ヲ稍々永ク注視スルヲ可トス

低キ目標ニ對シテハ全彈著ノ約二分ノ一、高キ目標ニ對シテハ約三分ノ一ヲ目標ノ直前ニ認ムルヲ以テ學理上良好ナル景況トスルモ實際小銃ノ彈著ヲ觀測スルニ方リテハ其多クノ射彈目標ニ近ク其前方ニ落達シ時々遠彈ヲ發見シ得ルヲ以テ良好ナル射擊ノ状態ト認ムルコトヲ得蓋シ近彈ハ一般ニ觀測容易ニシテ顯著ニ觀測者ノ眼ニ映スルニ反シ